

三人ノ三匹夫デアル、モシ一日モ仲ナケレバ、三子者ノ世ノ中トナルカラ、天下ニナントシテ、三子ノ連中ガ少ナカローゾ、ソレヨソ澤山出テ來ル、威公ガ幸ニシテ、管仲臨終ノ言ヲ聞キ、此三人ヲ誅シタリトモ、マダソノ外ニ澤山此三人ノ徒ガアリトスレバ、管仲ガ悉皆數ヘ立テ、之ヲ誅シ去ルコトガ出來ヨ一ゾサテモ、管仲ハ治道ノ根本ヲ知ラザルモノト云フベキデアル。

文法 治道ノ大本ヲ知ラズトテ一ノ斷語ヲ下シ、全文ノ主意ヲ迫リ出ス。

因威公之間、舉天下之賢者以自代、則仲雖死、而齊國未爲無仲也。夫何患三子者、不言可也。

講義 臨終ノ時、威公ノ問ニ因リ、管仲ガ自分ノ名代トナルベキ賢者ヲ引上ゲ、自分ニ代ヘテ置クナラバ、タトヒ、管仲ハ死ストモ、齊國ニ於テハ、管仲ニ繼グベキ後ノ賢者ガナシトセヌ、仲ノ如キ賢者サヘアレバ、三子者ハ三匹夫デアルカラ、ソレ何ゾ三子者ヲ心配シヨ一ゾ、簡様ナルコトハ、事ノシク言ハンデモイ。

文法 コレ賢ヲ擧ゲ自ラ代ルベキヲ云フ、全篇ノ主意ナリ。

五伯莫盛於威文。文公之才、不過威公。其臣又皆不及仲。靈公之虐、不如孝公之寬厚。文公死、諸侯不敢叛晉。晉襲

顯威公ノ問ニ因リ天下ノ賢者ヲ擧ゲテ以テ自ラ代ラバ、則仲死スト雖モ、齊國未ダ仲無シトナサザルナリ、夫レ何ゾ三子者ヲ患ヘン、言ハズシテ可ナリ。

顯五伯ハ威文ヨリ盛ナルハ莫シ、文公ノ才ハ威公ニ過ギズ、其臣又皆仲ニ及バズ、靈公ノ虐、孝公ノ寬厚

文公之餘威、猶得爲諸侯之盟主百餘年。何者、其君雖不肖、而尙有老成人焉。

講義 五霸ノ中デモ、齊ノ威公ト晋ノ文公程勢力ノ盛ナルモノハナイ、文公ノ才ハ迪モ威公ニ及バヌ、其臣ニ先軫、陽處父ト云フ如キ賢臣ガアルモ、ソノ賢遠ク管仲ニ及バヌ、靈公ノ暴虐ナルコトハ、孝公ノ寬大ニシテ手厚キニハ及バヌ、文公死シテ後、諸侯共、敢テ一人ノ晋ニ叛クモノナク、ヨク文公ノ餘烈威光ヲ襲ギ、更ニ失ハズ、尙諸侯ガ盟ヲナス、時ノ主人公トナリ、十分諸侯ニ巾ヲキカシテ居タコトガ百餘年デアツタカ、ソレハナゼト言フニ、其君ガ如何ニ不肖ナリトハ云ヘド、猶之ヲ輔佐スル所ノ老練ナル政事家ガアツタカラデアアル。

文法 コレ晋文ヲ借り、威公ニ證シ、國ノ治亂、賢才ノ有無ニ關スルヲ説ク、有老成人ノ一句コレ點眼。

威公之薨也。一敗塗地。無惑也。彼獨恃一管仲、而仲則死矣。夫天下未嘗無賢者。盖有有臣而無君者矣。威公在焉。而曰天下不復有管仲者、吾不信也。

講義 威公ノ薨去スルヤ、一敗ノ地ノ土ニ塗ルト云フ有様デ、誠ニ哀レ慕ナキ始末デアツタ、コレハドウシテ、カクナリタカト云フト、ソレハ惑ヒ不思議トス

ニ如カズ、文公死シ諸侯敢テ晋ニ叛カズ、晋文公ノ餘威ヲ襲ギ猶諸侯ノ盟主タルヲ得ル百餘年、何トナレバ其君不肖ト雖モ而モ尙老成人有リ焉。

顯伯ハ霸ト同ジ、五伯トバ、齊桓、晋文、秦穆、宋襄、楚莊ナリ。
顯靈公 文公ノ孫。
顯孝公 桓公ノ子。

顯威公ノ薨ズルヤ一敗地ニ塗ル惑フナキナリ、彼獨一ノ管仲ヲ恃ミ、而ノ仲則死ス矣、夫レ天下未ダ嘗テ賢者無ラズ、蓋臣アリテ君ナキ者アリ矣、威公在リ焉而ノ天下復管仲有ラズト曰フ、吾ハ信ゼザルナリ。

ル所ハナイ、彼齊國ハ、一ノ管仲ヲ持ミ力ニシテ居タガ、ソノ管仲ガ死シ、外ニ後繼者タル他ノ賢臣ガナイ、ソレ何ノ天下ニテモ賢臣ノナイト云フコハナイサテ賢臣ハアルニシテモ、之ヲ採用スル賢君ガナイト云フ場合ハナイトハ限レヌガ、威公ノ如キ賢君ガアリテ、天下ニ復再ビト管仲ノ如キ賢臣ガナイト曰フコハ、吾ハ信用セヌ、ソレハ受取レヌ話ナリ。

文法 齊國賢臣ナキハ、管仲之ヲ進メザルノ罪ニ譏シ、且ツ賢君ナキニ託シテ、其責ヲ辭スル能ハザラシム、コレ前門ヲ閉テ迷路ヲ塞グ。

仲之書有記其將死論鮑叔賓胥無之爲人且各疏其短。是其心以爲是數子者皆不足以托國而又逆知其將死則其書誕謾不足信也。

鮑叔賓胥無之爲人且各疏其短。是其心以爲是數子者皆不足以托國而又逆知其將死則其書誕謾不足信也。

訓詁 管仲、管子ヲ著ハシ、其書中ニ又(有又同ジ)録シテ居ル自分ガ臨終ノ時、鮑叔ナリ、賓胥無ナリ諸賢ノ性格ヲ論ジ、且各自ソノ才ノ短所缺點ヲ述テ居ルコレハ管仲ノ心ニ思フニ、是ノ數子ノ者ハ皆以テ國ヲ任カスニ足ラヌ、獨斷ノ朋ノミハ用キルニ足り、役ニ立ツガ、コノ男ハ短命ニ早ク死スルデアロートコレハ甚ダソノ要領ヲ得ヌ、管仲ニシテ人ノ死ヲ豫言スルト云フヤウナコトヲシテ居ルトスルト、其書モ僞リ多ク、決シテ信用スルコトガ出來ヌ。

吾觀史鮒以不能進蘧伯玉而退彌子瑕故有身後之諫蕭何且死舉曹參以自代大臣之用心固宜如此也。

文法 コレハ賢者ナキニ託シ、其責ヲ辭スル能ハザラシム、コレ後門ヲ塞グナリ。

吾觀史鮒以不能進蘧伯玉而退彌子瑕故有身後之諫蕭何且死舉曹參以自代大臣之用心固宜如此也。

訓詁 吾ガ觀ルニ、衛ノ靈公ノ臣タル史鮒ト云ヘル賢者ハ、蘧伯玉ト云フ賢者ヲ進メ、彌子瑕ト云フ小人ヲ退クルコト能ハザルヲ以テ、大ニ人臣ノ道ニ缺ゲタリトナシ、己ヲ罪シ、其子ニ遺言シ死後自分ヲ禮ヲ盡シテ葬ル可ラザルヲ以テシ其君ヲ規諫シタレバ、靈公大ニソノ非ヲ悔ヒ、遂ニ其寵臣タル彌子瑕ヲ追放ニ及ンダ、又漢ノ蕭何ノ將ニ死セントスル、天晴レ自分ノ名代トシテ愧テスト見立ラ付ケ曹參ヲ引上ゲ、自ラ代ハラシメタ、サテ大臣タルモノ國家ニ對シテ忠實ナルソノ注意ハ固ヨリ此ノ如クアルベキデアル。

文法 大臣臨終ニ於テ國家ニ盡クスノ道ヲ引證シ、管仲ヲ責ム。

一國以一人興以一人亡賢者不悲其身之死而憂其國之衰故必復有賢者而後可以死彼管仲者何以死哉。

一國以一人興以一人亡賢者不悲其身之死而憂其國之衰故必復有賢者而後可以死彼管仲者何以死哉。

デアアル、故ニ十分其國ヲ託スルニ足ルベキ名代ノ人ヲ得テ始テ瞑目スベキデア
ル、彼ノ管仲ナルモノハ、如何ナル仕方ヲ以テ死シタルカ、大臣ノ所置トハ云
ヘナイ。

文法 歸宿コレ徹底管仲賢ヲ進メ自ラ代ハラザルヲ責ム。

高祖論

蘇老泉

漢高祖挾數用術以制一時之利害。不如陳平揣摩天下
之勢舉指搖目以制項羽。不如張良微此二人則天下
不歸漢。而高帝乃木強之人而止耳。

題意 老泉會テ言フ、策二道ヲ作ル、審勢、審敵ト云フ、書十篇ヲ作ル、權書ト

云フ、此論則權書ノ一ナリ、此篇論ズル所ノ主意トスル所ハ、漢高ヨク外戚
ノ權ヲ損シ後世子孫ノ計ヲナシタルヲ賞賛シタルナリ、コレ蓋爲ニスル所アリ
テ此論ヲ作リシナランカ。

講義 漢ノ高祖ハ固ヨリ偉人ニ相違ナイガ、勝敗ノ數ヲ挾ミ持チ、臨機ノ術策
ヲ應用シ、以テ一時戰爭ノ利害ヲ制裁シテ、ヨク適應ノ所置ヲナシテ行クハ
固ヨリ巧ニ奇計ヲ出スノ陳平ニハ及バス、天下ノ大勢ヲヨク計リテ、指ヲ舉ゲ
目ヲ搖カシ千軍ヲ指麾シ、以テ項羽ヲ規ヤカシ、ソノ銳鋒ヲ押ヘ挫クヤウニス
ルコトハ、固ヨリ謀臣タル張良ニ及バス、高祖ガ天下ヲ取リタルハ、全ク此二

高祖論

漢高祖挾數用術以制一時之利害。不如陳平揣摩天下之勢舉指搖目以制項羽。不如張良微此二人則天下不歸漢。而高帝乃木強之人而止耳。

講義 漢ノ高祖ハ固ヨリ偉人ニ相違ナイガ、勝敗ノ數ヲ挾ミ持チ、臨機ノ術策

ヲ應用シ、以テ一時戰爭ノ利害ヲ制裁シテ、ヨク適應ノ所置ヲナシテ行クハ

固ヨリ巧ニ奇計ヲ出スノ陳平ニハ及バス、天下ノ大勢ヲヨク計リテ、指ヲ舉ゲ
目ヲ搖カシ千軍ヲ指麾シ、以テ項羽ヲ規ヤカシ、ソノ銳鋒ヲ押ヘ挫クヤウニス
ルコトハ、固ヨリ謀臣タル張良ニ及バス、高祖ガ天下ヲ取リタルハ、全ク此二

文法 然レドモ、戰爭モ方付キ、天下已ニ平定シ、後世子孫ノ計謀ヲナサル、點

然天下已定。後世子孫之計。陳平張良智之所不及。則高
帝常先爲之規畫處置。使夫後世之所爲。曉然如目見其
事。而爲之者。蓋高帝之智。明於大而暗於小。至於此而後
見也。

講義 然レドモ、戰爭モ方付キ、天下已ニ平定シ、後世子孫ノ計謀ヲナサル、點

ニ於テハ、連モ、張良ヤ陳平ノ智惠デハ及バス所ノモノヲ高帝ニ於テハ、常
ニ先第一番ニ、此等子孫ノ計ニ付キ、之ガ規畫所置ヲナサレ、後世子孫ノモノ
ガ爲ス所ノ事ニ付テ恰モ高帝ガ曉然ニ實際ニ目ニ其事ヲ見テ、之ガ所置ヲナス
ガ如クナラシム、コレガサテ高帝ノ智ハ後世子孫ノ計ヲナスガ如キ大ナルトニ
ハ明ニシテ、一時ノ利害ヲ制スルガ如キ小ナルトニハ、ボンヤリトシテ暗イト
云フトガ、是ニ至テ大ニ知ラル。

文法 然ノ一字ヲ以テ轉ジ、高帝ノ智、小ニ暗ク、大ニ明カナルヲ云フ、コレハ

異ナリ、押ヘツケルノ意ア

講義 木強、武骨一邊ノ人ト
云フガ如シ。

然レドモ天下已ニ定
リ、後世子孫ノ計、陳平張
良、智ノ及バザル所、則高
帝常先之ガ規畫處置ヲ
ナシ、夫ノ後世ノ爲ス所ニ
曉然ト目ニ其事ヲ見テ而
之ヲ爲スガ如クナラシム、
蓋高帝ノ智、大ニ明ニシ
テ、小ニ暗キ、此ニ至リテ
而シテ後ニ見ルナリ、
文法 規畫所置、ハカリ、キ
マリチ付グルチ云フ。

揚ゲタルナリ。

帝嘗語呂后曰。周勃厚重少文。然安劉氏者必勃也。可令爲太尉。方是時。劉氏安矣。勃又將誰安耶。故吾之意曰。高帝之以太尉屬勃也。知有呂氏之禍也。

高帝嘗テ呂后ニ語テ曰ハル、ニ、周勃ト云ヘル人物ハ、厚ク重クシテ輕薄才子ニアラズ質朴ニシテ、更ニ飾リ氣ナク、愚直ト云フ方デアルガ、カ、ル人物ニ任シテ置ケバ危險ナルコトハナイデ、劉氏ノ天下ヲ安ズル者ハ、必ズ周勃デアルカラ、此人物ヲ太尉ノ役トシテ、軍事ヲ託シテヨカロー、サテ是ノ時ニ當リ、劉氏ハ誠ニ安心デアツテ、別ニ心配スベキ程ノコトハナイニ、勃ハ又將誰ヲ安セントスルカ、高帝ハ左様ニ取越苦勞ヲサレズモガナ、イヤ〜吾ノ意ニ思フニ、高帝ノ大尉ヲ以テ勃ニ屬シタルト云フハ、皇后呂氏ガ必ズ禍ヲ起スコトヲ前知シテ居ラル、カラダ。

【又法】 コレ高帝ノ智、大ニ明ナル所ニシテ、子孫ノ計ヲナスノ實ナリ。

雖然其不去呂后何也。勢不可也。昔者武王歿。成王幼而三監叛。帝意百歲後。將相大臣及諸侯王。有如武庚祿父。

圖雖然リト雖モ、其ノ呂后ヲ去ラザル何ゾヤ、勢不可ナレバナリ、昔者武王歿シ成王幼ニシテ三監叛ク、帝意

而無有以制之也。獨計以爲家有主母。而豪奴悍婢。不敢與弱子抗。呂氏佐帝定天下。爲諸將大臣素所畏服。獨此可以鎮壓其邪心。以待嗣子之壯。故不去呂后者。爲惠帝計也。

ヘラク、百歲ノ後、將相大臣及諸侯王、武庚祿父ノ如キ有ル、以テ之ヲ制スルアルナシ、獨計レニ以テ爲ラク、家ニ主母アレバ、豪奴悍婢敢テ弱子ト抗セズ、呂氏帝ヲ佐ケ、天下ヲ定ム諸將大臣ノ素ヨリ畏服スル所、獨此以テ其邪心ヲ鎮壓シ以テ嗣子ノ壯ヲ待ツベシト、故ニ呂后ヲ去ラザル者ハ、惠帝ノ爲ニ計ルナリ。

【又法】 已ニソノ禍アルヲ知ルナレバ、之ヲ去リテヨカローニ、知リツ、呂后ヲ去ラザルハ何故ナルゾ、ソレハ勢ノ上ヨリ打算シテ去ル可ラザルノ事情ガアル、昔時周ノ武王ガ歿シテ後、其子ノ成王ハマダ幼少デアアル、コレヲ機會トシテ三監ガ叛イタコトガアル、高帝ノ思ハル、ニ、百歲ノ後、我亡キ後ニテ、將相大臣、及諸侯王ノ中ニ萬一ニモ、武侯祿父ノ如キモノガアリテ漢室ニ叛クモノデモアツタ時ニハ、ソレコソ大變デアツテ、以テ之ヲ押ヘ付ケ治ルコトガ出來ヌ、ソコデ高帝ガ獨計リ以爲ニ、之ヲ一家ノ中ニ諭フルニ、假令主人ハ亡クトモ、家ニシツカリトシタル主母、則、嬖幸主ト云フモノガアリタレバ、如何ニ我儘ナル下男、一本繩デハ追ナイト云フ様ナル下婢モ、ソノ嬖幸主ノ權幕ニ恐レ、敢テマダ年若キ若旦那、若主人ト抵抗スルヤウナコトハナイ、呂后ハ高帝ヲ助ケテ天下ヲ定メタルノ功勞ガアルカラ、諸將大臣モ固ヨリ畏レ服シテ居ル所デアアル故ニ、獨此ノ呂后サヘ居レバ、以テ諸將大臣ノ邪ナル心ヲ鎮メ壓エ付クルコトガ出來以テ世嗣ノ生長シテ壯年ニナルヲ待ツベキデアアル、故ニ呂后ヲ去ラザルモ

ノハ、惠帝ガ幼少デアルカラ、惠帝ヲ保護スル爲ニ、呂氏ヲ去ラナカッタノハ
惠帝ノ爲デアル。

又法 自疑ヒ自解ス、議論文此種ノ法尤モヨシ、マタ忽チ一諭ヲ設ケ本意ヲ見ハ
ス、引喻尤モ切當ナリ、主母ハ呂氏ニ諭ヘ、豪奴悍婢ハ、將相大臣ニ諭ヘ、弱
子ハ惠帝ニ諭ヘタルナリ。

呂后既不可去。故削其黨以損其權。使雖有變而天下不
搖。是故以樊噲之功。一旦遂欲斬之。而無疑。

呂后既ニ去ル可ラズ、
故ニ其黨ヲ削リ以テ其權ヲ
損ス、變有リト雖モ、天下
ニ搖カザラシム、是ノ故ニ
樊噲ノ功ヲ以テシ、一旦
遂ニ之ヲ斬ラント欲シテ疑
フ無シ。

又法 カ、ル事情デアル故ニ、呂后ハ既ニ去ル可ガ出来ヌ、左レド其儘ニ呂氏ヲ
放任シテ置クコトハ出来ヌ、故ニソノ呂后ニ縁故アル黨類ヲ削リ去リ、以テ其權
力ヲ損スル様ニシ、一朝呂氏ガ禍ヲ興シ天下ヲ亂ダサウトシタ所デ、天下ニ動
搖シナイ様ニサレタ、ソレデアルカラ、樊噲ノ如キノ大功勞アルモノニテモ、
一朝俄ニ之ヲ斬ラント欲シテ、更ニ躊躇シ疑フコトヲシナカッタ。

又法 コレ呂后ヲ所置シテ、子孫長久ノ計ヲナスヲ説ク「以樊噲之功、一旦遂欲
斬之」コレ主意ヲ少シク見ハスナリ。

嗚呼彼獨於噲不仁耶。且噲與帝偕起。拔城陷陣。功爲不
少。方亞夫喉項莊時。微噲譙羽。則漢之爲漢未可知也。一

嗚呼彼獨於噲ニ於テ不
仁ナランヤ、且噲帝ト偕ニ
起リ城ヲ拔キ、陣ヲ陷レ、

且人有惡噲欲滅戚氏者。時噲出伐燕。立命平勃。即軍中
斬之。

功少ナカラズト爲ス、アキ
項莊ヲ喉スレノ時ニ方リ、
噲ガ羽ヲ譙ルヲ微リセバ、
則漢ノ漢タル未ダ知レ可ラ
ザルナリ、一旦人噲戚氏ヲ
滅サント欲スト惡スル者
アリ、時ニ噲出テ、燕ヲ
伐ツ、立ニ平勃ニ命シ
軍中ニ即キ之ヲ斬ラシム。

噲ノ惡スル 惡言スルナリ
惡ク言ヒ込ナリ

又法 コレ下ニ於テ翻案ノ地ヲナサント欲シ、力ヲ極メテ噲ノ功ヲ贊ス。

夫噲之罪未形也。惡之者誠僞未必也。且帝之不以一女
子斬天下功臣亦明矣。彼其娶於呂氏。呂氏之族。若產祿

噲ノ罪ニ未ダ形セザ
ルナリ、之ヲ惡クスルモノ
誠僞未ダ必セザルナリ、且

帝ノ一女子ヲ以テ天下ノ功臣ヲ斬ラザルコト亦明シ、彼其呂氏ニ娶ル、呂氏ノ族、産祿輩ノ如キ皆庸才、師ヲ足ラズ、獨噲豪健諸將ノ制スル能ハザル所、後世ノ患此ヨリ大ナルハ無シ矣。

輩皆庸才不足卹。獨噲豪健諸將所不能制。後世之患無大於此者矣。

夫噲ノ罪狀ハ未ダ顯ハレテ居ルト云フデナク、之ヲ惡言シタルモノモ、其言ノ誠僞モ未ダ判然セズ、且如何ニ寵愛ノ戚夫人ナレバトテ、僅ニ一女子ノ愛ニ溺レ天下ノ大功臣タル樊噲ヲ斬ラザルコトハ理ニ於テ明白ナルコトデアル、然レバ何故デアアルカト曰フト、彼レ樊噲ハ呂后ノ妹ヲ娶リテ居ル、呂氏ノ一族ニ於テソノ兄タル呂産呂祿ト云フ輩ハ皆コレ凡庸ナル才ノモノデ、少モ心配スルニ足ラヌガ、イザト云フ場合ニナルト、獨噲丈ハナカクノ豪傑健勇デアツテ諸將ノ押ヘ付ルコト出来ヌ剛ノモノデアアルカラ、後世ノ心配ハ此ノ噲ヲ生シテ置クヨリ大ナルハナイ、高帝ハ其レ故、此機會ヲ利用シ、一思ニヤツ付ケロト命ジタノダ。

「獨噲豪健、諸將所不能制、後世之患、無大於此」コレ全文ノ主意、高帝子孫ノ計ヲナス外戚ノ權ヲ損スルニアルノ意ニ歸宿ス。

夫高帝之視呂后猶醫者之視莖也。使其毒能可以治病而不至於殺人而已。噲死則呂氏之毒將不至於殺人。高帝以爲是足以死而無憂矣。彼平勃者遺其憂者也。噲之死於惠帝之六年。天也。使其尙在則呂祿不可給。太尉不得入北軍矣。

夫高帝ノ呂后ヲ視ル猶醫者ノ莖ヲ視ルガ如キナリ、其毒ニ以テ病ヲ治ス可ク、人ヲ殺スニ至ラザラシムノミ、噲死セバ則呂氏ノ毒、將

二人ヲ殺スニ至ラザラントス高帝以爲ク、是以テ死シテ憂無キニ足ル矣。彼平勃ナル者ハ其憂ヲ遺ス者ナリ、噲ノ惠帝ノ六年ニ死スルハ天ナリ、其ニ尙在ラシメバ則呂祿給ク可ラズ、太尉北軍ニ入ルヲ得ズ矣。

死於惠帝之六年。天也。使其尙在。則呂祿不可給。太尉不得入北軍矣。

ソレ高帝ハ呂后ニ對シ、如何ナル意思デ居ラル、カト云フト、猶醫者ガ鳥頭ヲ見ルト同様ノ意思デ居ラル、鳥頭ハ劇藥ユヘ、多量ニ用フルコトハ出来ヌ、ソノ加減ヲ計リ少量ニ服スレバ實ニ病氣ニ功能ノアル藥ナリ、噲ガ死スレバ則呂氏モソノ權ヲ損セシニ由リ、ソノ毒モ却テ藥トナリ人ヲ殺スト云フ迄ニハ至ラヌ、高帝ノ思ハル、ニ、カクシテ置ケバ、コレデ以テ、死シテ心配スルニ及バズト、而ルニ彼平勃ナルモノハ其憂ヲ遺スモノト云フテイ、カノ樊噲ニシテ、惠帝ノ六年ニ天壽ヲ以テ死シタルハ、殆コレハ天幸ト言ハネバナラヌ、モシ樊噲ヲシテ呂氏ガ禍亂ヲ起シタルノ時迄生キテ居ラシメタナラ、呂祿ヲ欺クコトハ出来ヌ、而シテ大尉ノ周勃ガ北軍ニ入リテ呂氏ノ軍ヲ奪フト云フ様ナコトハ逆モ能ハヌ

一噲ヲ設ケ、呂后ノ權ヲ損スルヲ説ク、老泉尤モ譬喩ニ長ズ、孟子ヨリ之ヲ學ビ自得シタルナリ。

或謂噲於高帝最親使之尙在未必與産祿叛。夫韓信黥布盧綰皆南面稱孤而綰又最爲親幸。然及高祖之未亡

或謂或謂フ噲高帝ニ於テ最親シ、之ニ尙在ラシム、未ダ必ズ産祿ト叛セズト、夫韓信、黥布、盧綰皆南面

也。皆相繼以逆誅。誰謂百歲之後。椎埋屠狗之人見其親戚得爲帝王而不欣然從之耶。余故曰。後彼平勃者遺其憂者也。

孤ト稱ニ而シテ又最親幸トナス然レドモ高祖ノ未ダ亡ビザルニ及ビ皆相繼ギ逆ヲ以テ誅セラル、誰カ謂フ百歲ノ後、椎埋屠狗ノ人、其親戚ノ帝王タルヲ見テ欣然トシテ之ニ從ハザランヤ故ニ曰フ彼平勃ナル者ハ其憂ヲ遺スモノナリ。

或ノ謂フニ、噲ハ高帝ニ於テ、最親シク親密デアツタカラ、コノ噲ヲシテ呂氏ノ禍亂ノ當時マデ存命デアラシメタ所デ、未ダ必ズシモ呂産呂祿ノ徒ト互ニ叛クト云フヤウナコトハナサスト、ソノ議論ハ通用セヌ、ソレ韓信、黥布、盧縮、此等ノ者ハ皆一方ニ君トナリ南面シテ君ト稱シテ居タ程ノ立派ナル人物ノミデアルガ、ソノ上ニ縮ハ取り分ケ最親厚デアツタ、然レドモ、高祖ノ未ダ亡ビザルニ先チ、皆相繼ギ、反逆ト云フ罪ヲ以テ誅罰ニ遇フタ、誰ガ謂フノデアルカ、高祖ノ死後墓ヲ發タリ、狗ヲ屠ルヲ業トスルガ如キ賤シキ身分ノ者ガ、ソノ親戚ノ帝王タルヲ見テ欣然ト喜ンデ之ニ從ハズニ居ヤコゾ、故ニ曰フノデアル、彼ノ平勃ノ二人ハ高帝ノ命令ヲ聞カズ樊噲ヲ許セシユヘ、其ノ憂ヲ遺ス者ナリト。

又法 コレ或ノ言ヲ借り、噲必ズ反スルヲ論ジ、高帝ガ之ヲ殺シ外威ノ權ヲ損スル、機宜ニ適シタル所置ナルヲ明ニスルナリ。

春秋論

蘇老泉

賞罰者。天下之公也。是非者。一人之私也。位之所在。則聖

是非ハ一人ノ私ナリ、位ノ

アル所ハ則聖人其權ヲ以テ天下ノ公ト爲シ、而シテ天下以テ懲リ以テ勸ム、道ノ在ル所ハ、則聖人其權ヲ以テ一人ノ私トナシ、而シテ天下以テ榮トシ、以テ辱トス。

人以其權爲天下之公。而天下以懲以勸。道之所在。則聖人以其權爲一人之私。而天下以榮以辱。

春秋トハ、已ニ歐陽公春秋論ノ所ニ於テ説キタルガ如ク、魯ノ史記ノ名ナリ歐陽公ノ春秋論ハ、或ル一部ノ事實ニ就キ、三子ノ説ノ妄ナルヲ論ジ、コノ春秋論ハ、三子ト何等交渉ナク、春秋全體ニ就キ論ジタルナリ、ソノ由來ハ孔子ガ、春秋ヲ作り、自ラ言ハル、ニ、我ヲ知ル者ハ其惟春秋カ、我ヲ罪スル者ハ其惟春秋カト、老泉此語ヲ根據トシ、孔子ノ春秋ヲ作ラレタル、匹夫ニシテ、天下ノ賞罰ヲナシテアルカラ、一見其分ヲ越エタルヤウナレド、賞罰ノコトタル之ヲ魯ニカケ、魯ガ之ヲ賞罰スルノ筆意ナレバ毫モ僭越ノコトナシトノコトヲ辯ジタルナリ、尤大作ト云フベシ。

天下ニ一日モ賞罰ト云フモノガ、ナクテハナラヌガ、サテ賞罰ト云フコトハ天下ノ公法ニシテ是非ノ評論ヲナスコトハ、一人ノ私見ニシテ、誰デモ自由勝手デアル、君ノ位ニアル者ハ、其位ノ權ヲ以テ聖主タルモノガ、天下ノ公法トナシ、天下ヲ賞罰スルニ由リ、罰セラレタルモノハ、以テ其身ノ耻辱トナシ、自ラ懲戒シ、且自ラ善ニ勸進スルヤウニナル、道徳ノ在ル所ハ、則孔子ノ如キ聖人ガ、ソノ道ノ權ヲ以テ、一人ノ私見トナシ、以テ天下ヲ是非評論シテ行クニ由リ、是トシラレタル者ハ、以テ非常ナル榮譽トシ、非トセラレタル者ハ、自ラ耻辱

是非ヨシアシナリ。

トシテ更ニ自新ノ途ヲ開クヤウニナル。

文法 コレ提起賞罰、是非、公私、位道ノ八字、コレ一篇ノ骨子ナリ。

周之衰也。位不在夫子。而道在焉。夫子以其權。是非天下可也。

論語周ノ衰フルヤ、位、夫子ニアラズシテ而ノ道在リ焉。夫子其權ヲ以テ天下ヲ是非シテ可ナリ。

講義 周室ノ衰微セシヤ、位ノ權ガ孔子ニアラタト云フデナク、惟道ノ權ガアル

ノミナリ、其故ニ孔子ハソノ道ノ權ヲ以テ天下ヲ是非評論スベキデ、賞罰スベキデナイ。

文法 コレ一難ヲ起ス。

而春秋賞人之功。赦人之罪。去人之族。絕人之國。貶人之爵。諸侯而或書其名。大夫而或書其字。不惟其法惟其意。不徒曰此是非。而賞罰加焉。則夫子固曰。我可以賞罰人矣。賞罰人者。天子諸侯事也。夫子病天下之諸侯大夫。僭天子諸侯之事。而作春秋而已。則爲之。其何以責天下。ソレデアアルニ、孔子ノ作ラレタル春秋ノ書ニハ、人ノ功アルモノヲ賞シ、人ノ罪アルモノヲ勝手ニ赦シ、人ノ族籍ヲ削リ去リ、人ノ國ヲ絶ヤシ滅シ、人

論語而ルニ春秋、人ノ功ヲ賞シ、人ノ罪ヲ赦シ、人ノ族ヲ去リ、人ノ國ヲ絶チ、人ノ爵ヲ貶シ、諸侯ニシテ或ハ其名ヲ書シ、大夫ニシテ或ハ其字ヲ書ス、惟其法其意ノミナラズ徒ニ此ハ此、是非ト曰ハズシテ、而賞罰加フルハ、則夫子固ヨリ曰ク、我以テ人ヲ賞罰スベシト、人ヲ賞罰スルハ、天子諸侯ノ事也、夫子

天下ノ諸侯大夫天子諸侯ノ事ヲ僭スルヲ病シ春秋ヲ作ル、而ルニ已則之ヲナス、其何ヲ以テ天下ヲ責メ

訓 セントヨム、分チ越ユルチ云フ。

論語位ハ公ナリ、道ハ私ナリ、私公ニ勝タザレバ則道位ニ勝タズ、位ノ權ハ以テ賞罰スルヲ得、而シテ道ノ權ハ是非スルニ過ギズ、道我ニ在リ矣、而シテ位有ルモノ、事ヲナスヲ得ザルトキ

ノ爵位ヲ貶シ、諸侯ハ爵位ヲ書スルノガ通例ナルニ、反テソノ名ヲ書シテ之ヲ罰シ、大夫ハ名ヲ書スベキヲ、反テソノ字ヲ書シテ之ヲ賞シテアル、惟ソノ賞罰ノ法、賞罰ノ意ノミデナク、此者ハ是ナリ、此者ハ非ナリトノ評論ヲ下スベキデナク、此等道ノ權タル分界ヲ越ヘ、位ノ權ニ立チ入り、直ニ賞罰ヲ加ヘテムルトシテ見レバ、夫子孔子ニ於テ、固ヨリ以テ我ニ人ヲ賞罰スルノ權アリト思フテ居ラル、カ、人ヲ賞罰スルト云フコトハ、天子諸侯ノ權内ノコトデ、匹夫ノ立チ入ルベキコトデナイ、元來孔子ガ春秋ヲ作ラレタル本意ヲ尋ルト、孔子ニ於テハ、周室ノ衰微ニツレ、當時ノ諸侯ニシテ天子ノコトヲ分限ヲ越テナシ、大夫ニシテ分ヲ越諸侯ノコトヲナスト云フ有様デアツテ、名分ノ亂レタルヲ憂ヘラル、ノ動機ヨリ春秋ヲ作ラレタルデアアルガ、ソレニ自分自身ニ於テ賞罰ヲナスト云フ様ナ分限外ノコトヲナサレテハ、ソレドウシテ天下ヲ責ムルコトガ出來ヤトゾ

文法 又一難ヲ起ス。

位公也。道私也。私不勝公。則道不勝位。位之權得以賞罰。而道之權。不過於是。非道在我矣。而不得爲有位者之事。則天下皆曰。位之不可僭也。如此。不然。天下其誰不曰。道在我。則是道者。位之賊也。

ハ、則天下皆曰ハン、位ノ僭ス可ラザル此ノ如シト、然ラザレバ天下其レ誰カ道我ニ在リト曰ハザラン、則是レ道ハ位ノ賊ナリ。

○曰ク、夫子豈誠ニ之ヲ賞罰センヤ、徒ニ之ヲ賞罰スト曰フノミ、庸何ゾ傷マシム。

○曰ク、我君ニ非ラザルナリ、更ニ非ラザルナリ、途ノ人ヲ執ヘ而シテ告テ曰ク、某ハ善ヲナス、某ハ惡ヲナスト可ナリ、之ニ繼キ曰ク、某ハ善ヲ爲ス、吾

之ヲ賞セン、某ハ惡ヲ爲ス吾之ヲ誅セント、則人我ヲ笑ハザル者アラシヤ、夫子ノ賞罰、何ヲ以テ此ニ異ナラン、然ラバ則何ゾ以テ夫子トナスニ足ラン、何ゾ以テ春秋トナスニ足ラン。

○曰ク、夫子ノ春秋ヲ作ルヤ、孔氏ノ書ト曰フニラザルナリ、又我之ヲ作レト曰フニ非ラザルナリ、曰ク此魯ノ書ナリ、魯之ヲ作ルナリ、善アリテ之ヲ賞スレバ曰ク、魯之ヲ賞スレバ曰ク、魯之ヲ罰スレバ曰ク、魯之ヲ罰スレバ

位ハ天下ノ公ナル者デ、道ハ一人ノ私デアアル、位ノ權ヲ有シテ居ル者ハ、馬鹿デモ仕様ガナイ、自由ニ人ヲ賞罰スルコトガ出來ルガ、道ノ權力ハ、如何ニ聖人ナリトモ、仕様ガナイ、惟是非ノ言論ヲナスニ過ギナイ、タトヒ、道ノ權ガ我ニアルモ、有位者權内ノコトヲナスヲ得ザルモノト定リテ居ル故ニ、天下ノ者ハ皆ソノ曰フニ、位ノ分限ヲ越テ犯ス可ラザル是ノ如クデアルト、モシサモナクバ、道ノ權アルモノハ、テンデニ位ノ權ヲ犯シ、自由ニ賞罰ヲナシ、道ノ權ガ我ニアルカラ、差構ナシト曰ハザルマイヤ、曰フヤウニナル、ソースルトコレ道ハ位ノ權ヲ盜ムノ盜賊デアアル。

又一難ヲ起ス、位ノ賊ナリト云フ、賊ノ一字下シ得テ勇健ナリト云フベシ

曰、夫子豈誠賞罰之耶。徒曰賞罰之耳。庸何傷。

○曰ク、孔子ニ於テ、ナントシテ誠實際ニ之ヲ賞罰スルト云フ譯デナイ、徒ニ之ヲ賞罰スト云フ丈ノコトデアアルカラ、何ニモ差構ハナイ。

又法コレ一解、解極テ短シ。

曰、我非君也。非吏也。執途之人而告之曰、某爲善、某爲惡、可也。繼之曰、某爲善、吾賞之。某爲惡、吾誅之。則人有不笑我者乎。夫子之賞罰。何以異此。然則何足以爲夫子。何足以爲春秋。

以爲春秋。

我ハ君デモナク、役人デモナイ、ソレニ途中ノ人ヲ執ヘ、之ニ告テ曰フニ、某ハ善ヲナシタ、某ハ惡事ヲナシタト、コレハ勝手デアアルガ、更ニ之ニ繼ギテ曰フニ、某ハ善事ヲナシタルニ由リ、我が之ヲ賞スルデアロー、某ハ惡事ヲナシタルニ由リ、我が之ヲ誅スルト、簡様ナルコトヲ口走リタルナレバ、人皆狂人ナリトシテ之ヲ笑フコトデアアル、今孔子ノ賞罰モ單ニ其賞罰ノ實ナク、徒空ニ之ヲ賞罰スルト云フノミナレバ、コレト更ニ區別スル所ガナイ、然ラバ則何ゾ孔子トナシテ尊敬スベキ、何ゾ春秋ノ書ナリトシテ重寶ガルベキゾ、一錢半文ノ價值モナシ。

又法コレ一難、二何以ノ字、筆法銳利ナリ。

曰、夫子之作春秋也。非曰孔氏之書也。又非曰我作之也。賞罰之權。不得以自與也。曰此魯之書也。魯作之也。有善而賞之。曰魯賞之也。有惡而罰之。曰魯罰之也。

○曰ク、孔子ノ春秋ヲ作ラレタル主意ハ、何モ孔子一家ノ書ト云フノデハナク、又我が之ヲ著述シタリト謂フノデモナイ、賞罰ノ權ハ、之ヲ魯ノ國ニ付シ以テ自分ニ付與スルト云フコト出來ナイ、故ニ孔子ノ意ハ、コレヲ魯國ノ書ト

ナシ、魯國ガ之ヲ作リタリトナシテ居ラル、ノデアツテ、一ノ善事ガアリテ、之ヲ賞スレバ、魯國ガ之ヲ賞シタリト曰ヒ、一ノ惡事ガアリテ、之ヲ罰スレバ魯國ガ之ヲ罰シタリト曰フ。賞罰ノ權ヲ以テ魯國ニ付與サレテ居ラル、已上ハ越權トハ申サレズ。

文法 コレ解ナリ、尤重要ナル所、曰「魯之書也、魯作之也」コレ全篇ノ主意、以下此意ヲ發明スルニ過ギズ。

如何ナル譯ヲ以テ之ヲ知ルカ。

文法 コレ難、極テ短ナリ。

曰夫子繫易謂之繫辭言孝謂之孝經皆自名之則夫子私之也而春秋者魯之所以名史而夫子託焉則夫子公之也公之以魯史之名而賞罰之權固在魯矣。

講義 孔子ガ、易ニ辭ヲカケテ、之ヲ繫辭ト曰ヒ、弟子曾參ニ孝ノコトヲ説キ一書ヲナシ、之ヲ孝經ト命名サレタ、皆孔子ガ自身ニ名ヲ付ケラレタル所ヲ以テ見ルト、孔子ガ之ヲ私ノ書トナシテ居ラル、ノデアアルガ、春秋ハ魯一國ノ記録ノ名デアアルニ、孔子ハ別ニ名ヲ撰ブコトヲナサズ、ソノ名ニ託シ、春秋ト名ヲ付ケ

ラレタル意ヲ以テ推スニ、孔子ハ之ヲ公ニセラレタノデアツテ、之ヲ公ニスルニ魯ノ史記ノ名ヲ以テシテムル所ヲ見ルト、賞罰ノ權ハ魯ニアルコト無論ノコトデアル。

文法 コレ解、孔子賞罰ノ權ヲ以テ魯ニ與フルヲ説ク。

春秋之賞罰自魯而及于天下天子之權也魯之賞罰不出境而以天子之權與之何也。

講義 春秋、人ヲ賞罰スルノ方ニ就イテ考フルニ、魯一國ノ賞罰ヲナシ、ソレヨリ天下ニ推シ及ボシ、天下諸侯ノ賞罰迄ヲナシテアル、コレハ天子ノ權ヲ以テ魯ニ與ヘタルト云フベキモノデアアル、魯ハ諸侯ノ國ナレバ、魯國一國丈ノ賞罰ヲナスベキデ、國境外ニマデ飛ビ出シ、他諸侯ノ賞罰ヲナサヌコソ、至當デアル、今ソレニ天子ノ權ヲ以テ之ニ與ヘ、天下ノ賞罰ヲナサシムルト云フコトハ何故ゾ。

文法 コレ難。

曰天子之權在周夫子不得已而以與魯也武王之崩也天子之位當在成王而成王幼周公以爲天下不可以無賞罰故不得已而攝天子之位以賞罰天下以存周室周

如何ナル譯ヲ以テ之ヲ知ルカ。

爾爾曰ク、夫子易ニ繫ケ之ヲ繫辭ト謂ヒ、孝ヲ言フテ之ヲ孝經ト謂フ、皆自之ニ名クルトキハ、則夫子之ヲ私スルナリ、而春秋ハ魯ノ史ニ名クル所以、而夫子焉ニ託スルトキハ、則夫子之ヲ公ニスルナリ、之ヲ公ニスルニ魯史ノ名ヲ以テシ、而賞罰ノ權、固

講義 春秋ノ賞罰ハ、魯ヨリシテ天下ニ及ボス、天子ノ權ナリ、魯ノ賞罰境ヲ出テズ、而ルニ天子ノ權ヲ以テ之ニ與フルハ何ゾヤ。

爾爾曰ク、天子ノ權ハ周ニ在リ矣、夫子已チ得ス而シテ以テ魯ニ與フルナリ、武王ノ崩ズルヤ、天子ノ位、當ニ成王ニ在ルベシ、而

成王幼、周公以爲之、天下以テ賞罰無カル可ラズ、故ニ已ムテ得ズ、而天子ノ位ヲ攝シ以テ天下ヲ賞罰シ以テ周室ヲ存ス、周ノ東遷スルヤ、天子ノ權、當ニ平王ニ在ルベシ、平王昏亂、故ニ天子亦曰ク、天下以テ賞罰無カル可カラズ、而魯ハ周公ノ國ナリ、魯ノ地ニ居リ、宜シク周公已ムテ得ズ而天子ノ權ヲ假リ以テ天下ヲ賞罰シ、以テ周室ヲ尊アガ如クスベシ、故ニ天子ノ權ヲ以テ之ニ與フルナリ。

天子ノ權ヲ以テ之ニ與フルナリ。天子ノ權ヲ以テ之ニ與フルナリ。天子ノ權ヲ以テ之ニ與フルナリ。天子ノ權ヲ以テ之ニ與フルナリ。天子ノ權ヲ以テ之ニ與フルナリ。天子ノ權ヲ以テ之ニ與フルナリ。天子ノ權ヲ以テ之ニ與フルナリ。天子ノ權ヲ以テ之ニ與フルナリ。天子ノ權ヲ以テ之ニ與フルナリ。天子ノ權ヲ以テ之ニ與フルナリ。

之東遷也。天子之權當在平王。平王昏亂。故夫子亦曰。天下不可以無賞罰。而魯周公之國也。居魯之地。宜如周公不得已而假天子之權。以賞罰天下。以尊周室。故以天子之權與之也。

曰ク此時、天子ノ權ハ固ヨリ周室ニアルナレド、孔子モ萬々仕方ナシニ、魯ニ與ヘラレタル次第デアアル、ソレハドウシタ譯カト問フニ、昔時武王ノ崩御セラレタルヤ、天子ノ位ハ、マサニ其子ノ成王ニ在ルベキ筈ナレドモ、如何セシ成王ハマダ幼少ニシテ、進モ天下ノ賞罰ヲ主ドルコトガ出來兼ル、ソコデ周公ノ思ハル、ニ、天下ニ惟一ノ日モ賞罰ガナクテハナラヌ、故ニ周公ニ於テモ、萬々仕方ナシニ、假ニ天子ノ位ニ居リ、以テ天下ヲ賞罰シ、周室ヲ存スル様ニシラレタ、サテ周ガ都ヲ洛ニ遷シ、乃東遷シタル時ニ於テ、天子賞罰ノ權ハマサニ平王ニ在ルベキデアアルガ、ソノ平王ハ暗愚亂暴ナル君デアツテ、進モ天子ノ位ニ居リ天下ヲ賞罰スルト云フ器量ハナイ、ソコデ孔子モ亦思ハル、ニ天下以テ一日モ賞罰ガナクテハナラヌ、而ノ魯ノ國ハ周公ノ子孫ノ國デアアルカラ、魯ノ地ニ居リテ、ヨロシク、周公ガ萬仕方ナシニ、假ニ天子ノ位ニ居リ以テ天下ヲ賞罰シ周室ヲ尊バレタ如クニスルハ、周公王室ヲ尊ブノ意思ヲ繼グモノデアルト思召レ、ソレ故ニ天子ノ權ヲ以テ魯ノ國ニ與ヘラレタノデアアル。

然則假天子之權宜如何。

然則假天子之權宜如何。然則假天子之權宜如何。然則假天子之權宜如何。然則假天子之權宜如何。然則假天子之權宜如何。然則假天子之權宜如何。然則假天子之權宜如何。然則假天子之權宜如何。然則假天子之權宜如何。然則假天子之權宜如何。

曰如齊桓晉文可也。

曰如齊桓晉文可也。曰如齊桓晉文可也。曰如齊桓晉文可也。曰如齊桓晉文可也。曰如齊桓晉文可也。曰如齊桓晉文可也。曰如齊桓晉文可也。曰如齊桓晉文可也。曰如齊桓晉文可也。曰如齊桓晉文可也。

夫子欲魯如齊桓晉文而不遂以天子之權與齊晉何也。

夫子欲魯如齊桓晉文而不遂以天子之權與齊晉何也。夫子欲魯如齊桓晉文而不遂以天子之權與齊晉何也。夫子欲魯如齊桓晉文而不遂以天子之權與齊晉何也。夫子欲魯如齊桓晉文而不遂以天子之權與齊晉何也。夫子欲魯如齊桓晉文而不遂以天子之權與齊晉何也。夫子欲魯如齊桓晉文而不遂以天子之權與齊晉何也。夫子欲魯如齊桓晉文而不遂以天子之權與齊晉何也。夫子欲魯如齊桓晉文而不遂以天子之權與齊晉何也。夫子欲魯如齊桓晉文而不遂以天子之權與齊晉何也。夫子欲魯如齊桓晉文而不遂以天子之權與齊晉何也。

齊桓晉文陽爲尊周而實欲富強其國。故夫子與其事而不與其心。周公心存王室。雖其子孫不能繼。而夫子思周公而許其假天子之權以賞罰天下。其意曰。有周公之心。而後可以行桓文之事。此其所以不與齊晉而與魯也。

シテ其レニ天子ノ權ヲ假リ以テ天下ヲ賞罰スルヲ許ス其意ニ曰ク、周公ノ心アリ而メ後ニ以テ桓文ノ事ヲ行フ可シト、此其レ齊晉ニ與ヘズ而メ魯ニ與フル所以ナリ。

講義 齊桓晉文ノ君ハ、表面デハ周室ヲ尊ブノ風ヲ裝テ居リ、實ハ天子ヲ笠ニ著テ、ソノ國ヲ富強ニセントスルノ野心ヲ持ツテ居ル、ソコノ心底ヲ孔子ハヨク見ヌイテムルカラ、ソノ爲ス所ノ事ニハ同意ヲ表シテ居ラレド、ソノ心底ニ同意ヲサレヌ、故ニ天子ノ權ヲ以テ齊晉ニ與ヘラレヌ譯デアアルガ、サテ周公ハ心ヲ王室ニ存シテ居ラレ、王室ヲ眞心ヨリ尊デムル、ソノ子孫タル魯ニ於テハ、逆モ周公ノ心ヲ繼グノ出來ヌニセヨ、孔子ハ深く周公ヲ思ハル、ヨリ、其子孫タル魯ニ、天子ノ權ヲ假リ以テ天子ヲ賞罰スルヲ許サレタ次第デアツテ、ソノ意ニ思ハル、ニ、周公ノ眞心アリテ、然ル後ニ桓文ノ事ヲ行フベキデアルト、コレガソレ齊晉ニ與ヘズシテ魯ニ與ヘラレタル次第ナリ。

夫子亦知魯君之才。不足以行周公之事矣。顧其心以爲今之天下無周公。故至此是故以天子之權與其子孫所以見思周公之意也。

講義 夫子亦魯君ノ才、以テ周公ノ事ヲ行フニ足ラザルヲ知ル矣、顧ニ其心ニ以テ爲ラク、今ノ天下周公ナシ、故ニ此ニ至ル、是ノ故ニ天子ノ權ヲ以テ其子孫ニ與ヘ周公ヲ思フノ意ヲ見ハス所以ナリ。

講義 孔子ニ於テモ、魯ノ君ノ才モ、英明ト云フ方デナイカラ、逆モ周公ノ事ヲ行フニ足ラヌト云フハ、百モ承知ノコデアアルガ、ワレガ思フニ、夫子ノ心ニ以テ爲ラク、今日ノ天下ニ復周公ノ如キ王室ニ忠ナル人ガナイ、故ニ是ノ如キ次第ニ立テ至ツタ、ソコデ天子ノ權ヲ以テ、ソノ子孫タル魯ノ國ニ與ヘ、自分ガ

ナ察シテ云フナリ。

周公ヲ思ヒ慕フノ意ヲ見サレタノデアアル。

文法 コレ前文ノ意ヲ受ケ、孔子魯ニ與フルノ意ヲ説明ス、所以見思周公之意也ノ結處尤モ痛快ヲ覺フ、大ニ人心ヲ感動セシムルニ足ル。

吾觀春秋之法。皆周公之法。而又詳內而略外。此其意欲魯法周公之所爲。且先自治而後治人也。明矣。夫子嘆禮樂征伐自諸侯出。而田恒弑其君。則沐浴而請討。然則天子之權。夫子固明以與魯矣。

吾春秋ノ法ヲ觀ルニ、皆周公ノ法ニメ、又内ヲ詳ニシ、外ヲ略ス、此其意、魯周公ノ爲ス所ニ法リ、且先自ラ治メ而後二人ヲ治メント欲スレヤ明シ矣。夫子禮樂征伐諸侯ヨリ出ツルヲ嘆ズ、而ルニ田恒其君ヲ弑スルトキハ、則沐浴シテ討セント請ス、然ラバ則天子ノ權、夫子固ヨリ明ニ以テ魯ニ與フル矣。

講義 吾ガ春秋ノ書法ヲ見ルニ、皆コレ周公ノ法ノ如クデアリテ、又魯ノ國內ノ事ヲ詳密ニシ、外國ノコトハ略シテアル、コレハ何故ナルカト曰ヘバ、魯周公ノ爲サレタル所ニ法リ、ソノ上先自ラ治メ、ソノ後二人ヲ治メントコトヲ欲セラル、ヤ、明白デアアル、元來ハ孔子ハ、當時周室ノ衰微ニ伴ヒ、諸侯ガ我儘ノ振舞ヲナシ、禮樂ノ征伐ノコトハ皆天子權内ノコデアアルニ關セズ、此等禮樂征伐ノ事ガ諸侯ノ手ヨリ出ヅルヲ歎息サレテ居ル、ノデアアルガ、而ルニ、齊ノ田恒ト云フ奸臣ガ其君簡公ヲ弑シタル時ニ、コハ捨テ置ケズトテ、沐浴シ其身ヲ潔白ニシテ、田恒ヲ討センヲ魯ノ君ニ請ハレタ、コノ事ハ論語ニモ出デ居ルガ、モシモ、孔子ガ魯ニ天子ノ權ヲ與ヘラレザルナレバ、決シテ之ヲ魯ニ請

ハレル譯ハナイケレド、之ヲ魯ニ請レタル一事ヲ以テ之ヲ見ルニ、天子ノ權ヲ以テ魯ニ與ヘラレタルコトハ愈々明白デアアル。

文法 コレ春秋ノ法ニ付キテ解説シ、且ツ孔子、天子ノ權ヲ以テ魯ニ與ヘタルノ證左ヲ擧グ、頼山陽モ評シテ絶妙ノ證左ト贊シタル亦故アリト云フベシ。

子貢之徒不達夫子之意。繼經而書孔丘卒。夫子既告老矣。大夫告老而卒不書。而夫子獨書。夫子作春秋以公天下而私一孔丘哉。嗚呼夫子以爲魯國之書。而子貢之徒以爲孔氏之書也。歟。遷固之史。有是非而無賞罰。彼亦史臣之體。宜爾也。

講義 孔子ノ弟子、子貢ノ徒共ガ、孔子ガ春秋ヲ作ラレタル主意ヲ深く知ラズ、更ニ經ヲ繼ギテ書シ、孔丘卒スト書イタ、サテ其時ニ孔子ハ已ニ隱居ヲナシテ居ラレタ、一國ノ史デアアルカラ、官職ノナイモノハ、ソノ死ヲ書クコトヲセヌ、然ルニ孔子ニ限り之ヲ書シテ居ル、孔子ハ春秋ヲ作リテ、以テ天下ニ公ニセラレタノデ、ナントシテ一ノ孔丘ニ私シセラリヤ一筆ガナイ、サテモ一夫子ハ魯國ノ書トナサレテ居ルニ、子貢等ハ以テ孔子ノ書トナスカ、史記ヲ書セシ司馬遷、漢書ヲ作リタル班固ノ如キハ、是非ノ言論ノミデ、賞罰ト云フコトハナシ

爾爾千貢ノ徒、夫子ノ意ニ達セズ、經ヲ繼ギテ孔丘卒スト書ス、夫子既ニ老ナシテ卒ス、大夫告テ卒スレバ書セズ、而ルニ夫子獨書ス、夫ニ春秋ヲ作リ以テ天下ニ公ニス、而ルニ一孔丘ニ私センヤ、嗚呼夫子以テ魯國ノ書トナシ、而ルニ子貢ノ徒、以テ孔氏ノ書トナスカ、遷固ノ史是非アリテ賞罰ナシ、彼亦史臣ノ體、宜ク爾ルベキナリ。

爾爾後ノ孔子ニ效ヒ、春秋ヲ作ルモノハ、吾惑ヌ、春秋天子ノ權アリ、天下君アレバ則春秋當ニ作ル可ラズ天下君無ケレバ、則天子ノ權、吾其ノ誰ニカ與フレテ知ラズ、天下ノ人、周公ノ後ノ與フヘキガ如キモノ有ランヤ、之ニ與タヘ其人ヲ得ザル則亂、人ニ與ヘズ而シテ自ラ與フルトキハ則僭人ニ與ヘズ、自ラ與ヘズ、而シテ自ラ與フルトキハ則僭人ニ與フル所ナキ則散嗚呼後ノ春秋ハ、亂邪、僭邪、散邪。

テナイ、彼二人ノ者ハ、一國ノ歴史ヲ書クコトヲ主レル史官ノ史ヲ書スルノ體裁ハ宜ク斯様ニ致スベキデアアル。

文法 コ、ニ至リ、起首ヲ回想シ、公私是非ノ字ヲ出シ照應結ヲナス。後之效孔子作春秋者。吾惑焉。春秋有天子之權。天下有君。則春秋不當作。天下無君。則天子之權。吾不知其誰與。天下之人。烏有如周公之後之可與者。與之而不得其人。則亂。不與人而自與。則僭。不與人不與。而無所與。則散。嗚呼。後之春秋。亂邪。僭邪。散邪。

講義 後ノ孔子ニ習ヒ春秋様ノモノヲ書クモノハ我ガ甚ダ惑フ所デアツテ、トシト合點セヌ、司馬遷班固ノ時代ノ如キ天下ニ君アル場合ニハ、春秋ヲ決シテ作リテハナラヌ、モシ之ヲ作ルト僭トナル、天下君ナキ時、孔子ノ時ノ如キ、君アレドモ、君ナキモ同様ナル場合平王以後ノ當時ノ如キ、春秋ヲ作ルトスルト天子ノ權、則其ノ誰ニ與フベキカヲ知ラナイ、天下ノ人幸ニ周公ノ子孫ノ魯ノ如キモノガアレバ、ソレコソ結構デアレド、コレハ必ズアルト限ラレナイ、之ニ與ヘテ其人ヲ得ザル時ハ則亂デ以テ治ルコトハナイ、人ニ與ヘズ、ソレシテ自ラ與フル時ニハ、僭デ分ヲ越ルコトナル、人ニモ與ヘズ、自ラ與フルコトモナサ

ズ、與フル所ナシトナレバ、則散デ以テ收拾スルコトガ出来ヌ、サテモ、後ノ孔子ニ習ヒ、ソシテ春秋ヲ作ルモノハ亂デアローカ、借デアローカ、將シハ散デアローカ。

文法 コレ後ノ春秋ヲ作ル者ヲ戒ム、亂借散ノ三字ヲ以テ結ビ去ル、妙ハ說破セザルニアルノデアアル。

范增論

蘇東坡

漢用陳平計。間疎楚君臣。項羽疑范增與漢有私。稍奪其權。增大怒曰。天下事大定矣。君主自爲之。願賜骸骨歸卒伍。歸未至彭城。疽發背死。

范增論
漢陳平計ヲ用井楚ノ君臣ヲ間疎ス、項羽、范増漢ト私アルヲ疑ヒ、稍其權ヲ奪フ、增大ニ怒リテ曰ク、天下ノ事、大ニ定ル矣、君主自ラ之ヲ爲セ願ク骸骨ヲ賜フテ卒伍ニ歸ラント歸ル、未ダ彭城ニ至ラズ、疽背ニ發シテ死ス。

題意 蘇軾、字ハ子瞻、老泉ノ長子、眉州眉山ノ人ニシテ、幼ヨリ穎敏、母程氏自ラ軾ニ書ヲ授ク、年弱冠ニ及ビ其業大ニ進ミ、遂ニ拔キ擧ゲラレ非常ニ神宗ノ知遇ヲ受ケシガ、作ル所ノ詩ニ坐シテ罪ヲ得、遂ニ黃州ニ安置サル、トトナリタ、年六十六ニシテ歿セリ、文忠ト諡セリ、サテ范增ハ項羽ノ大將デアツテ尤ヨク奇計ヲ出ダセリ、此篇ハ范增早ク項羽ノ所ヲ去ラザルヲ咎ム。

講義 漢ニ於テハ、謀臣タル陳平ノ計策ヲ以テ楚ノ君臣、項羽ト范增トノ間ヲ隔テ、疎遠ニナルヤウニシタルニ、其ノ計策ガ甘ク行ハレ、項羽ニ於テハ、陳平ノ計謀トハ更ニ氣付カズ、范增ハ漢ト内通シテ居ルト疑ヒ、次第ノニ范增ノ

天下ノ事大ニ定ルコト十分ニ胸懸ク言ヒタル辭ナリ。

范增骸骨ニヒマナ下サレトノ意、人臣トナレバ、我ノ骸骨ヲ君ニ捧ケ出シタルモ同然ナリ、故ニ骸骨ヲ再ビ下ケ渡シ賜ハレトノ意ニテヒマナ下サレトナル。

蘇子曰ク、増ノ去ルヤ善シ矣、去ラザル羽必ズ増ヲ殺サン、獨其ノ早カラザルヲ恨ムルノミ。

然ラバ則當ニ何事ヲ以テ去ルベキ、増羽ニ沛公ヲ殺スヲ勸メ羽聽カズ、終ニ此ヲ以テ天下ヲ失フ、當ニ是ニ於テ去ルベキカ曰ク、否増ノ沛公ヲ殺サント欲スル人臣ノ分ナリ、羽ノ殺サル猶人ニ君タルノ度アルナ

權力ヲ奪ヒ、ウチマカサナイヤウニシタ所ガ、范增ガ大ニ怒リ立腹シテ曰フニ天下ノ事ハ、大ニ已ニ定マリ片付イタカラ、ワレハ別ニ居ル必要モナイダロー是ヨリアナタノ勝手ニ何事モナサルガ善ク願ヒマスルニハ我ハ御免ヲ蒙リテ本ノ平民ノ組ニ歸リマセウトテ、十分アテコスリノ辭ヲ言フテ歸リタガ、マダ彭城ニ至ラザル前ニ、疽ガ背ニ發シソレガ爲ニ死シタ。

文法 コレハ叙事ナリ、先事ヲ叙シテ後ニ議論ニ入ル、管仲論ノ筆法ト同ジ。蘇子曰。増之去善矣。不去羽必殺増。獨恨其不早耳。

講義 蘇子曰ク、范增ノ項羽ノ所ヲ去リタルヤ誠ニ善シ、而シテ去ル時ガ已ニ遅レテ居ル、モソツト早ク機ヲ見テ去ルベキデアアル、實ニ残念ナリジヤ。

文法 コレヨリ議論ニ入ルナリ、去ル善シト云フテ之ヲ揚ゲ、早カラザルヲ以テ之ヲ抑フ。

然則當以何事去。増勸羽殺沛公。羽不聽。終以此失天下。當於是去耶。曰否。増之欲殺沛公。人臣之分也。羽之不殺。猶有君人之度也。増曷爲以此去哉。易曰。知幾其神乎。詩曰。相彼雨雪。先集維霰。増之去。當於羽殺卿子冠軍時也。

増易爲レシ此ヲ以テ去
シヤ、易ニ曰ク、幾ヲ知
其レ神カ、詩ニ曰ク、彼雨
雪ヲ相ル、先集ルモノハ
維穀ト増ノ去ル當ニ羽ガ卿
子冠軍ヲ殺スノ時ニ於テス
ベキ也。

○見幾 幾ハキザシナリ

○相彼雨雪 相ハ見ルナ
リ、雨雪ト書シ、雪ルトヨ
ムナリ。

然ラバ則何事ヲ以テ去ルベキカ、増ガ嘗テ鴻門ノ會ニ於テ、羽ニ沛公ヲ殺
セト勸メタケレドモ、羽ガ何トモ應ゼズ更ニ見向モセズト云フ有様デアツテ更
ニ決斷ヲシナカツタ、終ニ之ガ爲ニ天下ヲ失フコト、ナツタノデアルカラ、マ
サニ此時ニ於テ去ルベキカ、曰ク、イヤソレハソウデナイ、鴻門ノ會ニ於テ、
范増ガ沛公ヲ殺サントシタルハ、主人タル項羽ニ天下ヲ取ラシタイガ、山々デ
アルカラ、一思ニ沛公ヲ殺サント欲シタルハ、人臣タルノ分トシテ尤至極ノコ
デアル、又項羽ノ其時ニ於テ應ゼズ、殺スコトヲナサバシハ、彼項羽ハ隨分粗
暴ナル者ニセヨ、猶人ニ君タルノ度量アリトシテ賞スベキデアルニ由リ、范増
ガ此時ヲ以テ決然ト項羽ノ所ヲ辭シ去ルベキデナイ、易ニ曰ヘルニ、物ノキザ
シヲヨク見抜クコト、ソレ神ノ如クヨク見ルト、又詩經ニ曰ヘルニ、彼ノ雪ノ降ル
ヲ見ルニ、マサニ雪降ラントスル、ソノ前ニ先集リ落ルモノハコレ霰デア
ルガ集リタレバ雪ノ降ル前兆ト知ルベキ如ク、カク物ノ機先ヲ見ルコトガ尤モ肝
要デア
ル、故ニ范増ノ去ル、マサニ項羽ガ卿子冠軍ノ宋義ヲ殺シタル時ニ於テ
去ルベキデア
ル。

○易ヲ引キ、詩ヲ引キ、ソノ機先ヲ制スベキヲ曰ヒ、范増去ル早カラザルヲ
恨ムノ意ヲ解ク、猶有君人之度也ノ猶字裏面ニ項羽ハ到底人君ノ器ニアラザル
粗暴一流ノ人タルヲ示スノ筆意ニシテ、一字苟モセザルヲ見ルベシ。

○陳涉ノ民ヲ得ルヤ、項
燕扶蘇ヲ以テシ、項氏ノ興
レヤ、楚ノ懷王ノ孫、心ヲ
立ルヲ以テス、而シテ諸侯之
ニ叛クヤ、義帝ヲ弑スルヲ
以テス、且義帝ノ立ツ、増
謀主トナル矣、義帝ノ存亡
豈獨楚ノ盛衰タルノミナ
ランヤ、亦増ノ與ニ禍福ヲ
同クスル所ナリ、未ダ義帝
亡シ、而シテ増獨能久ク存
スル者ハ有ラザルナリ、羽
ノ卿子冠軍ヲ殺スヤ、是其
義帝ヲ弑スルノ兆ナリ、其義
帝ヲ弑スルハ則増ヲ疑フノ
本ナリ、豈必ズ陳平ヲ待タ
ンヤ、物必ズ腐ルヤ、而シ
テ後ニ蟲之ニ生ズ、人必ズ先
疑フヤ、而シテ後ニ讒之ニ入
ル、陳平智ト雖モ、安ソ能
ク疑ナキノ主ヲ問フヤ。
○項燕扶蘇 項燕ハ楚ノ
將ニシテ、秦ノ將王前羽ニ
殺サレタルモノ、扶蘇ハ
始皇ノ長子ニシテ、直諫ヲ

陳涉之得民也。以項燕扶蘇項氏之興也。以立楚懷王孫
心。而諸侯叛之也。以弑義帝。且義帝之立。增爲謀主矣。義
帝之存亡。豈獨爲楚之盛衰。亦增之所與同禍福也。未有
義帝亡。而增獨能久存者也。羽之殺卿子冠軍也。是弑義
帝之兆也。其弑義帝。則疑增之本也。豈必待陳平哉。物必
先腐也。而後蟲生之。人必先疑也。而後讒入之。陳平雖智。
安能問無疑之主哉。

陳涉ハ秦ヲ亡サントシテ第一番ニ兵ヲ擧ゲタルガ、サテ一兵卒ノ陳涉
ガ何故ニ一時民心ヲ得テ、勢ヨクナリタルト云フモノハ、ソレハ自分ハ一兵卒
ニシテ、門地人望トテハナイガ、自ラ稱シテ楚ノ名將タリシ項燕ト秦ニ於テ長
者ト稱セラレ、ソノ人望ヲ一身ニ收メタル始皇ノ長子扶蘇トノ名ヲ借り、項燕
扶蘇ナリト稱シテ押シ出シタカラデア
ル、ソレト同ジク、項羽ノ興リタルヤ、
楚ノ懷王ノ孫ニシテ心ト曰ヘル人ヲ立テ、民心ヲ收メ諸侯ノ同情ヲ引
イタニ由リテアル、而シテ諸侯ガ之ニ叛キ離ル、ヤウニナリタルハ、義帝(孫
心ナリ)ヲ弑シタルニ由ルノデア
ル、且ソレ義帝ヲ立テタルハ何人ノ力ニ由ル

好ミ、遂ニ死ヲ賜ヒシ人ナリ。
義帝、項王、懷王ヲ尊ビ義帝トナス。

カト云フト、范増ガ相談柱トナリ、項羽ニ勸告シテ、之ヲ立テタノデアアル、シテ見ルト、義帝ノ存亡如何ハ、ナントシテ楚ノ成衰如何ニ密接ナル關係ヲ有スルノミデナク、范増ガ相談柱トナリ、之ヲ立テタル關係ヨリ考フルニ、ソノ存亡ハ、范増モ亦共ニ禍福ヲ同クスル所デアツテ、義帝ガ滅亡シタトスレバ、ソノ謀主タル范増ガ獨生残りテヨク久シク存立スルト云フコトハナイ、項羽ノ卿子冠軍宋義ヲ殺シタル、コレハ義帝ヲ弑スルノ前兆デアツテ、ソノ義帝ヲ弑スルハコレ范増ヲ疑フノ本デアアル、ナニモ陳平ガ楚ノ君臣ヲ間疎スルヲ待チテ、范増ヲ疑フト曰フ譯デナイ、之ヲ諭フルニ、物モ必ズ腐敗スルカラ、蟲ガ之ニ生ズル、人モ必ズ疑ツテ而ル後ニ讒言ガ之ニ入ルト云フモノデアアル、陳平ハ如何ニ智惠ガアリ、奇謀ニ富デ居ルニセヨ、ドウシテモ、疑ツテ居ナイ主君ヲ離間スルト云フコトハ出来ヌナリ。

文法 陳涉扶蘇ヲ引キ、客トナシ、項氏ノ起ルハ義帝ヲ立ツルニ在ルヲ説ク、コレ主ナリ、義帝ノ立ツハ范増ニコレヨルトスレバ、義帝ノ存亡ハ、范増ト密接ナル關係アルヲ説キ、項羽ガ已ニ義帝ノ任命セシ卿子冠軍ヲ弑シタルハ、義帝ヲ弑セントスルノ兆、義帝ヲ弑スルハ、ソノ謀主ヲ疑フノ本ナルヲ推論シ、陳平ノ間疎ヲ待タザルヲ説破シ、更ニ一諭ヲ設ケ、范増ノ幾ヲ見テ去ラザルヲ責ム、所謂ル早カラザルヲ恨ムルナリ。

吾嘗論義帝天下之賢主也。獨遣沛公入關。不遣項羽。識卿子冠軍於稠人之中。而擢以爲上將。不賢而能如是乎。羽既矯殺卿于冠軍。義帝必不能堪。非羽弑帝。則帝殺羽。不待智者而後知也。

稠人。チウジン、稠ハ密ナリトアリ、人ゴミノ中ト云フガ如シ。
上將軍。總大將ナリ。
矯殺。矯ハ、タムルナリ、詐ルナリ。

吾嘗論義帝天下之賢主也。獨遣沛公入關。不遣項羽。識卿子冠軍於稠人之中。而擢以爲上將。不賢而能如是乎。羽既矯殺卿于冠軍。義帝必不能堪。非羽弑帝。則帝殺羽。不待智者而後知也。

吾ガ嘗テ論ジタルコトガアル、義帝ハ誠ニ天下ノ賢明ナル主君デアアル、其譯ハ、元來人ヲ見抜クト云フコトハ、暗愚ナル主君デハ出来ヌコトデアアル、ソレニ義帝ハヨク人物ヲ見抜キ、關中ニ入ルベキ大將ヲ任命セントスル時ニ、項羽ガ關中ニ入ランコトヲ希望シタレドモ、項羽ノ人格ガ如何ニモ粗暴ニシテ、物ヲ害スルノ風ガアルカラ、コレハ適任デナイト看破シ、殊ニ沛公ノ寛仁大度ナルコトヲ見抜キ、此人ナレバ千萬氣遣ハアルマイトテ沛公ヲ關中ニ入レ、項羽ヲ遣ルコトヲナサズ、又卿子冠軍宋義ヲ多人數群集ノ中ヨリ撰拔シテ上將軍トナシタルト云フ眼識ハ、ナカク、ニ非常ナルモノデ、不賢デアツタナラバ、逆モ是ノ如キコトハ出来ナイ、ソレニ項羽ハ義帝ノ詔ト矯リテ宋義ヲ殺シタ、カ、ル亂暴極マルコトヲナシタ已上ハ、義帝モ必ズ堪忍ガ出来ナイ、因リテ勢羽ガ義帝ヲ弑スルデナケレバ、則義帝ノ項羽ヲ殺スト云フ順序ニナリテクルハ、必ズ智者ノ判斷ヲ待タズ、馬鹿デモソレ位ノ判斷ハ出来ル。

又法 義帝ト羽ハ必ズ兩立セザルヲ説キ、范増ノ必ズ早ク去ルベキヲ斷ズ。増始勸項梁立義帝諸侯以此服從中道而弑之非増之意也。夫豈獨非其意將必力爭而不聽也。不用其言而殺其所立羽之疑増必自是始矣。

范増ハ始メ羽ノ季父タル項梁ニ勸メテ義帝ヲ立テタ、ソコデ諸侯ノ同情ヲ求メ得テ、諸侯ハコノ關係ヨリ皆楚ニ服從セリ、故ニ中途ニシテ之ヲ弑スルト云フハ、固ヨリ范増ノ本意デナイ、ソレニナントシテ其本意ニアラザルノミデアローヤ、之ヲ殺スニ同意セヌハ勿論ノコトデアアルガ、義帝ヲ殺スノ不可ナルヲ陳ベ、力メテ爭ヒ諫メタデアローナレド、項羽ガ聽キ入レナカツタノデアロー、スレバ其諫言ヲ用キズ、自分ガ立テタル義帝ヲ殺スヤウニナツタノデアルカラ、項羽ノ范増ヲ疑フヤウニナツタハ、此ノ義帝ノ一條ヨリ始リタノデアル。

范増ハ始メ羽ノ季父タル項梁ニ勸メテ義帝ヲ立テタ、ソコデ諸侯ノ同情ヲ求メ得テ、諸侯ハコノ關係ヨリ皆楚ニ服從セリ、故ニ中途ニシテ之ヲ弑スルト云フハ、固ヨリ范増ノ本意デナイ、ソレニナントシテ其本意ニアラザルノミデアローヤ、之ヲ殺スニ同意セヌハ勿論ノコトデアアルガ、義帝ヲ殺スノ不可ナルヲ陳ベ、力メテ爭ヒ諫メタデアローナレド、項羽ガ聽キ入レナカツタノデアロー、スレバ其諫言ヲ用キズ、自分ガ立テタル義帝ヲ殺スヤウニナツタノデアルカラ、項羽ノ范増ヲ疑フヤウニナツタハ、此ノ義帝ノ一條ヨリ始リタノデアル。

又法 コレ更ニ義帝ヲ弑スルハ、増ヲ疑フノ本タルヲ説クナリ。

方羽殺卿子冠軍増與羽比肩而事義帝君臣之分未定也。爲増計者力能誅羽則誅之不能則去之豈不毅然大丈夫也哉。

又法 項羽ガ卿子冠軍宋義ヲ殺スニ方リテヤ、范増ト項羽トハ、共々ニ肩ヲ比ベ五分ノ勢力デ義帝ニ臣トシ事ヘ、義帝ニコソ、君臣ノ關係アリ、項羽ニハ何ニモ君臣ノ分ガアツタト云フ譯デナイカラ、此時項羽ガ義帝ノ命ト詐リ宋義ヲ殺シタル如キ不埒ヲ働キタリトスレバ、増ノ爲ニ計畫スルニ、自分ノ力ガ能項羽ヲ誅殺スルコトガ出來ルナラバ、則之ヲ誅殺スベク、ソレガ出來ストナラバ決然ト之ヲ去ルガ尤得策デアアル、左様ニ男ヲシクヤツタラ、ナント剛毅ナル天晴ナル大丈夫デハナイカ。

ナス者力能羽ヲ誅セバ則之ヲ誅セン、能ハサレバ則之ヲ去ル、豈毅然タル大丈夫ナラズヤ。

又法 コレハ范増ニ代リテ所置ヲナス所、先ニ増ノ去ル卿子冠軍宋義ヲ殺スノ時ニ於テスベキト云フニ照應シ、早ク去ル善キヲ以テ結論トナスコレ全文ノ主意ナリ。

増年已七十合則留不合則去不以此時明去就之分而欲依羽以成功名陋矣。

范増年已七十、合ハバ則留リ、合ハザレバ則去ル、此時ヲ以テ去就ノ分ヲ明ニセズ、羽ニ依リ以テ功名ヲ成サント欲ス、陋ナリ矣。

又法 范増ハ已ニ七十ノ老年デアアルカラ、項羽ト意氣投合スレバ則留マルモ善イガ意氣投合セザレバ去ルベキデアアル、此時即羽ガ卿子冠軍ヲ殺シタルノ時ニ於テ去ルカ、就イテ留ルカ、一カ八カノ分ヲ明白ニセズ、ドチヲトモ決心スル

ナク、項羽ニ依リタ、ヨリテ功名ヲ成シ遂ゲントシタルノ心事ハ誠ニ陋シク、實ニサモシキ心根ト云フベシ。

【文法】 コレ文ノ餘波ニシテ、コレ抑、オサヘシナリ。

雖然增高帝之所畏也。增不去。項羽不亡。嗚呼。增亦人傑也哉。

【文法】 雖然ノ二字ヲ以テ反振シ、大ニ之ヲ賞賛ス、コレ揚、結尾一條ノ活路ヲ與ヘタル所、大ニ譯臣論ノ結尾ニ同ジ。

晁錯論

蘇東坡

天下之患最不可為者。名為治平無事。而其實有不測之憂。坐觀其變。而不為之所。則恐至於不可救起。而強為之。則天下狃於治平之安。而不吾信。

【題意】 晁錯ハ、前漢景帝ノ時ノ臣デアアルガ、ナカク智謀アル人物デアツテ、景帝ノ太子タリシ時ヨリ、ソノ知遇ヲ受ケ、智囊ト稱セラレシ程ノ人物ナリ、サテ景帝ノ即位シテヨリ、吳楚七國トテ此等ノ諸侯ガ勢力ナカクニ強ク、中ニモ吳王濞ト云ヘルハ、ソノ子ガ曾テ景帝ノ太子タリシ時、無禮ノコアリテ殺サ

雖然リト雖モ、増ハ高帝ノ畏ル所ナリ、増去ラザレバ、項羽亡ビズ嗚呼増モ亦人傑ナルカナリ

晁錯論

天下ノ患、最モ爲ス可ラザル者ハ、名ハ治平無事ト爲リ而シテ其實不測ノ憂アリ、坐シテ其變ヲ觀テ、之ガ所ヲ爲サレバ則恐ラクハ救フ可ラザルニ至ル起テ強テ之ヲ爲バ則天下治平ノ安キニ狃レテ吾ナ信ゼズ。

晁錯爲之所 所置チナスチ曰フ。

レタルヲ遺恨ニ思ヒ、時ヲ待チ反セントスルノ傾向アルヨリ、晁錯ガ景帝ニ獻策シテ、今吳楚七國ノ勢力ヲ削リ殺ザルニ於テハ必ズ謀反ヲナスハ必定デアアルカラ、之ヲ削ルベシトテ、ソノ郡ヲ削リ之ヲ弱メントシタルニ、兼テヨリ期シタル吳王等ハ、時コソ來レリトナシ、晁錯ヲ殺スト云フヲ以テ軍ヲ起スノ名トナシ、遂ニ旗揚ヲナシタ、時ニ晁錯ノ同僚ニ袁盎ト云フ者ガアツタガ、コノ男ハ晁錯ト仲ノ悪キコガ、誠ニ犬ト猿モ管ナラザル有様デ、晁錯ノ坐スル所ニハ盎坐セズ、盎ノ坐スル所ニハ、錯坐セズト云フ平生ノ間柄故、胸ニ一物アル袁盎ハ時節到來セリト勇ミ立チ、竊ニ景帝ニ説ケルニ、今回ノ事ハ、本是晁錯ガ七國ヲ削リタルニ起因スルモノナレバ、別ニ御心配ニハ及ブマジ、惟晁錯ノ首ヲ切り、七國ノ諸侯ニ謝シタナレバ、此軍ハ又ニ血ヌラズシテ、無事ニ治ルコト疑ナシト誠シヤカニ毒舌ヲ揮シニ、景帝モノカト御思召レ遂ニ晁錯ヲ斬リ七國ノ諸侯ニ説イタ、七國ノ諸侯ハナカクニ承知セス、ツマリ周亞父ヲ將軍トシドシク兵ヲ繰リ出シ、ヤットノコガ平定シタガ、馬鹿ヲ見タモノハ、晁錯デアアルカラ、天下ノ人ガ同情ヲ寄セ、錯ハ漢室ニ忠ナラントシテ、反テ誅殺セラレタルハ可愛相ジャト云フケレドモ、ソレハ皮相ノ議論デアツテ、晁錯ノ誅殺セラル、ハ、晁錯自身ニ招クノ禍デアルト云フコトヲ論ズルノガ本論ノ主意ナリ。

【題意】 天下ノ患ニシテ第一最所置ヲ付クルコトニ困難ナルモノハ何デアアルカト曰

へバ、表向ノ名丈ハ、如何ニモ太平無事ノ様デハアルガ、深ク其實際ニ立チ入
 リテ見ルト、今ニモ破烈センゾ禍根ガ伏シテ居リテ、眞ニ測レザル憂ガアル、
 コレ程、ソノ所置ヲナスニ困難ナル者ハナイ、マツ此儘ニ捨テ置イテ、ドウカ
 ナルダロト、イナガラ其ノ變動ノ成行ヲ見ルニ任セ、コレガ所置ヲナサザル
 時ハ、ソレコソ大變ガ起テ、ドウニモコウニモ救フコトガ出来ズ、手ノ付ケヤウ
 ノナキニ至ランコトヲ恐ル、コトデアアル、サレバ、起テ無理ニ之ガ所置ヲナサント
 スレバ、表向ガ太平デアアルカラ、世ノモノガ、ソーマデ騒ギ立テラスルニハ及
 ブマジトナシテ、吾ノ爲ス所ノコトヲ信用セヌ。

又法 コレハ虚論トテ、景帝ノ時勢ヲ虚ニ論ジタルナリ、ドチラニシテモ六ツ个
 敷問題ナリ、コレヲ事、兩難ニアリト云フ。

惟仁人君子豪傑之士爲能致身爲天下犯大難以求成
 大功此固非勉強朞月之間而苟以求名之所能也。

講義 コノ善後ノ策ヲ立テ、ヨク此所置ヲ付ケル所ノモノハ、仁人君子豪傑ノ士
 ニシテ能其身ヲ棄テ天下ノ爲ニ大ナル難ヲ犯シ以テ大功ヲ立ツルヲ求ムルヲ爲
 スコトヲ得ルノデアアル、コレハ固ヨリ僅ニ一年ソコラ位ノ間ニ勉強シ、カリソメ
 ニモ、一時ノ名譽ヲ求メントスル薄志弱行ノ徒ノヨクナス所デハナイ。

又法 コレ非常ノ人ニシテ此間ニ處シ、大功ヲナスヲ云フ、晁錯其人ニアラザルヲ

能ク身ヲ致シ、天下ノ爲ニ
 大難ヲ犯シ以テ大功ヲ成ス
 朞月ノ間ニ勉強シテ而
 苟モ以テ名ヲ求ムルモノ
 ハ能スル所ニ非ラザルナリ
 仁人君子豪傑ノ士
 人ハ論語ニ志士仁人、身ヲ
 殺シテ以テ仁ヲナストアリ
 身ヲ殺スコトモ厭ハズ、世ヲ
 救フナリ。

虚ニ論ジタルナリ。

天平治平。無故而發大難之端。吾能收之。吾能收之。然後有
 辭於天下。事至而循循焉。欲去之。使他人任其責。則天下
 之禍必集於我。

講義 天下治平、大平無事デアアルニ、譯ナク何ノ因縁モナク、大難ノ端緒ヲ發シ
 起シタル場合ニ於テ、吾ヨリ之ヲ發シタルバ、少モ他人ノ厄介ニナラズ、吾ガ
 立派ニ其始末ヲ付ケ、然後ニ天下ニ言譯モ立ツト云フモノダ、大難ノ事眼前
 ニ迫リ、イザ鎌倉ト云フ場合ニ、因循シ、グズグズ尻込ヲナシ、己ハ之ヲ逃ゲ
 ルヤウニナシ、他人ヲシテ其責任ニ當ラシメントスルヤウナコトヲナシタナラバ
 則天下ノ怨ヲ買ヒ、禍ハ一身ニ集リ、身ヲ亡スノ破目トナルハ必然ノコトデアアル
又法 コレ晁錯居守シ天子ニ將タラシメントセシコトヲ虚ニ論ジタルナリ、以上凡
 テコレ虚論ナリ、下文實事ニ入ル。

昔者晁錯盡忠爲漢謀弱山東之諸侯。山東諸侯並起。以
 誅錯爲名。而天子不之察。以錯爲說。天下悲錯之以忠而
 受禍。不知錯有以取之也。

文章軌範講義

二二三

朞月。一年ヲ云フナリ
 月ヲ以テ之ヲ朞ヘ一周月ト
 云フテ、一年ノ月ナ一周シ
 トメケリスルノ意ニテ一
 年ヲ云フ。
 無事。天下治平、故無クシテ
 大難ノ端ヲ發ス、吾之ヲ發
 シ、吾能之ヲ收メ然後天
 下ニ辭アリ、事至テ循々々
 焉之ヲ去リ他人ニ其責ニ任
 ゼシメント欲ス則天下ノ禍
 必ズ我ニ集ル。
 有辭於天下。辭アルハ
 天下ニ對シテ辭アルナリ、
 言分ガ立ツ。
 因循。論語ニ出テ居
 レド、論語ノ意味トハ、此
 處ハ違フ、因循ガズグズ
 ノ意ト見ルガヨシ。
 晁錯。晁錯者、晁錯忠ヲ盡シ、
 漢ノ爲ニ山東ノ諸侯ヲ弱メ
 ンコトヲ謀ル、山東ノ諸侯並
 ビ起リ、錯ヲ誅スルヲ以テ
 名トナス而ルニ天子之ヲ察

セズ、錯ヲ以テ説クヲ爲ス、天下錯ノ忠ヲ以テ禍ヲ受クルヲ悲ム。錯以テ之ヲ取ル有ルヲ知ラザルナリ。

出師 師ヲ出スナリ。

昔時ニ、晁錯ガ、漢室ノ爲ニ忠義立ヲナシ、山東七國ノ諸侯ガ強大デアアルカラ、コレデハ、漢室ノ不爲デアルトナシ、コレヲ削リ弱メンコトヲ計畫シタガサテ、山東諸侯ハソノ事ニ激昂シ、並ニ兵ヲ起シ、錯ヲ誅スルト云フヲ出師ノ名トナシ、所在ニ騷ギ立テタ、而ルニ天子ハ、コレハ錯ガ忠義ノ爲ニナシタルコトデアルト云フコトヲお察シモナク、遂ニ錯ヲ殺シ、其首ヲ山東諸侯ニ示シ、言譯ヲサレタ、ソコデ天下ノ人ガ、錯ニ同情ヲ寄セ、錯ハ忠義ヲ盡シナガラモ、誅戮ノ禍ヲ受ケタルコトヲ悲ムガ、ソレハ見當違デアツテ、誅戮サル、ハ錯自身ニ之ヲ取ルデアルコトヲ知ラナイ。

コレ實事、此處錯自ラ禍ヲ取ルヲ云フ、文章ノ主意ヲ少ク見ハシタル所ナリ。

古之立大事者。不惟有超世之才。亦必有堅忍不拔之志。昔禹之治水。鑿龍門。決大河。而放之海。方其功之未成也。盖亦有潰冒衝突。可畏之患。唯能前知其當然。事至不懼。而徐爲之圖。是以得至於成功。

サテ古ノ人ニシテ、大事業ヲ立テタルモノハ、惟ニ世ニ過ギ超テ居ル大才ヲ其身ニ有シテ居ルノミデナク、亦必ズ堅固ニシテ耐忍シ、抜ク可ラザルノ志

龍門 古ノ大事ヲ立ル者ハ、惟ニ超世ノ才アルノミナラズ、亦必ズ堅忍不拔ノ志アリ、昔禹ノ水ヲ治ル、龍門ヲ鑿テ大河ヲ決シ、而シテ海ニ放ツ、其功ノ未ダ成ラザルコト方リテヤ、蓋亦潰冒衝突、可畏ノ患アリ、唯能其當ニ然ルベキヲ前知シ、事至テ懼レズ、而シテ後ニ之ガ圖ヲ爲ス、是ヲ以テ成功ニ至ルヲ得。

ヲ有シテ居ル、ソレ故ニ昔時大禹ガ夫有名ナル九年ノ大洪水ヲ治メタル、龍門ト云ヘル山ヲクリスキ大河ノ水ヲ切り流シ、ソレシテ、ソノ水ヲ大海ノ方ヘ放チ流シタ、サテ是丈ノ事業ヲナスニ於テハ、ナカクノニ容易ノ事デナク、ソノ功ノ未ダ成就セザル時ニ於テヤ、サテ又堤防ガ潰ヘ破壊スルトカ、危險ヲ冒シ洪水ニ衝當リ、今ニモ一命ヲモ失ハンゾル畏ルベキノ患ノアリシハ、一度ヤ二度デハナイガ、タゞヨク、ソノマサニ、コレ位ノ事ハ有リガチノコトデアロト云フコト前以テ覺悟シテ居ルカラ、潰冒衝突ノ事至ルモ、更ニ懼ル、コトナク、ボチノト之ガ治水ノ計畫ヲナシタ、ソレデ成功ニ至ルヲ得タノデアアル。

コノ處、禹ノ事ヲ引用シ、晁錯大難ノ衝ニ當ラザルニ反映ス、客ヲ借リテ主ヲ見ハスナリ。

夫以七國之強。而驟削之。其爲變。豈足在哉。錯不於此時。捐其身。爲天下當大難之衝。而制吳楚之命。乃爲自全之計。欲使天子自將而已居守。

ソレ山東七國ハ固ヨリ強大デアアル、ソノ強大ナル七國ヲ驟ニ削リ弱メントシタルデアアルカラ、七國ノ諸侯ガ激昂シ、ソノ變亂騷動ヲ引起スヤウニナツタハ、決シテ不思議トハナサナイ、晁錯ハ此時コソ、自分ガ進んで善後ノ策ヲ

夫七國ノ強ヲ以テシテ驟ニ之ヲ削ル其ノ變ヲナス豈惟ムニ足ランヤ、錯此時ニ於テ其身ヲ捐テ、天下ノ爲ニ大難ノ衝ニ當リ、吳楚ノ命ヲ制セズ、乃自全ノ計ヲナシ、天子ニ自ラ將タラシメ而メ己居守セントス。

世人ガ深ク之ヲ察セズ、老人ヲ以テ普通ノ人間デナク、鬼神ノ如クニ取沙汰ヲシテ居ルハ、亦已ニ過リテ居ルノデアル、且老人ノ意ハ、張良ニ一巻ノ書ヲ授ケヤウトシテ、殊更ニナシタコトデハナイ。

文法 「其事甚怪」ト曰ヒ、之ヲ怪シミ、直ニ之ヲ翻案ス、且其意不在書ノ一解コレ文章ノ主意少ク見ハル、所ナリ。

當韓之亡。秦之方盛也。以刀鋸鼎鑊待天下之士。其平居無事夷滅者不可勝數。雖有賁育無所得施。夫持法太急者其鋒不可犯。而其勢未可乘。子房不忍忿忿之心。以匹夫之力。而逞於一擊之間。當此之時。子房之不死者。其間不能容髮。蓋亦危矣。

韓ノ亡ビ、秦ノ方ニ盛ナルニ當リテヤ、刀鋸鼎鑊ヲ以テ天下ノ士ヲ待ツ、其平居無事、夷滅セラル、者勝テ數フ可ラズ、賁育アリト雖モ、施スチ得、所ナシト雖モ、法ヲ持スル太急ナルモ、其鋒犯ス可ラズ、而ノ其勢未タ乘ス可ラズ、子房忍々ノ心ニ忍ビズ匹夫ノ力ニ以テ一擊ノ間ニ逞フモ、此時ニ當リ、子房ノ死セザル、其間髮ヲ容ル、能ハズ、蓋亦危シ矣。

族トハ父母兄弟妻子女子云フ一人罪アレバ、誅三族ニ及ブナリ。

文法 忍々之心、忍ハ胸中ニ於テ怒ルナリ。

文法 快クスルナリ。

文法 千金ノ子ハ盜賊ニ死セズ、何トナレバ、其身愛スベク、而シテ盜賊ノ以テ死スルニ足ラザレバナリ、子房蓋世ノ才ヲ以テ伊尹太公ノ謀ヲ爲ズ、而シテ特ニ荆軻蘇政ノ計ニ出ヅ、以テ死セザルヲ僥倖ス。

千金之子。不死於盜賊。何者其身可愛。而盜賊之不足。以死也。子房以蓋世之才。不爲伊尹太公之謀。而特出於荆軻蘇政之計。以僥倖於不死。

文法 コレハ秦ノ過法如何トモスル能ハザルヲ説ク、コレ忍ブベシ、子房忍ブ能ハズ。

○○ 戰國ノ時ノ壯士ニシテ、刺客ナリ。○
○ 鮮腆、鮮腆、コボレザイハイニテ、萬一ニモマンヨクト云フガ如シ。

タル如キ深謀遠慮ヲナサズ、特更ニ輕卒ニモ、燕ノ荆軻ガ單身秦ニ入り秦王政ヲ刺殺サントシタルガ如キ、又韓ノ宰相俠累ヲ刺殺シタル壯士聶政輩ノ計策ヲナシ、萬一コボレザイハイニモ其身死セズシテ目的ノ仇ヲ報ズルコトガ出来ヤウカト云フ危險千萬ノコトヲヤツ、ケタ。

此圯上老人所爲深惜者也。是故倨傲鮮腆。而深折之。彼其能有所忍也。然後可以就大事故曰孺子可教也。

○ 圯上老人ノ深ク惜ムヲ爲ス所ノ者ナリ、是故ニ倨傲、鮮腆、而深ク之ヲ折リ、彼其能忍フ所アルナリ、然ル後以テ大事ヲ就スベシ、故ニ曰ク、孺子教フベキナリ。

カ、ル少年血氣ノ勇ニハヤル所ガアルカラ、圯上老人ノ深ク張良ノ爲ニ惜ム所ノモノデアル、ソコデ、ワザト、倨リ傲リテ之ヲ輕蔑シ、深クソノ少年血氣ノ勇ヲ折キヘコマシタノデアル、スルト、張良モ大ニ悟ル所ガアツタト見え彼老人ノ言フガ儘ニナシ、能ク忍ブ所アルヤウニナツタ、忍ンデコソ、大事業ヲナスベキデアアルカラ、故ニ老人モ大ニ見込アリトナシ、喜ンデ曰ヘルニ、小僧ヤ教ヘ甲斐ガアル、随分前途モ面白イゾ。

楚、莊王伐鄭。鄭伯肉袒牽羊以迎。莊王曰。其君能下人。必之剛也。

○ 迎フ、莊王曰ク、其民能人ニ下ル、必ズ能其民ヲ信用セン矣、遂ニ之ヲ舍ス、勾踐ノ會稽ニ困ミ而ノ歸ル、吳ニ臣妾タル者三年、而シテ夫且夫人ニ報フルノ志アリテ人ニ下ル能ハザルモノハ、匹夫ノ肉ナリ。

能信用其民矣。遂舍之。勾踐之困於會稽而歸。臣妾於吳者三年而不劬。且夫有報人之志而不能下人者。是匹夫之剛也。

○ 羊子牽ク下ナリ居ルナリ信用民、コレハ民ニ信アリテ、ヨクソノ民ヲ用フルノ義。

夫老人者以爲子房才有餘。而憂其度量之不足。故深折之。

ノ足ヲザルヲ憂フ、故ニ深ク其少年剛銳ノ氣ヲ折キ、之ニ小忿ヲ忍ビ大謀ヲ就サシム。

其少年剛銳之氣使之忍小忿而就大謀。

夫圯上ノ老人ナル者ノ思フニ、子房ハ才氣ハ餘ル程アルガ、其度量ノ足ラズシテ狭少ナル所ガアルノガ缺點デアルト、故ニ少ク其度量ヲ大キク持セントテ、ワザト心ニモナキ、無禮ヲ敢テシ、深クソノ少年剛銳ノ血氣ヲ折キ、張良ヲシテ、少小ノ忿ヲ忍ビ、大事ノ謀ヲナサシムルヤウニシタノデアアル。

コレ子房ヲシテ能忍バシム。

何則非有平生之素卒然相遇於草野之間而命以僕妾之役油然而不恠者此固秦皇之所不能驚而項籍之所不能怒也。

何トナレハ則、平生ノ素アルニ非ラズ、卒然草野ノ間ニ相遇ヒ、而シテ命ズルニ僕妾ノ役ヲ以テシ、油然トシテ恠マザル者ハ、此固ヨリ秦皇ノ驚カス能ハザル所、而シテ項籍ノ怒ラス能ハザル所ナリ。

平生ノ素、平素ヨリノ親交ナリ。

油然、謹ムノカタチナリ。

ソレハ何故デアアルカト問ヘバ、彼老人ガ何モ張良ト平生ヨリノ親交ガアルト云フデハナク、卒然期セズシテ草原ノ野外ニ於テ相遇ヒ、ソレニシテ張良ニ命令スルニ、僕カ妾カガスルノ役目ヲ以テシタ、ソレニ謹慎シテ更ニ恠ミ訝ル風モセズ命令ノ儘ニナシタル能忍ブト云フノ度胸コソ、實ニ大シタ者デ、コノ度胸ガアルカラ、此固ヨリ秦始皇ノ驚カス能ハザル所、又楚項羽ノ怒ラス能ハザル所デアアル。

コレ張良ノ眞ニ能忍ブヲ言フ、コレ全篇ノ主意ナリ。

觀夫高祖ノ勝ヲ所以項籍ノ敗ルル所以ノ者ヲ觀ルニ、能忍ブト、忍ブ能ハザルトノ間ニアル而已矣、項籍唯忍ブ能ハズ、是ヲ以テ百戰百勝、而シテ輕ク其錄ヲ用フ、高祖之ヲ忍ビ、ソノ全錄ヲ養ヒ、而シテ其弊ヲ待ツ、是子房之ニ教フルナリ。

觀夫高祖之所以勝、項籍之所以敗者、在能忍與不能忍之間而已矣。項籍唯不能忍、是以百戰百勝。而輕用其鋒。高祖忍之、養其全鋒、而待其弊。此子房教之也。

夫漢ノ高祖ガ何故ニ項籍ニ勝タカ、項籍ガ何故ニ敗レタカノ由來スル所ヲ見ルニ、ヨク忍ブト、忍ブ能ハザルトノ二者ニ過ギナイ、項籍ハ惟忍ブ能ハズソレ故ニ百戰百勝イツモ勝チ通デアアルガ、遂ニ戰勝ニ悞レテ輕シク其ノ兵鋒ヲ用キ、深謀遠慮ト云フコトガナイ、高祖ハ之ヲ忍ビ、ジツト食ヒコラヘ、其ノ全軍ノ銳鋒ヲ養ヒ、十分勇氣ヲ養ヒ、項羽ガ勝ニ乘ジテ輕卒ニ戰争ヲナスニ由リ何時カハ、其兵鋒ノ挫ケル時ガアルダロト、ソノ弱ル機會ヲ待ツテ居ル、コレハ萬全ノ策デアアル、コレ誰ノ指金デアアルカト言ヘバ、子房ガ高祖ニ教ヘタノデアアル。

能忍、不能忍、兩々對照シ、子房之ニ教フルト曰ヒ、子房ノ身ニ歸宿ス。

淮陰破齊而欲自王高祖發怒見於詞色由是觀之猶有剛強不能忍之氣非子房其誰全之。

淮陰侯韓信ガ齊ノ國ヲ破リ、自ラ齊ノ王タラント欲シ、之ヲ高祖ニ請フタ

淮陰、齊ヲ破リ自ラ王タラント欲スルニ當リ、高祖怒ヲ發シ、詞色ニ見ハル是ニ由リ之ヲ觀レバ、猶剛強忍ブ能ハザルノ氣アリ、

子房ニ非ラザレバ、其誰カ之ヲ全フセン。

ル時、高祖大ニ之ヲ怒リ罵リ、辭顔色ノ上ニ見ハレシガ、此ノ一事ニヨリテ見ルト、寛仁大度ノ表判高キ高祖デサハ、猶血氣剛強忍ブ能ハザルノ氣アルヲ免レナイ、サテ此時、殆大事ヲ誤ラントセシガ、張良ガ高祖ニ耳打シテ、コ、ハ一ツ韓信ノ言分ヲ立テヤルベシトテ相方都合善ク取リナシタカラ、無事ニ濟ンダト云フモノ、コレモ子房ガアツタカラ、甘クソノ所置ヲ付ケタト云フモノ子房デナクバ、之ヲ全クスルコトハ進モ覺束ナイ。

コレ高祖ノ忍フ能ハザルヲ以テ、子房ノ能ク忍ブニ形ス、コレハ文ノ餘波ナリトス。

太史公疑子房、以爲魁梧奇偉。而其狀貌乃如婦人女子。不稱其志氣。嗚呼此其所以爲子房歟。

史記ヲ書キタル太史公司馬遷ノ子房ノ贊ニ大史公張子房ヲ疑ヒ以爲ラク、如何ニモ容貌モ一角目立チテ豪傑ラシク、奇妙ニ偉大デアロト、然ルニソノデナク、其ノ形狀容貌ハ恰モ婦人女子ノ如ク、實ニヤサシクアツテ、其ノ志ト氣象トニ釣り合ヌヤウデアルト、ア、コレガ子房ノ子房タル所以デアロトヨ。

コレ太史公、子房ノ贊ヲ引キ收束ス「嗚呼此所以爲子房歟」此一句ハコレ蘇東坡ノ語ナリ。

秦始皇扶蘇論

蘇東坡

太史公、子房ヲ疑フ以爲ラク、魁梧奇偉、而ノ其狀貌乃婦人女子ノ如シ其志氣ニ稱ハズ、嗚呼此其子房タル所以カ。

秦始皇扶蘇論

秦始皇ノ時、趙高罪アリ、蒙毅之ヲ按シ死ニ當ズ始皇赦シテ之ヲ用フ。

秦始皇時、趙高有罪。蒙毅按之、當死。始皇赦而用之。

コレハ題ヲ借ルナリ、宦官ノ禍ヲ曰ヒ、暗ニ神宗ヲ諷ス、又篇中秦法ノ慘刻ナルヲ云フハ、當時暗ニ王安石ノ新法ニ充テ、且商鞅ノコトヲ論スルハ、コレ安石ヲ論ジタルナリ。

秦ノ始皇ノ時、宦官ノ趙高ト曰ヘルモノガ、何カ犯セル罪ガアリタルニ由リ、蒙毅ト云フモノガ、ソノ罪狀ヲ取調タ上、之ヲ死罪ニ行フコトニ判決ヲ下シタ、而ルヲ始皇ガ赦シテ之ヲ任用シタ。

コレハ叙事、趙高ヲ殺サズ、コレ禍根。

長子扶蘇好直諫。上怒使北監蒙恬兵於上郡。

始皇ノ長子扶蘇ハ仁ニシテ賢、ソノ直ニ諫言スルコトヲ好ムニ由リテ趙高ヲ任用スルコトニ付キ、大ニ其不可ヲ諫メタ、始皇ハ其諫ヲ用キズ、大ニ怒リ、扶蘇ヲシテ、北方蒙恬ノ兵ヲ上郡ニ監督セシムルコトナシ、遂ニ其左右ヲ遠ケルコトニシタ。

コレモ叙事、始皇、仁ニ賢ナル扶蘇ヲ疎ズ、コレ滅亡ヲ速ク所以ナリ。

始皇東遊會稽。並海走琅琊。次子胡亥李斯蒙毅趙高從。道病使蒙毅還禱山川。

文章軌範講義

二二九

始皇東遊會稽ニ遊ビ、海ニ並テ琅琊ニ走ク、次子胡亥、李斯、蒙毅、趙高從フ、道ニシテ病ム、蒙毅ニ還リ山川ニ祈ラシム。

長子扶蘇、直諫ヲ好ム、上怒リ北ノカタ蒙恬ノ兵ヲ上郡ニ監セシム。

始皇ガ、東會稽ノ方へ巡狩シ、海ニ並テ瑯琊ノ方へ走ムクトナリタ、ソノ時ニ、次子胡亥、李斯、蒙毅、趙高、等ガお供ヲナシタ、不幸ニモ途中ニ於テ、始皇ガ病氣セシニヨリ、蒙毅ヲシテ還リ、山川ノ神ニ祈禱シ、始皇ノ病氣平癒ヲ祈ラシメタ。

コレモ叙事、蒙毅ニ還ラシム、コレ始皇ノ失ナリ。

未及還上崩。李斯趙高矯詔立胡亥。殺扶蘇蒙恬蒙毅。卒以亡秦。

蒙毅ハ、未ダ始皇ノ所へ還ル間ナク、始皇ハ崩御セリ、ソコテ李斯趙高ハ蒙毅ノ留守ヲ好機會トシ、始皇ノ詔ト矯リ、次子ノ胡亥ヲ立テ、君トナシ、扶蘇、蒙恬、蒙毅ヲ殺シ、卒ニ秦國ヲ滅亡セリ。

コレモ叙事、以上秦ノ亡滅セシ由來ヲ叙述セシナリ。

蘇子曰。始皇制天下輕重之勢。使內外相形。以禁奸備亂。可謂密矣。蒙恬將三十萬人。威震北方。扶蘇監其軍。而蒙毅侍帷幄。爲謀臣。雖有大奸賊。敢睨其間哉。

蘇子ノ曰ヘルニ、秦ノ始皇帝ハ、天下輕重ノ大勢ヲ能ク計リ制シ、内外何レモ一方ニ偏スルト云フコトナク、形アレバ影ノ之ニ伴フ如ク、内外互ニ相應ジ

未ダ還ルニ及バズ上崩、李斯、趙高、詔ヲ矯メ、胡亥ヲ立テ、扶蘇蒙恬蒙毅ヲ殺シ、卒ニ以テ秦ヲ亡ス

蘇子曰ク、始皇天下輕重ノ勢ヲ制シ、内外ニ相形シ以テ奸ヲ禁ジ、亂ニ備ヘシム、密ト謂フ可シ矣、蒙恬三十萬人ニ將トシ、威北方ニ震フ、扶蘇其軍ヲ監ス而シテ蒙毅帷幄ニ侍シ謀臣ト爲ル、大奸賊有リト雖モ敢テ其間ニ睨セズト。

侍帷幄。帷幄ハ幕ナリ。始皇ノ左右ニ居ルヲ云フ。睨。ハ邪視ナリトアリ、横目テ見ル、ソノ間隙ヲ伺フヲ云フナリ。

不幸ニシテ道ニ病ム、山川ニ禱祠スル尙人アルナリ、而シテ蒙毅ヲ遣ル、故ニ高斯其謀ヲ成スヲ得、始皇ノ殺ヲ遣ル、殺始皇ノ病ミ太子未ダ立タザルヲ見テ左右ヲ去ル、皆以テ智ト云フ可ラズ。

外奸惡ノ徒ノ反謀ヲ禁ジ、内邪臣ノ内亂ニ備ヘ、防備ノヨク行届テ居ルコトハ、密ナリト謂ツベキデアアル、外蒙恬ハ三十萬人ノ兵ニ將トシ、匈奴ニ臨ミ、其威光ハ北方ヲ震動シ、扶蘇ガ其軍ヲ監督シテ居ル、ソレシテ蒙毅ハ内幕ノ下ニ居リ始皇ノ左右ニ侍シ、謀臣トナリテ居ル、是ノ如クデアアルカラ、如何ニ大奸賊アリトモ、此ノ防備密ナル間ヲツケネラウテ反逆ヲ企ツルコトハ、決シテナサス。

コレ議論、始皇、亂ニ備フルノ密ナルヲ云フ。

不幸道病。禱祠山川尙有人也。而遣蒙毅。故高斯得成其謀。始皇之遣毅。毅見始皇病。太子未立而去。左右皆不可言智。

不幸ナルコトニハ、巡狩ノ途中ニ於テ病氣シタ、山川ノ神ニ病氣平癒ヲ祈禱スルガ爲ニ使者トシテ遣ス人物ハ、無理ニ蒙毅ヲ遣ナクトモ、他ニ遣ルベキ人ガアル、ソレニ蒙毅ヲ遣リタカラ、趙高李斯ノ二人ニ好機會ヲ與ヘ、奸謀ヲ成スヲ得セシメタ、始皇ノ蒙毅ヲ遣リタル不可ナリ、蒙毅モ始皇ノ病氣ト太子扶蘇ノ未ダ立タザルヲ見ナガラ、始皇ノ左右ヲ去リタルト云フモノハ、始皇モ蒙毅モ、何モ智アリトハ言ヘス。

コレハ蒙毅、左右ヲ去ルノ非ヲ云フ。

通論然リト雖モ、天ノ人國
チ亡ス、其禍敗必ズ智ノ及
バザル所ニ出ヅ、聖人天下
ヲ爲ムル、智ヲ恃ミ以テ亂
ヲ防ガズ、其ノ亂ヲ致スノ
道無キヲ恃ムノミ、始皇亂
ノ致スノ道趙高ヲ用非ルニ
アリ。

通論夫レ闢尹ノ禍、毒藥猛
獸ノ如シ、未ダ肝ヲ裂キ首
ヲ碎ズ、ンハアラズ、書契
有リテヨリ以來、惟東漢ノ
呂強、後唐ノ張承業
二人號シテ善良ト稱ス、豈
一ニテ千萬ニ望ミ以テ必亡
ノ禍ヲ取ルベケンヤ。

闢尹 宦官ヲ云フナリ

雖然。天之亡人國。其禍敗必出於智之所不及。聖人爲天下不恃智以防亂。恃其無致亂之道耳。始皇致亂之道。在用趙高。

然リト雖モ、天ノ人國ヲ亡スト云フモノハ、其禍、失敗ガ必ズ自分ノ智ノ及バナイ所ニ出ヅルノチアルガ、聖人ノ天下ヲ治ルニ於テハ、預メ亂ニ備ヘズシテ亂起ルノ後決シテ智ヲ恃ミテソノ亂ヲ防グト云フヤウナコトハセヌ、惟其ノ亂源ノ由リテ來ル道ナキヲ恃ムノデアル、始皇ガ秦ヲ亂ルノ由來スル所ハ趙高ヲ赦シ、任用セシニ在ルノダ。

亂源趙高ニコレ由ルヲ云フ、在用趙高ノ一句、主意ヲ少ク見ハスナリ。

夫闢尹之禍。如毒藥猛獸。未有不裂肝碎首也。自有書契以來。惟東漢呂強。後唐張承業二人。號稱善良。豈可一於千萬。以取必亡之禍哉。

夫宦官ノ禍害ト云フモノハ、今更言フ迄モナク、恰モ毒藥猛獸ノ如キデア
ル、一旦之ヲ任用シ、其ノ害毒ヲ蒙リタルモノハ、肝ヲ裂キ、首ヲ碎クト云フ
ヤウナヒドイ目ニ遇ハスト云フコトハナイ、文字アリテ以來、宦官ノ歴史ヲ調テ

見ルニ、善良ナルモノハ一人モナイガ、ソガ中ニ、惟東漢ノ呂強ト後唐ノ張承業ト云フ二人ノ者ハ頗ル善良ト稱スルコトガ出來ルガ、若シ萬一ニモ一ニノ善良ナルモノノ張承業、呂強ノ如キガ千萬モ居ル宦官ノ中ニアリハセヌカト云フヤウナコト當ニシテ之ヲ望ミ、ソレデ宦官ヲ任用シ、其害毒ヲ受ケ、必ズ其國ヲ亡スト云フヤウナ禍ヲ取リテハナラヌ。

文法 コレ宦官ノ害毒甚シキヲ曰ヒ、決シテ任用ス可ラザルヲ説ク、毒藥猛獸ノ字ヲ下ス、故ニ毒ニハ肝ヲ裂キ、猛獸ニハ首ヲ碎クト曰フ、古人文字ノ用法ニ注意スベシ。

然世主皆甘心而不悔。如漢桓靈。唐肅代。猶不足深恠。始皇漢宣皆英主。亦沉於趙高恭顯之禍。彼自以爲聰明人傑也。奴僕薰腐之餘。何能爲及其亡國亂朝。乃與庸主不異。吾故表而出之。以戒後世人主如始皇漢宣者。

已ニ是ノ如キ害毒アリ、然レドモ、世々ノ主君ガ皆宦官ノナス所ニハマリ
込ミテ更ニ悔フルコトヲセヌ、漢ノ桓帝ヤ、靈帝ヤ、唐ノ肅宗ト云フ天子ヤ、代
宗等ノ君ハ、コレ等ハ凡庸ノ君デアアルカラ、宦官ニ甘心スルトテモ、深く不思
議トスルニ足ラヌガ、始皇ノ如キ漢ノ宣帝ノ如キハ皆英明ナル主君デアアルニ、

通論然レドモ、世主皆甘心
シテ悔ズ、漢ノ桓靈唐ノ
肅代ノ如キ、猶深恠ム
ニ足ラズ、始皇漢宣皆英主
亦趙高恭顯ノ禍ニ沈ム、彼
自以爲ラク聰明ノ人傑
ナリ、奴僕薰腐ノ餘何ソ能
爲ント、其國チ亡ボシ朝チ
亂ルニ及ビ、乃庸主ト異ナ
ラズ、吾故ニ表シ之ヲ出シ
以テ後世人主始皇漢宣ノ如
キ者チ戒シム。

闢尹 史記ニ張儀チ得
テ甘心セン、トアリ。

其意ハ、張儀ヲ得テ思フ存分ニナシ、快ヨクセントノ意ナシガ、茲處ノ甘心ハソレト其意味ヲ異ニシ、宦官ニハマリ込ムト云フ意ニテ、宦官二十分心ヲ許スノ意ナリ。

宦官ヲ賤シミ云フ辭、宦官ハ業ニテ蕭々、陽道ヲ絶ツ故ニ云フ。亂朝亡國、朝ヲ亂ルハ宣帝ヲ指ス、國ヲ亡スハ、始皇ヲ指スナリ。

或曰ク、李斯、始皇ヲ佐ケテ天下ヲ定ム、不智ト謂フ可ラズ、扶蘇ハ親シ、始皇ノ子、秦人之ヲ戴ク久シ矣、陳勝其名ヲ假リ、猶似テ天下ヲ亂ルニ足ル、而

ノ蒙恬、重兵ヲ持シ外ニ在リ、二人ニ即誅ヲ受ケズ而復之ヲ請ハシメバ、則斯高遺類ナケン矣、斯ノ智ヲ以テ此ヲ慮カラザルハ何ゾヤ。

始皇ハ趙高ノ爲ニ、宣帝ハ弘恭、石顯ノ爲ニ不測ノ禍ノ淵ニ沈ムト云フ愚ヲ演シタ、コレハ油斷大敵トモ申サウカ、彼始皇漢宣ノ君ニ於テハ、自ラ負ミテ以爲ク我コソ天晴聰明ノ豪傑デアアル、奴僕蕭蕭ノ如キ宦官ノ徒ガ何ゾヨクナサウゾ、更ニ恐ル、ニ足ラズト、高ヲ括ツテ居ルガ、サテ、ソノ國ヲ亡シ、朝ヲ亂ルニ於テハ、庸主タル肅代桓靈ノ愚ト更ニ異ナル所ハナイ、吾ガソレ故ニ、茲ニ之ヲ表ハシ出シ、以テ後世人主ノ始皇漢宣ノ如キ者ヲ、戒ムル次第デアアル。

戒後世人主如始皇漢宣者コレハ暗ニ神宗ニ當テ、之ヲ諷スルナリ、コレ一

篇ノ主意、始皇論ナル故、始皇ハ主ニシテ、漢宣ハ客ナリ。

或曰李斯佐始皇定天下不可謂不智扶蘇親始皇子秦人戴之久矣陳勝假其名猶足以亂天下而蒙恬持重兵在外使二人不即受誅而復請之則斯高無遺類矣以斯之智而不慮此何哉。

或ノ曰ヘルニ、李斯ハ、始皇ヲ佐ケテ、天下ヲ平定シタル程ノ人物デアアルナレバ、決シテ不智トハ謂ヘス、扶蘇ハ親シク、現ニ始皇ノ子デアアルノミナラズ、ソノ人望モ至テ好ク、秦人ガ之ヲ戴キ太子トシテ尊敬シテ居ルコトハ、長キコトデアアル、ソノ證據ニハ、陳勝ガ兵ヲ起スニ當リ扶蘇ノ名ヲ借リテサヘ、尙

一時天下ヲ亂スニ足リタ位ダ、ソノシテ蒙恬ハ、三十萬ノ兵ヲ持シテ外北方ニ居ル重鎮デアアル、モシ扶蘇蒙恬ノ二人ヲシテ誅罰ノ命令ヲ受クルコトナク、復、再ビ始皇ニ指圖ヲ乞フト云フ態度ニ出デシメタランニハ、ソレコソ大變、折角ニ李斯趙高二人ガ苦心シテ書キタル狂言モ、嘘ノ皮ガムゲテ仕舞ヒ、アベコベニ自分等ノ首ノ臺ガ飛デ類ヲ遺スコトナク、殘ラズ誅殺サ、ルノ馬鹿ヲ見ルコトナ

ルガ、李斯程ノ智者ニシテ、茲ニ氣付カザリシトハ何タル事デアアルカ。

蘇子曰嗚呼秦之失道有自來矣豈獨斯高之罪自商鞅變法以殊死爲輕典以參夷爲常法人臣狼顧脅息以得死爲幸何暇復請方其法之行也求無不獲禁無不止鞅自以爲軼堯舜而駕湯武矣及其出亡而無所舍然後知爲法之弊夫豈獨鞅悔之秦亦悔之矣。

蘇子ノ曰ヘルニ、ア、サテ、モ、秦ガ天下ヲ治ムルノ道ヲ失フテ居ルコトハ、今ニ始メヌコトデ、ソノ由來スル所ト云フモノハ、ズント以前カラノコトデアアル、アニ、ヒトリ李斯趙高ノ罪ノミデハナイ、商鞅ト云フ者ガ、秦ノ法律ヲ變更シテヨリ一層酷烈ニナシ人ヲ殺スコトヲ以テ、至テ輕キ典刑トナシ、三族ヲ

蘇子曰ク、嗚呼秦ノ道ヲ失フ、自テ來ル有リ、豈獨リ斯高ノ罪ノミナラン、商鞅法ヲ變ゼシヨリ、殊死ヲ以テ輕典トナシ、參夷ヲ以テ常法ト爲ス。人臣狼顧脅息死ヲ得ルヲ以テ幸ト爲ス、何ノ暇アツテ復請ハシ、其法ノ行ハルニ方リテヤ、求メテ獲ザルナク、禁ジテ止マザルナシ、鞅自ラ以爲ラク堯舜ニ軼シ、湯武ニ駕ス矣、其ノ出亡而ノ舍スル所無キニ及ビ、然ル後法ヲ爲スノ弊

チ知ル、夫豈獨執之ヲ悔フルノミナラン、秦モ亦之ヲ悔フ矣。
 衛ノ公子ニシテ秦ノ孝公ニ事ヘ、秦ノ法律ヲ變ゼシモノナリ。
 假借 エルスナリ。
 狼顧 狼顧トハワカソクト讀ム、狼顧トハワカソクト讀ム、脅息トハ大ナル息チセメトテ、オソレ込ムナリ。
 ハ過ケルナリ。
 ハ車ニ馬ヲ駕スルノ意ニテ、車ニ馬ヲ引カスルノテアルカラ、湯武ニ乗ルト同様、湯武ノ上ニアリト云フ意ナリ。
 無所 商鞅ノ法、旅客ノ券ナキ者チ含スルコトヲ禁シタリ、自分逃走ノ時、旅券チ持タズ、故ニ宿屋ノ主人ガ商鞅トハ知ラズ、之ヲ拒ミタルナリ、ソコテ鞅ガ歎息シテ曰ヘルニ、ア、

夷ゲ殺スコトヲ以テ常ノ法律トナシ、一步モ假借スルコトヲセヌト云フ有様デアアルカラ、當時秦ノ臣タルモノハ、ウロタエオソレ、片時モ安心スルコトガ出来ナイカラ、イツソノ事、死ンダ方ガマシデアルト云フヤウナ考ヲ持チテ居ル次第デアルカラ、蒙恬扶蘇ノ如キモ、何ノ暇ガアリテ復請コトヲナシヤウゾ、固ヨリ請フコトヲナサヌ、是ノ如ク緊シクヤルカラ、法律ノ支配スル所、何ヲ求メテモ、獲ザルト云フコトナク、禁ジテ止マザルト云フコトナク、惟命令次第デ、ドウニモナル、ソコデ商鞅モ非常ニ得意トナリ、自ラ以テ、古ノ堯舜ニモ過ギ、湯王武王ニモ乘リ超ルトナシテ居ツタ、所ガ後ニ自分ガ罪ヲ秦ニ得テ、秦ノ國ヲ去ルニ及ビ、魏ノ國ノ方ヘ逃走ヲ企テタガ、誰一人自分ヲ宿泊サシテ呉ルモノガナイト云フ這方ノ破目トナリ、然ル後始テ法ヲ變史シタルノ弊害ガ是ノ如クニ迄ニ立チ至テ居ルカトテ、目ガ覺メ之ヲ後悔シタ、ソレナント、獨商鞅ガ之ヲ悔悟シタルノミデナク、秦ニ於テモ之ヲ悔悟シテ居ル。
 コレハ秦ノ天下ヲ失フタル由來ハ、獨李斯趙高ニ因ルニ非ラズ、遠ク商鞅ノ變法ニ由來スルヲ曰ヒ、商鞅ハ暗ニ王安石ニ當テ、宋神宗ノ時、安石變法ノ害ヲ諷スルナリ。
 荆軻之變。持兵者。熟視始皇。環柱而走。而莫之救者。以法重故也。李斯之立胡亥。不復忌二人者。知威令之素行。而

臣子不敢復請也。二人之不敢復請。亦知始皇之驚悍。而不可回也。豈料其僞也哉。

法チナスノ弊、一ニ此至レルカト、始テ目チ覺シタリ、史記商鞅ノ傳ニ見ユ。
 荆軻ノ變、兵チ持スルモノ、始皇ノ柱チ環リテ走ルチ、熟視シ、而之ヲ救フナキ者ハ、法ノ重キチ以テノ故ナリ、李斯ノ胡亥チ立テ、復二人チ忌マザルモノハ、威令ノ素ヨリ行ハレテ臣子敢テ復タ請ハザルチ知レバナリ、二人ノ敢テ復請ハザル、亦始皇ノ驚悍ニソ回ス可ラザルチ知レバナリ、豈其僞ナルチ料ラシヤ。
 始皇ノ名ナリ。
 以法重故也、コレハ秦ノ法ニ、殿上ニ侍スルモノハ、尺寸ノ兵チ執ルコトヲ得ズトアリ、故ニ今始皇ガ荆軻ニ追ハレテ居ル、誠ニ危急ナル場合ナンドモ、モシ兵器チ執リ之ヲ救フタナレバ、タトヒ其時ハソレデヨシトシタ所デ、後日ニ於テ殿上兵器チ執リタルノ罪

燕ノ荆軻ガ刺客トナリ秦ニ入り込ミ、秦王政ヲ刺殺サントシタル不意ノ變ニ兵器ヲ持チ秦宮ノ殿上ニ侍スルモノガ、始皇政ノ荆軻ニ追レツ、逃ケ走り廻ルヲ、ツラノ視ナガラ、一人ノ之ヲ救ハントスルモナク、手持不沙汰ニシテ居タト云フモノハ、秦法ノ重キヲ畏レテ居タ結果デアアル、李斯ノ胡亥ヲ立テ復蒙恬扶蘇ノ二人ヲ忌ミ憚ルト云フコトナク、一思ニヤツ付ケタルト云フモノハ秦法ノ威光命令ト云フモノガ、平素カラ行ハレ、臣ノ蒙恬モ、子ノ扶蘇モ、敢テ復請フコトヲセヌト云フコトヲ承知シテ居ルカラデアアル、二人ノ敢テ復請フコトヲシナカツタト云フモノハ、亦始皇ハ十分手強ク剛情デアツテ、一旦言ヒ出シタルコトハ、決メ跡ヘハ引ヌト云フ性格ノ人デアアルカラ、復請フタ所ガ駄目デアアルト云フコトヲ承知シテ居ルカラデアツテ、コレハ李斯趙高ノ書キタル狂言デアツテ、僞デアルト曰フコトニハ氣付ヌト云フモ無理ハナイ。
 コレハ上文ヲ受ケ、秦法威令ノ弊ヲ説キ、或ノ問フタル、李斯ノ智ニノ之ヲ料ラザルハ何ゾヤノ疑問ヲ解ス。
 周公曰。平易近民。民必歸之。孔子曰。有一言而終身行之。

二問ハレンコチ恐レテノ下
テアル。

持兵 コノ兵ハ兵器ナ
リ、ハモノナリ、少ノハ
モノモ殿上ニ於テ取ルヲ得
ザルナリ。

類、ワシノ如ク手強キナリ
悍ハ強キナリ。

周公曰ク、平易民ヲ近
クレバ民必ズ之ニ歸ス、孔
子曰ク、一言ニ終身之ヲ
行フベキアリ、其恕カ、夫
忠恕ヲ以テ心トナシ、平易
ヲ以テ政ヲ爲セバ則上知リ
易ク、下達シ易シ、賣國ノ
好有リト雖モ、其險ニ投ズ
ルナク、倉卒ノ變、自テ發
スルナシ、其ノ令スレバ行
ハレ、禁ズレバ止ム、蓋
商鞅ニ及バザル者アリ矣、
而ノ聖人終ニ此ヲ以テ彼ニ
易ヘズ。

己ヲ推ス之ヲ恕ト
云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

己ヲ盡クス之ヲ忠
ト云フ。

其恕矣乎。夫以忠恕爲心而以平易爲政。則上易知。下易達。雖有賣國之奸。無所投其隙。倉卒之變。無自發焉。其令行禁止。蓋有不及商鞅者矣。而聖人終不以此易彼。

周公ノ曰ヘルニ、法ト云フモノハ如何ニモ、平タク、簡易ニシテ、苛シク面倒ナラスガイイ、是ノ如キノ方針ヲ以テ民ヲ治メ近ツクルヤウニスレバ、民ガ必ズ之ニ歸服スル、孔子ノ曰ヘルニ、一言ニシテ、其身一生ノ間、之ヲ行フベキモノガアル、ソレハ恕ト云フモノデアルト、ソレ忠恕ノ二字ヲ以テ己ノ心トナシ、平易ノ二字ヲ以テ主義方針トナシ、一國ノ政治ヲナス時ニハ、上君トシテハ下民ノ情ヲ知ルコトガ易ク、下民トシテハ、自分ノ意思ヲ上ニ進達シ易ク是ノ如クニシテ、君民一體、上下相親シムト云フヤウニナレバ、國ヲ賣リ其身ヲ利セントスル李斯趙高ノ如キ奸臣ガアリテモ、ソノ隙間ニツケ込ムト云フコトナク、荊軻ノ如キ不意ノ變事モ由リテ發スルニ道ナク、國家ハ平穩無事デアアルガ、其ノ令スレバ行ハレ、禁ズレバ止ムト云フコトハ、サテ商鞅ニ及バザルモノガアル、而シ、周公孔子ノ如キ聖人ハ、終始一貫、此方針ヲ以テシ、平易忠恕ヲ以テ、商鞅ノ慘酷ナル政治ニ易ヘルコトハセヌ。

コレハ、周公孔子ヲ以テ、商鞅ノ慘酷ヲ形ス、ソノ論尤モ精微ナリト云フベシ。

軌立ニ信、於徒木立威於棄灰。刑其親戚師傅。無惻容。積威信之極。以至始皇。秦人視其君如雷電鬼神。不可測識。

軌ニ於テハ、變法ノ前ニ於テ、先一般ノ民ニ信用ヲ取ラント欲シ、信用スベキコトヲ徒木ヲ從スコトニ立テ、威光ヲ灰ヲ棄ルコトニ立テ、ソノ君ノ親戚デアロ一ガ、太子ノ師傅デアロ一ガ、法ヲ犯シタルモノハ容赦ナク之ヲ所罰シ、少モ側ミ哀ムト云フ容ハナイ、威光信用ヲ積ムノ極度ハ、以テ始皇ノ身ニ至リ、尤甚シク、秦人ノソノ君ヲ畏ル、コトハ、猶雷電鬼神ノ測リ識ル可ラザル如クニ思フテ居タ。

エレ變法威信ヲ積ムノ弊ヲ云フ、コレハ上文平易民ヲ近クルノ反ナリ。

古者公族有罪。三宥而後致刑。今至使人矯殺其太子而

不忌。太子亦不敢請。則威信之過也。夫以法毒天下者。未

有不反中其身及其子孫。

古ハ、君ノ一族ニシテ、ヨシンバ罪アルモ、三度迄ハ之ヲ宥シ、ソレデモ改メズ、尙刑ヲ犯ストキハ、而ル後ニ刑罰ヲ施スノデアアル、今ソレニ、人臣ヲシテ、大膽ニモ、ソノ太子ヲ詔ヲ矯テ殺シ、更ニ忌憚スル所ナク、太子モ亦敢テ請フコトヲセスト云フヤウニ立チ至タハ、則餘ニ威信ヲ積ムノ過タルモノト謂

文章軌範講義

文章軌範講義

文章軌範講義

文章軌範講義

文章軌範講義

文章軌範講義

文章軌範講義

文章軌範講義

文章軌範講義

文章軌範講義

毒スルモノハ、未ダ反テ其身及其子孫ニ中ラズンハアラズ。

漢武帝始皇、皆殺ニ果ナレ者ナリ、故ニ其子扶蘇ノ仁ノ如キハ、則寧死シテ請ハズ、戾太子ノ悍ノ如クハ、則寧口反シテ訴ヘズ、之ヲ訴フル、必ズ察セザルヲ知レバナリ、戾太子豈反チ欲スル者ナランヤ、計無聊ヨリ出ルナリ、故ニ二君ノ子タルモノ、死ト反トアルノミ、李斯ノ智、蓋以テ扶蘇ノ必ズ反セザルヲ知ル、吾又表シテ之ヲ出シ以テ後世人主ノ殺ニ果ナルモノヲ戒ム。

○戾太子 名ハ據、戾ハ逆ナリ。

○木偶人ニ針ヲ打チ付テ、之ヲ坐ノ下ニ

入レ祈禱シテ人ニ咒ヒ殺スチ云フ、戾太子ガ此事ヲナシタリトテ、罪セラレタルナリ。

王者夷狄ヲ治メザルノ論 題 夷狄ハ中國ノ治チ以テ治ム可ラザルナリ、譬ヘバ禽獸ノ如ク然リ、其ノ大ニ治ランヲ求ムル、必ズ大ニ亂ル、ニ至ル、先王其ノ然ルヲ知ル、是故ニ治メザルヲ以テ之ヲ治ム、之ヲ治ムルニ、治メザルヲ以テスル者ハ、乃深ク之ヲ治ムル所以ナリ。

フベキモノデアアル、是ノ如ク、法律ヲ以テ天下ヲ毒害シタルモノハ、ソノ餘毒ガソノ身ナリ、ソノ子孫ニ中ラナイモノハナイ。

漢武帝、法ヲ變ジタルノ餘毒ヲ云フ、毒ト云フカラ、中ノ文字ヲ下ス、コレ皆暗ニ王安石變法ノ餘毒、天下ニ及スヲ云フナリ。

漢武始皇皆果於殺者也。故其子如扶蘇之仁。則寧死而不請。如戾太子之悍。則寧反而不訴。知訴之必不察也。戾太子豈欲反者哉。計出於無聊也。故爲二君之子者。有死與反而已。李斯之智。蓋足以知扶蘇之必不反也。吾又表而出之。以戒後世人主之果於殺者。

漢ノ武帝、秦ノ始皇ハ、何モ英主ニシテ、且人ヲ殺スコトニ果斷ニ、猶豫ヲ仕ナイモノデアアル、故ニ始皇ノ子、扶蘇ノ仁者ノ性格アルモノ、如キハ、則寧其身死スルモ、敢テ復請フコトヲナサズ、漢武ノ子戾太子ノ手強キ性格ヲ具ヘタルモノハ、長安巫蠱ノコトニ坐シテ罪ヲ得、寧叛反ヲシテモ、其冤罪ヲ訴フルコトヲセス、之ヲ訴ヘタル所デ、必ズ武帝ニ於テ察セザルヲ承知シテ居ルカラデアアル、戾太子ナントシテ叛反ヲ欲スルモノデアローヤ、アリハセヌ、カ、ル計策ニ出ツルモ萬止ムヲ得ヌ次第デ畢竟樂ミナク不平ナル所ヨリ此ノ計ニ出テタル

ノデアアル、故ニ始皇漢武ニ君ノ子タルモノハ、死スルカ、叛反スルカノ二途ニ出ヅルヨリ外ハナイ、李斯ノ智、サテ又扶蘇ハ仁者デアアルカラ、必ズ叛反セザルヲ知リテ居ル、吾ガ又表ハシテ之ヲ出ダシ、後世人主ノ人ヲ殺スニ果斷ナル者ヲ戒ムルナリ。

漢武ハ客、始皇ハ主ナリ「戒後世人主之果於殺者」コレ後段ノ主意。

王者不治夷狄論

蘇東坡

夷狄不可以中國之治也。譬若禽獸然。求其大治。必至於大亂。先王知其然。是故以不治治之。治之以不治者。乃所以深治之也。

コノ文ハ東坡先生、平生刻意鍛練ノ文ニ非ラズ、課題ノ文ナリ、東坡試験ニ應ゼシ時、當日ノ試験問題ニ出テタレバ、東坡ガ咄嗟ノ間ニ、塙屋中ニ於テ作りタルノ文ナリ、ソノ大意ハ、王者ハ夷狄ヲ治ムルコトヲセス、放任主義ニテ之ヲ治ム、放任主義ハ深ク之ヲ治ムルノ良法デアアルト云フコトヲ論シタルナリ。

夷狄ト云フモノハ、中國ヲ治ムルノ方針通ヲ以テ之ヲ治ムルコトハ出來ヌ、之ヲ譬ヘテ見ルト、禽獸ノ如クデアアルカラ、道理ヲ以テ諭スコトハ出來ズ、強テ干涉政略ヲ施シ、ソノ大ニ治ランコトヲ求ムルト、必ズ反テ大ニ亂ル、ニ至ル、

國春秋、公戎ニ潜ニ會ス
ト書フ、何休曰ク、王者ハ
夷狄ヲ治メズ、戎ヲ録スル
來ル者ハ拒マズ、去ル者ハ
追ハザルナリ。

國天下ノ至嚴ニシテ、
法ヲ用井ルノ至詳ナル者ハ
春秋ニ如クハナシ、凡春秋
ノ公ト書シ、侯ト書シ、字
ヲ書シ、名ヲ書シ、其君諸
侯タルヲ得、其臣大夫タル

ヲ得ル者ハ、舉テ皆齊晉
ナリ、然ラサレバ則齊晉ノ
與國ナリ、其州ト書シ、國
ト書シ、氏ト書シ、人ト書
シ、其君諸侯タルヲ得ズ、
其臣大夫タルヲ得ザルモノ
ハ、舉テ皆秦楚ナリ、然ラ
ザレバ則秦楚ノ與國ナリ。

國夫齊晉ノ君、其國家ヲ
治メ、天子ヲ擁衛シ、百姓
ヲ愛養スル所以ノ者、豈能
盡ク古法ノ如クナランヤ、
蓋亦詐力ニ出テ、之ニ
參ルニ仁義ヲ以テス、是
齊晉モ亦未ダ純ナル中國
タル能ハザルナリ。

古先王ハ、ヨクソノソウアルト云フヲ知リテ居ル、故ニ強テ治メルト云フヲ
ヲナサズ、干渉ヲセズ、放任シテ之ヲ治ムルノデアル、之ヲ治ムルニ、治メヌ
ヤウニシテ、之ヲ治ムルハ乃深ク之ヲ治ムル所以ニシ、甚其要領ヲ得テ居ル。
又法「以不治、治之」コレ此文ノ骨子、以下此意ヲ解説スルナリ。
春秋書公會戎于潜。何休曰王者不治夷狄。錄戎來者不
拒。去者不追也。

孔子ノ作ラレタル春秋ノ書ニ、魯ノ隱公ト云フ君ガ戎狄ニ潜ト云フ土地ニ
於テ會合サレタト書シテアル、何休ト云ヘル公羊傳ノ注釋ヲナシタル學者ノ說
ニ、王者ハ夷狄ヲ治ルコトヲセヌ、戎ノ事ヲ記録スルニ、來ル者ハ之ヲ拒ミテ其
レニ、來ラシメヌト云フコトヲ、去ル者ハ、ソノ去ルニ任セ、之ヲ追ヒ留ムル
コトヲセヌト。

コレ春秋ノ書、何休ノ說ヲ引ク、治メザルヲ以テ之ヲ治ルノ意ナリ。
夫天下之至嚴而用法之至詳者莫如春秋。凡春秋之書
公。書侯。書字。書名。其君得爲諸侯。其臣得爲大夫者。舉皆
齊晉也。不然則齊晉之與國也。其書州。書國。書氏。書人。其

君不得爲諸侯。其臣不得爲大夫者。舉皆秦楚也。不然則
秦楚之與國也。

ソレ、天下ノ至テ嚴重デアツテ、法ヲ用キルノ至テ詳密ナル者ハ、春秋ニ
若キ及ブモノハナイ、凡ソ春秋ノ書ニ於テ、其位階ヲ書スルニ於テ、公ト書シ
侯ト書シ、賞シテ字ヲ書シ、貶シテ名ヲ書シ、其君ハ諸侯タルヲ得、ソノ部下
ノ臣ハ、大夫ノ資格ヲ具フルモノハ、舉テ皆齊晉ノ國デアアル、サモナクバ、齊
晉ノ同盟ノ國デアアル、春秋ノ何州ト書シ、何國ト書シ、何氏ト書シ、何人ト書
シ、其君ハ假令事實ノ上ニテハ、諸侯デアアルトモ、春秋名義上ノ諸侯タルコトヲ
得ズ、ソノ臣モ同様大夫ノ資格ヲ具フルコト能ハザル者ハ、舉テ皆秦楚ノ國デア
ル、サモナクハ秦楚ノ同盟ノ國デアアル。

コレハ春秋ノ書法ヲ概論シタルナリ。
夫齊晉之君所以治其國家。擁衛天子。而愛養百姓者。豈
能盡如古法哉。蓋亦出於詐力。而參之以仁義。是齊晉亦
未能純爲中國也。

ソレ、齊晉ノ君ト雖モ、其ノ國家ヲ治ムルノ政治、天子ヲ擁護シ、百姓ヲ
愛養安撫スル所以ノ方法ガ、豈能盡ク古法ノ如クデアローゾ、古法ノ如クテナ

イ、蓋亦詐術ト兵力ヲ唯一ノ具トナシ、而シテ之ニ參フルニ仁義ヲ以テスルト云フ有様デ、表ニハ仁義ヲ行フ風ヲシテ居レド、其實際ハ詐僞兵力ヲ待ミ、惟ソノ國ヲ富強ニセンコトノミニ心ヲ注ケテ居ル、シテ見ルト、コレ齊晋ノ國モ、未ダ純粹ナル中國トシテ、待フコトガ出來ズ、純粹ナル中國タルコトハ能ハヌ。

又法 齊晋已ニ純ナル中國タル能ハズ、然ルニ春秋之ヲ待ツニ、中國ノ禮ヲ以テ之ヲ待ツ、コレ下文ノ一疑問ヲ起サントスルナリ。

秦楚亦非皆貪冒無耻。肆行而不顧也。盖亦有秉道行義之君焉。是秦楚亦未至於純爲夷狄也。

講義 ソレ秦楚ノ君ト雖モ、皆貪欲ニシテ、分限ヲ冒カシ、更ニ耻ルト云フコトク、思フ儘ノ行ヲナシ、更ニ頓著ヲセヌト云フ横暴極マル暴君ノミニハアラズサテ亦正直ヲ執リ守リ、仁義ヲ行フノ君モ、中ニハアル、スレハ是秦楚ノ君モ純ナル夷狄、全ノ夷狄タルニハ至ラナイ。

又法 コレハ、秦楚ノ君、全ノ夷狄タルニ至ラズ、而ルニ春秋之ヲ待ツニ夷狄ノ禮ヲ以テ之ヲ待ツ、コレ又、下文ノ疑問ヲ起サントスルナリ。

齊晋之君不能純爲中國。而春秋之所與者常在焉。有善則汲汲而書之。惟恐其不得聞於後世。有過則多方而開

救之。惟恐其不得爲君子。

講義 齊晋ノ君、全ノ中國タル能ハザルニ、春秋ノ與シ助クル所ノモノガ常ニア

ル、齊晋ノ君ニシテ、一ノ善事ガアルト、則ツトメテ之ヲ書シ、惟ソノ善事ノ後世ニ聞ヘ殘ルコトガ出來マイカト是レ恐レ、一ノ惡事ガアルト、色々ニシテ善ヲ爲スノ道ヲ開ラキ、ソノ罪ヲ赦シテ、惟君子ノ人タルヲ得ザルヲコレ恐ル

又法 已ニ純ナル中國タル能ハズ、而ルニ春秋、何故ニ中國ヲ以テ之ヲ待ツカ、コレ一難。

秦楚之君未至於純爲夷狄。而春秋之所不與者常在焉。有善則累而後進。有惡則略而不錄。以爲不足錄也。

講義 秦楚ノ君、未ダ全ノ夷狄タルニ至ラズ、而ルニ春秋ノ與シ助ケザルモノ常ニアリ、善事ガアルモ、何ツトナク、ソノ善事ガ累リテ而ル後ニ、之ヲ中國ニ進メテ書シ、惡アレバ略シテ記録セヌ、コレハ春秋ノ意ニ思フニ、録スルニ足ラスト。

又法 已ニ純ナル夷狄タル能ハズ、而ルニ春秋何故ニ夷狄ヲ以テ之ヲ待ツカ、コレ二難。

是非獨私於齊晋。而偏疾於秦楚也。以見中國之不可以

講義 秦楚モ亦皆貪冒無耻。肆行而不顧也。盖亦有秉道行義之君焉。是秦楚亦未ダ純ナル夷狄タルニ至ラザナリ。

講義 齊晋ノ君、純ナル中國タル能ハズ、而シテ春秋ノ與ズル所ノ者、常ニ在リ焉、善アレバ則汲々トテ之ヲ書

シ、惟ソノ後世ニ聞フルヲ得ザラント恐ル、過アレバ、則多方ニシテ之ヲ開救シ、惟其君子タルヲ得ザラント恐ル。

講義 秦楚ノ君、未ダ純ナル夷狄タルニ至ラズ、而シテ春秋ノ與セザル所ノ者、常ニ在リ焉、善アレバ累リテ而シテ進メ、惡アレバ則略シテ録セズ、以爲ラク録スルニ足ラザルナリ。

講義 是獨私於齊晋ニ私シ而シテ偏疾ニ疾ムニ非ラザルナ

リ、以テ中國ノ以テ一日モ背ク可ラズ、而シテ夷狄ノ以テ一日モ向フ可ラザルヲ見メスナリ。

一日背而夷狄之不可以一日向也。

コレハ獨齊楚ノ君ニ私シ片手落ノコトヲナシ、ヒトヘニ秦楚ノ君ヲ疾ムト云フ譯デナク、是ノ如クニシテ書スル春秋ノ筆意ハ、以テ中國ニハ一日モ背イテハナラス、夷狄ニハ以テ一日モ向フテハナラスト云フコトヲ見シメタノデアアル。

文法 コレ上ノ二難ヲ解説ス。

其不純者不足以寄其褒貶則其純者可知矣故曰天下之至嚴而用法之至詳者莫如春秋。

其ノ純ナラザレモノ、以テ其ノ褒貶ヲ寄スルニ足ラザルバ、則其純ナル者知ル可シ矣、故ニ曰ク、天下ノ至嚴ニシテ、法ヲ用フルノ至詳ナル者ハ、春秋ニ如クハナシ。

ソノ純ナラザル夷狄秦楚ノ如キデモ、以テ褒メタリ貶シタリテ、賞罰スルノ價值ナシトスレバ、則其純ナル全ノ夷狄ハソノ褒貶ヲ寄スルニ足ラザルコト、勿論ノ事ナリ、ソレ故ニ曰フ、天下ノ至嚴ニシテ法ヲ用フルコトノ至詳ナルハ春秋ニ如クモノナシト。

秋ニ如クモノナシト。

文法 コレ起首ト照應ス。

夫戎者豈特如秦楚之流入於戎狄而已哉然而春秋書之曰公會戎于潛公無所貶而戎爲可會是獨何歟。

夫戎ハ豈特ニ秦楚ノ流入レテ戎狄ニ入ル如キノミナランヤ、然リ而シテ春秋之ヲ書シテ曰ク、公戎ニ潛ニ會スト公貶スル所ナク、而シテ戎會スベシト爲ス、是獨何ゾヤ。

ソレ戎狄ト云フモノ、豈ナント特ニ秦楚ノ何時トナク流レズルノニナリテ、戎狄ニ入りタルモノノミデアローゾ、猶別ニ其種類ガアル、然リ而シテ、春秋ニハ之ヲ書シテ、公戎ニ潛ニ會ストアル、隱公ハ戎ト會合シタルニ、更ニ之ヲ貶スルト云フコトナク、戎ヨロシク、會合スベシトナシテアルヤウデアアルガ、コレハドウシタ譯カ。

文法 コレ亦一難。

夫戎之不能以會禮會公亦明矣此學者之所深研而求其說也故曰王者不治夷狄錄戎來者不拒去者不追也。

夫戎ノ會禮ヲ以テ公ニ會スル能ハザル亦明シ矣此學者ノ深ク研シテ而シテ其說ヲ求ムル所ナリ、故ニ曰ク、王者ハ夷狄ヲ治メズ戎ヲ錄スル、來ル者拒マズ去ル者追ハザルナリ。

夫戎ハ禽獸ノ如クニシテ、逆モ人理ヲ以テ論ス可ラザルモノデアアルカラ

中國會合ノ禮式ヲ以テ隱公ニ會スル能ハザル、亦明ナル次第デアアル、ソレニ會合ノ禮式ヲ以テ會シタルガ如ク、書シタルハ何故ナルゾト、コレ學者ノ深ク研究シテ其ノ解説ヲ求ムル所以デアアルカラ、故ニ何休ノ傳ヲ説ケル王者ハ夷狄ヲ治メズ、戎ヲ錄スル、來ル者ハ、拒マズ、去ル者ハ追ハズノ筆法デ、深ク之ヲ穿索スルコトヲシナイノデアアル。

文法 コレハ解ナリ。

夫以戎之不可以化誨懷服也彼其不悍然執兵以與我從事於邊鄙固亦幸矣又况知有所謂會者而欲行之是豈不足以深嘉其意乎。

夫戎ノ化誨懷服ヲ可ラザルヲ以テ、彼其悍然トシテ兵ヲ執リ以テ我ト事ニ邊鄙ニ從ハザル固ヨリ亦幸ナリ矣、又況ヤ所謂

會ナル者アルヲ知リテ之ヲ行ハント欲ス、是豈以テ深ク其意ヲ嘉スルニ足ラザランヤ。

爾爾然ラズシテ將ニ深ク其禮ヲ責メントス、彼將堪エザル所アリ、而シテ其ノ暴怒ヲ發セバ、則其禍大ナリ矣、仲尼深ク之ヲ憂ヒ、故ニ其來ルニ因リ、而之ヲ書スルニ會テ以テシ曰ク、是ノ如クニシテ足ル矣、是將ニ治メザルヲ以テ深ク之ヲ治メントスルナリ。

講義 ソレ戎ハ迪モ之ヲ感化シ、教誨シ、懷柔策ヲ以テ之ヲ服スルコトモ出來ヌ、役介ナル者ガ、ソレニ彼ガソレ手強ク兵器ヲ取リ以テ我が中國ト事ヲ邊境ニ起シ、爭端ヲモ始メナカツタハ、固ヨリ亦幸福ナルコトデアル、マシテ又所謂ル中國ニハ會合ト云フコトガアルト知ツテ、之ヲ行ハント欲シ、ハルハ中國ニ來タト云フ者ハ、其心根誠ニ殊勝ニシテ、深ク其意ヲ嘉スベキコトデアル。

文法 コレ來者ヲ拒マズ。不然。將ニ深責其禮。彼將有所不堪。而發其暴怒。則其禍大矣。仲尼深憂之。故因其來而書之以會。曰。若是足矣。是將以不治深治之也。

講義 サモナクテ、マサニ深ク其ノ會合ノ禮ヲ責メントスルト、禽獸ニシテ人理ヲ解セザルモノデアルカラ、逆モ其禮式ヲ行フニ堪エズ、ソコデヤケクソニナリテ、ニワハカニ怒ルト云フヤウナコトニナルト、事反テ面倒ニナリ、則其禍大ナルコトニナル、ソコデ孔子ガ深クソノ點ヲ心配サレ、故ニ折角ト來リタルニヨリ會合ノ禮ヲ以テシ、「公會戎于潛」ト書サレタモノデ、孔子ノ意ニ思ハル、ニ是ノ如クニシテ足ルト、コレハマサニ治メザルヲ以テ、深ク之ヲ治メントスルノデアル。

文法 コレ亦來者拒マズ、篇首ノ骨子ノ所ト相照應シ、一篇ヲ結ブ、通篇歸宿ノ

處。

由是觀之。春秋之疾戎狄者。非疾純夷狄也。疾其以中國而流入於戎狄者也。

コノ處別ニ説明ヲ要セズ、推知スベシ。

荀卿論

蘇東坡

嘗讀孔子世家。觀其言語文章。循循然莫不有規矩。不敢放言高論。言必稱先王。然後知聖人憂天下之深也。

爾爾然ラズシテ孔子世家ヲ讀ミ其言語文章ヲ見ルニ、循々然トシテ規矩アラザルハナク、敢テ放言高論セズ、言必ズ先王ヲ稱ス。然ル後聖人天下ヲ憂フルノ深キヲ知ルナリ。

爾爾然。論語ニ循々然トシテ善ク人ヲ誘ムトアリ。

注ニ次序次第アルトアリ、故ニ順序アリト見テヨシ。

講義 荀卿ハ戰國時代ノ人ニシテ趙ノ人ナリ、固ヨリ博學ニシテ荀子ト云フ書物ヲ著ハセリ、其論皆禮樂ニ本ヅケリ、篇中性惡ノ一篇アリ、コ、ヲ以テ後世ノ學者多クハ之ヲ非難セリ、サテ東坡ノ此論ハ、荀卿ガ好テ異説ヲナスカラ、其門下ニ李斯ノ如キ徒ヲ出シ、遂ニ焚書ノコトヲナスニ至ル、全ク之レ荀卿放言高論ノ激スル所トナシ、之ヲ荀卿ノ罪ニ歸シ、孔子ノ言論平易正直ナリトナシ、之ヲ以テ荀卿ヲ責メ、大ニ論議セリ、コレハ暗ニ王安石ニ當テ之ヲ諷シタル論ニテ、單ニ荀卿ヲ論ズルニアラズ。

講義 我が嘗テ司馬遷著ス所ノ史記ノ孔子世家ヲ讀ミ、ソノ孔子ノ言語、孔子ノ文章ヲ觀シニ、誠ニヨク順序ガ立チテ居リ、法則法度ガナイト云フコトハナイ、

文章軌範講義

聞稱先王 孟子ニ必ズ堯舜ヲ稱ストアリ、此ノ意味ト相同シ。
 規矩ノ字モ孟子ニ見ユ、規ハブンマツシナリ、矩ハサシガ子ナリ、規則立ツチ云フナリ。

汎乎トシテ其畔岸ヲ知ラズ而シテ其津涯ヲ知ラズ、而シテ其津涯ヲ知ラズ、而シテ其津涯ヲ知ラズ、其ノ言フ所ノ者ハ匹夫匹婦ノ共ニ知ル所ニシテ、行フ所ノ者ハ聖人モ盡ク能ハザル所アルナリ。
 汎乎トシテ其津涯ヲ知ラズ、而シテ其津涯ヲ知ラズ、其ノ言フ所ノ者ハ匹夫匹婦ノ共ニ知ル所ニシテ、行フ所ノ者ハ聖人モ盡ク能ハザル所アルナリ。

嗚呼是亦足矣、後世能吾説ヲ盡ス者有ラジメバ、聖人タリト雖モ、難キナシ、而シテ能ハザル者ハ過チ寡クスルヲ爲スチ失ハザルノミ矣。

子路ノ勇、子貢ノ辨、冉有ノ智、此三者ハ、皆天下ノ所謂能シ難ク貴ブ可キ者ナリ、然レドモ、三子者毎ニ夫子ニ説クビラレズ顔淵黙然而シテ其能スル所ヲ見ズ、以テ衆人ニ異ナル無キ者ノ如シ、而ルニ夫子亟之ヲ稱ス。

敢テ放言高論シテ、人ヲ驚スト云フヤウナ議論ハナイ、ソノ言ハ必ズ古先王ヲ稱説シ、古先王ノ言ヲ標準トシテ論議シテ居ラル、然ル後ニ聖人天下ヲ憂フルノ深キヲ知ツタ。

文法 コレ孔子ノ言論ヲ以テ、荀卿ヲ責メントスルノ地ヲナスナリ、放言高論ノ字、正ニコレ荀卿ノ罪惡ナリ。

汎乎不知其畔岸而非遠也、浩乎不知其津涯而非深也、其所言者匹夫匹婦之所共知而所行者聖人有所不能盡也。

文法 バツトシテ、ソノ畔岸ノ見當ノ付ヌヤウデ如何ニモ遠クシテ及ブ可ラザルガ如クデアアルケレドモ、ヨク見極メテ見ルト、實ニ眼前ノ事デアツテ、決シテ遠キヲデハナク、日用身ニ切ナルヲデアアル、大ニシテ、ソノ津涯ヲ知ラズ、如何ニモ水ノ深キガ如クソノ意味深遠ニシテ、推究スルコトガ出来ヌヤウデアアルケレドモ、ヨク思慮シテ見ルト、決シテ意味ノ別段ニ深キト云フデモナク、平易デアアル、ソノ言フテムルヲハ、匹夫匹婦ノ賤シキモノモ、共ニ知ル所デアアルガ、左テ之ヲ行フト云フ點ニナルト、聖人ト雖モ容易ニ行ヒ盡セヌ所ノモノガアル。

文法 コレハ孔子ノ言論文章ヲ評スルナリ。

嗚呼是亦足矣、使後世有能盡吾説者、雖爲聖人無難而不能者、不失爲寡過而已矣。

文法 ア、是デ十分デアアル、後世ニヨク我ガコノ孔子ノ説ヲ知リテ行ヒ、盡スモノガアレバ聖人ト爲ルト雖モ、六ツケ敷クハナイ、行ヒ盡スノ出来ヌモノモ、自分ノ過失ヲ少クスルヲ失ハヌヤウニナル。

文法 コレハ孔子ノ言論文章ヲ贊シタルナリ。

子路之勇、子貢之辨、冉有之智、此三者皆天下之所謂難能而可貴者也、然三子者、每不爲夫子之所説、顔淵默然而不見其所能、若無以異於衆人者、而夫子亟稱之。

文法 孔子ノ弟子、子路ノ勇氣ナリ、子貢ノ辨論ナリ、冉有ノ智恵ノ如キ、此三者ハ皆天下ノ人ノ所謂ルナカク、能シ難キ所デ尤貴重スベキモノデアアル、然ルニ三子ノ者ハ常ニ孔子ノ説ヲ所トナラズ、屢々孔子ガ三子ニ對シ、之ヲ抑制シテ居ラル、顔淵ハ平生沈黙ヲ守リテ居リ、コレト云フ所能ヲ見認メヌ、更ニ凡衆ト相違スル所ガナイヤウデアアル、而ルニ孔子ハ、賢ナルカナト云フテ、度々之ヲ稱賛シテ居ラル。

且夫聖人ヲ學ブモノハ
豈必ズ其言チ之レ云ハシヤ
其亦意ノ嚮フ所チ觀ルノミ
夫子以爲ラク、後世必ズ其
說チ行フニ足ラズトスル者
アラン矣、必ズ其說チ竊ミ
不義チ爲スモノアラン矣、
是故ニ其言平易正直而シテ
敢テ非常喜テ可キノ論チ爲
サズ、要ハ易フ可ラザルニ
アルナリ。

文法 孔子三子ヲ説ヒズ、顔淵ノ默然ヲ稱賛ス、コレ放言高論セザルノ證左。
且夫學聖人者、豈必其言之云哉。亦觀其意之所嚮而已。
夫子以爲後世必有不足行其說者矣。必有竊其說而爲
不義者矣。是故其言平易正直而不敢爲非常可喜之論。
要在於不可易也。

講義 ソノ上、ソレ聖人ヲ學ブモノハ、アニ、必ズ其ノ言語ヲ之レ學ブト云フ譯
デハナイ、亦其ノ言論シテ在ル文字ノ上ニ於テ、聖人ノ意ノ嚮フ所ヲ觀察シ、
聖人ノ意向ヲ知ルト云フコト第一肝要ノコトデアアル、孔子ノ思ハル、ニ、後世必
ズ放言高論ノ徒ガ出テ、我説ヲ行フニ足ラズト爲ス者ガアルデアロー、又必
ズ我説ヲ竊スミテ不義ナルコトヲ爲スモノガアルデアロート、ソコデ孔子ハ其言
論スル所、専ラ平易ニ正直ナルヲ旨トシ、敢テ非常ナル耳新シク一寸聞イテ
喜ブベキヤウナル議論ヲ敢テスルコトハサレヌ、其ノ要領トスル所ハ、萬世易フ
ルコトノ出來ヌト云フニ歸スルノデアアル。

文法 コレ孔子ノ平易正直ヲ以テ、荀卿ノ放言放論ヲ責メントスルヨリ、已上孔
子ヲ標準トナシ、荀卿ノ論議スル所、孔子教法ノ主意ニ反スルノ罪案ヲ正サン
トスルノ地ヲナス、コレ冒頭虛論ナリ。

昔者嘗恠李斯事荀卿。既而焚滅其書。盡變古先聖王之
法。於其師之道。不啻若寇讎。及今觀荀卿之書。然後知李
斯之所以事秦者。皆出於荀卿而不足恠也。

講義 昔者嘗テ不思議ニ思フタルデアアル、李斯ハ荀卿ヲ師トシ學ビタルガ、既
ニシテ秦ニ事ヘ、是迄師ヨリ習ヒ受ケタル詩書六經ノ書ヲ焚キ拂フテ仕舞ヒ、
盡ク古先王、聖人王者ノ法則ヲ變更シ、其師ノ道ヲ見ルコト、嘗ニ寇ヤ讎ノ如キ
ノミデナク、ソレヨリモ尙一層ヒドイ目ヲ見セタ、コレハ實ニ不思議ノコトデア
ルト、一旦ハ怪シンタガ、今荀卿ノ書ヲ見ルト、ナカノニ放言高論ヲヤツテ
居ルデ、李斯ガ秦ニ事ヘ、ヤツ、ケタル暴ナル政策ハ皆荀卿ノ議論ニ激セラレ
タル結果デアツテ、決シテ不思議トスルニ足ラヌ云フコトヲ知ツタ。

文法 コレ本題ニ入ル、荀卿ノ論、李斯ヲ誤ルヲ論ジ、其罪ヲ斷ズ。
荀卿者、喜爲異說而不讓。敢爲高論而不顧者也。其言愚
人之所驚。小人之所喜也。

講義 荀卿ハ自喜ンデ人ニ異ナリタル説ヲナシ、而シテ少シモ人ニ讓ルト云フコ
トナサズ、敢テ高尚ナル議論ヲナシ、後ノ憂ヲ顧ミズ無責任ナル議論ヲ吐クモ
ノデアアル、左ルカラニ、愚人ハ之ヲ聞キビツタリ。仰天スル、惡人共ハ荀卿ノ議

聞者嘗テ、恠ム、李斯
荀卿ニ事ヘ、既ニシテ其書
ヲ焚滅シ、盡ク古先聖王ノ
法ヲ變ジ、其師ノ道ニ於テ
嘗ニ寇ヤ讎ノ如キノミナラズ
今荀卿ノ書ヲ觀ルニ及ビ、
然ル後ニ李斯ノ秦ニ事フル
所以ノ者、皆荀卿ニ出テ、
而恠ムニ足ラザルチ知ル
ナリ。

聞者荀卿ハ喜ンデ異説チナ
シ、而シテ讓ラズ、敢テ高
論チナシ、而シテ顧ミザル者
ナリ、其言愚人ノ驚ク所、
小人ノ喜ブ所ナリ。

論ニカコツケテ、自分等ノ惡事ヲナスニ便利デアルカラ、之ヲ歡迎シ喜ブイデア
アル。

文法 コレ荀卿ノ罪案、異説高論、コレ此篇ノ骨子。

子思孟軻世之所謂賢人君子也。荀卿獨曰亂天下者。子
思孟軻也。天下之人如此其衆也。仁人義士如此其多也。
荀卿獨曰。人性惡。桀紂性也。堯舜偽也。由是觀之。意其爲
入。必也剛愎不遜。而自許太過。彼李斯者。又特甚者耳。

講義 孔子ノ孫ナル子思、子思ノ弟子タル孟軻ハ、誰ノ目ヨリ視ルモ、世人ノ許
ス所ノ賢者デアアルガ、荀卿ハ獨論ジテ曰ヘルニ、天下ヲ亂ルモノハ子思デア
孟軻デアアルト、見渡シタ所、天下ノ人ハ是ノ如クニ其レ衆キデアアル、ソガ中
ニ仁人ナリ、義士ナリハ、此ノ如クニソレ多キデアツテ、之ヲ以テ推セバ、
人ノ性ノ善ナルコトハ、疑モナキノナルガ、荀卿ハ獨論ジテ曰ヘルニ、人ノ性ハ
惡ナルモノデアツテ、桀紂ノ如キ惡事ヲナスノガ人ノ本性デアアル、堯舜ハ殊更
ニソノ本性ヲ矯メテ居ルデアアルカラ、コレハ僞デアアルト、是ノ如キノ異説高
論ヲナスコナルガ、是ニ由リテ之ヲ觀ルト、我が思フニ、其ノ性格ト云フモノ
ガ必ズトモ、剛愎ニシテ押強ク、人ニ讓ルコトヲセズ、自滿シテ自ラ許スコガ

文法 太過ギテ傲慢ナル男デアツタ、彼ノ李斯ナル者ハ一層又特更ニ甚シモノデア
ル。

文法 コレ荀卿放言高論スルノ實ヲ擧グ、剛愎不遜、自許太過ノ字、正ニ王安石
ノ病根ニ切中ス、此等ノ處、作者用意ノ處ナレバヨク注意スベシ。

今夫小人之爲不善。猶必有所顧忌。是以夏商之亡。桀紂
之殘暴。而先王之法度。禮樂刑政。猶未至於絕滅。而不可
考者。是桀紂猶有所存。而不敢盡廢也。

講義 今ソレ惡人不善ヲ爲スデサヘ、猶顧ミ忌テ多少遠慮スル所ガアル、是ヲ以
テ夏殷ノ亡フルヤ、夏ノ桀王、殷ノ紂王ノ如キ殘忍暴虐ノ君ト雖モ、而モ古先
王ノ法度ナリ、禮樂刑政等ハ、猶未ダ絶ヤシ滅シテ考フルコト出來スト云フ迄
ニハ至ラシメナカッタ、コレ桀紂ノ如キ暴君デモ、猶顧忌シテ、コレノミハ存
スル所ガアツテ、敢テ盡ク廢スルコトヲ仕ナカッタ。

文法 コレハ桀紂ヲ引用シ、下ノ李斯ヲ起ス。
彼李斯者。獨能奮然而不顧。焚燒夫子之六經。烹滅三代
之諸侯。破壞周公之井田。此亦必有所恃者矣。

講義 ソレニ、彼李斯ナル者ハ獨能奮然ト自奮ツテ更ニ顧忌スル所ナク、孔子ノ

顯顯子思孟軻ハ世ノ所謂
賢人君子ナリ、荀卿獨曰
ク天下ヲ亂ルモノハ子思孟
軻ナリ、天下ノ人、此ノ如
ク其衆キナリ、仁人義士、
此ノ如ク其レ多キナリ、荀
卿獨曰ク、人ノ性ハ惡、桀
紂ハ性ナリ、堯舜ハ僞ナリ
是ニ由リテ之ヲ觀ル、意フ
ニ其ノ人ト爲リヤ必ズヤ剛
愎不遜、而シテ自ラ許ス太
ダ過ク、彼李斯ナル者ハ、
又特ニ甚シキ者ノミ。
顯顯桀紂、夏ノ桀王、殷ノ
紂王ナリ。
顯顯剛愎不遜、自許太過
剛愎、愎ハ戻ルナリ、人ノ
意見ヲ聞キ入レズ、我意ヲ
ツ、張レナリ、不遜少モ人

ニ讓ラザルナリ、自許スト
ハ自滿スルナリ、太過ハ、
甚過ト同シク、アマリニ自
滿シスギルナリ。

顯顯今夫小人ノ不善ヲ爲ス
猶必ズ顧忌スル所アリ、是
ヲ以テ夏商ノ亡アル、桀紂
ノ殘暴、而モ先王ノ法度禮
樂刑政、猶未ダ絶滅シテ考
フ可ラザルニ至ラズ。是桀
紂猶存スル所アリ、而ノ敢
テ盡ク廢セザルナリ。

顯顯彼李斯ナル者ハ獨能奮
然顧ミズ、夫子ノ六經ヲ焚
燒シ、三代ノ諸侯ヲ烹滅シ
周公ノ井田ヲ破壞ス、此亦
必ズ恃ム所ノ者アリ矣。

六經ヲ燒キ盡シ、夏殷周ヨリノ諸侯ヲ烹殺シテ之ヲ滅シ、周公ノ井田ノ法ヲモ
禮、樂ナリ。

六經ヲ燒キ盡シ、夏殷周ヨリノ諸侯ヲ烹殺シテ之ヲ滅シ、周公ノ井田ノ法ヲモ
コハシタリ、コレハ彼一人ノ力デハナイ、必ズ別ニ恃ム所ノモノガアル。

コレ上文ノ所請ル、李斯ノ秦ニ事フル所以ノ者、皆荀卿ヨリ出ルナリ、夫
子ノ六經ヲ焚燒シ、三代ノ諸侯ヲ烹滅シ、周公ノ井田ヲ破壞スト曰フ、コレ暗
ニ王安石變法ノニ當テ、言フナリ、コノ文ノ主意ハ全ク茲ニ在リ。

彼見其師歷詆天下之賢人以自是其愚以爲古先聖王
皆無足法者不知荀卿特以快一時之論而不自知其禍
之至於此也。

彼其師、天下ノ賢人ヲ
歷詆シ、以テ自ラ其愚ナリ
トスルヲ見、以テ爲ラク古先
聖王皆法トルニ足ル者無シ
ト、知ラズ荀卿特ニ一時ニ
快クスルノ論ヲ以テ、自
ラ其禍ノ此ニ至ルヲ知ラザ
ルナリ。

彼李斯ハ其師タル荀卿ガ天下ノ賢人ヲ片ベシカラ詆リ盡シ三文ノ價值ナキ
ガ如クニ言ヒケナシ自ラソノ愚ナル意見ヲ是ナリトスルヲ見テ、自ラ以爲ラク
古先聖王ノ言フ所、皆法則トスルニ足ルモノナシト、ソコデ大ニ是ノ如キノ暴
ナルヲシタガ、コレハ皆荀卿ノ罪デアル、我ニ於テハ、シカト知ラヌガ、荀
卿ハ特ニ愉快ヲ一時ニ取ラントスルヨリ高論放言ヲナシ、而シテソノ結果トシ
テ自ラソノ禍ノ筒様ニマテ至ルト云フニ氣付カナカツタノデアアルカヲ、左テ
ハ又タ情ナキ次第デハアル。

李斯ノ所爲ハ其罪荀卿ニアルヲ云フ。

其父殺人報仇其子必且行劫荀卿明王道述禮樂而李
斯以其學亂天下其高談異論有以激之也。

其ノ父人ヲ殺シ仇ヲ報
ズ其子必ズ且ニ劫ヲ行ハ
トス、荀卿王道ヲ明ニシ
禮樂ヲ述ベ、而シテ李斯其
樂ヲ以テ天下ヲ亂ダル、其
高談異論以テ之ヲ激スル
ルナリ。

其父ガ人ヲ殺シテ仇ヲ報ヒタ、コレヲ見習フ其子ハ、父ハ復讐ノ爲ニシタ
ト云フコトハ知ラズ、自分モ強氣ナ事ガキツテ見タクナリ、マサニ強盜ヲヤラカ
サントスルニ至ル、ソレト同様デ、荀卿ハ本ノ王道ヲ明ニシ、禮樂ヲ述ベ、
而シテ李斯ハ遂ニソノ意ヲ間違ヘ、荀卿ニ學ンダ學問ヲ以テ遂ニ天下ヲ亂ダス
ヤウナコトニ立チ至ツタ、コレハソノ平生ノ高談異論ガ、李斯ヲ激シテ茲ニ至
ラシメタノデアアル。

荀卿到底ソノ責ヲ辭スルヲ得ズ、高談異論ノ四字ヲ以テ之ヲ收ム、コレ通
篇歸宿ノ處。

孔孟之論未嘗異也而天下卒無有及者苟天下無有及
者則尙安以求異爲哉。

孔孟ノ論未ダ嘗テ異ナ
ラザルナリ、而モ天下卒ニ
及ブ者有ル無シ、苟モ及
ブ者アル無ケレバ、則尙安
シテ異ヲ求ムルヲ以テセンヤ

孔子孟子ノ論議スル所ハ、未ダ嘗テ異論異說非常喜ブベキ論ハナイ、而モ
天下卒ニ孔孟ノ論ニ及ブモノハナイ、苟モ及ブ者ガナイトナラバ、則尙何ニモ
異論ヲ以テスル必要ハナイ。

惟ソレ異ナラズ、平易正直ナル所以、異ナラズト曰フヲ以テ之ヲ收ム、上

將字集畢

相字集

小心文

此集文章。占得道理強。以清明正大之心。發英華果銳之氣。筆勢無敵。光燄燭天。學者熟之。作經義。作策。必擅大名於天下。

爾爾此集文章道理ヲ占メ得テ強ク、清明正大ノ心ヲ以テ英華果銳ノ氣ヲ發ス、筆勢敵ナク、光燄天ヲ燭ス、學者之ニ熟セバ、經義ヲ作リ、策ヲ作ル、必ズ大名ヲ天下ニ擅ニセン。

此ノ相字集ニ載セテアル文章ハ、皆道理ヲ占有シ得テ、道理ニヨク合フテ居テ、如何ニモ、ソノ意氣ガ強ク、清明ニシテ一點ノ曇ナク、正大ニシテ些少ノ私ナキ心ヲ以テ、尤花ヤカニ、果斷ニ、銳キ氣力ヲ發揮シ、花モアリ、實モアル文章デアル故、筆勢ノ向フ所敵ナク、光リ燄ハ天ヲモ燭ス勢ガアル、學者ガ此等ノ文章ニヨク之ニ熟練セバ、經書ノ義理ニ關スル議論ヲ作り、論策ヲ作ルニ於テ、必ズソノ大名ヲ天下ニ擅ニシ、天晴ノ大文章家ニナレル。

原道

韓昌黎

博愛之謂仁。行而宜之之謂義。由是而之焉之謂道。足乎己無待於外之謂德。仁與義爲定名。道與德爲虛位。故道

爾爾博愛之ヲ仁ト謂ヒ、行フテ之ヲ宜クスル之ヲ義ト謂フ、是ニ由リテ之ヲ爲之ヲ道ト謂フ、己ニ足リテ

有君子有小人而德有凶有吉。

外ニ待ツナキ之ヲ徳ト謂フ
仁ト義トハ定名タリ、道ト
徳トハ虚位タリ、故ニ道君
子アリ、小人アリ、而ニ徳ニ
凶アリ吉アリ。

此篇、韓公五原ノ一ニシテ、尤心血ヲ注ギタル大文字ナリ、原ハ本源ナリ
聖人ノ道ノ本原ヲ解説シタルナリ、サテ聖人ノ道ノ本源ニ明ナラザルハ何
ニ由ルカ、老佛ノ之ヲ害スルモノアレバナリ、故ニ篇中、老佛ヲ攻撃スル尤力
ム、孟子以後、道ヲ以テ自ラ任ジ、孟子ノ所謂ル能言フテ揚墨ヲ距ムモノハ、
聖人ノ徒タルノ意ニシテ、老佛ヲ排シ、聖道ヲ維持スルヲ以テ自任シタル一大
篇タルナリ。

博愛トハ讀デ字ノ如ク、恰モ親ガソノ子ヲ愛スル如ク、コレハソノ天性ニ
本クモノデ、人ノ親トシテ、ソノ子ヲ愛セヌモノハナイ、自分ガソノ子ヲ可愛
ガリ、之ヲ愛ストスレバ、人ノ心モ同ジコトデ、人モソノ子ヲ可愛ガルノデア
ルカラ、己ノ子ヲ愛スル心ヲ以テ人ニ及ボシ、己ノ子ヲ愛スル心ヲ以テ人ノ子
ヲ愛スルヤウニナシ、尙之ヲ汎他人ノ子ノ上ニ及ボシ、之ヲ擴充シ推シ廣メテ
及ボスノ結果トシテ、恰モ天ノ萬物ヲ覆フガ如ク、地ノ萬物ヲ載スルガ如ク、
一物ヲモ愛セザルナキニ至リ、以テ天下萬姓ヲ安ズルノ大徳トナリ造化ト其功
ヲ同クスルニ至ル、コレガ即博愛デアツテ、之ヲ仁ト謂フノデアアル、ソレカラ
義トハ音宜ト通ジ、萬事宜キニ合フ是乃義デアアルガ、孟子ニモ義ハ人ノ正路ナ
リトアリ、朱子モ義ノ文字ヲ訓シテ義ハ萬事ノ制裁ナリトシテ居ル如ク、凡ソ

人間日用ノ行事、義ト云フモノニ、外レタナラバ、ソレコソ相方ノ衝突ヲ來タ
シ、此世ノ中ハ争鬪ノ巷トナルノ不幸ヲ見ルガ、ソレヲソ一サセヌヤウニ萬事
人間行爲ノ上ヲ制裁スルモノハ、畢竟コノ義ト云フ一字デアアルカラ、凡テ人生
ノ行爲ハ、コノ義ノ一字ヲ外レテハナラヌ、即行フテ之ヲ宜クスルト云フコ
ナル、コレガ義デアアル、又徳トハ、音得ト同ジク得ルト云フ字デアアルガ、之ヲ
其身ニ得ルノデアアル、朱子ノ註ニモ、徳トハ、道ノ其心ニ得ル者ヲ云フトアル、
スレバ上ノ仁義ノ二ツヲ十分其心ニ得、其身ニ得テ之ヲ失ハヌヤウニスレバ即
徳トナルノデアアルカラ、コノ仁義ノ徳ガソノ身ニアレバ、ソノ仁義ノ軌道ニヨ
リテ、人間萬事ノ行爲ノ上ヲ歩行シテ之ヲ出ル、即コレガ其身ノ徳ト云
フモノデアアル、又道ト曰フモ、コノ仁義ト云フコトヲ離レズ、仁義ノ外ニ道ナク、
道ノ外ニ仁義ハナイノデアツテ、コノ仁義ガ十分ニ充テ足リテ、凡テノ事ガ仁
義ニ合ハザルナキニ至レバ、即己ニ足ルト云フコトニナルノデ、コレガ即道デ、
堯舜ノ道モ、周公ノ道モ、孔子ノ道モ皆コレコノ道ニ外ナラヌノデアアル、サテ
仁ト義ト云フ者ハ、己ニ一定ノ名ガアツテ、動カスコトノ出來得ベクモアラズ、
人ノ之ヲ錯リ認ルト云フコトモナキガ、道ト徳トニナルト、仁義ソノ者ヲ離レ、
ソレノ一家ノ説ヲ立テ、自ラ道ナリ、徳ナリトシテ居ル者ガアルカラ、一定
ノ名ガアルト云フ譯デナク、道ニ君子ノ道アリ、小人ノ道ガアリ、徳ニ凶ト吉
トガアル、コレハ易ニモ君子ノ道長ジ、小人ノ道消ス、又其徳ヲ恒ニス婦人ハ

吉、夫子ハ凶トアルヲ以テモ知ラルベキデアアルカラ、道ト徳トハ虚位タル譯デアアル。

文法 コレハ先仁義道德ノ字ヲ提出ス、コレ此編ノ綱領。

老子之小仁義非毀之也。其見者小也。坐井而觀天。曰天小者。非天小也。彼以煦煦爲仁。子子爲義。其小之也則宜。其所謂道道其。所道非吾所謂道也。其所謂德德其。所德非吾所謂德也。

老子ノ仁義ヲ小トシ、之ヲ非毀スルヤ、其ノ見ル者小ナレバナリ、井ニ坐シテ天ヲ觀テ、天ヲ小ナリト曰フハ、天ノ小ナルニ非ラザルナリ、彼煦々ヲ以テ仁トナシ、子々ヲ義ト爲ス、其之ヲ小トスルヤ則宜ナリ其所謂道トハ、其道トスル所ヲ道トス、吾ノ所謂道ニ非ラザルナリ、其所謂徳トハ、其徳トスル所ヲ徳トス、吾ノ所謂徳ニ非ラザルナリ。

非毀非毀。ソシルナリ。

サテ老子老聃ガ其老子ト云フ自分ノ著書ニ仁義ト云フ者ヲ小ナリトシ、之ヲ非毀テ居ルガ、コレハ、仁義ソノ者ガ、小ナルノデハナイ、ソノ老子ソノ者ノ見解ガ小ナルノデアアル、之ヲ喻フルニ、今井ノ中ニ坐シ、仰テ天ヲ觀テ、天ハ小デアアルト云フハ、決シテ天ノ小ナルノデナク、ソノ見ル所ガ小ナルノデアアル、之ト同ジコデ、彼老子ハ煦々トテ、小惠ヲ施スヲ以テ仁ト心得、子々トテ孤立シ小事ニ拘リ惟小節ヲ固守スルヲ以テ義ト心得テ居ル、ソコデ仁義其者ヲ以テ小ナリトスルモ當然ノコデアアル、又老子ノ所謂ル道トハ、ソノ自身一ノ考ヘテ、ソノ自分ノ主義トスル所ヲ勝手ニ道トスルノデアツテ、我ノ所謂ル仁義ノ道デナイ、ソノ所謂ル徳モ、老子自身ノ主張ヲ徳トスルノデアツテ

我ノ所謂ル道德身ニ得ルノ徳デナイ。

文法 コレハ老子ノ説ヲ駁スルナリ。

凡吾所謂道德云者。合仁與義言之也。天下之公言也。老子所謂道德云者。去仁與義言之也。一人之私言也。

凡ソ吾ノ謂フノ所ノ道德ト云フ者ハ、已ニ前ニモ解説シタル如ク、仁義ヲ合セ、之ヲ言フノデ、天下ノ公言ニシテ天下ニ通用スルガ、老子ノ謂フ所ノ道德ト云フ者ハ仁義ヲ去テ、之ヲ言フノデ、一人ノ私言ニシテ、決シテ天下ニ通用ガ出来兼ネル。

文法 コレ仁義ノ外ニ道德ナキヲ云ヒ、老子ノ説ヲ駁ス。

周道衰。孔子没。火于秦。黄老于漢。佛于晋。宋魏隋齊梁之間。其言仁義道德云者。不入于楊。則入于墨。不入于墨。則入于老。不入于老。則入于佛。入于彼。必出于此。入者主之。出者奴之。入者附之。出者汗之。噫後之人。其欲聞仁義道德之說。孰從而聽之。

周室ハ平王ノ東遷以後、周公ノ定メシ禮樂制度モ地ヲ掃フテ衰微シ、孔子

凡ソ吾ノ所謂道德ト云フ者ハ、仁ト義ト合セ之ヲ言フナリ、天下ノ公言ナリ、老子ノ所謂道德ト云フ者ハ仁ト義ト去テ之ヲ言フナリ、一人ノ私言ナリ。

周道衰へ、孔子没シ、秦ニ火アリ、漢ニ黄老アリ、晋宋魏隋齊梁ノ間ニ佛アリ、其仁義道德ヲ言フ者揚ニ入ラザレバ、則墨ニ入り、墨ニ入ラザレバ則老ニ入り、老ニ入ラザレバ則佛ニ入り、彼ニ入レバ必ズ此ニ出ヅ、入ル者ハ之ヲ主トシ、出ル者ハ之ヲ奴トス、

入ル者ハ之ニ附シ、出ル者ハ之ヲ汗トス、噫、後ノ人其レ仁義道德ノ説ヲ聞カント欲ス、孰ニ從フテ之ヲ聽カン。

ハ死シ、引續キ戰國ノ世トナリ古先聖王ノ道ハメチャクニナリテ居ル所へ、秦ノ始皇ノ時ニハ、詩書禮樂ノ書物ヲ燒盡シ、漢ノ景帝ノ時代ニハ頗ル黃帝老子ノ術ヲ尊ビ、晋宋魏隋梁此等諸國ノ間ニハ佛法ヲ崇ビ、ソコデ當時ニ於テ、仁義道德ノ説ヲ言フ者ハ、周後秦漢以前ノ傾向ハ、楊朱自愛ノ説ニ入ラザレバ墨翟兼愛ノ説ニ入り、墨子ノ説ニ入ラザレバ老子ノ説ニ入り、又其以後晋宋魏隋梁ノ時代ニハ老子ノ説ニ入ラザレバ佛法ニ入ルト云フ次第デアツテ、彼楊墨老佛ニ入レバ、必ズ孔子ノ道ヲ出デ、楊墨老佛ニ入ル者ハ、楊墨老佛ヲ主トシ、尊崇シ、孔子ノ道ヲ出デタル者ハ、孔子ノ道ヲ奴隸ノ如ク賤シム、楊墨老佛ニ入ルモノハ、楊墨老佛ニ附キ、孔子ノ道ヲ出デタル者ハ、孔子ノ道ヲ卑シムト云フ有様デアアル、ア、サテモ、後世ノ人ガ、眞ノ仁義道德ノ説ヲ聞ント欲スルモ、孰ニ就キ從フテ之ヲ聽ンカ、殆聴クベキ所ガナイ。

文法 コレ周道衰、孔子没ノ二句ヲ提出シ、仁義道德衰微スルノ由來ヲ叙ス、コノ六字ハ大關鍵ノ文字ナリ。

老者曰孔子吾師之弟子也。佛者曰孔子吾師之弟子也。爲孔子者習聞其說樂其誕而自小也。亦曰吾師亦嘗師之云爾。不惟舉之於口而又筆之於書。噫後之人雖欲聞

老者曰ク、孔子ハ吾師ノ弟子ナリ、佛者曰ク、孔子ハ吾師ノ弟子ナリ、孔子ハ爲者、其説ヲ習聞シ、其誕ヲ樂ミ、而ノ自ラ小トスルヤ、亦曰ク、吾師モ

仁義道德之説其孰從而求之甚矣人之好惟不求其端不訊其末惟惟之欲聞

亦之ヲ師トスト、惟ニ之ヲ口ニ舉ルノミナラズ、而ノ又之ヲ書ニ筆ス、噫後ノ人仁義道德ノ説ヲ聞ント欲ス其孰ニ從フテ之ヲ求メン甚シ矣人ノ惟ニ好ムヤ、其端ヲ求メズ、其末ヲ訊ハズ惟惟之ヲ聞ント欲ス。

文法 老子ノ道ヲ尊崇スル者ノ曰ヘルニ、孔子ハ、吾師老聃ノ弟子ナリ、佛者ノ道ヲ信仰スル者ノ曰ヘルニ、孔子ハ吾師佛者ノ弟子ナリト、ソコデ孔子ノ道ヲ學ブモノモ、亦カ、ル説ヲ習ヒ聞キ、ソレ等老佛ノ誕謾ノ説ヲ聞クヲ樂ミ、快ヨク思ヒ、ソレシテ、自ラソノ本尊本家タル孔子ノ道ヲ以テ自ラ小ナリトスルヤ、亦曰ヘルニ、吾師ノ孔子モ亦嘗テ此ノ老佛ヲ師トナシテ居タト、惟々之ヲ口ニ舉テ言フノミデナク、又之ヲ其書ニ書キ著ハスト云フ次第デアアルカラ、ア、後ノ人ガ、仁義道德ノ説ヲ聞ントスルモ、ソレ孰ノ人ニ就キ從フテ之ヲ求メントスルカ、ヒドイデアル、今ノ人ノ奇怪ナル説ヲ聞クコトヲ好メル、其ノ古先聖王ノ道ノ端緒ヲ求メズ、其ノ末ヲ訊ハズ、本末ヲ吟味スルコトナク、惟奇怪ナル説ヲノミコレ聞ンコトヲ欲スル、サテモ嘆カハシキデアル。

古之爲民者四。今之爲民者六。古之教者處其一。今之教者處其三。農之家一而食粟之家六。工之家一而用器之家六。賈之家一而資焉之家六。奈之何民不窮且盜也。

爾爾古ノ民タル者四、今ノ民タル者六、古ノ教フル者其一ニ處ル、今ノ教フル者其三ニ處ル、農ノ家一、粟ヲ食フ家ハ六、工ノ家ハ

一、器ヲ用井ルノ家ハ六、買ノ家ハ一、焉ヲ賣ルノ家ハ六、之ヲ奈何ゾ、民窮シ且盜セザランヤ。

古ノ民タル者ハ、士農工賈ノ四者デアツタガ、今ノ民タル者ハ、コレニ老佛ガ加リテ居ルカラ、六トナリテ居ル、古ノ教フル者ハ、聖人ノ道ガ一ツアルノミデアツタガ、今ノ教フル者ハ、之ニ老佛ガ加リテ居ルカラ、其二ナツタ農民ノ家ハ一ツデアアルガ、之ヲ食フノ家ハ老佛ガ加リテ來タカラ、六ノ比例トナル、ソノ他、工、賈、トモンノ比例ニナリ、老佛ナル者ガ加リタルガ爲ニ實際ニ働ク方ノ民ハ少ナク、遊食ノ民ガ多ク、生産的ノ人ハ少ナク、不生産的ノ人ガ多クアルト云フ傾向ヲ來シ、ニヨリ、民ガ日ニ困窮シ、其ノ果ハ盜賊ヲスルヤウニナルコトハ無理モナイ次第ナリ。

文法

コレハ老佛ノ害ヲ極言スルナリ。

願古ノ時人ノ害多シ矣、聖人ナル者立ツ有リ、然ル後ニ之ニ教フルニ相生シ相養フノ道ヲ以テシ、之ガ君ト爲リ、之ガ師ト爲リ、其爲蛇禽獸ヲ驅リ而シテ中土ニ處シム、寒シテ然ル後ニ之ガ衣ヲ爲リ、飢テ然ル後ニ之ガ食ヲ爲リ、木處シテ顛シ、土處シテ病ムヤ、然ル後ニ之ガ宮室ヲ爲リ、

古之時。人之害多矣。有聖人者立。然後教之。以相生相養之道。爲之君。爲之師。驅其蟲蛇禽獸。而處其中土。寒然後爲之衣。飢然後爲之食。木處而顛。土處而病也。然後爲之宮室。爲之工。以贍其器用。爲之賈。以通其有無。爲之醫藥。以濟其天死。爲之葬埋祭祀。以長其恩愛。爲之禮。以次其先後。爲之樂。以宣其湮鬱。爲之政。以率其怠勸。爲之刑。以

鋤其強梗。相欺也。爲之符璽斗斛權衡。以信之。相奪也。爲之城郭甲兵。以守之。害至而爲之備。患生而爲之防。

之工ヲ爲シ、以テ其器用ヲ贍シ、之ガ賈ヲ爲シ以テ其有無ヲ通シ、之ガ醫藥ヲ爲シ以テ其天死ヲ濟シ、之ガ葬埋祭祀ヲ爲シ以テ其恩愛ヲ長シ、之ガ禮ヲ爲シ、以テ其先後ヲ序テ、之ガ樂ヲ爲シ、以テ其湮鬱ヲ宣ベ、之ガ政ヲ爲シ以テ、其怠勸ヲ率ヒ、之ガ刑ヲ爲シ、以テ其強梗ヲ鋤キ、相欺クヤ、之ガ符璽斗斛權衡ヲ爲シ、以テ之ヲ信ニス相奪フヤ、之ガ城郭甲兵ヲ爲シ、以テ之ヲ守ル、害至テ之ガ備ヲ爲シ、患生シ之ガ防ヲ爲ス。

古ノ時代ニ於テ、人民ノ害ヲナスモノガ實ニ多キデアツタ、ソコデ聖人ナル者ガ、位ニ立ツアリテ、然ル後ニ、此民ニ相生キ相養フノ道即生育シ得ベキ道ヲ以テシタ、之ガ君ト爲リ此民ヲ統御シ、之ガ師トナリ、此民ヲ教育シ、ソノ民ノ害ヲナシ居ル所ノ蟲蛇禽獸ノ類ヲ驅リ盡シ、其民ヲ中國ノ土地タル安心スベキ地ニ住居セシメ、寒イカラ然ル後ニ防寒ノ衣服ヲ爲リ、飢ユルニヨリ食フベキノ食ヲ爲リ、木ノ上ニ住居シテ居リタルガ、コレデハ顛覆スルノ恐アリ、土中ニ穴ヲ掘リテ住居タガ、コレデハ、土中ノ濕氣ニ觸レ病氣スルノ患ガアルカラ、然ル後ニ家屋ヲ作り、之ガ大工ヲ作シテハ、凡テノ諸道具ヲ不足ナキヤウニシ、之ガ商賈人ヲ作シテハ、ソノ有無ノ融通ヲ付ケ、之ガ醫者ナリ藥種ナリヲ作シ、ソノ若死スルヲ救済シ、之ガ葬ノト、祭ノトヲナシ、コレニヨリ父子恩愛ノ情ヲ厚クシ、之ガ禮法ヲ作シ、貴賤尊卑長幼ノ順序ヲ正シ、之ガ音樂ヲ作シ、ソノ心ノ鬱々トシテ居ルヲ宣散ズルヤウニシ、之ガ政治ヲ作シソノ怠惰者ヲ率ヒ獎勵シ、之ガ刑法ヲ作シ、ソノ強クシテ命ニ抗スルモノヲ誅鋤シ、人ノ智ガ段々ト長ジ、相欺クヤウニナルヤ、之ガ割付、升、權等ノ具ヲ作シ、欺クトノ出來ヌヤウニシ、相奪フヤウニナルヤ、之ガ城ナリ、甲冑ナリ

兵器ヲ作シ、不意ヲ戒メ、守備ヲシ、此等ノ害ガ至ルカラ豫メ之ガ用意ヲナシ
患ノ生ズルヨリ、之ガ防備ヲナス、是ノ如ク相生シ相養フノ道ヲ講ジタ。

【文法】 コレハ聖人ノ功ヲ列舉シタルナリ、相生シ相養フノ字ハコレ此篇ノ眼目。

今其言曰。聖人^ニ不死。大盜^レ不止。剖斗折衡^ヲ。而民^ハ不爭。嗚呼
其亦^ハ不思而已矣。如古^ノ之無聖人。人之類^ハ滅久矣。何也。無
羽毛鱗介^ヲ以居寒熱也。無爪牙^ヲ以爭食也。

【訓讀】 今其言ニ曰ク、聖人死
セザレバ、大盜止マズ、斗
ヲ剖衡ヲ折リテ民爭ハズト
嗚呼亦思ハザルノミ、如古
ノ聖人無ケレバ、人ノ類、
滅スル久シ矣、何ゾヤ、羽
毛鱗介以テ寒熱ニ居ル無
ク、爪牙以テ食ヲ爭フ無ケ
レバナリ。

【訓讀】 今老子ノ言ニ曰ヘルニ、聖人ナル者ガ出テ、色々ナリヲ拷ヘタカラ、民
ガ詐僞盜賊ヲスル様ニナリタ、ソコテ聖人ガ死ンデ仕舞ナケネバ、大盜賊ノ種
ハ盡キヌ、聖人ガ升ヤ權ナドヲ拷ヘタカラ、民ガ少小ノ升目ヤ、目方ノ差ヲ爭
フノデアル、無爲ニ反リテ、升モ權モコハシテ、民ガ争フコトヲセスト、カ、ル
説ヲナスガ、コレハ思ハザルノ甚シキ議論デアアル、聖人ガアリタレバコソ、此
民ハ今日迄生育シ居ツタ、モシ古代ニ於テ、聖人ガナカツタナラバ、人ノ類ハ
滅亡シテ居ルコトハ、餘程久シキ以前ノコトデアアル、ソレハ禽獸虫魚ノ如ク、羽毛
ト鱗介トノ寒熱ニ堪エ得ル者ヲ備ヘテ居ラズ、爪牙ノ以テ食ヲ争フニ適シタル
具ガナイニヨリテアル。

【文法】 コレハ老子ノ所説ヲ擧ゲ之ヲ反駁ス。

是故君者出令者也。臣者行君之令而致之民者也。民者
出粟米麻絲。作器皿。通貨財。以事其上者也。君不出令。則
失其所以爲君。臣不行君之令而致之民。則失其所以爲
臣。民不出粟米麻絲。作器皿。通貨財。以事其上。則誅

【訓讀】 是故ニ君ハ令ヲ出ス者
ナリ、臣ハ君ノ令ヲ行ヒ之
テ民ニ致ス者ナリ、民ハ粟
米麻絲ヲ出シ器皿ヲ作り貨
財ヲ通ジ、以テ其上ニ事フ
ル者ナリ、君令ヲ出サレ
バ則其君タル所以ヲ失フ、
臣、君ノ令ヲ行ヒ之テ民ニ
致サレバ則其臣タル所以
ヲ失フ、民粟米麻絲ヲ出シ
器皿ヲ作り貨財ヲ通ジ以テ
其上ニ事ヘザレバ則誅セラ
ル。

【訓讀】 出粟米麻絲 是レ農。
作器皿 是レ工。
通貨財 是レ賈。

【訓讀】 今其法ニ曰ク、必ズ而
ノ君臣ヲ棄テ、而ノ父子ヲ
去リ、而ノ相生シ相養フノ
道ヲ禁シ、以テ其所謂ル清
淨寂滅ヲ求メヨ
ト、嗚呼其亦幸ニ三代之
後ニ出テ而ノ禹湯文武周公

【文法】 コレハ、君臣、民、皆ソノ職分アルヲ曰ヒ、下文老佛ヲ駁スルノ地ヲナス。
今其法曰。必棄而君臣去。而父子禁。而相生相養之道。以
求其所謂清淨寂滅者。嗚呼其亦幸而出於三代之後。而
不見黜於禹湯文武周公孔子也。其亦不幸而不出於三
代之前。不見正於禹湯文武周公孔子也。

孔子ニ黜ラレサルナリ、其亦不幸ニシテ、三代ノ前ニ出テズ、禹湯文武周公孔子ニ正サレザルナリ。去而君臣、而ハ汝ト同シ、以下之ニ倣ヘ。

今ソノ法ニ曰ヘルニ、佛者ノ言ニヨルト、必ズ汝ノ君臣ト云フ分ヲ棄テ去リ、一切平等ヲ旨トナシ、汝ノ父子ノ分限ヲ棄テ、ソノ因縁ヲ絶チ、誦經未來ノ幸福ヲ求ムルヲナシ、汝ノ現在ニ於テ相生シ相養フト云フヤウナ、俗極ル五月蠅生活ヲ廢シ禁ジ、以テ我ノ所謂清淨無欲寂滅爲樂ノ安心ヲ求メザルヤト、カ、ル言ヲナスコトナルガ、ア、ソレ亦夏段周三代ノ後ニ出デテ、禹湯文武周公孔子ニ黜ラレザルヲヨ、ソレ亦不幸ニシテ、三代ノ前ニ出デテ、禹湯文武周公孔子ニ正サレザルヲヨ、モシ正サレタナラ、ソノ非ヲ悟リ、カ、ル言論ヲナサルベキニ。

コレ老佛ヲ駁スルナリ、清淨ノ字ハ、老子ヲ指シ、寂滅ノ字ハ佛ヲ指スナリ。

帝之與王。其號雖殊。其所以爲聖一也。夏葛而冬裘。渴飲而飢食。其事雖殊。其所以爲智一也。今其言曰。曷不爲太古之無事。是亦責冬之裘者曰。曷不爲葛之易也。責飢之食者曰。曷不爲飲之易也。

五帝ト三王トハ、其名號サヘ異ナレ、一ハ帝ト云ヒ、一ハ王ト云フモ、何モ聖人ニ違ハナイ、今喻テ見ルト、夏ハ熱イカラ葛衣ヲ衣ル、冬ハ寒イカラ裘

帝ノ王ト其號殊ニス。雖モ其聖タル所以一ナリ。夏ハ葛シ、冬ハ裘ス、渴シ飲ミ、飢テ食フ、其事殊ニスト雖モ、其智タル所以一ナリ、今其言ニ曰ク、曷ゾ太古ノ無事ヲ爲ザルト、是亦冬ノ裘ナル者ヲ責メ、曰ク、曷ゾ之ニ葛スルノ易キ

ヲ衣ル、咽ガ乾ハ水ヲ飲ム、腹ガヒダケレバ飯ヲ食フ、コレハンノ時々ニ適應シテオス。一デアツテ、ソノ智タルニ於テ違ハナイ、ソレト同様、五帝ノ時ト三王ノ時トハ、時勢ガ相違スルニヨリ、ソノ政治ノ仕方モ相違スルノガ、當然デアルガ、今之ヲ一樣ニ考ヘテ居ルカラ、老子ノ言ニ曰ヘルニ、ズント太古ハ無爲テ治リテ居タモノデアルニ、ドウシテ太古ノ無事ヲシナイカト、コレハ實ニ時ニ適應スルト云フヲ知ラヌ議論デアツテ、コレハ亦冬ニハ必ズ裘シテ寒ヲ凌ガントスル者ヲ責メテ曰フニ、ドウシテ、葛衣ヲ衣ルノ易キヲセズ、飢ル者ノ食ヲ欲スル者ヲ責メテ、ドウシテ水ヲ飲ムノ易キヲセズト、曰フト一般ニノ、思ハザルノ甚シキ者デアル。

コレハ、老子太古無事ノ説ヲ擧ゲ來リ、單ニ老子ヲ駁撃ス、喻ヲ取ルノ所極メテヨシ。

傳曰古之欲明明德於天下者。先治其國。欲治其國者。先齊其家。欲齊其家者。先修其身。修其身者。先正其心。欲正其心者。先誠其意。然則古之所謂正心誠意者。將以有爲也。

傳ノ古書ニ曰ヘルニ、古ノ人ニシテ、自分ノ明ナル徳ヲ、大ニ天下ニモ明

顯傳ニ曰ク、古ノ明德ヲ天下ニ明ニセント欲スル者ハ、先其國ヲ治ム、其國ヲ治メント欲スル者ハ、先其家ヲ齊フ、其家ヲ齊ヘント欲スル者ハ先其身ヲ修ム、其身ヲ修メント欲スル者ハ先其心ヲ正ス、其心ヲ正サント欲スル者ハ先其意

ナ誠ニス、然ラハ則古ノ所謂ル心ヲ正シ意ヲ誠ニスル者ハ、將ニ以テ爲ス有ラントスルナリ。

ニシ、天下ノ大ヲ治メント欲スル者ハ、先其國カラ治ムル、其國ヲ治メント欲スル者ハ、先其家ヲ齊ヘ治ムル、其家ヲ齊ヘ治メント欲スル者ハ、先其一身ヲ修ムル、其一身ヲ修メント欲スル者ハ先其心ヨリ正シテ行ク、其心ヲ正サント欲スル者ハ先其意ヲ誠ニスルヤウニスル、トアルガ、然ラバ則古人ノ所謂ル心ヲ正シ、意ヲ誠ニスルト云フ者ハ、將ニ大ニ爲スアラントスルノ素ヲ養フモノデアツテ、天下ヲモ治メントスル者ハ、正心誠意ヨリ始ムベキデアル。

コレハ大學ノ言ヲ引用スルナリ、正心誠意ノ字、重シ、コレハ下文佛者ヲ駁セントスルノ案ナリ。

今也欲治其心而外天下國家滅其天常子焉而不父其父。臣焉而不君其君。民焉而不事其事。

爾今ヤ其心ヲ治メント欲シ、天下國家ヲ外ニシ、其天常ヲ滅シ、子トシテ其父ヲ父トセズ、臣トシテ其君ヲ君トセズ、民トシテ其事ヲ事トセズ。

君臣父子ハコレ天ノ自然ノ道ナリ、今コレヲ滅却ス、コレ天常ヲ滅スルナリ。

今ヤ佛者モ、心ヲ治ムルト云フコトヲ口ニスルガ、彼等ハ死生ヲ一ニシ、寂滅ト云フナリテ心ヲ治ムルノ方便トナシテ居ルヤウダガ、眼中天下ト曰ヒ、國家ト云フ觀念ナク、人間トシテ勉ムベキ天然ノ常道ヲ滅シ、子デアリナガラ、父子ノ縁ヲ絶チ、ソノ父ニ父トシテ事ヘズ、臣トシテ其君ニ臣トシテ事ヘズ、民トシテ、惟遊食ノ徒トナリ、農工賈ノ伍ニ入ラズ、粟米麻絲ヲ出スコモセズ器皿ヲ作ルコモセズ、貨財ヲ通ズルコモセズ、凡テノ義務ヲ免レ、民ノ職分ヲ盡スコモセズ。

コレハ佛者ヲ駁撃スルナリ。

孔子之作春秋也、諸侯用夷禮則夷之、夷而進於中國、則中國之經曰、夷狄之有君、不如諸夏之亡。詩曰、戎狄是膺、荆舒是懲。今也舉夷狄之法、而加之先生之教之上、幾何其不胥而爲夷也。

爾孔子ノ春秋ヲ作ルヤ、諸侯夷禮ヲ用フレバ則之ヲ夷ニシ、夷ニシテ中國ニ進ムバ、則之ヲ中國ニス、經ニ曰ク、夷狄ノ君アル諸夏ノ亡キニ如ズ、詩ニ曰ク、戎狄是膺、荆舒是懲、今ヤ夷狄ノ法ヲ擧ゲ、之ヲ先王ノ教ノ上ニ加フ、幾何カ其胥テ夷タラザランヤ

孔子ノ春秋ヲ作ラレタル、諸侯ニシテ夷狄ノ禮ヲ用キタレバ、則夷狄ヲ以テ之ヲ待遇シ、タトヒ、夷狄デアレバトテ、中國ニ進ミ中國ノ禮ヲ用フレバ、則中國ノ禮法ヲ以テ、之ヲ待遇スル、故ニ論語ニ曰ヘリ、夷狄ニ君アリトモ、惟君アルト云フ名ノミニテ、名分ト云フモノモ判然セズ、君臣ノ禮儀作法モナイノデアアルカラ、諸中國ノ君ノ無キニモ及バスト、又詩經ニハ、戎狄ハ是膺チ平ゲ、荆舒是懲伐ツトアルガ是ノ如ク夷狄ハ何處迄モ、コレヲ征伐シテ中國ニ入ラシムベキ者デナイ、今ヤ夷狄ノ一法タル佛者ノ法ヲ尊崇シ、之ヲ古先王ノ教ノ上ニ加フルト云フ有様デアアルカラ、天下ノモノガ、ナンポーカ、相胥テ夷狄ノ風俗トナラザルベキゾ、夷狄ノ風ニ赴クハ、又是非ナキ次第デアル。

荆舒、荆ト曰ヒ、舒ト曰フ、皆夷ナリ。

夷狄之法、ソノ天常ヲ滅スル者ハ夷ナリ。

コレハ春秋、論語及詩經ヲ引キ夷狄ノ賤ムヘキヲ證シ、今日反テ之ヲ尊崇スルノ非ヲ極言セシナリ。

翻天所謂先王ノ教ナル
 モノハ何ヤ(以下略)其文
 ハ詩書易春秋其法ハ禮
 樂刑政其民ハ士農工賈
 其位ハ君臣父子師友賓主昆
 弟夫婦其服ハ麻絲其居
 ハ宮室其食ハ粟米蔬果魚
 肉其道タル明易ク其
 教タル行ハレ易シ

爾雅見弟 コンテイ兄弟ハ
 同シ

夫所謂先王之教者何也博愛之謂仁行而宜之謂道
 由是而之焉之謂道足乎已無待於外之謂德其文詩書
 易春秋其法禮樂刑政其民士農工賈其位君臣父子師
 友賓主昆弟夫婦其服麻絲其居宮室其食粟米蔬果魚
 肉其爲道易明其爲教易行也

ソレ所謂先王ノ教トハ果シテ何デアルカ(略ス上文ヲ參照スベシ)其文
 章ハ、詩經、易經、春秋ノ書ニシテ、經文ニ限ラナイ、其法ハ禮樂刑法政治ニ
 シテ、佛ノ如ク懺悔シ、受戒ト云フニ限ラナイ、其民ハ士農工賈デアツテ、必
 ズ出家スル要ハナイ、其位ハ君臣、父子、夫婦、師友、賓主、昆弟デアツテ、
 天常ヲ減スルト云フコトハナイ、其服ハ麻ナリ絲ナリテ織リナシタルモノデ、墨
 染ノ法衣ヲ必要トセヌ、其居リ家ハ、宮室ニ住居シ、必ズ寺塔ヲ要セヌ、其食
 物ハ粟米野菜、果物魚肉ノ類デアツテ、腥者ヲ食ハズ精進ヲスルト云フコトハナ
 イ、ソノ道タル、空理ニ流レナイカラ、誰ニテモ明メ知リ易ク、其教タル人倫
 日用ノ外ニ出デヌコトデアルカラ實際ニ行ハレ易クアル

文法 コ、ニ至リ、夫所謂先王之教者何也一ノ一問ヲ提起シ、篇首ノ綱領ニ筆ヲ
 反ヘシタル筆力尤重シ、ソレヨリ枝葉相生ジ、明メ易スク行ハレ易シト云フテ

收束シタル所、上文ノ考佛ノ誕及怪ト相反應セシメシ用意ノ點、誠ニ周密ナリ
 讀者ヨク々心スベシ

是故以之爲己則順而祥以之爲人則愛而公以之爲心
 則和而平以之爲天下國家無所處而不當是故生則得
 其情死則盡其常郊焉而天神假廟焉人鬼享曰斯道也
 何道也曰斯吾之所謂道也非向所謂老與佛之道也

爾雅見弟 コンテイ兄弟ハ
 同シ

カ、ル譯デアアルカラ、是ノ故ニ、コノ先王ノ道ヲ以テ己ノ一身ヲ爲ムル時
 ハ、誠ニ順當ニテ自然ニ祥瑞ヲ得テ幸福ヲ得ルコトガ出來ル、コレヲ以テ人ヲ爲
 ムレバ、博ク愛シテ偏私スルナク公平デアアル、コレヲ以テ己ノ心ヲ爲ムレバ、
 實ニ温和ニシテ平安デアツテ、煩悶苦痛ヲ感ズルコトナク、コレヲ以テ天下國家
 ヲ爲ムレバ、萬事其宜キヲ得テ、處置スル所ノモノ、其至當ヲ得ヌト云フコトハ
 ナイ、是ノ故ニ此世ニ生存スル間ハ、君臣父子夫婦賓主昆弟ノ間ニ至ルマデソ
 ノ自然ノ情愛ヲ全シ得ルシ、死シテハ葬埋祭祀ヲナシテ天然ノ常道ヲ盡スコトヲ
 得ル、郊野ニ於テ天ヲ祀レバ其至誠ニ感ジテ天神モ降り至リ、宗廟ニ於テ其祖
 先ヲ祭レバ祖先モノノ孝敬ニ感ジ其祭ヲ享ク、實ニ善盡シ美盡スノ道デアアルガ
 斯道ヤ何ノ道ゾ、曰クコレガ我ノ謂フ所ノ道デアツテ、向ノ謂フ所ノ老佛ノ道

ニアラズ。

文法 コレ我道ノ本源ナルヲ明カシ、向ノ老佛ノ道ニアラザルヲ喝破シ、之ヲ收束シ、更ニ下文、道統ヲ以テ自任スルノ意ヲ呼起ス。

堯以是傳之舜。舜以是傳之禹。禹以是傳之湯。湯以是傳之文武周公。文武周公傳之孔子。孔子傳之孟軻。軻之死不得其傳焉。

訓詁 (此節別ニ解ヲ要セズ推知スベシ) サテ堯舜禹湯文武周公孔子ニ至ルマデ、次カラ次ギト、斯道ヲ以テ傳ヘ來ツタガ、軻ノ死後、誰ガ傳ヘタカ、其傳ヲ得ス。

文法 不得其傳焉、コノ此一句、尤韓公用意ノ所ニシテ、孟軻ノ後、自分ガ其傳ヲ得ルノ意ヲ寓シタルナリ。

荀與楊也。擇焉而不精。語焉而不詳。由周公而上。上而爲君。故其事行。由周公而下。下而爲臣。故其說長。

訓詁 荀卿ト前漢ノ楊雄トハ、何モ著書ガアルナレド、兩子ノ擇ム所、未ダ精ニシテ純粹ナリトハ云ヘヌ、ソノ語ル所ガ、未ダ詳密ナリトス可ラズ、故ニ孟軻ト並稱スルコトヲ得ナイ、サテ周公ヨリ以前ハ堯舜禹湯文武ノ如キ皆上君ノ位ニ

訓詁 堯ハ是ヲ以テ之ヲ舜ニ傳ヘ、舜ハ是ヲ以テ之ヲ禹ニ傳ヘ、禹ハ是ヲ以テ之ヲ湯ニ傳ヘ、湯ハ是ヲ以テ之ヲ文武周公ニ傳ヘ、文武周公ハ之ヲ孔子ニ傳ヘ、孔子ハ之ヲ孟軻ニ傳ヘ、軻ノ死スル其傳ヲ得ズ。

訓詁 荀ト楊トハ擇ム焉、精ナラズ語ル焉、詳ナラズ周公ヨリ上ハ、上ニ君タリ、故ニ其事行ハル、周公ヨリ下ハ、下ニ臣タリ故ニ其說長シ。

訓詁 其說長。詩經ニ中庸ノコトハ其說長シトアルニ本ツクナ、コノ處ハ其談徒ニ長ク當世ニ行フ能ハザルヲ云フナリ。

訓詁 然ラバ則之ヲ如何セバ可ナラン、曰ク塞ザレバ流レズ止メザレバ、行ハレズ其人チ人ニシ、其書チ火ニシ其居チ處ニシ、先王ノ道チ明ニシ以テ之ヲ道キ、鰥寡孤獨廢疾ノ者、養フアルナリ、其亦其可ナルニ庶カラシ。

訓詁 鰥寡孤獨。老テ妻ナキヲ鰥ト云ヒ、老テ夫ナキヲ寡ト云ヒ、幼ニ父ナキヲ孤ト云ヒ、老テ子ナキヲ獨ト云フ。

アリタルニヨリ、其道モ實際ニ行ハレタガ、周公ヨリ以後孔子孟軻ニ於テハ下ニ居リテ、臣デアアルカラ、空言世ニ施スナシノ類デアツテ當世ニ行ハズ、惟其言論ノミ後世ニ存シタト云フ次第ダ。

文法 「由周公而上」ノ上ノ字ハ時代ニ付テ言ヒ、「上而爲君」ノ上ハ位ニ付テ云フ、下ノ字用法亦同ジ、字法ニ注意スベシ。

然則如之何而可也。曰不塞不流。不止不行。人其人。火其書。廬其居。明先王之道。以道之。鰥寡孤獨廢疾者有養也。其亦庶乎其可也。

訓詁 然ラバ則之ヲドツシテ宜シキカ、曰ク老佛ノ道ヲ塞ガナイ時ハ、聖人ノ道ハ世ニ流レ流布シ行キ渡ルコトハナイ、老佛ノ道ヲ止メナイ已上ハ、聖人ノ道ハ、決シテ行ハレナイ、ソコデ、ソノ老佛ノ人ヲバ還俗サシテ、本ノ平民ニシテ仕舞、老佛ノ書ヲ火ニシテ焚キ拂ヒ、ソノ寺觀ノ如キハ、之ヲ平家同様ニシカク塞ギ止メタ上ニテ、先王ノ道ヲ明ニシテコノ民ヲ道クヤウニナシ、果シテ老佛ノ中ニハ、鰥寡孤獨若クハ廢疾トテ病氣ノ爲ニ終生働ケヌ役介者モアローカラ、此等ノ者ハ又別ニ法方ヲ立テ、之ヲ養フヤウニスル、是ノ如クシタナラバ、其レ亦ヨキデアローヨ。

文法 如之何而可也、庶乎其可也、可ノ字呼應ス、明先王之道、先王之字、コレ

點眼。

與孟簡尙書書

韓昌黎

愈白。行官自南廻。過吉州。得吾兄二十四日手書數番。忻
悚兼至。未審入秋來。眠食何似。伏惟萬福。

孟簡尙書ニ與ル書。
廻リ、吉州ヲ過ケルトキ、
吾兄二十四日ノ手書數番
ヲ得タリ、忻悚兼至ニ至ル、
未ダ審ニセズ秋ニ入りテ
來、眠食ノ何似ナ、伏
シテ惟ルニ萬福。

孟簡、孟ハ姓、名ハ簡、字ハ幾道、尙書ハ官名、韓愈ノ知人ナリ、此書ハ
辨妄ノ書ナリ、コレハ韓愈ガ時ノ天子憲宗皇帝ニ佛骨表ヲ上リタル爲、ソノ御
怒ニ觸レ遠ク潮州ノハテニ貶セラレタル時、韓愈モ遠地ノコトユヘ、ツレノ
餘、一僧ト相往來シタルニヨリ、ユクリナクモ、韓愈モ貶謫ニ遇ヒ、佛法ニ歸依シ
タリト傳ヘラル、ニ至リタレバ、之ヲ聞傳タル孟簡ハ、固ヨリ佛法ヲ信仰スル
男デアルカラ、韓愈ガソノ傾向アルトノコトヲ大ニ喜ビ、一書ヲ與ヘ、近頃佛
法ニ歸依スルトハ、殊勝ノコトナリトノ意ヲ言ヒ送レリ、ソコデ韓愈ハ、ソノ返
書ニ、決シテ左ルコトナキヲ解説シ、傳者ノ妄ヲ辨ジタルナリ。

行官 今ノ郵便チ主ル
官ナリ。
孟簡吾兄 孟簡チ親ミテ云
フナリ。
手書數番 數番ハ數枚
ト云フガ如シ、此字舊說ニ

韓愈ガ白ス、郵書配達ノコトヲ主ル役人ガ、南方ヨリ廻リ吉州ト云フ所ヲ
過通ル時ニ於テ吾兄トモ親ムベキ知人ノ孟幾道ガ自ラ書キタル書狀二十四日發
ノモノ數枚モアル手紙ヲ得タ、久シ音信モシナカツタデ、一度ハ、音信ノアツ
タヲ忻ビ、一度ハ、モシモ何カ變事ノアツタノデハナカローカト、悚レタコト
デアツタ、秋ニ入りテヨリ以來、吾兄ノ眠ルコト食スルコト如何即起居ノ様子如

ハ、二十四日ノ手書ヲ得、
數番シテト下ニ付テ讀ミ、
數番ノ字ナ、何邊トナク、
クリカヘシテ讀ムノ意ニ取
ルハ宜シカラズ。

如何ヲモ知ラナカツタガ、今來書ニ接シ、ヤツト安心ヲシタ、伏シテ惟ニ先ハ
御健勝デ萬福目出度コトデアアル。

以上久濶ニ來書ヲ得シヲ云フ、コレハ書牘ノ體ナリ。
來示云。有人傳愈近少信奉釋氏者此傳之者妄也。

悚ハ恐ハナリ。
來示云。有人傳愈近
少信奉釋氏者此傳之
者妄也。

來書ノ旨ニヨルト、何人トモ知レズ、愈ハ近頃ニナリテ、少ク釋氏ノ佛法
ヲ信仰セリト傳ヘタル者ガアルトノコトナルガ、コレハ以テノ外ノコトデ、決シテ
左様ナルコトハナイ、此ハ之ヲ傳ル者ノ妄言デアアル。

文法

潮州時有一老僧號大顛。頗聽明識道理。遠地無可與語
者。故自山召至州郭。留十數日。實能外形骸。以理自勝。不
爲事物侵亂。與之語雖不盡解。要自胸中無滯礙。自以爲
難得。因與來往。

潮州時ニ一老僧アリ
大顛ト號ス、頗ル聰明ニシ
テ道理ヲ識ル、遠地與ニ語
ルベキ者ナシ、故ニ山ヨリ
召シ、州郭ニ至リ、留レ十
數日實ニ能ク外形骸ヲ外ニ
シ、理ヲ以テ自ラ勝チ、
事物ノ爲ニ侵亂セラレズ、
之ト語ル、盡ク解セズト
雖モ、要スルニ自ラ胸中
滯礙ナシ、自リテ以テ爲
得難シト、因リテ與ニ來往
ス。

我ノ潮州ニ貶セラレタル時、一人ノ老僧ガアリタ、大顛ト號シテ居タ、頗ル
聰明ニシテ道理ヲヨク辨テ居ルト聞キ及ンダ、サテ潮州ノ地ハ誠ニ遠方ノ偏地
デアルカラ、共ニ話セル相手モナイ、因リテツレノ話相手ニセンモノト、故
ニ山ヨリ召ヒ寄セ、潮州ノ城郭ニ至ラシメ、留メテ置クコトカ十數日ノ間ト云フ

〔福〕聰明。聰ハ耳ノサトキナリ、明ハ、目ノアカルキナリ。
 〔福〕外形骸。自分ノ肉體ヲ外ニスルトテ、更ニ肉體ノ欲ノ爲ニ心ヲ勞スルナキヲ云フナリ。
 〔福〕以理自勝。道理ヲ識ルヲ以テ、私欲ヲ制スルナリ故ニ自勝ト云フ。
 〔福〕無滯礙。道理ヲ識ル故ニ、胸中自然トワダカマリナキナリ。

〔福〕神ヲ祭リ海上ニ至ルニ及ビ、遂ニ其虛ニ造ル、袁州ニ來ルニ及ビ、衣服一留メテ別ヲ爲ス、乃人ノ情、其法ヲ崇信シ、福田利益ヲ求ルニ非ラザルナリ。
 〔福〕福田利益。本佛語、佛ヲ信仰シ、奉謝ヲナスモノハ、恰モ田地ニ種ヲ蒔キ、

收益ノ福ヲ得ルニ同シ、故ニ福田利益ト云フナリ。
 〔福〕孔子云フ、丘ノ禱ル久シ矣、凡、君子已ヲ行ヒ身ヲ立ツル、自法度アリ、聖賢事業著シテ方冊ニ在リ、教ベク、師トスベシ、仰テ天ニ愧ス、伏シテ人ニ愧ズ、内、心ニ愧ス、積善積惡、殃慶各自ラ其類ヲ以テ至ル何ゾ聖人ノ道ヲ去リ、先王ノ法ヲ捨テ而シテ夷狄ノ教ニ從ヒ以テ福利ヲ求ムニ有ランヤ。

〔福〕丘之禱久矣。論語ニ、子ノ疾、病ナリ子路禱ラント請フ、子曰ク、丘ノ禱ル久シ矣。
 〔福〕積善積惡。易經ニ、積善ノ家ニハ餘慶アリ、積不善ノ家ニハ餘殃アリ、トアリ、之ヲ引用スルナリ。
 〔福〕詩ニ云ハズヤ、豈弟ノ君子、福ヲ求メテ回ラズ、

者話シテ見タガ、實ニ聞キシニ違ズ、形骸肉體ノ欲ト云フ者ヲ離レテ、世事ニ累ハサル、ト云フコトモナク、道理ヲ以テ己ノ私欲ニ勝チ、世ノ事々物々色々ノ事ニ遇フモ、ソレ等ノ爲ニ、ソノ心ヲ侵レ亂ル、ト云フコトモナク、自然ト世ノ塵埃ノ外ニ拔出テ居ル所ガアル、之ト談シ語ルニ、盡ク彼ニシテ我意ヲ了解セザルモ、要スル處自然ト彼ノ胸中ニ物ノト、コウリワダカマリト云フモノモナク、至極アツサリトシテ居ル、ソコデ我ガ思フニナカク、ニ僧トシテハ得難キ人物デアルト、因テ與ニ來モシ、往モシ、暫ク交際シタ。

〔福〕コレ傳者ノ佛ヲ信ズルト傳ヘタル由來ヲ叙シ、下文ソノ妄ヲ辨ズルナリ。
 及祭神至海上。遂造其虛。及來袁州。留衣服爲別。乃人之情。非崇信其法。求福田利益也。

〔福〕神ヲ祭リ海上ニ至ルニ及ビ、道ノ序ニ遂ニ大顛ノ虛ヲ訪テ、ソノ後、我ガ袁州ノ刺史トナルニ及ビ、大顛ト別ル、ニ當リ、衣服ヲ送別ノ爲ニ留メ與テ別ヲナシタガ、コレハ人情ト云フ者デアツテ、何ニモ、ソノ佛法ヲ崇ビ信ジ、福ヲ求トメ利益ヲ求ムル考ニ非ラズ。

〔福〕コレ傳者ノ妄ヲ辨ズルナリ、之ヲ斷ズルニ人情ノ字ヲ以テス、尤好シ。
 孔子云、丘之禱久矣。凡君子行已立身。自有法度。聖賢事業。著在方冊。可效可師。仰不愧天。伏不愧人。內不愧心。積善積惡。殃慶各自以其類至。何有去聖人之道。捨先王之法。而從夷狄之教。以求福利也。

〔福〕孔子ノ云ハル、ニ、丘我ハ其身ヲ修メ罪ヲ天ニ得ナイヤウニ、平生我心ニ祈リテ居ルコトガ久シキコトデアルカラ、今別ニ神ニ禱ルノ必要ヲ見スト、凡テ是ノ如クデアツテ、君子タルモノガ、己ヲ行ヒ、我身ヲ立テ、自分ノ立脚地ヲナスニ於テハ、自然ノ法度ト云フモノガアル、ソレハ何デアアルカト云ヘバ、古聖賢ノ言行事業ト云フモノガ、レキレキト著述サレテ、書物ノ上ニ記載サレテアル、コレヲ效ベク、之ヲ師トスベキデアアル、カクシテ、己ノ身ヲ修メ、世ニ處シテ行カンニ、誠ニ心事ハ公明正大ナルモノデアツテ、仰テ天ニ愧ヅルコトモナク、伏シテ人ニ愧ヅルコトモナク、内我心ニ省ミテ心ニ愧ヅルコトモナイ、善事ヲ積メバ慶ガアル、惡事ヲ積メバ殃ガアル、コレハ自ラ自分ガナシタ行事ノ類ニヨリテ至ルノデアアル、何ゾ聖人ノ道ヲ去リ、先王ノ法ヲ捨テ、夷狄ノ法ニ從ヒ、福田利益ヲ求ルヤウナクシヤウゾ。

〔福〕孔子ヲ以テ表的トナシ、決シテ佛ニ倣セザルヲ斷ズ。
 詩不云乎。豈弟君子。求福不回。傳又曰。不爲威惕。不爲利

傳ニ又曰ク、威ノ爲ニ揚レズ、利ノ爲ニ疚、カラズ、假如釋氏能人ノ與ニ禍福爲ハモ、道ヲ守ル君子ノ懼ル所ニ非ラザルナリ、況ヤ萬々此理無キナヤ。

詩經ニ云ヘルニ、豈弟從順スナオナル君子ハ、幸福ヲ求ムルニ於テモ、決シテ邪ナル不正ナルヲヲナシテ、求メヤウトハセス、傳ニ又曰ヘルニ、威光ノ爲ニ揚レルヲヲセズ、利益ノ爲ニ心ヲ疚シムルヲヲセスト、コレ等ノヲヲ心得ヘ自分ノ所信ヲ實行スルノガ君子タルノ本分本領デアル、ヨシシバ彼佛ガヨク人ノ爲ニ禍福ヲ與ルコトヲナストスルモ、聖賢ノ道ヲ守ル君子ノ決シテ恐懼スル所デナイ、マシテ萬々カ、ル道理ノナイニ於テ、何ントシテ恐ル、ヲヲナソウゾ。

【文法】 コレ理ヲ以テ斷ジ、決シテ信奉スルナキヲ解説ス。

且彼佛者果何人哉。其行事類君子耶。小人耶。若君子也。必不妄加禍於守道之人。如小人也。其身已死。其鬼不靈。天地神祇。昭布森列。非可誣也。又肯令其鬼行胸臆。作威福於其間哉。進退無所據。而信奉之。亦且感矣。

【譯註】 且彼佛ナル者ハ果シテ其前生ハ如何ナル人デアアルカ、ソノ生前ノ行爲事業ハ君子ノ人ニ類スルカ、ハタ小人ニ類スルカ、若君子ノ人デアレバ、必ズ妄ニ

論且彼佛ナル者、果シテ何人ゾヤ、其行事君子ニ類スルカ、小人ガ、若君子ナラバ、必ズ妄ニ禍ヲ道ヲ守ルノ人ニ加エズ、如小人ナラバ、其身已ニ死シ、其鬼靈ナラズ天地神祇昭布森列誣アキニ非ラザルナリ、又肯テ其鬼ニ胸臆ヲ行ヒ、威福ヲ其間ニ作サシメ

シヤ、進退據ル所無ク、而シテ之ヲ信奉スル亦且惑ヘリ矣。

【天地神祇】 天ニ在リテ神ト曰ヒ、地ニ在リテ祇ト曰フ。

【昭布森列】 昭ハ明ナリ、布ハ布陳ノ意、並ナリ、森列、森ハ森嚴ノ意、如何ニモトウシキナリ。

【胸臆】 オモワクト云フガ如シ。

【福ヲ作ストアリ】 福ヲ作ストアリ。

【且愈釋氏ヲ助ズ而シテ之ヲ排スル者、其亦説有リ】

【排】 ハチシノケルノ意、コレヲ撃チンバヘ寄セツケヌ意、故ニ排撃ト訓ス、韓非說難ニ悟言排撃スル所ナシノ字アリ、以テ見ルベシ

【孟子云フ、今ノ天下楊ニ之カザレバ則墨ニ之ク、

禍ヲ道ヲ守ルノ人ニ加ヘル害ノモノデナイ、如小人デアレバ、其身ハ已ニ死シ土ト化シ去リ、ソノ鬼ハ靈驗ガアルベキデナイ、天地ノ神祇ガ上下ニアリト昭ニ布陳ビ、嚴ニ列テ臨マシマス以上ハ決シテ此等上下ノ神祇ヲ誣欺クハ出来ナイ、是ノ如ク神祇ノ照覽アラセラル、上ハ、ソノ據ル所ナキ佛ノ鬼ヲシテ佛其者ノ胸臆ヲ行ヒ思フ儘ノヲヲナシ、威ヲ下シ、福ヲ下スト云フヤウナヲ其間ニナサシムルヲ肯テサセルト云フハ斷ジテナイ、之ヲ進メテ君子トスルモ、退ケテ小人トスルモ、何ニシテモ、更ニソノ根據トスル所ナク、之ヲ信奉スルト云フハ、亦且惑テ居ルト云フモノダ。

【文法】 類君子耶、小人耶、左右ヨリ之ヲ夾撃シ、道ヲ守ル君子ノ恐懼スベキニアラザルヲ斷定ス、議論更ニ痛快ヲ覺フ。

且愈不助釋氏而排之者其亦有説。

【譯註】 且韓愈ガ佛ヲ助ケズ、而之ヲ排撃スルト云フハ、其亦譯ガアル。且ノ字ヲ以テ、一步ヲ推開シ、下文ヲ起ス。

孟子云、今天下不之楊則之墨。楊墨交亂而聖賢之道不明。聖賢之道不明則三綱淪而九法斁。禮樂崩而夷狄橫幾何其不爲禽獸也。故曰能言拒楊墨者聖人之徒也。楊

子雲曰。古者楊墨塞路。孟子辭而闢之。廓如也。

楊墨交亂。九法。數。禮樂崩。夷狄橫。幾何。其禽獸爲。アランヤ。故。二曰。能言。フ。楊墨。ナ。距。ク。者。ハ。聖人。ノ。徒。ナリ。楊。墨。子。云。曰。古。者。楊。墨。路。チ。塞。ク。孟。子。辭。シ。テ。之。ヲ。闢。ク。廓。如。タリ。

孟子云。今ノ天下ノ風潮如何ト見ルニ、天下ノ道德ヲ談ズル者ガ、揚朱自愛ノ説ニ傾キ之ザレバ、墨翟兼愛ノ説ニ傾キ之ク、サテ楊墨ノ天下ニ害毒ヲ流スト云フコトハ、實ニ甚シキ者デアツテ、楊墨ガ交々入り亂レテ、天下ニ蔓延シテクルト、周孔聖賢ノ道ハ世ニ明ニナラヌコトニナル、聖賢ノ道ガ世ニ明ニナラヌコトニナルト、君臣、父子、夫婦ノ三綱ノ道モ淪レ箕子ノ作リシ九法モ數レ、禮樂モ崩レメチャクニナリテ仕舞、夷狄ガ益々横領跋扈シ始未ノ付ヌコトニナリ、天下ノ人ハ悉皆禽獸ノ行爲ヲ爲シテ更ニ憚ルコトヲ仕ナイト云フヤウニナル、故ニ孟子ノ猶重ネテ曰ヘルニ能議論シテ楊墨ノ道ヲ距キ拒ム者ハ、聖人ノ徒デアルト、前漢ノ楊雄モ亦曰ヘルニ、古者楊墨ノ道ガ、天下ノ路ヲ塞ギ、至ル所、楊墨ノ徒ナラザルナキ有様デアツタガ、孟子ガ議論シテ之ヲ押退テ塞イデ居ル路ヲ開キ廣々ト通行ノ出來ルヤウニナシ、聖賢ノ道ヲ行フニコトニカメタリト。

儒道大楊墨行ハレ正道廢ス且將數百年ナラントス

孟子ノ心ト同一ニシテ、聖人ノ徒タルヲ自任スルヲ言ハントスルノ地ヲナスナリ。夫楊墨行正道廢且將數百年以至於秦卒滅先王之法。

孟子ノ心ト同一ニシテ、聖人ノ徒タルヲ自任スルヲ言ハントスルノ地ヲナスナリ。

以テ秦ニ至リ、卒ニ先生ノ法ヲ滅シ、經書ヲ燒除シ學士ヲ坑殺ス、天下遂ニ大ニ亂ル。

燒除經書坑殺學士天下遂大亂。

ソレ楊墨ノ道ガ行ハレルト、正道ハ自然ニ頽廢スル、マサニ數百年ヲ經テ秦ノ始皇ニ至リテ、彼李斯ガ古先聖王ノ法ヲ滅シ、詩書六經ヲ燒拂ヒ、學士ヲ坑ニ入レ埋メ殺シタ、是ニ由リ、天下遂ニ大亂トナツタ。

コレ楊墨ノ害毒、正道ノ頽廢ヨリ秦ノ焚書坑殺ノコトニ及ブ、周戰國以後ヨリ秦ニ至ル迄ノ事ヲ叙述ス。

及秦滅漢興且百年尙未知修明先王之道其後始除挾書之律稍求亡書招學士經雖少得尙皆殘缺十亡二三故學士多老死新者不見全經不能盡知先王之事各以所見爲守分離乖隔不合不公二帝三王群聖人之道於是大壞。

圖秦滅漢、漢興ルニ及ビ且二百年ナラントス、尙未ダ先王ノ道ヲ修明スルヲ知ラズ、其後始テ挾書ノ律ヲ除キ、稍亡書ヲ求メ學士ヲ招ク、經少得ルト雖モ、尙皆殘缺、十ニ二三ヲ亡フ、故學士多ク老死シ新ナル者全經ヲ見ズ、盡ク先王ノ事ヲ知ル能ハズ、各見ル所ヲ以テ守チ爲シ、分離乖隔合セズ、公ナラズ、二帝三王群聖人ノ道、是ニ於テ大ニ壞ル。

秦ガ滅ビ、漢興リ天子トナルニ及ビ、其間マサニ數百年位モ經タデアローガソレデモ、尙未ダ古先聖王ノ道ヲ修メ明ニスルコトヲ知ラナカツタ、其後惠帝ノ四年ニ及ビ、始メテ天下ニ令シテ挾書ノ律ヲ除キ、少ヅ、散亂シ殘亡ノ書物ヲ探シ求ムルヤウニシタル結果、經書ノ類、少々ハ之ヲ得タトハ云ヘ、完全ナル

時、詩書ヲ挾ミ持ツ者ハ罪
スルノ法律ナリ、惠帝ノ時
ニ亦リ、之ヲ廢ス。

者トテハナク、皆殘亡シ缺本ニナリテ仕舞、十冊ノモノナラ、二三冊ハ缺テ居
ルト云フ次第ニテ、當時故老ノ學士共ハ多ク老年シテ死シ、新ナル學士先生ハ
完全ナル經書ヲ見ルコトナク、ソコテ盡ノ古先聖王ノコトヲ知ルコト能ハズ、各自一
家ノ見ヲ立テ、之ヲ固守スルト云フ有様デ、意見ハ分離シ乖キ隔テ、マチノ
ワレノニナリ、一致シテ合ハズ、一人ノ私見ニシテ公ナラズ、所謂ル船頭
多ク山ヲ乗ルト云フ次第デ、堯舜、禹湯文武、及ビ多クノ聖人ノ道ガ、是ニ於
テ大ニ壞亂スルト云フコトニナツタ。

【文法】 コレ秦漢當時ノ事ヲ叙ス。

後之學者無所尋逐以至於今泯泯也。其禍出於楊墨肆
行而莫之禁故也。

【訓】 後ノ學者 尋子逐フ所
ナシ、以テ今ニ至ル迄、泯
々タルナリ、其禍楊墨
肆行シ、之ヲ禁ズル莫キニ
出ヅル故ナリ。

【訓】 後ノ學者モ、敢テ、其道ノ根本ヲ尋テ逐フテ研究スルト云フコトモナク、以
テ今日ニ至ル迄、泯々トシテ明ニナラヌコトナル、其禍ハ楊朱墨翟ノ道ガ肆
ニ天下ニ行ハレ、之ヲ誰一人トシテ辭シテ禁ズル孟子ノ如キ聖人ノ徒ノナキニ
由ルノデアアル。

【文法】 コレハ今日ノコトヲ叙ス、楊墨肆行之ヲ禁ズルモノナシ、故ニ我將ニ之ニ任
ゼントスル大抱負ヲ吐ントスルナリ、意氣天ニ冲スト云フベシ。

孟子雖聖賢不得位空言無施雖切何補然賴其言而今
之學者尙知宗孔氏崇仁義貴王賤霸而已。

【訓】 孟子聖賢ト雖モ位ヲ得
ズ、空言施ス無シ、切ト
シテ、

孟子ハ聖賢ノ資格ヲ具ヘタルモ、位ヲ得テ居ナイカラ、所謂ル下ニシテ臣
タリデ、ソノ言説スル所モ空言ニ止マリ、世ニ施行スルコトガ出來ヌ、如何ニ事
情ニ切ナリトモ何ノ裨補スル所モナイ。

雖モ何ソ補セン、然レドモ
其言ニ賴リ、今ノ學者尙孔
子ヲ宗トシ、仁義ヲ崇ビ、
王ヲ貴ビ、覇ヲ賤ムヲ知ル

【文法】 コレ孟子ヲ抑フ。
然レドモ、ソノ孟子ノ言論シタルコトヨリ今ノ學者ガ、尙孔子ヲ本尊トシテ尊
ビ、仁義ヲ崇ビ、功利ヲ退ケ、王道ヲ貴ビ、霸道ヲ賤ムヲ知リタ。

【文法】 コレ孟子ヲ揚グ。
其大經大法皆亡滅而不救。壞爛而不收。所謂存十一於
十百。安在其能廓如也。然向無孟子。則皆服左衽而言侏
離矣。故愈嘗推尊孟子以爲功不在禹下者爲此也。

【訓】 ソノ大ナル經、大ナル法、經書、法度ノ類ハ皆亡滅シテ救フコトヲナサズ
壞レ亂レテ收拾スルコトヲナサズ、更ニマトマリヲ付ケズ、所謂ル十一ヲ千百ノ
中ニ存スルコトヲ得タト云フ有様デアアルカラ、ドウシテ、之ヲ闢ク、廓如タリ
ト云フ迄ノコトヲ得タト云フ有様デアアルカラ、ドウシテ、之ヲ闢ク、廓如タリ
ト云フ迄ノコトヲ得タト云フ有様デアアルカラ、ドウシテ、之ヲ闢ク、廓如タリ
ト云フ迄ノコトヲ得タト云フ有様デアアルカラ、ドウシテ、之ヲ闢ク、廓如タリ

【訓】 其大經大法ハ皆亡滅
シテ救ハズ、壞爛シテ收メ
ズ、所謂ル十一ヲ千百ニ存
ズ、安ソ其能廓如タリニ
在ランヤ、然レドモ、向ニ
孟子無ケレバ、則皆服ハ左
衽ニシテ言ハ侏離ナラン矣
故ニ愈嘗テ孟子ヲ推尊シ、
以テ功馮ノ下ニ在ラズ、爲
スモノハ此ガ爲ナリ。

【文法】 コレ孟子ヲ抑フ。
其大經大法皆亡滅而不救。壞爛而不收。所謂存十一於
十百。安在其能廓如也。然向無孟子。則皆服左衽而言侏
離矣。故愈嘗推尊孟子以爲功不在禹下者爲此也。

先ナリ。
 聞服ハ左衽。コレハ論語ニ管仲微セバ被髮左衽セントアルヲ用井ナリ。
 左衽ナリ。

然レドモ、若シ向ニ孟子ガ無カツタラ、皆衣服ハ左衽トテ左リ前ノ衣服ヲ着用シ、言語ハ、侏離トテ夷狄ノ言語トナリ何ヤラ通用セヌコトヲ云フヤウニナルダロー、コレヲ免レタハ、全ク孟子ノ力デアアルカラ、故ニ韓愈ハ、嘗テ孟子ヲ尊崇シ、ソノ功、禹ノ洪水ヲ治メタル大功ニモ劣ラヌトナシタハ、此ガ爲デア
 任スルナリ。

漢氏以來。群儒區區。脩補百孔千瘡。隨亂隨失。其危如一髮引千鈞。縣縣延延。寢以微滅。於是時也。而唱釋老於其間。鼓天下之衆而從之。嗚呼其亦不仁甚矣。

漢氏以來、群儒區々、百孔千瘡ヲ脩補スレドモ、隨テ亂ニ隨テ失フ、其危キ一髮千鈞ヲ引カ如シ、縣々延々、寢以テ微滅ス、是時ニ於テヤ、釋老ナリ、其間ニ唱ヘ、天下ノ衆ヲ鼓シ而シテ之ニ從ハシム嗚呼其亦不仁甚シ矣。
 分レレナリ。
 百孔千瘡 孔ダラケ、瘡ダラケ、ドウニモ手ノ付ケラレメノ意。
 縣々トハ細

漢興リテ以來、多クノ儒者ガ、マチ／＼ニナリテ、大經大法ノ壞亂シテ、孔ダラケ瘡ダラケニナリテ居ルノヲ、ツクロハント試ミタレド、何ガサテ、壞亂極リテ居ル跡ノ事デアアルカラ、ツクロヘバ、ツクロウニツレ、一方ヲ塞ゲバ、一方ニ孔ガアクト云フ次第デ、今ニモ聖賢ノ道ノ命脈ノ絶エナントスルハ、其危キ一、恰モ一本ノ髮デ、千鈞モアル重キモノヲ引クガ如ク、ヨウ／＼一縷ノ命脈ヲ保チ、ダン／＼ニ衰エ滅ルヨウニナリテ來タ、聖賢ノ道ノ有様ハ

キ糸スシノ繼グガ如ク、今ニモ切レソウニテ、ヨウ／＼ニノビレ。

微滅、微ハ勢ノヨカラヌナリ、故ニ微滅ト云フ。
 鼓ハ勢ヲ付ケルノ意、詩經ニ之ヲ鼓シ、之ヲ舞ストアリ。
 釋老ノ害ハ、楊墨ニ過ギ、韓愈ノ賢ハ孟子ニ及バズ、孟子之ヲ未亡ノ前ニ救フ能ハズ、韓愈乃之ヲ已壞ノ後ニ全セントス、嗚呼其亦其力ナ量ズ、且其身ノ危ク、之ヲ救フナク以テ死スルヲ見ルナリ。

是ノ如キ危キ有様デアアル處ヘ、一方佛老ハ非常ナル勢力ヲ以テ、ソノ説ヲカ、ル間ニ唱ヘ、天下ノ衆ヲ鼓舞シテ之ニ從ハシムト云フ次第デアツタ、ア、亦不仁極ルヲデアル。

一方ニ聖賢ノ道ノ衰微ヲ曰ヒ、一方佛老ノ勢力甚シキヲ曰ヒ、下文自ラ之ヲ挽回セントスルヲ以テ任ズ、孟子楊墨ヲ闢クノ意氣ヲ以テ自ラ居ルナリ。
 釋老之害。過於墨墨。韓愈之賢。不及孟子。孟子不能救之於未亡之前。而韓愈乃欲全之於已壞之後。嗚呼其亦不量其力。且見其身之危。莫之救以死也。

釋氏老氏ノ害ハ楊墨ノ比ニアラズ、楊墨ヨリモ過テ居ル、ソレニ韓愈ノ賢ナルコトハ迎モ孟子ニ及ブコトハ出來ナイ、孟子ハ聖賢ノ道ノ衰微ヲ、未ダ全ク亡ビザルノ前ニ救ヒ挽回スル能ハザルニ、韓愈ハ、乃此ノ道ヲ今日ノ如ク已ニ壞亂極ルノ後ニ完全ニシ回復セントスルノデアアル、ア、サテモ、其身ノ危ク迎モ到底之ヲ救フコトナク、死スルヲ見ルデアロー、コレハ覺悟シテ居ル。

コノ處、孟子ヲ以テ對説シ、釋老ヲ排シ、正道ヲ維持スルヲ以テ自任シ、死而後已ノ覺悟ヲ示ス、何等ノ抱負。

雖然。使其道由愈而粗傳。雖滅死。萬萬無恨。天地鬼神臨

雖然。其道ニ愈ニ由リ粗ボ傳ヘシメバ、滅

死スト雖モ、萬々恨無シ
天地鬼神之二臨ミ上ニ在リ
之ニ質シ、傍ニ在リ、又安
ソ一ノ摧折ニ因リ自ラ其道
ヲ毀テ以テ邪ニ從フヲ得ン
ヤ。

之在上質之在傍。又安得因一摧折自毀其道以從於邪也。

然リト雖モ、其聖賢ノ道ヲシテ、愈ノ力ニ由リ、アラマシ傳ヘシムルヲ得タナラバ、コレ愈ガ畢生ノ目的ノ一斑ヲ達シタルモノトナシ、ソレデ此身ヲ滅シ、死シタリト雖モ、萬々恨ミトスルコトハナク、此世ニ思ヒ遺スコトハナイ、天地ノ鬼神、照臨シテ愈ノ上ニアラセラレ、聖賢ノ事業ハ、之ニ質スニ愈ノ左右ニアル、又ドウシテ、一ツノ挫折ノ爲ニ、自分ヨリソノ自信スル所ノ聖賢ノ道ヲ毀テ壞リ、邪教タル釋老ニ從フト云フコトガ出来ヨウゾ。

コレ聖道ヲ維持スルノ本領ヲ示シ、傳者ノ妄ナリト云フニ反應ス、天地鬼神ノ字ハ上文ノ昭布森列ト照應シ、質之在傍ノ字ハ、上文ノ「聖賢事業著在方冊」ノ句ト相應ス、收束力アリト謂フベシ。

籍湜輩雖屢指教。不知果能不叛去否。辱吾兄眷厚而不獲承命。惟增慙懼。死罪死罪。愈再拜。

愈ノ門下タル張籍、皇甫湜ノ徒ニハ、屢々指圖シ教誨セシトハ云ヘ、今デハ久シク音信モナイニヨリ、果シテヨク我ノ教誨ニ叛キ去ルコトヲセヌデアローカ、ドウダカ、シカト保證ガ出来ヌ、我兄ノ手紙ヲ頂戴シ、眷顧厚意ヲ難有思

聖賢ノ道ヲ維持スルノ本領ヲ示シ、傳者ノ妄ナリト云フニ反應ス、天地鬼神ノ字ハ上文ノ昭布森列ト照應シ、質之在傍ノ字ハ、上文ノ「聖賢事業著在方冊」ノ句ト相應ス、收束力アリト謂フベシ。

死罪トハ、思フマ、
ニ、自分ノ意見ヲ述ベ、命
ヲ承ケナイカラ、罪重シノ
意ニテカク言フナリ。

上高宗封事

胡澹庵

フケレドモ、此ノ一事ハ、我ノ平生ノ素志ニ背クコト故ニ、命ヲ承ケ、ソノ意見ニ從フコト出来ナイ、惟慙テ懼ル、コトヲ増ス次第デアル。死罪死罪頓首。
コレ書牘ノ體ナリ、上文手書數番ニ照應シ、一篇ヲ收束ス、張籍、皇甫湜ノ二人ヲ點出ス、コレ文ノ餘波ナリ、此篇、原道ト共ニ大文字ト稱スベシ。

謹按王倫本一狎邪小人。市井無賴。頃緣宰相無識。遂舉以爲虞。惟務詐誕。欺罔天聽。驟得美官。天下之人。切齒唾罵。

胡澹庵ハ宋ノ廬陵ノ人ニシテ、胡ハ姓、名ハ銓、字ハ邦衡、澹庵ハ其號ナリ、宋ノ紹興八年、時ノ宰相秦檜ナル者、金ノ國ト和ヲ講ジ、年々金帛ヲ獻ズルノ條約ヲ結バントシタルヨリ、物論ナカク、ニ八個間敷、大ニ其非ヲ鳴セリ澹庵慷慨ニ堪エズ、コノ封事ヲ時ノ天子高宗ニ上リ大ニ和議ノ不可ヲ陳述セリ其言淋漓激切、全文コレ義心忠膽千載ノ下、尙其人ト爲ヲ想セシム、封事ヲ上ルト、秦檜其言ヲ狂妄ナリトシ、遂ニ之ヲ貶ス、封事トハ上書トハ一層重ク一國ノ大事ヲ上奏スル時ニ限ルデアツテ、之ヲ密封シテ、天子ニ奉呈スルナリ。

高宗ニ上ル封事。
願謹按スルニ、王倫ハ
本一狎邪ノ小人、市井ノ無
賴、頃宰相無識、無キニ
縁リ、遂ニ舉テ以テ虞ニ使
セシム、惟詐誕ヲ務メ、天聽
ヲ欺罔ス、驟ニ美官ヲ得、
天下ノ人切齒唾罵セリ。

無類 常業ナキモノナ
云ス、ゴロツキナリ。

今者故ナク虜使ヲ誘致
シ 江南ヲ詔諭スルヲ以テ
名ト爲ス是我ヲ臣妾ニセン
ト欲ヘルナリ 是我ヲ劉豫
セント欲スルナリ、劉豫
虜ニ臣事シ、南面王ト稱ス、
自以爲ラシ、子孫帝王萬
世不拔ノ業ナリト、一旦豺
狼慮ヲ改メ、擗シテ之ヲ
縛シ、父子虜トナル、商
鑿遠カラズ、而倫又陛下
ノ之ニ效シコトヲ欲ス

劉豫欲臣妾我也、コレハ越
王句踐ノヲチ引クナリ、我
ヲ金ニ從ハシムル意、越王
ノヲハ、己ニ留侯論ニ説ケ
リ、付キ見ルベシ。
劉豫虜、詩經ヨリ出ゾ。

頭髮ヲ握ルヲ云フ

殷ハ商ナリ、詩
經ニ、殷鑒 遠カラズ、夏
后ノ世アリトアリ、コレハ
殷ノ紂王ガ夏ノ桀王ノヲチ
鑒ミ、戒トナサズ、遂ニ亡
ビタルヲ云フナレバ、コ、
ニ之ヲ引用シ、宜シク劉豫
ヲ以テ戒トスベキノ意、后
ハ君ナリ。

夫天下ハ祖宗ノ天下ナ
リ陛下居ル所ノ位 祖宗ノ
位ナリ、奈何ソ祖宗ノ天下
ヲ以テ 犬戎ノ天下 ナシ、
祖宗ノ位ヲ以テ、犬戎藩臣
ノ位ト爲サンヤ、陛下一タ
ビ膝ヲ屈セバ別祖ノ廟社ノ
靈、盡ク夷狄ニ汗サレ、
祖宗數百年ノ赤子、盡ク左
衽ト爲リ、朝廷ノ宰執盡ク
陪臣ト爲リ、天下ノ士大夫
皆當ニ冠ニ裂キ冕ヲ毀テ變

文章軌範講義

謹デ按シ調テ見マスルニ、彼王倫ナル者ハ、本來一ノ狎々シキ邪曲ノ小人
デアツテ市中ノナラズモノデアル、ソレヲ近頃宰相ノ秦檜ガ、人ヲ識ルノ明ガ
ナイヨリシテ、遂ニ引擧グ以テ金ノ國ヘ使者トシテ、派遣サレタ、惟都合好嘘
八百ヲ云ヒ、以テ天子ノ聽ル、耳ヲ欺キ、ソレデ甘ク秦檜ニ取り入り、驟ニ好
キ官職ニ蟻付タ、ソコデ天下ノ人ガ皆王倫ヲ惡クミ、齒ヲクヒ縛リ、唾吐キ罵
リテ居ル。

コレハ王倫ノ出身ヲ説ク。

今者無故誘致虜使。以詔諭江南爲名。是欲臣妾我也。是
欲劉豫我也。劉豫臣事醜虜。南面稱王。自以爲子孫帝王。
萬世不拔之業。一旦豺狼改慮。擗而縛之。父子爲虜。商鑿
不遠。而倫又欲陛下效之。

今何ノ譯モナク、金ノ使者ヲ誘キ寄セ、招キ致シ、江南ノ土地ヲ、陛下ノ
詔ヲ以テ諭スヲ以テ、表向ノ名目トシテ居ルガ、コレハ嘘デ、コレ我天子ヲ金
ノ臣トナシ、恐多クモ皇后様ヲ金ノ妾トセントシ、ツマリ我宋國ヲシテ金ニ隸
屬セシメントスルノデアル、コレハ我天子ヲ劉豫ノ如キ辛キ目ニ遇セントスル
ノデアル、サテ劉豫ハ一時、醜キ虜即金ニ臣トシ事ヘ、南面シテ王ト稱シ、自

思ヘルニ、子孫マデ帝王トナルヲガ出來テ、萬世拔ク可ラザル業デアツテ、何
時迄モ安心スルヲ得ルト、而ルニ一朝猝ニ、山犬狼ノ如キ人情ヲ解セザル夷
狄ノヲチアルカラ、ソノ志慮ヲ易改メ、コレ迄トハ打チ變リ、劉豫ノ頭ノ髮ヲ
引握ミ、之ヲ引縛劉豫父子ハ、金ノ捕虜トナルノ馬鹿ヲ見タ、殷ノ紂王ノ鑒戒
ハ遠クナイ、近ク夏ノ桀王ニアルノデアル、ソノ如ク、コノ劉豫ヲ以テヨク鑒
ミ、戒シムルヲ仕ナイト、又劉豫ノ如キ目ヲ視ルヲデアルニ、而ルニ王倫ハ
勿體ナクモ、陛下ノ之ニ倣ハンコトヲ欲スルノデアル。

コレ天聽ヲ欺罔スルナリ。

夫天下者祖宗之天下也。陛下所居之位。祖宗之位也。奈
何以祖宗之天下爲犬戎之天下。以祖宗之位爲犬戎藩
臣之位。陛下一屈膝。則祖宗廟社之靈。盡汗夷狄。祖宗數
百年之赤子。盡爲左衽。朝廷宰執。盡爲陪臣。天下士大夫。
皆當裂冠毀冕。變爲胡服。異時豺狼無厭之求。安知不加
我無禮如劉豫也哉。

ソレ天下ハ、祖宗先祖ヨリ受ケタル天下デアル、陛下ガ居ラル、位ハ、先

シテ胡服トナルベシ、異時
 豺狼厭クナキノ求安ゾ我ニ
 無禮ヲ加フル劉豫ノ如クナ
 ザルヲ知ランヤ。

藩臣 藩ハ藩蔽ノ意ニ
 テ、其位ハ諸侯ノ天子ヲ藩
 蔽スル如ク、天子ヲ守護ス
 ルノ臣トナリ、金ハ天子ニ
 メ、宋ハ藩臣トナルナリ。

陪臣 天子已ニ金ノ臣
 トナル、故ニ天子ノ臣タル
 宋ノ臣ハ、金ニ對シテハ陪
 臣ナリ。

異時 コレヨリ後ニ於
 テノ意。

大三尺ノ童子ハ、至テ
 無知ナリ、犬豕ヲ指シ、之
 チ拜セシメバ、則佛然トシ
 テ怒ラン、今醜虜ハ、犬豕
 ナリ、堂々タル天朝、相率
 イテ、犬豕ヲ拜ス、曾童
 孺ノ羞ヅル所ニシテ陛下忍
 テ之ヲ爲スカ。

祖ヨリ受ケタル位デアアル、ドウシテ、先祖ノ天下ヲ以テ、犬戎夷狄ノ天下トナ
 シ、先祖代々ノ位ヲ以テ、大戎ニ臣トナリ隸屬スル、藩臣ノ位トナシテナロウ
 ゴモシモ陛下ガ、一タビ此膝ヲカバメ、夷狄ノ藩臣トナルヤウナガアツタナ
 レバ、先祖代々ヨリノ宗廟社稷ノ御靈ハ盡ク夷狄ニ汗サレ、先祖傳來數百年
 ノ赤子即人氏ハ盡ク夷狄ノ風俗タル左衽ノ風トナリ、朝廷ノ宰相百官ノ者ハ、
 盡ク陪臣トナリ、天下ノ士ナリ太夫ノ者ハ、皆當ニ中國ノ衣冠ヲ裂キ、中國ノ
 冕ヲ毀シ、ソノ堂々タル風俗ハ、一變シテ夷狄ノ衣服トナリ、禮法制度モメ
 チャクニナリ、他日後ニ於テ、豺狼ノ如キ夷狄ノコデアアルカラ、厭キ足ルト
 云フコトヲ知ラヌモノ、要求スルノ極、ドウシテ、我ニ劉豫ニ加ヘタルガ如キ無
 禮ヲ加ヘザルヲ知ローゾ、加ヘルハ見ヘスイテ居ル。

又法 祖宗ヲ以テ之ヲ言フ、大ニ力アリ、コレ決シテ屈ス可ラザルヲ云フ。

夫三尺童子。至無知也。指犬豕而使之拜。則佛然怒。今醜
 虜。則犬豕也。堂堂天朝。相率而拜犬豕。曾童孺之所羞而
 陛下忍爲之耶。

ソレ三尺ノ童子ハ、マダ頑是ナク、至テ無知デアアル、而モ犬豕ヲ指シテ、
 之ヲ拜セシメタナラバ、ムツトシテ怒ルデアアル、今醜虜ノ夷狄ハ恰モ犬豕ノ如
 キモノデアアル、ソレニ堂々ト大ナル天子朝廷ニ於テ、犬豕ヲ拜ス、即童子、小
 僧ノ羞ル所デアアルガ、ソレニ陛下ハ忍デ之ヲ爲ル、カ。

コレ一喻ヲ設ケ、屈ス可ラザルヲ説ク、三尺ノ童子、堂々天朝、用字對照
 ノ所尤好シ。

倫之議乃曰、我一屈膝。則梓宮可還。太后可復。淵聖可歸。
 中原可得。嗚呼、自變故以來。主和議者。誰不以此昭陛下
 哉。而卒無一驗。是虜之情僞已可知矣。

王倫ノ評議ニ乃曰ク、我が一タビ膝ヲカバメ、金ニ臣トナルノ耻辱ヲ忍ブ
 ナレバ梓宮還ルベク、太后モ復ルベク、淵聖歸ルベク、中原ノ土地得ベシト、
 ア、金ト變事ノ生ジテヨリ、和議ヲ主張スル者、誰カ此四條件ヲ以テ陛下ニ昭
 シメザル者ゾ、皆此ノ四條件ヲ以テ陛下ニ餌シ、陛下ニ昭ハシメ陛下ヲ欺イテ
 居ル、故ニ此四條件ノ中、一モ履行サレタ驗ガナイ、スレバ夷狄ノ詐僞ニ出デ
 アルコト、已ニ知ルベキデアアル。

コレ王倫天聽ヲ欺罔スルノ事實ヲ摘指スルナリ。

陛下尙不覺悟。竭民膏血而不恤。忘國大讎而不報。舍垢
 忍耻。擧天下而臣之。甘心焉。就令虜決可和。盡如倫議。天

佛然 怒レ貌。
 犬豕 犬ナリ。
 曾童 小童ノ意。
 孺 小童ノ意。
 面議 倫ノ議ニ乃曰ク、我一
 タビ膝ヲ屈セバ、則梓宮還
 ルベシ、太后復ルベシ、淵
 聖歸ルベシ、中原得ベシト
 嗚呼變故ヨリ以來和議ヲ主
 トスル者、誰ガ此ヲ以テ陛
 下ニ昭ハシメザランヤ、而
 モ一驗ナシ、是虜ノ情僞知
 ニセシ矣。

梓宮 コレハ天子ノ柩
 ナリ、欽宗金ニ於テ崩ゼ
 リ、柩未ダ宋ニ還ラズ故ニ
 曰フ。

太后 高宗ノ母ナリ、
 金ニ在リテ、未ダ復ラズ。

淵聖 徽宗ノ尊號ナリ
 コレ又金ニアリ、高宗ノ父
 ナリ。

情實 詐僞ト云フ
 意ニテ、コトニテハ、僞ト
 見テヨシ。

通鑑陛下尙覺悟セズ、民ノ膏血ヲ竭シ而シテ恤ズ、國大難ヲ忘レ而シテ報ゼズ、垢ヲ含ミ、耻ヲ忍ビ、天下ヲ舉テ之ニ臣トシ、甘心ス焉、就シ處決シテ和スベク盡ク倫ノ議ノ如クナラシムルモ、天下後世、陛下ナ如何ナレ主ト謂ハシ、況醜虜變詐百出、而シテ倫又奸邪ヲ以テ之、濟ス、梓宮決シテ還ル可ラズ、太后決シテ復ル可ラス、中原決シテ得可ラズ、而シテ此膝一タビ屈セバ、復伸フ可ラズ、國勢陵夷、復振フ可ラス、爲ニ痛哭流涕長太息スベキナリ

開甘○ 始皇論ノ解ヲ見ヨ
 開○ 痛○ 流涕○ 長太息○
 開○ 痛○ 流涕○ 長太息○
 開○ 痛○ 流涕○ 長太息○
 開○ 痛○ 流涕○ 長太息○

下後世。謂陛下何如主。况醜虜變詐百出、而倫又以奸邪濟之。梓宮決不可還。太后決不可復。淵聖決不可歸。中原決不可得。而此膝一屈、不可復伸。國勢陵夷、不可復振。可爲痛哭流涕長太息也。

ソレニ陛下ニ於テハ、尙覺リ悟ラズ、更ニ御氣ガ付カレズ、民ノ膏血ヲ竭シ、王倫等詐僞者ノ爲ニ非常ナル國費ヲ投ジ更ニ恤ルコトモナク、金ハ國ノ大難敵デアアルニ、之ヲ忘スレテ報ズルコトモナサレズ、垢ヲ含ミ、耻ヲ忍ビ、忍ブ可ラザルノ屈辱ヲ忍ビ、天下ノ臣民ヲ舉テ、金ノ臣トナサレ、ソレデ何トモ思ハレズ快クシテ居ラル、トナレバ、モシ一步ヲ讓リ、金ト必定和スベク、盡ク王倫ノ評議ノ如ク四條件ヲ履行セシメタニシテモ、天下後世ノ者ガ、陛下ヲ如何ナル主ト評シテ申サウカ、何トモ申方ノナイ、耻ヲ知ラレヌ君ト申スヨリ外ハナイ、マシテ、醜虜ハ變心詐僞常ナク、百方詭計ヲ弄シ、ソレニ王倫ト云曲物ハ奸邪ヲ以テ之ヲ濟シテ居ルノデアアルカラ、ソノ申上ルコトハ皆其場逃レノ虚言デアツテ、梓宮決シテ還ルコトハナク、太后決シテ復ルコトハナク、淵聖決シテ歸ルコトハナク、中原決シテ得ルコトハナク、ソシテ此膝一タビ屈メタナラバ、國ノ勢力モ漸次ニ衰ヘ、復ビト振興スルト云フコトハ出来ヌ、爲ニ痛哭シ、流涕

通鑑向者ニ陛下海道ニ開關シ、危ニ累卵ノ如シ、當時尙北而臣虜、况今國勢稍張、諸將盛銳、士卒奮發、只如頃者、醜虜陸梁、僞入寇、固嘗敗之於襄陽、敗之於淮上、敗之於渦口、敗之於淮陰、之ヲ前日海ヲ踏ムニ危ニ較フレバ、已ニ萬々ナリ矣、儻已チ得ズ遂ニ兵ヲ用井ルニ至一モ、則我豈遠ニ虜入ノ下ニ出デシヤ。

向者陛下下間關海道。危如累卵。當時尙不肯北而臣虜。况今國勢稍張。諸將盛銳。士卒思奮。只如頃者。醜虜陸梁。僞入寇。固嘗敗之於襄陽。敗之於淮上。敗之於渦口。敗之於淮陰。較之前日蹈海之危。已萬萬矣。儻不得已而遂至於用兵。則我豈遽出虜人下哉。

向者ニ陛下ニ於テハ、海道ノ邊ニ開關レ、其危キコトハ、恰モ卵ヲ累ネタルガ如ク、今ニモ、ヒツグリガヘリ、ツブケントスル有様デ、國家ノ滅亡モ眼前ニ切迫シテ居ル危機一髮ト云フ場合デアツタガ、尙ソレデモ、當時尙肯テ北面シテ虜ニ臣トナルコトヲシナカツタ、マシテ今日デハ、國勢モ十分ニ振張シ、大發展ヲナシ、諸將モ盛ニ銳ク、士卒モ奮發、一戰争アレカシト腕ヲ鳴シテ居ル次第デアアルカラ、只近頃ノコトデアアルガ、醜虜ガ橫暴ニ跋扈シ僞皇帝タル劉豫ガ入り寇シテ來リタレドモ、固ヨリ將卒ガ皆一戰ヲ願フト云フ勇氣ヲ持ツテ居ルカラ、イザゴザンナレトテ、固ヨリ嘗テ之ヲ襄陽ニ敗リ、之ヲ淮水ノ上ニ敗リ、之ヲ渦口ノ港ニ敗リ、之ヲ淮陰ニ敗リタルコトデアアル、之ヲ前日陛下ガ海道

義アリ。

爾爾今故ナクシテ反テ之ニ臣トシ、萬乘ノ尊ヲ屈シ、尊盧ノ拜ニ下ラント欲ス、三軍ノ士、戰ハズシテ氣モ索ン、此魯仲連ノ義秦ヲ帝トセザル所以、夫秦ヲ帝トスルノ虚名ヲ惜ムニ非ラズ、夫天下ノ大勢不可ナル所アルヲ惜ムナリ。

爾爾今何ノ故モナク、反テ金ニ臣トナリ、萬乘ノ尊キ御身ヲ以テ穹廬ノ夷狄ニ下ダラントナサルル、コレデハ、折角奮ハント思フテ居ル所ノ三軍ノ士モ戰ハナイ先ニ其勇氣モ索テ如何トモスル能ハザルヤウニナル、コレ昔時戰國ノ時ニ於テ、固ク義ヲ守リ魯仲連ト云フ名士ガ、亂暴ナル秦國ヲ尊デ帝トナサザリシ所以デアツテ、魯仲連ガ何故ニ秦ヲ帝トシナカツタカト云ヘバ、何モンレハ、秦ヲ帝トスルノ虚名ヲ惜ムデハナクテ、一旦秦ヲ帝トスルヤウナガアツテハ折角諸侯ノ勇氣モクジケ、天下ノ大勢不可ナル所アリテ、復如何トモスル能ハザルニ至ルヲ惜ムニ由リテデアル。

今無故而反臣之。欲屈萬乘之尊。下穹廬之拜。三軍之士、不戰而氣亦索。此魯仲連所以義不帝秦。非惜夫帝秦之虚名。惜夫天下大勢有所不可也。

爾爾今何ノ故モナク、反テ金ニ臣トナリ、萬乘ノ尊キ御身ヲ以テ穹廬ノ夷狄ニ下ダラントナサルル、コレデハ、折角奮ハント思フテ居ル所ノ三軍ノ士モ戰ハナイ先ニ其勇氣モ索テ如何トモスル能ハザルヤウニナル、コレ昔時戰國ノ時ニ於テ、固ク義ヲ守リ魯仲連ト云フ名士ガ、亂暴ナル秦國ヲ尊デ帝トナサザリシ所以デアツテ、魯仲連ガ何故ニ秦ヲ帝トシナカツタカト云ヘバ、何モンレハ、秦ヲ帝トスルノ虚名ヲ惜ムデハナクテ、一旦秦ヲ帝トスルヤウナガアツテハ折角諸侯ノ勇氣モクジケ、天下ノ大勢不可ナル所アリテ、復如何トモスル能ハザルニ至ルヲ惜ムニ由リテデアル。

文法 魯仲連、義秦ヲ帝トセザルノコトヲ引用ス、尤切實、大勢ヨリ打算スル、決シテ和ス可ラザルヲ云フ。

爾爾今内ニシテ百官、外ニシテ軍民、萬口一談皆倫ノ肉ヲ食ラハントス、誘議洵々陛下聞カズ、正ニ恐レ、一旦變作ラバ、禍且ハ測ラレザラント、臣切ニ謂王倫ヲ斬ラザレバ國ノ存亡未ダ知レ可ラザルナリ。

爾爾洵々ハヤハヤ個數ナリ。

爾爾然リト雖モ、倫ハ道ニ足ラザルナリ、秦檜腹心ノ大臣ヲ以テ而シテ亦之ヲ爲ス、陛下幾舜ノ資アリ、檜陛下ヲ致シ唐虞ノ如クスレ能ハズ、而シテ陛下ヲ導キ石晋ノ如クセントス、近者

今内而百官。外而軍民。萬口一談。皆欲食倫之肉。誘議洵洵陛下不聞。正恐一旦變作。禍且不測。臣切謂不斬王倫。國之存亡。未可知也。

爾爾今内朝廷ノ百官ヲ始メ、外ハ軍人國民ニ至ル迄、内外ノモノガ、萬人ハ萬人、凡テノ國民ガ異口同音ニ王倫ノ所置ヲ非難シ、之ヲ惡ムノ餘、皆王倫ノ肉ヲ引裂キ食ハント欲シテ居ル、王倫ノコトヲヤカマシク誘リ議論シテ居レルガ陛下ニ於テハ、之ヲ聞キ知ラレザル有様デアル、我ノ正ニ恐ルルニハ、一旦猝ニ變動ノ作ルコトガアツタナラ、國家ノ禍ハ且ニ測リ知ル可ラザルモノ、アルコトヲ、ソコデ臣ハ切ニ思ヒマスル、王倫ト云フ奸邪ナル曲者ヲ一刀ノ下ニ斬リ棄ストキハ國家ノ存亡モ實ニ知ルコトガ出來ス。

文法 萬口一談、コレ上文ノ切齒唾罵ト相照應ス、コレ王倫ヲ所置ス。

雖然。倫不足道也。秦檜以腹心大臣而亦爲之。陛下有堯舜之資。檜不能致陛下如唐虞。而欲導陛下如石晋。近者禮部侍郎曾開等。引古誼以折之。檜乃厲聲曰。侍郎知古事。我獨不知。則檜之遂非狼狽。已自可見。而乃建白令臺

禮部侍郎會開等、古諫ナ引キ以テ之ヲ折ク、檜乃勳

知ル、我獨知ラズ、則檜ノ非ヲ遂ケ、狼狽ナル已ニ自見レベシ、而ソ乃姓白シ、

臺諫從臣ニ可否ヲ會議セシム、是乃天下ノ己ヲ議スルヲ畏レ、臺諫從臣ニ共ニ誇ナ分タシムレノミ、有識ノ士、皆以爲ラク、朝廷

人無シト、吁惜ム可キカナシ、唐ハ堯ヲ云ニ、虞ハ舜・云フナリ。

晉ノ石敬瑭、臣ナ契丹ニ稱シ、遂ニ契丹ニ亡サル。

古義ト同シ。

諫從臣僉議可否是乃畏天下議己而令臺諫從臣共分謗耳。有識之士皆以爲朝廷無人。吁可惜哉。

然リト雖モ、王倫ハ、尙言フニ足ラヌ、シレモノデアルガ、秦檜ハ一國ノ宰相デアレバ、天子ノ腹心トモ頼ム所ノ大臣デアアル、ソノ大臣タル身ヲ以テ、亦王倫ト同様、天聽ヲ欺罔スルコトヲナシテ居ル。

コレ秦檜ノ罪案一、

陛下ハ古堯舜ノ如クニモナラル、聰明ナル御方デアアルニ、秦檜ハ輔佐ノ大臣デアリナガラ、陛下ヲ唐虞ノ如クニ導キテ天下ヲ泰平ニスル能ハズ、陛下ヲ導キ晋ノ石敬瑭ノ如キ目ニ遇ハセントシテ居ル。

コレ秦檜ノ罪案二、

近者禮部侍郎ノ官ヲシテ居ル所ノ會開等ガ古代カラノ義理禮法ヲ引キ、秦檜ノ政策ヲ一本ヤリコメタレバ、檜ガ權威ヲ笠ニ聲ヲ厲シテ曰フニ、侍郎ハ古事ヲ知ルガ、我ハ知ラナイ、故ニ我ノ所信ヲ押通スト言ツタ、則檜ノ非ヲ改メズ、之ヲ仕遂ゲ剛情我慢ナルコト、已ニ自然ト見エスイテ居ル。

コレ秦檜ノ罪案三、

乃復狡猾ニモ、天子ニ建白シ、臺諫從臣共ヲシテ己ノ政策ニ關シテソノ可否ヲ評議セシメタ、コレハ自分ノ提案ノ非ナルヲ知ルカラ、自分一人テ極メテ

臺諫從臣 臺諫ハ諫官ナリ、從臣ハ侍從ノ官ナリ。

孔子曰ク、管仲微リセバ、吾其被髮左衽セン矣、夫管仲ハ覇者ノ佐ノミ、尙能左衽ノ區ヲ變ジ衣冠ノ會ト爲ス、秦檜ハ大國ノ相ナリ、反テ衣冠ノ俗ヲ驅リ、左衽ノ鄉ニ歸ス、則檜ハ惟陛下ノ罪人ナルノミナラズ、實ニ管仲ノ罪人ナリ。

置クト、天下ノ物議ハ自分一身ニ集中シテ一人攻撃ノ衝ニ當ラネバナラヌソレヲ恐レカクハ、衆議ニカケテサヘ置ケバ臺諫從臣ノモノモ、共ニソノ責任ヲ帯ビ、共ニソノ誹ヲ分配シ、共々ニ謗議ノ渦中ニ投シタノデアアル、有識ノ士、見識ヲ具ヘタルノ士ハ、皆朝廷ニ人物ガナシトコボシテ居ル、ア、惜ム可キデハナイカ。

コレ秦檜ノ罪案四、以上ノ四罪、如何ニモ惡ムベキナリ。

孔子曰。微管仲。吾其被髮左衽矣。夫管仲。覇者之佐耳。尙能變左衽之區。爲衣冠之會。秦檜。大國之相也。反驅衣冠之俗。歸左衽之鄉。則檜也不唯陛下之罪人。實管仲之罪人矣。

孔子ノ曰ハル、ニ、管仲ガ無カツタラ、夷狄ガ横行シ、中國モ夷狄ノ風ニナリテ仕舞、吾モソレ夷狄ノ如クニ髮ヲウツサバキテ左衽スルコトデアロトソレ管仲ハ畢竟桓公ヲ輔佐シテ霸業ヲナシタルモノニ過ナイガ、ソレデモ尙能夷狄ヲ攘ヒ、左衽ノ區ヲ變ジテ中國衣冠ノ會合トナシタ、今秦檜ハ堂々タル大國ノ宰相デアアルニ、反テ中國衣冠ノ俗ヲ逐ヒ遣テ、之ヲ左衽ノ鄉ニ歸スルヤウニナシタ、則檜ハ惟陛下ノ罪人ナルノミナラズ、實ニ亦管仲ノ罪人デア

ル。

【文法】 上ニ四罪案ヲ提出シ、コノ處管仲ヲ引用シ、秦檜ノ罪ヲ斷ス、秦檜殆ト顔色ナシ。

孫近附會檜議。遂得參知政事。天下望治有如飢渴。而近伴食中書。漫不可否事。檜曰。虜可講和。近亦曰。可和。檜曰。天子當拜。近亦曰。當拜。臣嘗至政事堂。三發問。而近不答。但曰。已令臺諫侍從議矣。嗚呼。參贊大政。徒取充位。如此。有如虜騎長驅。尙能折衝禦侮耶。臣竊謂秦檜孫近亦可斬也。

孫近、檜ガ議ニ附會シ、遂ニ參知政事ヲ得、天下治ナク、飢渴ノ如キアリ、近中書ニ伴食シ、漫トシテ事ナ可ク否セズ、檜曰ク、虜講和スベシ、近亦曰ク、和スベシ、檜曰ク、天子當ニ拜スベシ、近亦曰ク、當ニ拜スベシ、臣嘗テ政事堂ニ至リ、三たび問ヲ發ス、而ノ近答ヘズ、但曰ク、已ニ臺侍從ニ議セシム矣、嗚呼、大政ニ參贊シ、徒ニ充位ヲ取ル、此ノ如シ、如シ虜騎長驅スルアル、尙能折衝禦侮センヤ、臣竊ニ謂ラク、秦檜孫近モ亦斬ルベキナリ、

件シ食スル如ク、人ニ附隨シ、自己ノ意見ヲ主張スルノ能力ナキモノヲ云フ、唐書、權德輿之ヲ伴食宰相ト稱ストアリ。

副都官員ニ樞屬ニ備ハル義檜等ト共ニ天ヲ戴カズ、區々ノ心、三人ノ頭ヲ斬リ之ヲ藁街ニ竿ニシ、然ル後虜使ヲ羈留シ、責ムルニ無禮ヲ以テシ、徐ニ問罪ノ師ヲ興サバ、則三軍ノ士、戰ハズシテ氣モ自ラ倍セシ、然ラズンバ、臣東海ニ赴キ死スル有ランノミ、寧シ能ク小朝廷ニ處リ活ナ求メンヤ

アル、我が嘗テ政事堂ニ至リ、時事問題ニ付キ、三たび問ヲ發シタ、ソレニ係近ハ更ニ答辨ヲセス、但曰ヘルニ、其事ナレバ、已ニ臺諫從臣ト評議シテ萬事都合善ク取極メタレバ、別ニ質問スルニ及バズ、答辨スルノ必要ガナイト、ア、參知政事ト曰ヘバ、實ニ重要ナル職柄デアツテ、一國ノ政事ニ參與シ之ヲ贊クルノ重大ナル責任ヲ有スルモノガ徒ニ其位ニ充ルト云フノミデアツテ、更ニ何ノ功能モナキト是ノ如シデアアル、カ、ル有様デハ時事知ルベシデ、若シモ、虜騎ガ一旦長驅シテ都城ニデモ迫ルコト有リタル場合ニ於テ、尙能敵ノ衝路ヲ折キ、外侮ヲ禦クコトガ出來ヤウカ、實ニ覺東ナキ次第デアアル、ソコデ臣竊ニ謂ニ秦檜孫近モ亦斬ルベキナリ。

【文法】 一々之ヲ罪狀シ、而ル後ニ刑ノ宣告ヲナス、明法官ノ判決ニ對スルガ如シ賣國ノ臣、顔色ナシ。

臣備員樞屬。義不與檜等共戴天。區區之心。願斬三人頭。竿之藁街。然後羈留虜使。責以無禮。徐興問罪之師。則三軍之士不戰而氣自倍。不然。臣有赴東海而死耳。寧能處小朝廷求活耶。

【譯註】 臣ハ不肖ナガラモ、樞密院ノ一員デアレバ國家ノ安危ニ對シテハ十分ニ意

蘇東坡潮州韓文公廟碑
 匹夫ニシテ天下ノ法タリ、一言ニシテ天下ノ法タリ、是皆以テ天地ノ化ニ參シ盛衰ノ運ニ關スルアリ、其生ル、ヤ、自テ來ルアリ、其逝ヤ爲ス所有リ、故ニ申呂ハ嶽ヨリ降リ、傳説ハ列星ト爲ル、古今傳フル所、誣フ可ラザルナリ。

潮州韓文公廟碑
 匹夫ニシテ天下ノ法タリ、一言ニシテ天下ノ法タリ、是皆以テ天地ノ化ニ參シ盛衰ノ運ニ關スルアリ、其生ル、ヤ、自テ來ルアリ、其逝ヤ爲ス所有リ、故ニ申呂ハ嶽ヨリ降リ、傳説ハ列星ト爲ル、古今傳フル所、誣フ可ラザルナリ。

見ヲモ申上グル、カ、ル事體デアアルカラ、義トシテ棺等ト共ニ天ヲ戴キ、共ニ生存スルコトヲ欲セヌ、臣ノ小ナル心ニ思ヒマスルニ、願クハ、秦棺ヲ始メ、彼等三人ノ頭ヲ斬リ、之ヲ藁街ニ竿ニシテ曝物トナシ、然後夷狄ノ使者ヲ拘留シ、責ムルニ是迄ノ無禮ヲ以テシ、ソレヨリ、悠々ト問罪ノ師ヲ興シ威勢堂々ト押シ出シタナレバ、三軍ノ士、戰ハザル先ニ氣力モ自ラ倍スルコトデアアル、此大ノコトヲ斷行シナケレバ、逆モ國威ヲ振フコトハ出來ヌ、モシ左モナクバ、臣ハ魯仲連ノ高義ヲ慕ヒ、東海ニ赴キ、海ニ身ヲ投ジテ潔ヨク死スルノミノコトダドウシテ、コノ金ノ如キ小朝廷ニ居リテ、生クルコトヲ求メヨゾ。

氣自倍、上文氣自索、ト緊ク照應ス、東海ノ字、上文魯仲連ノ一節ト照應シ、敢テ小朝廷ニ活ヲ求メザルノ義ヲ示ス、字々皆忠魂義膽一讀人ヲシテ其風采ヲ相見セシムルノ概アル文字ナリ。

潮州韓文公廟碑

蘇東坡

匹夫而爲百世師。一言而爲天下法。是皆有以參天地之化。關盛衰之運。其生也有自來。其逝也有所爲。故申呂自嶽降。傳說爲列星。古今所傳不可誣也。

韓公、佛骨ノ表ヲ上リタル爲遂ニ潮州ニ貶セラル、後一年ナラズシテ袁州ニ移サル、左レド、公ノ德、潮州ノ民ヲ感ズルコト尤モ深ク、民廟ヲ立テ之ヲ祭ル、今度更ニ其廟ヲ新ニセシヨリ、其ノ由來ヲ石ニ刻シ不朽ニ傳ヘントシ、撰文ヲ東坡ニ乞フタルニ由リ、東坡ハ其乞ヲ容レ、此文ヲ草セシナリ、コレハ潮州ニ在ル韓文公ノ廟ノ碑文ナリ、公ハ絶大ノ偉人ナル故ニ、東坡モ畢生ノ勇ヲ奮ヒタル、尤刻意ノ文ナリ。

匹夫ニシテ百世以後ノ師トナリ、一言ニシテ天下ノ法則トナル、公ノ言論文章ハ後世ノ者ガ之ヲ師ト仰キ、之ヲ法則トスル、實ニ偉大ナル人物ハ、上下天地トソノ德ヲ同クシ、天地ガ萬物ヲ化育スルト同様ニ天下民生ヲ化スルノ功ガアルニヨリ天地ノ化ニ參與シ、ソノ人存スレバ、國家盛ニ、ソノ人亡スレバ國家衰フト云フ次第デ、國家盛衰ノ運命ニモ關スルコトデアアル、ソレ故ニ、此世ニ生レテ來ルモ、惟平々凡々タルモノガ、生レテ來ルノトハ大ナル違デアツテ必ズ生レテ來ル所ノ由來ト云フ者ガアル、又死スルト云フテモ、並大抵ノ者ガ死シテ何ニモ爲ス所ノナイノトハ格別デアツテ、ソノ死スルヤ、必ズ爲ス所ノモノガアル、故ニソノ證據ニハ、昔時申伯呂侯ハ四嶽ノ神ガ其種ヲ下タシタルノデアツテ四嶽ヨリ此世ニ降誕シ、殷ノ高宗ノ相タリシ傳説ハ死シテ上列星トナリタ、コレハ古今トモ不思議ナルヤウニ言ヒ傳ヘテ居レドモ、決シテ不思議デナク、誣ヒ誣妄ナリトシテ此ノ傳説ヲ非認スルコトハ出來ナイ、實ニ信用スベキデアアル。

其逝也。逝クハ、死スルチ云フナリ。

文章軌範講義

文法 匹夫而爲百世師、一言而爲天下法、二句コレ公ノ一生ヲ言ヒ盡ス、其生也
有自來、コレ客ナリ、其逝也有所爲、是主申呂ヲ引クハ生自來ニ證シ、傳說ヲ
引クハ死有爲ニ證ス、逝クヤ爲ス有リ、韓公亦祭ラル、所以ナリ、且公死シテ
神トナル所以亦茲ニ在ルナリ。

孟子曰。我善養吾浩然之氣。是氣也。寓於尋常之中。而塞
手天地之間。卒然遇之。王公失其貴。晉楚失其富。良平失
其智。賁育失其勇。儀秦失其辨。是孰使之然哉。其必有不
依形而立。不恃力而行。不待生而存。不隨死而亡者矣。故
在天爲星辰。在地爲河嶽。幽則爲鬼神。而明則復爲人。此
理之常無不足恠者。

圖 孟子曰ク、我善ク吾ガ
浩然ノ氣ヲ養フト、是氣ヤ
尋常ノ中ニ寓シテ天地ノ間ニ
塞ル、卒然ト之ニ遇ヘバ王
公其貴ヲ失シ、晉楚其富ヲ
失シ、良平其智ヲ失シ、賁
育其勇ヲ失シ、儀秦其辨ヲ
失ス、是孰カ之ヲ然ラシム
ルヤ、其必ズ形ニ依リテ立
タズ、力ヲ恃ミ行ハズ、生
ヲ待チ存セズ、死ニ隨ヒ亡
ビザル者アリ矣、故ニ天ニ
在リテハ星辰ト爲リ、地ニ
在リテハ河嶽トナル、幽ニ
シテ 則鬼神トナリ、明ニ
シテ 則復人ト爲ル此理ノ
常、惟ムニ足ル者ナシ。
尋常 尋常ノ中ニ尋常ハ人ノ
體中チ云フナリ。

講義 サテ以上ノ如ク、逝クヤ必ス爲スアルト云フコトハ何ニ由リテ出來得ルカト
云フト、全ク孟子ノ曰ヘル浩然ノ氣ノ作用デアアル、孟子ノ言ニ、我善ク吾ガ浩然
正大ノ氣ヲ養フトアルガ、孟子ノ曰フ所ノ浩然ノ氣ハ果シテ如何ナル者デアアル
カト言ヘバ、ソノ氣タルヤ人體ノ中ニ寓シテ居リテ、其効用ノ廣ク大ナルコトハ
天地ノ間ニ充チ塞ガリ一杯ニナル、ソコデ卒然ニ此ノ浩然ノ氣ニ遇フタ時ニハ

幽 幽ハ死チ云ヒ、
明ハ生チ云フナリ。

王公モ忽チ其貴ヲ失フテ高ブラズ、晉楚ノ大國ノ富モ忽チ其富ヲ失フテ敢テ驕
ルコトヲセズ、陳平、張良ノ如キ智者デモ、ソノ智ヲ奮フコトヲセズ、孟賁賁育ノ
如キ勇者デモ、其勇氣ヲヒツ込メテ出サナイ、蘇秦張儀ノ如キ辯者デモ、舌ヲ
卷イテソノ辯論ヲ中止スルト云フ次第デアアルガ、コレハ孰カ簡様ニナサシムル
デアローカ、ソレハ此ノ浩然ノ氣ナルモノハ、形骸ニ依リテ始テ立ツト云フ譯デ
ナク、勇力ヲ恃ミテ而ル後ニ行フト云フ譯デナク、ソノ身ノ生レザル前ニ於テ
天地ニ充滿シテ居ルノデアアルカラ、タトヒ其身ガ死スルトテモ、ソレハ形骸ノ盡
ルマデ、アリテ、浩然ノ氣ナルモノハ、依然ト天地ニ存シテ居ルカラ、ソノ身
ノ死ニ隨ヒ亡ビナイノデアアル、故ニ天ニアリテハ、コノ元氣ガ星辰トナリ、地
ニアリテハ河嶽ノ神トナリ、幽ニシテソノ身死スレバ、鬼神トナリテ、永久ニ
存シ、明ニシテソノ身生キテ居レバ、コノ氣ガ人體ノ中ニ存シ、人トナルノデ
アツテ、コレハ道理ノ常デアツテ、不思議トスル所ハナイ。

文法 コレハ浩然ノ氣ノ作用トソノ存在ヲ解説ス、生ハコレ客、死ハコレ主ナリ
幽則爲鬼神、此句尤重シ。

圖 東漢ヨリ以來道喪シ文
弊シ異端並起ル、唐貞觀
開元ノ盛チ歷テ、輔ルニ房

自東漢以來。道喪文弊。異端並起。歷唐貞觀開元之盛。輔
以房杜姚宋而不能救。獨韓文公起布衣。談笑而麾之。天

下靡然從公。復歸於正。蓋三百年於此矣。文起八代之衰。而道濟天下之溺。忠犯人主之怒。而勇奪三軍之帥。此豈非參天地關盛衰。浩然而獨存者乎。

トヨクソク 杜姚宋ヲ以テシテ而シテ能ハズ、獨韓文公布衣ヨリ起リ、談笑之ヲ鷹ク、天下靡然トシテ公ニ從ヒ、正ニ復歸スル蓋此ニ三百年矣。文八代ノ衰ヲ起シ、道天下ノ溺ヲ濟ヒ、忠主人ノ怒ヲ犯シ、勇三軍ノ帥ヲ奪フ、此豈天地ニ參シ、盛衰ニ關シ、浩然トシテ獨存スル者ニ非ラズヤ。

東漢ヨリコノカタ、聖人ノ道ハ今ニモ喪ントシ、文章ハ日ニ頽レ弊ヘ、老佛ノ異端ガ並ビ起リ、殆ソノ極ニ達シタ、唐ノ天下ヲ有ツニ當タリ、太宗ノ貞觀、玄宗ノ開元ノ年代ヲ以テシ、此時ハ天下ガ盛ニ治リテ居ルノ時デアアルノミナラズ、此等ノ天子ヲ輔佐スルニ、太宗ノ宰相トシテハ房玄齡、杜如晦アリ、玄宗ノ宰相トシテハ、姚宋、宋璟アリ、此等ノ名君ニ、名宰相ヲ以テシタレド此衰運ヲ挽回シ救フガ出來ナカツタガ、ソレニ韓文公ハ、微賤ヨリ身ヲ起シ更ニ力ヲ勞セズ、談笑ノ間ニ此等異端ヲ麾去ラシメ、之ヲ驅逐シ、大ニ聖賢ノ道ヲ鼓吹シタ、其功ヤ空シカラズ、天下ノ者ハ、恰モ草木ノ風ニ靡クガ如ク靡然トシテ韓公ノ言論ニ從ヒ、ソノ結果トシテ、正道ニ復歸セシテ、サテ現今ノ宋ニ至ル迄、三百年ヲ經タコデアアル、ソノ功勞ヲ言ヘバ、文章ハ、西漢、東漢ヲ通ジ、魏、晉、宋、梁、陳、隋、唐、八代ノ衰運ヲ引起シ、道ハ天下ノ者ガ異端邪說ノ害毒ニ沈溺シテ居レルヲ救濟シ、ソノ精忠ハ、佛骨表ヲ上リ、憲宗ノ怒ヲ犯シ、ソノ勇氣ハ嘗テ宣慰使トナリテ、朝廷ニ歸順セザル王庭湊ト云

フ將帥ヲヤリ込メテ其心ヲ翻ヘサシメタ、コハコレ、ナント天地ノ化ニ參シ、國家盛衰ノ運ニ關係シ、浩然トシテ、獨存スルモノニアラザルカ。

又法 上節、天子宰相ノ力ヲ以テスルモ、之ヲ濟フ能ハザルヲ云ヒ、此處公、徒手空拳能正ニ復歸セシメタルノ功ヲ記ス。

蓋嘗論天人之辨。以謂人無所不至。惟天不容僞。智可以欺王公。不可以欺豚魚。力可以得天下。不可以得匹夫匹婦之心。故公之精誠能開衡嶽之雲。而不能回憲宗之惑。能馴鱷魚之暴。而不能弭皇甫鎛李逢吉之謗。能信於南海之民。廟食百世。而不能使其身一日安於朝廷之上。蓋公之所能者天也。其所不能者人也。

サテ嘗テ、天ト人トノ辨別ヲ論ジタルコトガアツタ、思フニ、人ト云フ者ハ如何ナル人物デアロトモ、我ノ智力ヲ以テ之ニ臨メバ、トンナコトモ出來テ我意ノ如クニナラザルモノハナイガ、惟天ハ正直ニシテ、決シテ僞ヲ容レテ通サスカラ、至誠ヲ以テ之ニ對セザレバドウトモスルコトガ出來ヌ、ソレ故ニ我ノ智ハ以テ人タル王公ヲモ、ソノ道ヲ以テ之ヲ欺クコトガ出來得ルモ、以テ天タル

蓋嘗論天人之辨。論ズ以謂ラク、人至ラザル所ナシ、惟天僞ヲ容ズ、智以テ王公ヲ欺クベシ、以テ豚魚ヲ欺ク可ラズ、力以テ天下ヲ得ベシ、以テ匹夫匹婦ノ心ヲ得ベカラズ、故ニ公ノ精誠能衡嶽ノ雲ヲ開クモ、憲宗ノ惑ヲ回ス能ハズ、能鱷魚ノ暴ヲ馴シムルモ、皇甫鎛李逢吉ノ謗ヲ弭ル能ハズ、能南海ノ民ニ信ゼラレ、百世ニ廟食セラル、モ、其身ニ一日モ朝廷ノ上ニ安ゼシムル能ハズ、蓋公ノ能スル所ノモノハ天ナリ、其能ハザル所ノモノハ人ナリ。

所ノ頑冥ノ豚ヤ、不靈ノ魚ヲ欺クハ出来ヌ、我ノ力ハ一時以テ天下ヲ強奪スルヲ出来ルモ、ソノ天タル匹夫匹婦ノ心服ヲ得ルハ出来ヌト、故ニ公ノ僞ナキ精誠ハヨク天ニ通ジ、嘗テ衡山ノ神ヲ祭ル時、一天カキ曇リタレバ、公詩ヲ作リテ之ヲ天ニ薦メタレバ、ソノ雲ハ猝ニ晴レタルヲ得タガ、人ニ對シテハ佛骨表ヲ上リタレド、憲宗ノ惑ヲ解クヲ出来ヌ、又公天ニ通ズルノ精誠ハ、嘗テ潮州ニ刺史タリシ時、鱷魚ガ禍ヲナシ、人畜ヲ害スルヨリ、鱷魚文ヲ作リ惡溪ノ淵ニ投シタレバ、鱷魚ノ暴ナルモ、ソノ誠ニ感ジ遂ニ退散シタレド、人ニ對シテハ、公ノ潮州ニ貶セラル、憲宗モ一旦貶シタモノ、本是君國ニ忠ナルノ心事ニ出デタルモノナリトテ、公ノ心ヲ諒トシ、之ヲ召還シ、再ビ任用セントサレシガ、ソノ時皇甫鏞・李逢吉ノ二人ガ、之ヲ沮ミタルニヨリ、遂ニ沙汰止トナリタ、故ニ此二人ノ誘ヲ弭ルヲ出来ナカツタ、公ノ精誠天ニ通ズルハ、能匹夫匹婦ノ心ヲ得テ、南海ノ民ニ信用セラレ、百世ノ後迄、宗廟ヲ立テ、之ヲ祭ラル、迄ニ至リタレド、人ニ對スル方面ヨリ云フト、公ノ如キ道徳文章アリテ、一日モ其身ヲ朝廷ノ上ニ安ズルヲサヘ出来ナカツタ、サテ、公ノ能スル所ノ者ハ、天デアツテ、ソノ能ハザル所ノ者ハ人ニ對スル方面デアアルガコレガ則公ノ公タル所以デアアル。

【文法】 コレ天人ノ辨ヲ提起シ、公ノ精誠ヨク天ニ通ズルヲ説ク、精誠ノ字ハ、上

文浩然ノ字ニ根シ來ル。

始潮人未知學。公命進士趙德爲之師。自是潮之士皆篤於文行。延及齊民。至于今。號稱易治。信乎孔子之言。君子學道則愛人。小人學道則易使也。

【講義】 始メ潮州ノ人ハ、皆野蠻デアツテ、未ダ學問ノ何物タルヲ知ラナカツタガ公ガ進士ノ趙德ト云フ者ニ命ジテ、之ガ師トナシ、學問ヲ教ヘタ、是ヨリ潮州ノ士ハ、皆文學ノ心得モ出来、又行實ニ篤シテ大ニソノ面目ヲ一新シ、惟ニ士ノミデナク、延キ及デ、一般ノ平民迄ガ、皆コノヤウニナリタ、ソノ結果トシテ、今日ニ至ル迄、號シテ潮州ノ民ハ治メ易シト稱シテ居ル、信スベキデアアル孔子ノ言ニ、君子ノ人ガ聖賢ノ道ヲ學ブト、人ヲ愛スルヤウニナリ、小人ガ道ヲ學ブト順良ニナリ、治メ易クナルト、誠ニ是言ニ疑ハナイ。

【文法】 コレ公ガ潮州ニ於ケルノ治績ナリ、下文祭ラル、所以ヲ起ス、君子道ヲ學ブノ君子ノ字ハ潮州ノ士ト云フヲ受ク、小人ノ字ハ齊民ノ字ヲ受ルナリ、公ノ德政見ルベキモノアル、是ノ如シ。

潮人之事公也。飲食必祭。水旱疾疫凡有求必禱焉。而廟

廟始メ潮人未ダ學ヲ知ラズ、公進士趙德ニ命ジ、之ガ師トナス是ヨリ潮ノ士皆文行ニ篤ク、延テ齊民ニ及ブ、今ニ至ル迄、號シテ治メ易シト稱ス、信ナルカ孔子ノ言、君子道ヲ學ベバ則人ヲ愛シ、小人道ヲ學ベバ、則使ヒ易キナリ。

【文法】 齊民 平民ト云フニ同シ、一般ノ民ヲ云フ。

廟潮人ノ公ニ事フルヤ、飲食必祭ル、水旱疾疫凡有求ムルアル必ズ禱ル焉

而シテ廟ハ刺史公堂ノ後ニ在リ、民出入チ以テ難トナス、前ノ太守諸ヲ朝ニ請ヒ新廟ヲ作ラント欲ス果サズ元祐五年、朝散郎王君濬來リ是邦ニ守タリ、凡士ヲ養ヒ民ヲ治ル所以ノ者一ニ公ヲ以テ師ト爲ス、民既ニ悅服ス則令チ出シ曰ク、公ノ廟チ新ニセント願フ者ハ聽サン、民懷ビ之ニ趨ク、地ヲ州城ノ南七里ニトシ、期年ニシテ廟成ル。

王ハ姓ナリ濬ハ名、

在刺史公堂之後。民以出入爲難。前太守欲請諸朝作新廟。不果。元祐五年。朝散郎王君濬來守是邦。凡所以養士治民者。一以公爲師。民既悅服。則出令曰。願新公廟者。聽民。懽趨之。卜地於州城之南七里。期年而廟成。

潮人ノ公ニ事フル、誠ニ敬意ヲ表シ、自分等ガ飲食スル前ニ於テモ、必ズ先公ノ神ヲ祭リ而ル後ニ飲食スル、洪水旱疫病等ノ災ガアルト、必ズ公ノ神ニ禱リ、加護ヲ仰ガントスル、而シテ公ノ廟ハ潮州ノ刺史ノ役所ノ後邊ニ在ルヲ以テ、民ハ役人共ニ遠慮シ、往來出入ヲ以テ困難厄介ナリトシテ居タ、ソコデ前ノ太守ガ、諸ヲ朝廷ニ請テ新廟ヲ作ラントシタケレドモ、遂ニ果サズ、ソレナリニナリテ居タガ、元祐五年ニ朝散郎ノ官ヲシテ居ル王君濬ト云フ者ガ、來リテ是邦ノ太守トナリタ、ソノ政治ノ方針トシテ、士ヲ教養シ民ヲ治メテ行クニ、一ニ公ヲ以テ師トナシ、公ノ通ニシテ行クカラ、民モ大ニ悅ビ服シタ、ソコデ令ヲ出シテ曰フニ、公ノ廟ヲ新ニセント願フモノハ、之ヲ許可セント、民ハ兼テヨリ敬意ヲ表シテ居レル公ノ事テアルカラ、懽ビ之ニ趨キ、ソノ事ニ奔走シタ、地ヲ潮州ノ城廓七里位ヲ離レテ居ル處ニトシ撰テ、之ヲ經營スルヲニナシ、一年ニ新廟ガ成就シタ。

或曰。公去國萬里。而謫于潮。不能一歲而歸。沒而有知其不眷戀於潮也。審矣。軾曰。不然。公之神在天下者。如水之在地中。無所往而不在也。而潮人獨信之深。思之至。君蒿悽愴。若或見之。譬如鑿井得泉。曰。水專在是。豈理也哉。

或曰。公去國萬里。而謫于潮。不能一歲而歸。沒而有知其不眷戀於潮也。審矣。軾曰。不然。公之神在天下者。如水之在地中。無所往而不在也。而潮人獨信之深。思之至。君蒿悽愴。若或見之。譬如鑿井得泉。曰。水專在是。豈理也哉。

或曰ク公國チ去ル萬里、而ノ潮ニ謫セラレ、一歲ナル能ハズシテ歸ル、沒シテ知ル有ル、其ノ潮ニ眷戀セザルヤ審ナリ矣、軾曰ク然ラズ、公ノ神天下ニ在ル、水ノ地中ニ在ルガ如シ、往ク所トシテ在ラザル無キナリ、而シテ潮人獨之ヲ信ズル深ク、之ヲ思フト至ル、君蒿悽愴、之ヲ見ルアルガ如シ、譬ヘバ井ヲ鑿チ泉ヲ得ルガ如シ、曰ク、水專ラ是ニ在リト、豈理ナランヤ。

君蒿悽愴、神ノ氣ニ感シ、恰モ神ガ眼前アリトマシマスノ意。

或曰ヘルニ、公ハ國ヲ去ルヲ萬里ノ遠ヲ隔テ、潮州ニ貶セラレ、僅ニ一歲モ立ヌ中ニ袁州ニ移サレタノデアアルカラ、公ニ死シテ後、ソノ靈ノ知ルアリトスレバ、ソノ靈ニシテ潮州ヲ名殘惜ク慕フト云フヤウナコトハナイコトヤ審ニ知レテアルカラ、潮州ノ人ガ公ヲ祭ルトモ、公ニ於テハ左程ニハ思ハヌト、我ノ答ヘテ曰フニ然ラズ、公ノ神ハ浩然ノ氣デアアルカラ、天下ニ充滿シテ居リ、水ノ地中ニ在ルガ如ク、往ク所トシテ在ラヌト云フハナイ、而シテ潮州ノ人ガ獨之ヲ信ズルヲガ深ク、之ヲ思フヲガ至リテ居ル、恰モ物ノ氣ニ感ズル如ク其神ガ至ルガ如ク夢ノ如ク現ノ如ク目ノ前ニマシマスヤウナ感ジガスル譬ヘハ井ヲ掘リテ水ヲ得ルガ如クデアツテ、掘リタ井ノ處ノミニ專ラ水ガアリト云フハ決シテ道理デハナイ、水ハ何地ニデモアル、ソレト同ク公ノ神ハ天下ニ充チテ居ル。

又法 コレ上文浩然ノ氣天下ニ充滿スルト云フニ反筆ス、井ヲ堀ルノ引喻尤切當且妙ト云フベシ。

元豐元年詔封公昌黎伯。故勝曰昌黎伯韓文公之廟。潮人請書其事于石。因爲作詩以遺之。使歌以祀公。其辭曰

元豐元年詔封公昌黎伯。故勝曰昌黎伯韓文公之廟。潮人請書其事于石。因爲作詩以遺之。使歌以祀公。其辭曰。

元豐元年天子ヨリ詔セラレ公ハ昌黎ノ人デアルカラ、公ヲ以テ昌黎ノ伯ニ封ジタ、ソレ故ニ勝シ、札ヲ立テ記シテ昌黎伯韓文公ノ廟ト曰フトナリタ潮州ノ人ガ其事ノ由來ヲ石ニ刻ミ之ヲ不朽ニ傳ヘントシテ余ニ文ヲ請フタニヨリ、因リテ潮人ノ爲ニ公ノ詩ヲ作り以テ潮人ニ遺リ歌フテ以テ公ヲ祭ラシムルコトニシタ、其辭ニ曰フニ。

又法 コレ碑文ヲ書ク由來ヲ叙ス。

公昔騎龍白雲鄉。手扶雲漢分天章。天孫爲織雲錦裳。飄然乘風來帝旁。下與濁世掃糝糠。西遊咸池略扶桑。草木衣被昭回光。追逐李杜參翱翔。汗流籍湜走且僵。滅沒倒景不可望。作書詆佛譏君王。要覲南海窺衡湘。歷舜九疑吊英皇。祝融先驅海若藏。約束蛟鰐如驅羊。鈞天無人帝

公昔騎龍白雲鄉。手扶雲漢分天章。天孫爲織雲錦裳。飄然乘風來帝旁。下與濁世掃糝糠。

悲傷驅吟下招遣。巫陽爆牲鷄卜羞我觴。於餐荔丹與蕉黃。公不少留我涕滂。翩然被髮下大荒。

講義 公昔騎龍白雲鄉。トハコレハソノ生マル、ヤ自テ來ル所アルニ根シ、公ノ靈ハ本天ニ在リシトノ意ナリ。

手扶雲漢分天章。トハ雲漢トハ銀河ニシテ公ガ自ラ自身ノ手ニテ銀河ヲ分チ天ノ文章ヲ分ツトテ、公ノ文章ハ之ヲ天ニ得ルノ意ナリ扶ハ分ツナリ。

天孫爲織織錦裳。天孫トハ牽牛織女ニシテ、織女ガ公ノ爲ニ雲錦ノ裳ヲ織リ成シテ授ケタ、公ノ文章ハ天成ナルヲ云フ。

飄然乘風來帝旁。飄然ハ輕ク舉ルノ貌ニシテ、飄然ト風ニ乘リ公ガ朝廷ノ天子ノ御側ニ天降リタルノ意、公此世ニ生マレ來リテ、朝廷ニ來リシナリ、帝旁トハ、天子ノ側ナリ。

下與濁世掃糝糠。ソコデ始テ下界ニ降り當時濁世ノ爲ニ糝糠ヲ拂フトテ、異端老佛ヲ排シ、正道ヲ維持シタルヲ云フ、上文道天下ノ濁ヲ濟フトハ是也。

西遊咸池略扶桑。咸池ハ日ノ沒スル處、扶桑ハ日ノ出ヅル處、咸池扶桑ニ至リ遊ブ公ノ德、太陽ト伴キヲ云フ。

草木衣被昭回光。衣被ハ蒙ルナリ、昭回光トハ太陽ノ廻照ラス光リ、公ノ餘光遠ク草木ニマデ及ブヲ云フ、普天ノ下、其光ヲ蒙ラザルモノナキナリ。

西遊咸池ニ遊ビ扶桑ヲ略ス。

草木衣被ス昭回ノ光。

追逐李杜參翺翔。韓公ハ獨文章ニ妙ヲ得テ居タノミデナク、詩モナカク、ニ達者ニシテ、唐ノ詩人ノ大家タル、李太白ヤ、杜子美等ト肩ヲ並ベ詩壇ノ上ニ下スル程ノ名手デアアル、故ニ李杜ヲ追ヒ逐テ翺翔ストハ云フ、李杜ノ死後、公ヨクソノ跡ヲ追フトナリ、翺翔ハ上下ト云フガ如シ。

汗流籍湜走且僵。汗ガ流レ其門人ノ張籍ヤ、皇甫湜ノ輩ハ公ニ追隨テ文壇ノ上ニ並ビ行カントスレドモ、湜モ及ブコトガ出来ナイカラ、途中ニテ走リ且僵テ閉口スルナリ。

滅沒倒景不可望。倒景トハ、景ハ影ニ同ク、カゲナリ、公ノ文章ノ光ハ遠ク日月ノ上ニアリ、故ニ日月ガ下ヨリ照スノ意ニテ、其高キヲ、湜モ企テ及ブベキニアラザルヲ云フ。

作書詆佛譏君王。書ハ佛骨ノ表ナリ、書ヲ作り佛ヲ詆リ、且君王ノ憲宗皇帝ヲ譏レリ、コレ上文忠人主ノ怒ヲ犯ス者は是レナリ。

要觀南海窺衡湘。歷舜九嶷吊英皇。南海ヲ觀、衡山湘水ヲ窺ヒ、舜ノ古跡タル九嶷ヲ歷テ、娥皇女英二女ノ古跡ヲモ吊ントセリ。

祝融先驅海若藏。祝融、海若ハ二神ノ名ナリ、公ノ如キ有徳ノ人ノ到ラントスルニヨリ、祝融ノ神ガ先拂ヲナシ、海若ノ神ガ不祥ノ物ヲ藏メテ、敢テ公ノ行ク先ノ禍ナドヲサセヌトナリ。

釣天無人帝悲傷。釣天ト云フ、釣天人無シトハ、公ノ死スルヲ云フ、公已ニ死ス、上帝爲ニ偉人ヲ失フタルヲ悲ミ傷ムナリ。

謳吟下招遺坐陽。謳吟ハ詩ヲ謳ヒ吟誦スルナリ、上帝人ヲ失フヲ悲傷シ、爲ニ詩ヲ謳吟シ公ノ靈ヲ招カントシテ、神使巫陽ヲ下界ニ遣スナリ。

曝牲鷄卜差我觴。曝牲ハイケニエニテ牛肉ナリ、鷄卜ハ、鷄ノ骨ヲ以テ吉凶ヲトスルヲナルガ、コ、ニテハ唯鷄骨ト見テヨシ、牛肉ト鷄骨トヲ以テ公ヲ祭リ我潮州ノ人ノ觴ヲ公ニ羞ムルナリ。

於餐荔丹與焦黃。於ハア、ナリ、贊美ノ意、餐ハ食フノ意ナルガ、コ、デハ供ルノ義ト見ルベシ、荔子ノ丹ノト芭蕉ノ葉ノ黄バミタルトヲ供ヘテ公ヲ祀ルノ意ナリ、コレハ公羅池廟ノ碑ノ文ニ荔子丹兮、蕉葉黃ノ文字アリ之ヲ取リテ用キタルナリ。

公不少留我涕滂。公ガ我ガ祭ヲ享ケテ、少クモ留マラザル、我潮州ノ人ノ涕ハ滂トシテ落チ止メ得ヌノ意ナリ、滂ハ涕ノ落ツル貌ナリ。

翩然被髮下大荒。翩然ハ、ヒルガヘル貌、被髮ハ髮ヲウツザバクナリ、大荒ハ空ナリ、翩然トシテ被髮大荒ヨリ下リテ此潮人ノ祭祀ヲ享ケヨノ意、被髮下大荒ノ字ハ、公ノ詩句ニアルナリ、之ヲ取リテ結句トナシタルナリ、此全體ノ文

文章軌範講義

詩共ニコレ東坡尤刻意ノ文ナレバ讀者反復スベシ。

上田樞密書

蘇老泉

天之所以與我者。豈偶然哉。堯不得以與丹朱。舜不得以與商均。而瞽瞍不得奪諸舜。發於其心。出於其言。見於其事。確乎其不可易也。聖人不得以與人。父不得奪諸其子。於此見天之所以與我者。不偶然也。

田樞密ニ上ル書。天ノ我ニ與フル所以ノ者、豈偶然トランヤ、堯以ニ丹朱ニ與フルヲ得ズ、舜以ニ商均ニ與フルヲ得ズ、而シテ瞽瞍諸ト舜ニ奪フヲ得ズ、其心ニ發シ、其言ニ出テ、其事ニ見ハル、確乎トシテ其易フ可ラザルナリ、聖人以テ人ニ與フルヲ得ズ、父諸ヲ其子ニ奪フヲ得ズ、此ニ於テ天ノ我ニ與フル所以ノ者、偶然ナラザルヲ見ルナリ。

樞密ハ官ノ名、田ハ姓名ハ況、字ハ元均、宋ノ仁宗ノ時ノ人、サテ蘇老泉ハ何故ニ樞密ニ上書シタルカ、コレ仕官ヲ求メタルノ書ナリ、而レドモ、韓愈トハ大ニソノ趣ヲ異ニセリ、韓愈ハ是非ニモ其ノ推選ヲ願ハントテ、于襄陽ニ與ヘ、或ハ宰相ニ與ヘタルノ書、哀訴歎願的口調ニ出テタレド、老泉ハ左ニアラズ、我ハ無理ニ仕官セズトモ、山田一頃アルカラ、コレヲ耕作セバ、我ノ餘生ヲ送ルニハ十分デアアルカラ、推選スルト、セヌハ當路者ノ勝手デアアル、唯我ハ天ヨリ賦與サレテ居ル者ガアルカラ、コレヲ此儘持腐ニシテ棄ツルト云フハ天意ニ負クニヨリ、吾心ヲ盡シテ仕官ヲ求メテ、我ノ責丈ヲ免レルコトヲ勉ムル、我ヲ用フルト、用キナイトハ、他人ニ屬スルコトデアアルニ由リ、勝手ニシロ平身低頭シテマデ、仕官ヲ求ルハ眞平御免デアアルトテ、ソノ地步ヲ高ク占メタル所、人格ノ高キ所、見ルベキデアアル、人生山田一頃アリテ飢渴ノ憂ナキ、人生ノ至幸ナリ、人ハ這老ノ如ク有リタキモノヨ。

天ノ我ニ才能ヲ與フル所以ノ者ハ決シテ偶然ト故ナクシテ我ニ與ヘテ居ルト云フ譯デナイ、堯ハ以テ其子ノ丹朱ニ自分聖人ノ資ヲ與フルコトヲ得ナカツタ自分ハ如何ニ聖人トハ曰ヘ、ソノ子ノ丹朱ハ似テモ似付ス馬鹿者デトント仕方ガナク、舜モソノ通りデ、其子ノ商均ニ與フルコトヲ得ズ、商均モ馬鹿デアツテ話ニナラナイ、而シテ瞽瞍ハソノ聖人ノ資ヲ奪取コトガ出來ズ、瞽瞍ハ其子ノ舜ニ似ズシテ頑愚デアアル、人ニソレ丈ノ才能ガアレバ、其ノ心ニソレガ發見シ、其ノ言論ニ出現シ、其事業ニ見ハレテ來ル、コレハ確乎トシテ易フ可ラザル道理デアアル、聖人ノ堯舜モ以テ之ヲ人ニ自由ニ與フルコトガ出來ズ、父モ之ヲ自由ニ其子ニ奪フヲ得ナイトスレバ、天ノ我ニ才能ヲ與フル所以ノ意、決シテ偶然デナイ、何カ譯ノアルト云フコトヲ見ルベキデアアル。

確乎。動カス可ラザルノ意ナリ。

天ノ與フル所以、偶然ナラザルヲ説ク、與ノ字、コレ一篇ノ骨子。

夫其所以與我者。必有以用我也。我知之。不得行之。不以告人。天固用之。我實置之。其名曰棄天。自卑以求。幸其言自小。以求用其道。天之所以與我者何如。而我如此也。其

天レ其ノ我ニ與フル所以ノ者ハ必ズ以テ我ヲ用フル有ルナリ、我之ヲ知り、之ヲ行フヲ得ズ、以テ人ニ告ケズ、天固ヨリ之ヲ用非我實ニ之ヲ置ク、其名ヲ棄

天ト曰フ、自卑フシテ其言ヲ幸スルヲ求メ、自ラ小ニシテ以テ其道ヲ用フルヲ求ム、天ノ我ニ與フル所以ノ者、何如シ我此ノ如クセシヤ、其名ヲ棄天ト云フ、棄天我ノ罪ナリ、棄天亦我ノ罪ナリ、棄セズ、棄セズ、而シテ人我ヲ用非ズ、我ヲ用非ズルモノ、罪ナリ、其名ヲ逆天ト曰フ。

名曰、棄天。棄天我之罪也。棄天亦我之罪也。不棄不棄而人不我。用不我。用之罪也。其名曰逆天。

夫天ガ材能ヲ以テ我ニ與フル所以ハ必ず以テ我ヲ用キル有ルガ爲デアアル、我ガ天意已ニ我ヲ用キルニアルヲ知リナガラ、我ガ之ヲ世ニ行フヲ得ズ、且以テ天意ノアル所ヲ人ニモ告ゲヌ時ハ、天ハ實ニ我ヲ用キル有ラントシテ、我ニ有餘程材能ヲ付與シテ居ルニ、我ハ實ニ之ヲ捨置ク、コレハ天ノ賜ヲ空ク棄ツルト云フ者デアツテ、之ヲ棄天ト曰フノデアアル、自ラ卑シテ無暗ニ卑下シ、其議論ヲ幸ニ採用シテモラハンコヲ求メ、自ラ其天與ノ材能ヲ小ニシ大抱負フ行フコヲ爲サズ、敢テ小功ニ安ジ以テ少ク其道ヲ行フコヲ求ムル、サテ天ノ我ニ與フル所以ノ者ハ、如何ニモ大ニ用フベキモノデアアルニ、何如ゾ眼前ノ小利ニ汲々シ、如何ゾ是ノ如ク少ク其道ヲ行ハントスルゾ、コレハ天ノ賜ヲ我ヨリ棄スト云フ者デアツテ其名ヲ棄天ト云フノデアアル、棄天ハ罪我ニ由ルカラ、我ノ罪デアアル、棄天モ同ク我ノ罪デアアル、棄セズ棄セズ、而シテ當路ノ人ガ我ヲ引上ゲ用キザルハ我ヲ用キザル者ノ罪デアアル、コレハ天意ニ逆フト云フ者デアツテ其名ヲ逆天ト云フ。

以上棄天、棄天、逆天ノ三案ヲ立ツ、逆天ヲ以テ田樞密ヲ諷セントスルナリ。

然則棄天、逆天ハ其責任ガ我ニアルノデ、逆天ハ其責任ガ、人即人ニ在リ、我ニ在ル者ハ、吾將ニ吾力メ能爲所ノ者ヲ盡シ以テ夫天ノ我ニ與フル所以ノ意ヲ塞キ而シテ夫天下後世ノ譏ヲ免ル、人ニ在ルモノハ吾何ゾ知ラン、吾天一身ノ責ヲ免ル、ヲ求ムルノ暇アラズ、而シテ人ノ爲ニ憂フルニ暇アラランヤ。

然則棄天、逆天者、其責在、我。逆天者、其責在、人。在、我者、吾將盡吾力之所、能爲者、以塞夫天之所以、與我之意、而求免夫天下後世之譏、在人者、吾何知焉。吾求免夫一身之責、之不暇、而暇爲人憂乎哉。

猶答フルノ意ナリ

シテ見レバ、則棄天、逆天ハ其責任ガ我ニアルノデ、逆天ハ其責任ガ、人即上ノ人ニアルノデアアル、我ニ在ル責任ハ、我ニ於テ、吾ノ力メ能爲シ得ル丈ノコト十分ニ盡シ以テ夫天ガ我ニ與ヘタル所以ノ意ニ答ヘ而シテ夫天下後世ノ者ニ彼是非難セラレナイ様ニシリヲ免ガル、ヲ求メントスルノデアアル、人ニ在ル所ノ逆天ノ責ニ於テハ、吾ガ何ゾ與リ知ルコトヲシヤウゾ、吾ハ夫一身ノ責任タル棄天、逆天ノ責サヘ、免ル、ヲ求ムルノ暇ナキ次第デアアルカラ、人ノ爲ニ心配スル暇ハナイ。

逆天ノ責、我ノ關スル所ニアラザルヲ説ク。

孔子孟軻ノ不遇、道途ニ老ヒ、而シテ倦ズ、憊ズ、作ズ、沮ザルモノハ、夫固ヨリ道ノ在所ヲ知レバナリ、衛靈魯哀齊宣梁惠ノ

孔子孟軻之不遇、老於道途、而不倦、不憊、不作、不沮者、夫固知夫道之所在也。衛靈魯哀齊宣梁惠之徒、不足相與以有爲也。我亦知之矣。抑將盡吾心焉耳。吾心之不盡、吾

徒、相與ニ以テ爲スアルニ足ラザルヤ、我モ亦之ヲ知ル矣、矣將吾心ヲ盡スノミ吾心ノ盡サザル、吾天下後世以テ夫衛靈魯哀齊宣梁惠ノ徒責ムルヲナク、而彼モ亦以テ其責ヲ辭スル有ラントスルナリ、然ラバ則孔子孟軻ノ目將ニ地下ニ瞑セザラントス。

恐天下後世無以責夫、衛靈魯哀齊宣惠梁之徒、而彼亦將有以辭其責也。然則孔子孟軻之目將不瞑於地下矣。

孔子ナリ孟軻ナリノ不幸ニシテ、何ノ君ニモ用キラレズ、天下ニ遊説スル途中ニ於テ、其年モ老テ仕舞フタルト云フ境遇ニテアリナガラ、更ニ倦ミ怠ルト云フコトナク、胸ノ中ニテ、ムツト慍ルト云フコトモナク、作ルコトモセズ、氣ヲ落スコトモシナイデ、矢張終始一貫シテ遊説ヲ續ケタルト云フ者ハ、夫固ヨリ道ノアル所ヲ知リテ、天與ノ偶然ナラザルヲ心得テ居ルニ由リテハアル、孔子ノ遊説ヲ試ミラレシ、衛ノ靈公ヤ、魯ノ哀公ヤ、孟子ノ遊説セシ齊ノ宣王、梁ノ惠王ノ徒輩ハ、アマリ賢明ナル君デナイカラ、相與ニ爲スニ足ラヌコトハ我孔孟自身ニ於テモ、能承知ノコトアル、シカルニ、厭ク迄モ遊説ヲ試ミタト云フ者ハ、棄天喪天ノ罪ヲ免ル、ヤウニ吾ノ心ヲ盡シ注意ヲナシタノデアル、モシモ吾心ヲ盡サザルニ於テハ、吾ハ天下後世ノモノガ、以テ夫衛靈魯哀齊宣梁惠ノ徒ヲ責ルコトヲナサズ、棄天喪天ヲ以テ孔孟ノ責ニ歸シ、カレ衛靈魯哀齊宣梁惠ノ徒モマサニ以テ其ノ責任タル逆天ノ責ヲ言譯ヲスルコトヲ恐ル、ニヨリテハアル、モシモ左ルコトデアツタナラバ、孔子孟軻ハ、地下ニ於テ目ヲツブリテ安心往生ヲナサヌ、何處迄モ遺憾ニ思フコトアル。

又法 コレ孔孟ヲ引用シ、棄天喪天ノ罪ヲ免ル、ヲ求メタルヲ云フ、孔孟ノ心事ヲ推シ以テ自己ノ論據トナス、筆法巧ナリト謂フベシ。

夫聖人賢人之用心也固如此如此而生如此而死如此而貧賤如此而富貴升而爲天沉而爲淵流而爲川止而爲山彼不預吾事吾事畢矣。

聖人賢人ノ心ヲ用ルヤ固ヨリ此ノ如ク、此ノ如クニシテ生キ、此ノ如クニシテ死シ、此ノ如クニシテ貧賤ト爲リ、此ノ如クニシテ富貴ト爲リ、此ノ如クニシテ天ト爲リ、此ノ如クニシテ淵ト爲リ、此ノ如クニシテ流ト爲リ、此ノ如クニシテ山ト爲リ、彼吾事ニ預ラズ、吾事畢ル矣。

夫聖人賢人タル孔孟ニ於テ、其心ヲ用キテ居ルコト固ヨリ此ノ如クデアアル我ガ是程迄ニ心ヲ盡シテ居ルニ、貧賤ニ一生ヲ終ルトモ、富貴ニナロトモ、天トナリ、淵トナリ、川トナリ、山トナリ、我ノ前途ノ境遇ハ、ドンナニナロトモ、我ハ吾心ヲ十分ニ盡シテ居ルニ由リ、彼逆天ノ責ハ我ノ預ルコトデナイ吾事ハコレニテ、了セリト云フモノタ。

コレ我ノ責ヲ盡セバ足ルヲ叙ス、而メ下文後ノ賢者ヲ呼起ス。

切怪夫後之賢者不能自處其身也。飢寒困窮之不勝而號於人。嗚呼使吾誠死於飢寒困窮耶則天下後世之責將必有在彼其身之責不自任以爲憂而我取而加之吾身不亦過乎。

切ニ我ハ怪ミ不思議トスル所デアアル、夫後世ノ賢者ガ自ラ其身ノ處置ニ困

切ニ怪ム夫後ノ賢者、自ラ其身ノ處置ニ能ハズ、飢寒困窮ノ不勝而人ニ號テ、嗚呼吾ニ誠ニ飢寒困窮ニ死セシメンカ、則天下後世ノ責、將ニ必ズ在ル有アラントス、彼其身ノ責、自ラ任ジ以テ憂トナサズ、我取リテ之ヲ吾身ニ加フ、

相。求而不得。一旦在己。故其心有以自負。或者天其亦
有以與我也。

起スアルガ如ク、之ヲ心
ニ得テ之ヲ紙ニ書スレヤ、
之ヲ相ルアルガ如シ、夫堂
一言ノ道ニ幾キモノ無ラン
ヤ、千金ノ子、天子ノ宰相
求メテ得ザル者、一旦己
ニ在リ、故ニ其心以テ自負
スルアリ、或ハ天其以テ我
ニ與フル有ラントスルカ。

今洵ニ於テハ、カヲ聖人賢人ノ術ニ用キテ研究スルコトハ亦已ニ年久シキコ
トデアアル、其ノ言論ナリ、其文章ナリハ、果シテ以テ今日ニ用キラレ、ソ
テ後世ニ傳ヘラレ、ベキカ、傳ヘラレザルカ、ドウデアアルカヲ自ラ識ルコトハ
出来ヌケレドモ、獨自ラ不思議トスルコトニハ、夫之ヲ得ルコトニ付テ少モ苦
勞スルト云フヤウナク、自然ニ思想ガ浮クデクルト云フ有様デアツテ、ソ
ノ思想ヲ心ニ致シテ、思ヒ考フル時ニ、宛モ側ニ何カ助ルモノガアツテ、之ヲ
起スガ如ク、奇妙ナル思想ガ續々ト起リ、己ニ之ヲ心ニ得テ、之ヲ紙ニ書スル
ト云フ一段ニナルト、何物カ之ヲ相クルト云フ調子デ、スラノト書キ流ス
トガ出来テ、少シモ筆先ノ濫ルト云フヤウナクハナイ、シテ見ルト、一言ノ道
ニ幾キモノガナイトモ申サレヌ、スレバ千金ノ子ヤ、天子ノ宰相ヤノカヲ以テ
求メテ得ザル所ノモノガ、一旦一朝ニシテ我ニ在ルト謂モノデアアルカラ、ソレ
故ニ我心ニ於テ自負シ自ラ恃所ノモノガアル、コレハ事ニヨルト、天ガ我ニ與
フルアラントスルノデハナカローカ。

コレハ自分ニ天ガ與フルノ意ヲ説ク、其心有以自負、上文ノ有不自輕者ト
緊ク相照ス、或ハ天其レ亦以テ我ニ與フルアラントスルカノ或字自ラ謙スルカ

如クニシテ、自ラ地歩ヲ占ム、甚味アル文字ナリ、注意スベシ。

曩者見執事於益州。當時之文。淺狹可笑。飢寒困窮。亂其
心。而聲律記問又從而破壞其體。不足觀也。已數年來。退
居山野。自分永棄。與世俗日疎闊。得以大肆其力於文章。
詩人之優柔。騷人之清深。孟韓之温醇。遷固之雄剛。孫吳
之簡切。投之所向。無不如意。

曩者見執事於益州。當時之文。淺狹可笑。飢寒困窮。亂其
心。而聲律記問又從而破壞其體。不足觀也。已數年來。退
居山野。自分永棄。與世俗日疎闊。得以大肆其力於文章。
詩人之優柔。騷人之清深。孟韓之温醇。遷固之雄剛。孫吳
之簡切。投之所向。無不如意。

曩者ニ執事ニ益州ニ於テ相見タコデアアルガ、ソノ當時御目ニカケタ文章ハ
見識モ淺ク、志操モ狹ク實ニ笑フベキモノデアツテ、見ルニ足リマセヌ、コレ
ハソノ當時飢寒困窮ト云フ厄介物ガ我ノ心ヲ亂シ、文章ノ調子規律若クハコレ
等修飾ノ文字ヲ記憶スル等ニ拘リタル爲大ニ文章ノ體裁ヲ破壞シコハシテ仕
ムツタコデアアルガ、コレデハナラヌト大ニ決心ノ臍ヲ堅メ、己ニシテ其後數年
來ト申スモノハ、自分ナガラニ永世事ヲ棄テ、敢テ俗事ニ關係セヌト云フ覺悟
ニナリ、世俗ノモノト日ニ疎ク世ト交際ヲモ爲ヌト云フ方針ヲ取り終日一問ニ
閉籠以テ大ニ其力ヲ文章ニ肆ニシ、全力ヲ之ニ集注シタ結果ハ、大ニ其功ノ
見ルベキモノガアツテ、今デハ、詩經三百篇ノ詩人ノ作レル如何ニモ心情ノ優ク

ハ人ノ師トナル可ラズト、知ルベシ記問ノ其業ヲ大成ス。所以ニアラザレナリ。温醇ハ和ケナリ、醇ハ上酒ニシテ水ヲ混ゼザレナリ、ソノ文章ノ温和純粹ナルヲ云フ。

聖人ノ經ヲ得、其失ヤ流レテ迂ト爲ル、晁錯ハ聖人ノ權ヲ得、其ノ失ヤ流レテ詐ト爲ル、二子ノ材アリテ、流レザル者ハ、其惟賈生カ、惜イカナ今ノ世愚未ダ其人ヲ見ザルナリ。

嘗テ試ニ以爲董生得聖人之經。其失也流而爲迂。晁錯得聖人之權。其失也流而爲詐。有二子之材。而不流者。其惟賈生乎。惜乎今之世。愚未見其人也。

嘗テ試ニ以爲ラク、思フタコトデアアル、前漢ノ董仲舒ハ聖人ノ常道ヲ得テ居ルガ、更ニ融通ノキカヌ所ガアツテ、其失敗ヤ、流レ落テ付ク先ガ迂遠トナリテ仕マツテ、コレト云フ目覺シキ働キモナサズ、晁錯ハ聖人ノ變ヲ得テ居ルガ、其ノ失敗ヤ流レテソノ落付ク先ガ詐術トナリテ仕マツテ、身誅セラル、不幸ヲ見ルコト、ナツタ、二子ノ材能ヲ具ヘテ居リテ流レテ迂トナラズ、詐トナラズ、ヨクソノ材能ヲ應用シタル者ハ其惟前漢ノ賈誼ノミデアアルカ、惜ムベキトニハ、當今ノ世ニ於テ、我がマダ賈誼ノ如キ有爲ノ人物ヲ見ヌ。

原道ノ篇ニ、軻ノ死スル其傳ヲ得ズト云フト同筆法ニシテ、暗ニ賈生ヲ以テ自任スルナリ。

策二道ヲ作リ、書十篇ヲ作リ、審勢審敵ト云ヒ、書十篇ヲ作リ、之ヲ權書ト曰ヒマシテ、權書ト曰フ、書十篇ヲ作リ、權書ト曰フ、山田一頃アリ、内歳ニ非ラザレバ、以テ飢無カルベシ、力耕シテ用ヲ節セバ、亦以テ自ラ老フルニ足ル、不肖ノ身惜ムニ足ラズ、天ノ與フル所ノ者、棄ツルニ忍ビズ、且ツ敢テ褻ザルナリ。

論策二道ヲ作リ、之ヲ審勢審敵ト云ヒ、書十篇ヲ作リ、之ヲ權書ト曰ヒマシテ、コレハ最モ心血ヲ注ギタル文章デアレバ御一覽下サレ、山田一頃ノ斗リアリテ凶年デサヘナクハ、飢ルコトハナイ、力メ耕シ、費用ヲ節減シテ行クヤウニスレバ、亦以テ我ノ一生ヲ氣樂ニ送リテ行クコトガ出來ルノデアアルカラ、別ニ仕官ヲ求ムル必要モナイ、不肖ナル我身ハ、コレニテ一生ヲ過スモ、何モ惜ムベキデハナイガ、而モ天ノ與フル者ヲ棄ツルニ忍ビズ、且敢テ褻スコトヲ仕ナイノデアアル。

コ、ニ至リ、天與ノ字ヲ出シ、棄セズ、褻セザルヲ云フテ一篇ヲ終リ、下ニ於テ逆天ヲ以テ田樞密ヲ責メントス、山田一頃ノ處大ニ善シ、コレ老泉ノ人格優ニ二頭地ヲ抜クヲ見ル。

執事之名滿天下。天下之士用與不用在執事。故敢以三所

天下ノ士、用フルト用井ザ

ルトハ執事ニ在リ、故ニ敢テ所謂策二道、權書十篇ヲ以テ獻ズルヲ爲ス、平生ノ文ハ遠クシテ多ク致ス可ラズ、洪範論史論十篇ノ近以テ内翰歐陽公ニ獻ズ、度ニ執事之ト朝夕相從ヒ天下ノ事ヲ議スレバ、則斯文ヤ、其亦前ニ陳スルヲ得レニ庶カラン、若夫言ノ用フベキト其身ノ貴カルベキト否トハ執事ノ事ナリ執事ノ責ナリ、洵ニ於テ何カ有ランヤ。

謂策二道權書十篇爲獻平生之文遠不可多致有洪範論史論十篇近以獻内翰歐陽公度執事與之朝夕相從議天下之事則斯文也其亦庶乎得陳於前矣若夫言之可用與其身之可貴與否者執事事也執事責也於洵何有哉。

【講義】 執事ノ名ハ天下一杯ニ滿チ聞ヘ渡リテ誰一人知ラヌモノハナイ、カ、ル地位名望ノアル執事ノコトデアルカラ、天下ノ士ヲ用フルト、用ヒザルトハ、執事ノ自由デアル、故ニ敢テ所謂平生我ノ得意ノ文タル論策二道、及權書十篇ヲ以テ左右ニ呈上スル、尙平生作り居ル所ノ文章ハ實ニ澤山アルケレドモ、道ノ遠クシテ餘程里數モ隔テ、居ルコト故、多ク致シ送ルコトガ出來ヌ、別ニ洪範論、史論十篇アリマスルガ、コレハ近頃以テ内翰ノ歐陽公ニ献上シテ居ル、我が度ルニ、執事ニ於テハ、朝夕朝廷又ハソノ私室ニ於テ相從ヒ、互ニ天下政治ノ事ヲ評議シテ居ラル、コトデアレバ、則此等ノ文モ日ナラズシテ、御目ニ懸ルノ機ガアルデアローヨ、モシソレ其言論ノ採用スベキト、ソノ身ヲ引上ゲテ下サレソノ身ヲ貴フシテ下サルト、シカラザルトハ、執事ノ權内ノ事デアル、執事ノ責任デアル、洵ニ於テ何カアラン、何ニモ洵ノ與リ知ル所デナイ。

【文法】 コレ逆天ヲ以テ執事ヲ責メ、一篇ヲ終ル。

上范司諫書

歐廬陽陵

月日具官謹齋沐浴拜書。司諫學士執事。前月中得進奏吏報云。自陳州召至闕拜司諫。即欲爲一書以賀多事匆卒未能也。

【題意】 范ハ文正公ナリ、范ハ姓、名ハ仲淹、字ハ希文、司諫ハ官名ニシテ、諫議太夫ナリ、范文正公、陳州ヨリ召サレ、司諫ニ拜セラレタガ、人ハ皆兼テヨリ公ノ慷慨ニシテ大節アルヲ知リテ居ルカラ、必ズ大ニ爭諫スルナラント、其風采ヲ想望シテ居リシニモ拘ラズ、更ニ爭諫スルコトヲナサヌ、故ニ歐陽公ガ此書ヲ上リテ、宜ク爭諫スベキヲ諷シタルノ文ナリ、此篇ハ韓愈ノ爭臣論ノ如クデアルガ、爭臣論ヨリモ一層上手ニ出來テ居ル。

【講義】 月日某官ノ某ガ、謹ミ齋戒沐浴シテ拜書ス、司諫學士執事、前月中ニ進達ヲ主ドル吏ノ報知ヲ得マシタルニ、今度アナタハ陳州ヨリ召サレテ、司諫ノ官ニ拜セラレシト、ソコデ即坐ニ一書ヲ草シ、以テ祝賀ノ意ヲ表セント、致シタルコトデアルガ、何分多事多忙デアツテ、何かソコノ取紛レ、未ダ賀狀ヲ差出スコトガ出來ナカツタ。

【題意】 范司諫ニ上ル書、月日具官謹齋沐浴拜書ス、司諫學士執事、前月中進奏吏ノ報ヲ得、云フ、陳州ヨリ召サレ闕ニ至リ、司諫ニ拜セラレト、即一書ヲ爲リ以テ賀セント欲ス、多事匆卒未ダ能ハザルナリ、【題意】 某ノ官ニ具ルノ義ニシテ、某官ト同一義ナリ。【講義】 齋ハ戒トテ物忌チナシ、身ヲ清淨ニスルコト、沐ハ髮ヲ洗フコト云フ、身ヲ清メ、髮ヲ洗フテト云フハ、十分ニ敬意ヲ表スルナリ、是ノ如クニシテ書チ司諫ニ上ルトナリ。【講義】 匆卒、ソコノト落付ク意。

司諫七品ノ官ノ喜ト
執事ニ於テ之ヲ得ルヨロビ
爲ズ而レニ獨區々一タビ賀
セント欲スル者ハ、試ニ諫
官ハ天下ノ得失、一時ノ公
係ルヲ以テナリ。

司諫區々 小ナル貌。

今世ノ官、九卿百執事
ヨリ、外一郡縣ノ吏ニ至ル
貴大職ノ以テ其道ヲ行フ
可キ無キニ非ラザルナリ、
然レドモ、縣其封ヲ越ヘ、
郡其境ヲ逾エ、賢守長ト雖
モ行フヲ得ズ、其ノ守ルア
レテ以テナリ、吏部ノ官ハ
部ヲ理ムルヲ得ズ、鴻臚
ノ卿ハ光祿ヲ理ムルヲ得ズ
其ノ司ル有ルヲ以テナリ
天下ノ得失、生民ノ利害、社
稷ノ大計ノ如キハ、惟見

聞スル所ニシテ職司ニ繫ラ
ザルモノ、獨宰相之ヲ行フ
可ク、諫官之ヲ言フ可キノ
ミ、故ニ士、古キ學ビ道ヲ
懷クモノ、時ニ仕ヘ宰相タ
ルヲ得ズ、必ズ諫官トナル

文章軌範講義
先第一ニ賀ノ字ヲ提出スルハ、コレ下文ニ於テ、司諫ハ重大ナル責アルヲ
言ハントスルヲ以テナリ、賀ノ字コレ議論ノ發端。

司諫七品官爾。於執事得之、不爲喜。而獨區區欲一賀者、
誠以諫官者、天下之得失、一時之公議、係焉。

サテ、司諫ハ僅ニ七品ノ官デアツテ、ソノ爵位ヨリ言ヘバ至テ卑キ官デア
ル、執事ノ如キ大人物ニ於テ、此官ヲ得ルノハ敢テ喜ト爲スニ足ラヌヲデア
ルガ、ソレニ獨我ガ區々ノ心ニ於テ、一ビ之ヲ賀セントスルモノハ、爵位ハ卑ク
トモ、其ノ職責ハ至テ重ク、誠ニ諫官ノ職ハ天下政治ノ得失、一時ノ公議輿論
ト云フモノガ之ニ關係シテ居ルカラデアル。

今世之官自九卿百執事。外至一郡縣吏。非無貴官大職、
可以行其道也。然縣越其封。郡逾其境。雖賢守長不得行。
以其有守也。吏部之官不得理兵部。鴻臚之卿不得理光
祿。以其有司也。若天下之得失生民之利害。社稷之大計。
惟所見聞而不繫職司者。獨宰相可行之。諫官可言之爾。
故士學古懷道者。仕於時不得爲宰相。必爲諫官。

今世ノ官、上九卿百執事ヨリ、外ハ一郡一縣ノ官吏ニ至ルマデ、貴官大職
ノソノ自分ノ道即本領ヲ行フニ足ルベキ官位職掌ガナイト云フデハナイ、ソ
レハ幾ラモアルガ、然レドモ、ソノ分限ト云フモノガアツテ、縣吏ニ於テ、其
ノ封内ヲ越ヘ、郡吏ニ於テ其境内ヲ逾ヘタルトキハ、即管轄外、支配外トナル
カラ、如何ニ賢ナル守長、長官ト雖モ、自分ノ意見ヲ行フハ出來ヌ、コレハ
ソレノ守ル所ガアリテ、自分ノ構ト云フモノガアルニ由リテハアル、今朝廷
ノ中ニ就キ之ヲ言フモ、吏部トテ選舉ノコトヲ主ドル部類ノ役人ハ兵部トテ軍事
ノコトニ關スル方面ノコトニハ干渉スルコトガ出來ズ、鴻臚トテ外交ノ事ニ當ル所ノ
役人ハ光祿トテ一國ノ出納ヲ主ドル役向ノコトニ關係スルコトハ出來ヌ、コレハ各
々其職掌トシテ司トドル所ガアルニ由リテハアル、サテ天下ノ大問題タル政治ノ
得失、生民ノ利害ニ關スルコトカ、社稷即國家ノ大計ニモカ、ハルコトニ至リテ
ハ、是等ノ諸有司ハ、惟見聞クノミデアツテ、自分ノ職掌ニ何ノ關係モナキ所
ノ者ニ於テハ、獨宰相ガ之ヲ行フベク、諫官ガ之ヲ言フベキデアアル、諫官ハ是
ノ如ク、爵位ハ卑クトモ、ソノ職責ノ大ナルモノガアルカラ、ソレ故ニ士ノ古
ヲ學ビ道ヲ懷キ大本領ヲ有シテ居ルモノガ、時ニ仕官シテ、宰相トナルコトガ出
來ヌトキハ必ズ諫官トナルノデアアル。

コレハ諫官ノ重大ナル任務ナルヲ解説ス、是ノ如ク大ナリ、コレ賀スル所
以。

諫官雖卑、與宰相等。天子曰、不可。宰相曰、可。天子曰、然。宰相曰、不然。坐乎廟堂之上、與天子相可否者、宰相也。天子曰、是。諫官曰、非。天子曰、必行。諫官曰、必不可行。立于殿陛之前、與天子爭是非者、諫官也。宰相尊行其道、諫官卑行其言、言行道亦行也。

諫官ハ其位卑シト雖モ、ソノ職掌ハ宰相ト同様デアアル、天子ノ曰ハル、ニ此事ハ不可ナリト、宰相曰ク可ナリ、天子ノ曰ハル、ニ然リ、宰相曰ク然ラズト、廟堂ノ上ニ坐シテ天子ト政事ノ得失ニ關シテ相可否シ争フモノハ宰相ノ職デアアル、天子ノ曰ハル、ニ、此事ハヨクアル、諫官ノ曰フニ、決シテヨクナイ天子ノ曰ハル、ニ、必ズ此事ヲ行ハン、諫官ノ曰フニ行フテハナラズト殿陛ノ前ニ立チテ、天子ト事ノ是非ニ付キテ争フ所ノモノハ諫官ノ職デアアル、宰相ハ其位尊クシテ、ソノ道ヲ行ヒ、諫官ハ位卑クシテ、ソノ議論ヲ行フノデアツテソノ議論ガ行ハルレバ、ツノ道自分ノ本領ガ行ハレルコトニナル、故ニ宰相ト等シキノデアアル。

又法 コレ宰相諫官ト等シキヲ實指ス。

九卿百司郡縣之吏守一職者任一職之責宰相諫官係

天下之事亦任天下之責。然宰相九卿而下失職者受責於有司。諫官之失職也取譏於君子。有司之法行乎一時。君子之譏著之簡冊而昭明。垂之百世而不泯。甚可懼也。夫七品之官任天下之責。懼百世之譏。豈不重邪。非材且賢者不能也。

ズ、宰相諫官ハ天下ノ事ニ係ル、亦天下ノ責ニ任ズ、然レドモ宰相九卿ヨリ下職ヲ失フ者、責ヲ有司ニ受ケ、諫官ノ職ヲ失フヤ、譏ヲ君子ニ取ル、有司ノ法ハ一時ニ行ハレ、君子ノ譏ハ之ヲ簡冊ニ著シ而シ、昭明之ヲ百世ニ垂レ而シ、混ズ、甚懼ルベキナリ、夫七品ノ官天下ノ責ニ任ジ、百世ノ譏ヲ懼ル、豈重カラズヤ、材且賢ナル者ニ非ラザレバ、能ハザルナリ。

九卿百官一郡一縣ノ官吏ハ、ソレノ一職ヲ守ル者デアアルカラ、假令ソノ職掌ニ失敗ガアロトモ、惟一職ダケノ責ニ任ズルノミデアアルガ、宰相諫官ハソノ職トスル所ガ天下ノ事ニ關係シテ居ルノデアアルカラ、モシ失敗ガアルト、天下ノ責ヲソノ身ニ引受ケネバナラヌ、然レドモ、宰相九卿ヨリ以下ノ官吏ニ於テ、ソノ職分ニ失敗ガアリタトスルモ、唯其責ヲ有司ニ受ケテ、有司ヨリノ刑罰ヲ受クレバ、ソレデ事済トナル譯デアアルガ、諫官ノ職ヲ失フニ於テハ、一時譏ヲ時ノ君子ニ受ケ君子ヨリ非難攻撃ヲサレル、有司ノ罰法ハ、惟一時ノ罰ニ止マルガ、君子ノ非難ハ之ヲ簡冊即一國ノ歴史ニ著シ尤モ昭明ニ之ヲ百世ノ後迄モ垂レ貽シテ決シテ混ルト云フコトガナイ、ソレ七品ノ官ハ、天下ノ責ヲソノ身ニ引受ケ、且君子百世ノ譏ヲ懼ル、ト云フ重大ナル職デアアルカラ、平凡ナル人物ニテハ、逆モ出來ヌ、材能アリ且ツ賢ナル者デナケレバ、能ハヌコトデア

ル。

又法 コ、ニ至リ、重ヲ諫官ニ歸シ、材且賢ナル者ニアラザレバ能ハズト云フテ
范文正公ノ身ニ落シ込ム筆法尤妙ナリト云フベシ。

近執事始被召於陳州。洛之士大夫相與語曰。我識范君。知其材也。其來不爲御史。必爲諫官。及命下。果然。則又相與語曰。我識范君。知其賢也。他日聞有立范子陛下。直辭正色。面爭廷論者。非他人。必范君也。拜命以來。翹首企足。竚乎有聞。而卒未也。竊惑之。豈洛之士大夫。能料於前而不能料於後也。將執事有待而爲也。

訓義 近頃執事ニ於テハ、始テ陳州ヨリ朝廷ニ召出サレタルコトデアアルガ、ソレト聞キタル洛陽ノ士大夫ドモハ、誠ニ飛ビ立ツ思ヒデ、相與ニ語テ申スニ、我ハ范君ヲ兼テヨリ能識テ居ル、ソノ材能ノアルコトヨク承知シテ居ル、今度朝廷ニ召出サレタルコトデアアルガ、ソノ來ル、御史大夫ノ役トナラズバ、必ズ諫官トナルコトデアロー、天子ノ命ガ下ルニ及ビ果シテ其通デアツタ、則又相與ニ語テ曰ク、我ハ范君ヲ識テ居ル、ソノ賢者デアルト云フコトヲ知リテ居ル、他日天

訓義 近頃執事始メテ陳州ヨリ召サレ、洛ノ士大夫相與ニ語テ曰ク、我范君ヲ識ル其材ヲ知ルナリ、其ノ來ル御史ト爲ザル必ズ諫官トナラン、命下ルニ及ビ果シテ然リ、則又相與ニ語テ曰ク我范君ヲ識ル、其賢ヲ知ルナリ、他日天子ノ陛下ニ立チ直辭正色面爭廷論スル者アリト聞ク、他人ニアラズ必ズ范君ナラン、命ヲ拜シテヨリ以來首ヲ翹足チ企テ、聞クアルコト待ツ、而モ卒ニ未ダシナリ、竊ニ之ニ惑フ、豈洛ノ士大夫、能ク前ニ料リ、而シテ後ニ料ル能ハザルヤ、將執事待ツアリト爲ナリ。

子ノ殿陛ノ下ニ立テ、正直ノ言論ヲ以テ顔色ヲ正シ、天子ノ面前ニ於テ是非ヲ爭ヒ、朝廷ニ於テ事ノ可否ヲ論議シタル者ガアリト聞クナラバ、他人ニ非ラズシテ必ラズ范君ニ相違ナイト、ソノ諫官ノ命ヲ拜セラレシヨリ以來、首ヲ翹テ延上リ、足ヲ企テ背ヲ高クシ、范君ノ諫争サレシコトヲ聞クアラント一日千秋ノ思ヲシテ待ツテ居ルコトデアアルガ、而モ卒ニ未シテ、何ノ便モナイ、ソコデ洛陽ノ士大夫ドモハ、竊ニ心中ニコレハ變ダト疑ヒ惑テ居ル次第デアアル、ナント洛ノ士大夫ハ、能前ニ料リテ、ヨク豫言シテ言當タガ、後ニ料リテ其先ヲ知ルコトヲヨクシナカツタノデアアルカ、否將執事ニ於テ時節ヲ待チテ、諫メント思フテ居ラレルノデアアル。

又法 執事ノ諫争セザルヲ叙ス、有_レ待_レ而爲_レ、有_レ待_レノ字、コレ主腦ノ文字、下文ニ於テ大ニ其不可ヲ論ゼントス。

昔韓退之作_レ爭臣論_ニ以_テ譏_レ陽城_ノ不能_レ極_レ諫_ニ卒_ニ以_テ諫_レ顯_ル人皆謂_フ城_ノ之_レ不_レ諫_ニ蓋_シ有_レ待_レ而_レ然_リ退_ノ之_レ不_レ識_ル其_レ意_ヲ而_レ妄_ニ譏_レ脩_獨以_テ謂_フ不_レ然_リ當_レ退_ノ之_レ作_レ論_ニ時_ニ城_ノ爲_レ諫_レ議_レ大夫_ニ已_ニ五_ニ年_ニ後_ニ又_ニ二_ニ年_ニ始_テ廷_ニ論_レ陸_贄及_レ沮_斐延_齡作_レ相_ト欲_ス裂_ス其_レ麻_ヲ纒_ニ兩_ニ事_ニ耳_ト當_レ德_宗時_ニ可_レ謂_フ多_ク事_ト矣_ト授_レ受_レ失_レ宜_ト叛_レ將_レ強_レ臣_ト羅_列天_下又_ニ多_ク猜

訓義 昔韓退之、爭臣論ヲ作リ以テ陽城ノ極諫スル能ハザルヲ譏ル、卒ニ諫ヲ以テ顯ハル、人皆謂フ、城ノ諫メザル、蓋待ツ有リテ然リ、退之其意ヲ識ラズ而妄ニ譏ルト、脩獨以謂ラク然ラズ、退之、論ヲ作クルノ時ニ當リ、城、諫議大夫タルコト已ニ五年、後又二年始テ陸贄ヲ廷論シ、及贄延齡相トナルヲ沮ミ、其麻ヲ裂ント欲ス、纒ニ兩事ノミ德宗ノ時ニ當リ、多事ト謂フベシ矣、授受宜チ失ヒ叛將強臣天下ニ羅列ス、又猜忌多ク小人ヲ進任ス、

此ノ時ニ於テ豈一事ノ言フ可キナク七年ヲ須シヤ、當時ノ事、豈延齡ヲ沮シ、陸贄ヲ論ズル兩事ヨリ急ナルモノナカラシヤ、謂フ宜ク朝ニ官ヲ拜シ、夕ニ疏ヲ奏スベキナリ、幸ニシテ城諫官タルコト七年、適延齡陸贄ノ事ニ遇ヒ、一諫シテ罷ム、以テ其責ヲ塞ク、向キニ止五年六年ニシテ遂ニ司業ニ遷ラシム、是遂ニ一言無フシテ去ルナリ、何ゾ取ル所アラソ。

忌進任小人。於此之時。豈無一事可言。而須七年耶。當時之事。豈無急於沮延齡論陸贄兩事耶。謂宜朝拜官而夕奏疏也。幸而城爲諫官。七年。適遇延齡陸贄事。一諫而罷。以塞其責。向使止五年六年而遂遷司業。是終無一言而去也。何所取哉。

昔時ニ韓退之ガ争臣論ヲ作りテ、其友陽城ガ、天子ヲ極諫スル能ハザルヲ譏リタルガ、陽城ハ大ニ其言ニ激セラレ、大ニ其君ヲ諫言シ、卒ニ諫タルヲ以テ、名譽ヲ顯ハシタコトアルガ、世ノ人ガ此事ニ付イテ、評論シケルニ、皆異口同音ニ皆謂ニ、陽城ノ諫メザルハ、時節ヲ待ツテ居タノデアル、退之ガ陽城ノ意ヲ知ラズシテ妄ニ譏ルト、ワレガ思フニ決シテソノデナイ、退之ガ諍臣論ヲ作りタルノ時ニ當リ、陽城ハ諫議大夫トナリテ居ルコトガ已ニ五年ノ久シキニ及テ居ル、後又二年ニシテ、始テ陸贄ト云フモノ、事ニ就イテ之ヲ朝廷ニ論争シ、陸贄ハ復ト得難キ人物デアレバ決シテ退ク可ラザルヲ諫メ、及裴延齡ト云フ者ガマサニ宰相トナラントスルニ當リ、大ニソノ人物ヲ以テ適當ノ才ニアラズトナシ、ソノ不可ヲ諫メ、強テ聞カレザルニ於テハ、ソノ宰相ニスルト云フ論旨ヲ書シテアル白麻ヲ裂キ破ランヅル意氣込ヲ示シタ、ワヅカニ此ノ兩事

ノミデアアル、サテ、唐徳宗ト云フ天子ノ時ニ於テハ、隨分天下多事ノ際デアツタ、官職ヲ授ケ、又ハ受クル者ニ於テモ、ソノ宜キヲ失ヒ、偏頗不公平ナル處置多ク、外ニハ朝命ヲ奉ゼザル叛反ヲ企ツル大將、藩鎮ノ強臣等ガ天下至ル所ニ、羅列ルト云フ有様デアツテ、又内ニハ互ニ朋黨ヲナシ、猜ミ忌ムト云フ風デ、朝廷ノ役人ハ君子ヲ採用セズ、小人ヲ進メ任用スルト云フ摸樣デアルカラ此時コソ、ナントシテ一事ノ争論スベキモノガナカローゾ、アルトモ、大アリダ、七年ヲ須ト云フヤツナ吞氣ナ沙汰デナイ、又當時ノ事ニ見ルニ、延齡ノ相トナルヲ沮ミ、陸贄ヲ退クルノ不可ヲ論ズルヨリ急要ナルモノガ外ニナイトハ申サレヌ、我ガ思フニ、朝ニ官ヲ拜命シタレバ、夕ニ直ニ上疏ヲ奏シテ諫言ヲ致スベキデアアル、幸ナルコトニハ、陽城ガ諫議太夫ノ役ニナリテ居ルコトガ七年ノ久キヲ積ミ、適間ヨク、延齡陸贄ノコトニ遇ヒ一諫シテ罷免ノ沙汰ニ遇ヒ、其官ヲ罷メ、ヤツトノ事デ、其責任ヲ塞クコトガ出来タト云フ者デアアルガ、向者ニ止五年若クハ六年ニシテ遂ニ司業ノ官ニ遷サレタナレバ、是オシマイ迄一言モ諫争セズシテ其職ヲ去リタルコトニナル、スルト陽城ニ於テ、何一ツ取所ガナイ。

コレ陽城ノ事ヲ引用シ、上文待ツアルノ不可ヲ斷ズ。

今之居官者。率三歲而一遷。或一一歲。甚者半歲而遷也。

論今ノ官ニ居ル者、率三歲ニシテ一遷、或ハ一一歲、甚シキ者ハ半歲ニ

此又非可以待乎七年也。今天子躬親庶政。化理清明。雖爲無事。然自千里詔執事而拜是官者。豈不欲聞正議而樂讜言乎。今未聞有所言說。使天下知朝廷有正士而彰吾君有納諫之明也。

シテ遷ルナリ、此又以ア七年ヲ待ツベキニ非ラザルナリ。今天子躬庶政ヲ親シ、化理清明、無事ナリ雖モ、然レドモ、千里ヨリ執事ニ詔シ、而シテ是官ニ拜スル者、豈正議ヲ聞キ而シテ讜言ヲ樂ムヲ欲セザランヤ、今未ダ言説スル所アリテ天下ヲシテ朝廷ニ正士アルヲ知ラシメ、而シテ吾君納諫ノ明アルヲ彰スヲ聞カザルナリ。

言フチ得ズ、言フチ得ル又曰ク、我待ツアリト、是終ニ一人ノ言フナキナリ、惜マザルベケンヤ。

今ノ官職ニ居ル者ハ、大概三年位ニシテ他ノ官ニ遷リ、或ハ一二年カ、甚シキモノハ半歳ニシテ遷ルト云フ時勢デアアルカラ、決シテ七年ヲ待ツベキデハナイ、今天子ハ躬スベテノ政事ヲ御自身ニナサレ、天下ヲ化シ理メ、天下ハ清明ニシテ何事モナク、泰平デアアルトハ申ス者ノ、然レドモ、千里ノ遠方ヨリ執事ニ詔シ、コノ諫議ノ官ニ拜シタルト申ス者ハ、ナント正大ナル議論ヲ聞キ正直ナル言論ヲ聞クヲ樂マントノ御趣意デアアルマイカ、ソレニ今以テ言論シ説ク所ガアツテ、天下ノ者ヲシテ朝廷ニハ執事ノ如キ正直ノ士アリ、我君ハ十分諫言ヲ聽納セラル、ノ聰明ノ徳アルト云フヲ中外ニ彰サレタルヲ聞キマセヌハ、如何ニモ遺憾ナルコトデアアル。

又曰ク、我有待。是終無一人言也。可不惜哉。

ソレ貧賤ニシテ、仕官ヲナサルノ士ガ草茅ノ下ニ窮居シテ坐經書史類ヲ口ニ誦シ、常ニ世ニ用ヒラレザルヲ恨ミテ居ルガ、サテ用ヒラレ仕官ヲスルト又曰フニ、彼ノ事ハ我ノ職掌デナイカラ、敢テ言フコトヲセヌ、或ハ又曰フニ我ノ位ガ猶卑イニ由リテ言フコトヲ得ヌ、已ニ言フコトヲ得ル地位ニナルト、又曰フニ、我ハ時節ヲ待ツノデアアルト、コレデ見ルト終ニ一人トシテ言フベキモノガナイコトニナル、實ニ惜ムベキ次第デハナイカ。

ソレ貧賤ニシテ、仕官ヲナサルノ士ガ草茅ノ下ニ窮居シテ坐經書史類ヲ口ニ誦シ、常ニ世ニ用ヒラレザルヲ恨ミテ居ルガ、サテ用ヒラレ仕官ヲスルト又曰フニ、彼ノ事ハ我ノ職掌デナイカラ、敢テ言フコトヲセヌ、或ハ又曰フニ我ノ位ガ猶卑イニ由リテ言フコトヲ得ヌ、已ニ言フコトヲ得ル地位ニナルト、又曰フニ、我ハ時節ヲ待ツノデアアルト、コレデ見ルト終ニ一人トシテ言フベキモノガナイコトニナル、實ニ惜ムベキ次第デハナイカ。

汎論ノ如シ、而ノ范文正公ヲ諷スル所妙ナリ。

コレ人情ニ付キ言フ、汎論ノ如シ、而ノ范文正公ヲ諷スル所妙ナリ。

伏シテ惟フニ、執事ニ於テハ、天子ガ執事ヲ用ヒラレタルノ意ハ、讜言ヲ聞クヲ樂ム所以ナルヲ思ヒ、君子百世ノ讜ヲ懼レラレ、一度昌言ヲ君前ニ陳シ大ニ諫争スルノ態度ニ出デラレ、執事ニ重望ヲ屬シテ居ル所以ノ意ヲ塞ギ、満足ヲ與フルヤウニ致サレ、且洛ノ士大夫ノ疑惑ノ解ルヤウニナシ下サレタナラバ、誠ニ大幸デアアル。

伏シテ惟フニ、執事ニ於テハ、天子ガ執事ヲ用ヒラレタルノ意ハ、讜言ヲ聞クヲ樂ム所以ナルヲ思ヒ、君子百世ノ讜ヲ懼レラレ、一度昌言ヲ君前ニ陳シ大ニ諫争スルノ態度ニ出デラレ、執事ニ重望ヲ屬シテ居ル所以ノ意ヲ塞ギ、満足ヲ與フルヤウニ致サレ、且洛ノ士大夫ノ疑惑ノ解ルヤウニナシ下サレタナラバ、誠ニ大幸デアアル。

照應結ヲナシ、別ニ韓愈争臣論ノ如ク鋒鏖ヲ見ハサズシテ諷スル所大ニ善

照應結ヲナシ、別ニ韓愈争臣論ノ如ク鋒鏖ヲ見ハサズシテ諷スル所大ニ善

注ニ昌ハ當ルナリトアル、
理ニ當ルナリ、道理アル言
チ云フ。

相 字 集 畢
有 字 集

小心文

此集皆謹嚴簡潔ノ文、
場屋中日晷有限、巧遲者不如、
拙速論策結尾略用此法、主司亦必以異人待之。

簡潔ニシテ主意十分ニ達スルヲ云フ。
兵拙速ヲ貴ビ功遲ヲ貴バズトアリ。
論策結尾ハ議論ナリ、策トハ時務ヲ論シ自分ノ經綸ヲ吐ク大議論ヲ云フ。
結尾トハシメク、リテ議論ノ結局ヲツクル所ナリ。

師說
古ノ學者、必ズ師アリ、師ハ道ヲ傳ヘ業ヲ授ケ惑ヲ解ク所以ナリ、人生ナガラニ

小心文

此集皆謹嚴簡潔之文、場屋中日晷有限、巧遲者不如、拙速論策結尾略用此法、主司亦必以異人待之。

此集載スル所ノ文ハ皆法度ヲ謹シミ、嚴格ニシテヨクヒキシマツテ居リ簡短ニシテ其要領ヲ得テ居ル所ノ文デアアル、試験場中ニテハ、日晷即時間ニ制限ガアルカラ、グヅ／＼シテハ居ラレヌ、兵法ニ曰ヘルガ如ク、巧者ニグヅツキ居リテハ、間ニ合ハナイカラ、拙クトモ速ニ作り上ゲテ定刻ノ時間ニ晚レヌヤウニ仕ナケネバナラヌ、故ニ拙ナリトモ、早ク速ニスルヲ尤肝要デアアル、論策ノ結尾等ニハ大略此様ノ文法ヲ用キルナレバ、試験官ニ於テモ、非常ナル異人ヲ以テ之ヲ待遇シ、試験ニ必ズ合格スルヲ得ル。

師說

韓 昌 黎

古之學者必有師。師者所以傳道授業解惑也。人非生而知之者。孰能無惑。惑而不從師。其爲惑也終不解矣。

シテ之ヲ知ル者ニ非ラズ、
孰カ能ク惑ナカラシム、惑フテ
師ニ從ハザル其惑タル終ニ
解ケズ。

吾前ニ生レ其ノ道ヲ聞
クヤ固ヨリ吾ヨリ先ナレバ
吾從フテ之ヲ師トセン、吾
後ニ生レ其ノ道ヲ聞クヤ亦
吾ヨリ先ナレバ、吾從フテ
之ヲ師トセン、吾ハ道ヲ師
トスルナリ、夫庸ゾ其年ノ
吾ヨリ先後生ナルヲ知ラン
ヤ、是故ニ貴トナク賤トナ
ク長トナク、少トナク、道
ノ存スル所ハ、師ノ存スル
所ナリ。

嗟呼師道ノ傳ラザル久
シ矣、人ノ惑ナカラシム欲
スル難シ矣、古ノ聖人、其
ノ人ニ出ヅルヲ遠シ矣、猶
且師ニ從フヲ問フ焉、今ノ
衆人、其ノ聖人ヲ去ルヤ亦
遠シ矣、而シテ師ニ學ブヲ恥
ズ、是故ニ聖ハ益、聖愚ハ
益愚、聖人ノ聖タル所以、
愚人ノ愚タル所以、其皆此
ニ出ヅルカ。

コレハ、唐ノ時ニ於テ人々互ニ相師トスルヲ恥ヂ、更ニ師ヲ求メ、弟子トナルコトヲセスト云フ一般ノ風トナリタルニヨリ、韓愈ガ之ヲ慨嘆シ、此文ヲ草シタルナリ、夫柳宗元ガ韋中立ニ與ヘ師道ヲ論ズルノ書中ニモ、獨韓愈時流ニ逆ヒ、嗤笑ヲ顧ミズトノ文句アルヲ以テ見ルモ、唐ノ時、師道ノ一般ニ行ハレザル傾向ガ知レル、韓愈ノ此說ハ時弊ヲ救ハントスルニアルナリ。

サテ古ノ學者、學問ヲナスモノハ必ズ師ト云フ者ガアル、師トハ如何ナルモノデアアルカト云ヘバ、聖賢ノ道ヲ傳ヘ、學業ヲ授ケ、人ノ疑惑ヲ解ク所以ノ者デアアル、人ト云フ者ハ生レナガラ、學バズシテ道理ヲ知ル者デハナイ、孰ニテモ疑ヒ惑ヒノナイ者ハナイ、疑ヒ惑フテ、ソレナリニ師ニ從ハナイトナレバソノ惑ヒタルコトハ、到底解ケナイ、分ナイテ終ルコトニナル。

コレ人ハ必ズ師ナカル可ラザルヲ云フ、傳道、授業、解惑コレ師ノ本領、且此文章一篇ノ綱領ナリ、人生レナガラニシテ之ヲ知ル者ニ非ラズト云フ、コレ下文ニ於テ古ノ聖人ヲ云ハントスルノ伏線ナリ、古ノ聖人ハコレ生知。

生乎吾前其聞道也固先乎吾吾從而師之生乎吾後其聞道也亦先乎吾吾從而師之吾師道也夫庸知其年之先後生於吾乎是故無貴無賤無長無少道之所存師之所存也。

吾ガ前ニ生レ、吾ヨリ年長デアツテ、其者ガ古聖賢ノ道ヲ聞クコトガ吾ヨリ先デアツテ、先輩デアアルナレバ、吾ハ其人ニ從フテ之ヲ師トスルデアアル、吾ガ後ニ生レ、吾ヨリ年少デアロウトモ、其者ガ古聖賢ノ道ヲ聞クコトガ吾ヨリ先デアレバ、吾ハ其人ニ從フテ之ヲ師トスル、吾ハ道ノアル所ノモノヲ師トスルノデアツテ、ソレドウシテ其年ノ吾ヨリ前ニ生レ後ニ生レタルヲ知ロウゾ年ノ少長ヲ論ズルヤウナ野暮ナルコトハセス、是故ニ貴キ者トナク、賤シキ者トナク、年長トナク、年少トナク、道ノ存スル所ハ吾ノ師ノ存スル所デアアル。

嗟呼師道之不傳也久矣欲人之無惑也難矣古之聖人其出人也遠矣猶且從師而問焉今之衆人其去聖人也亦遠矣而恥學於師是故聖益聖愚益愚聖人之所以爲聖愚人之所以爲愚其皆出於此乎。

ア、師道ノ衰ヘテ傳ラザルコトガ已ニ久シキコトデアアル、人ノ惑ヒナカラシムコトヲ欲スルモ、實ニ難イコトデアアル、古ノ聖人ナルモノハ、其ノ人ニ拔出人ニ過キ超テ居ルコトハ實ニ遠ク、逆モ衆人ノ企テ及ブ所ノモノデナイガ、ソレデモ

猶且師ニ從フテ問フヲナスガ、今ノ並々ノ人間デ見ルト、ソノ聖人ヲ去ルコト實ニ遠ク、迎モ聖人ニ及ブコトハ出來ヌガ、而ルニソレデモ、師ニ就キ學ブト云フヲ耻ヂテナス、コノ故ニ聖人ハ人ニ過ギ超テ居ル上ニ師ニ就キ問ヒ學ブニ由リ、益聖人トナリ、衆人ハ聖人ニ及バザルヲ遠シデアアルニ、ソレニ師トスルヲ耻ヅルカラ、愚ハ益愚トナルト云フ有様デアツテ、聖人ノ愈々聖人トナル所以、愚人ノ益々愚トナル所以ノ原因ハ、ソレ此ニ出ヅルノデアアルカ、コレガソノ聖ト愚トノ懸隔非常ニ甚シクナル譯デアアル。

文法 古ノ聖人、コレハ暗ニ孔子ヲ指ス、人生レナガラニシテ之ヲ知ルモノニ非ラズニ根シ來タル、聖人ト衆人トヲ對説スル所、双關法ヲ用フ、別ニ説明ヲ要セズ推知スベシ。

愛其子ヲ擇師而教之。於其身也則耻師焉。惑矣。彼童子之師。授之書而習其句讀者也。非吾所謂傳其道解其惑者也。句讀之不知。惑之不解。或師焉。或不焉。小學而大遺。吾未見其明也。

福臨其子ヲ愛シ、師ヲ擇ビ之ニ教フ、其身ニ於ケルヤ則師トスルヲ耻ヅ、惑ヘリ矣、彼童子ノ師ハ之ニ書ヲ授ケ而シテ其句讀ニ習ハラシムル者ナリ、吾ノ所謂ル其ノ道ヲ傳ヘ、其惑ヲ解ク者ニ非ラザルナリ、句讀ノ知レザル、惑ノ解ザル、或ハ師トス焉、或ハ不ズ焉、小子學ビ而シテ大ニ遺ル、吾未ダ其明ヲ見ザルナリ。

福臨句讀 句ハ一句一句ノ俗ニ云フ句キリナリ、讀トハ一章ノ切レル所ナリ。

ハ、畢竟童子ニ書物ヲ授ケテ、其ノ句讀ヲ習ハシムル才ノモノデアアル、吾ノ所謂ルソノ道ヲ傳ヘ其惑ヲ解ク所ノ師デハナイ、句讀ノ知レヌト、惑ノ解ケヌトサテ句讀ノ知レザル童子ノ爲ニハ折角師ヲ擇ビ、之ニ教フルガ、惑ノ解ケザル自身ニ於テハ師ニ就クコトヲセヌ、句讀ノ知レザル小事ノ方ヲバ之ヲ學ビ、惑ノ解ケザル大事ノ方ヲバ、ウツカリト遺レテ、師ニ就キ其惑ヲ解クコトヲセヌ、カ、ル有様デアアルガ、吾ニ於テハ未ダ其人ノ知ノ明ナルコトヲ認メズ、矢張、愚益愚デアアル。

文法 コレ師トスルヲ耻ヅルヲ説ク、此處亦雙關法ヲ用フ。

巫醫樂師百工之人。不耻相師。士大夫之族。曰師曰弟子。云者。則群聚而笑之。問之則曰。彼與彼年相若也。道相似也。位卑則足羞。官盛則近諛。嗚呼師道之不復可知矣。巫醫樂師百工之人。君子鄙之。令其智乃反不能及。可怪也。

福臨巫醫樂師百工ノ人、相師トスルヲ耻ザズ、士大夫ノ族、師ト曰ヒ、弟子ト曰フ者、則群聚シテ之ヲ笑フ、之ヲ問ヘバ則曰ク、彼ト彼ト年相若リ、道相似ルナリ、位卑ケレバ則羞ルニ足リ、官盛ナレバ則諛ニ近シ、嗚呼師道ノ復セザル知ルベシ矣、巫醫樂師百工ノ人ハ、君子之ヲ鄙ム、今其智乃反テ及ア能ハズ、怪ム可キカナ。

文法 巫ヤ醫者ヤ、諸技藝ヲ以テ生活ヲナセル百工ノ人ニ於テハ、師ニ就キテ學ブコトヲ耻ヂナイ、士大夫ノ族ニ於テ人ノ上流ニ立ツ所ノ者ガ、師ニ就クトカ、

云フテ、神ニ事フルモノ。
 百工。大工トカ左官トカ、ソノ外一切枝藝ニ食ムノ人ナリ。
 士大夫ノ族。族ハヤカラト云フ字ニテ、コレ等部類ノモノ。
 群衆。群トハ物三已上チ云フ聚ハ集ルナリ。

論語聖人ハ常師ナシ、其弘師。襄老。聘。邾子ノ徒、其賢孔子ニ及バズ、孔子曰ク、三人行ヘバ必ス我師アリ、故ニ弟子必ズ師ニ如カズンバナラズ、師必ズ弟子ニ賢ラズ、道ヲ聞ク先後アリ、術業專攻アリ、是ノ如キノミ。
 論語聖人無常師。論語ニ又何ノ常ノ師カ之有ラントアリ。

論語術業專攻。攻ハオサムルナリ、専門ニ或ル術業ヲ治ルチ云フ。

論語李氏ノ子蟠、年十七、古文ヲ好ミ、六藝經傳、皆之ニ通習シ、時ニ拘セス余ニ學アテ請フ、余其能古道ヲ行フヲ嘉シ、師說ヲ作以テ之ニ貽ル。
 論語六藝。禮、樂、詩、書、易春秋ナリ。

弟子トナルトカ云フト、ヨツテタカツテ之ヲ笑フト云フ有様デアルガ、何故ニ之ヲ笑フカト問ヘバ、彼ト彼トハ同年デアアル、道ニ於テ五分々々デ、更ニ優劣ガナイ、位ノ卑キモノヲ師ト仰ゲバ、羞ヅベキデアアル、官位ノ盛ナル者ヲ師トスルト、諛。追從ヲスルヤウデアルト、世上一般ノ風潮ガ、カ、ル勢デアルカラ、サテモ、師道ノ昔時ノ如クニ回復セヌコトハ知ルベキデアアル、巫豎樂師百工ノ人ハ、君子ノ人ガ之ヲ鄙ンデ居ルデアアルガ、今ソノ智惠ハ、反テ此等ノ者ニ及ブコトガ出来ナイトハ、サテ、不思議千萬デアハナイカ。
 文法。コレハ、巫豎樂師百工ノ如キモノヲ借り、以テ士大夫ヲ諷スルナリ、冷罵スル所最好シ。

聖人無常師。襄弘師。襄老。聘。邾子ノ徒。其賢不及孔子。孔子曰。三人行。必有我師焉。故弟子不必不如師。師不必賢於弟子。聞道有先後。術業有專攻。如是而已。

論語聖人ト云フモノハ、常ニ一定シタル師ハナイ、道ノアル所ハ、誰ヲデモ師トスル、ソノ證據ニハ、其弘、師襄、老聃、邾子、コレ等ノモノハ其賢ナルコトハ逆モ孔子ニ及バズガ、孔子ハ音樂ノコトヲ其弘師襄ニ學ビ、禮法ノコトヲ老聃ニ問フテムル、又論語ニ、孔子ノ曰ハル、ルニ、三人デ、アルコトヲ行フニ方リ、

ソノ中ノ一人ガ善ヲナセバ、我が其善ヲ取リテ之ヲ師トスル、モシ不善ナルコトガアレバ、我が吾身ニ省ミ、我身ニ不善ナルコトガアリテハナラヌト之ヲ改ムル故ニ三人デ事ヲ行フ日ニハ必ズソノ中ニ我ノ師ガアルト、コレハ誠ニ尤千萬ナル格言デアアル、ソレ故ニ、弟子ガ必ズシモ、ソノ師ニ如キ及バナイト云フ譯デナク、師ガ必ズ弟子ニ賢リテ居ルト云フ譯デナク、古聖賢ノ道ヲ聞クニ先後ト云フモノガアリ、又術業ニハソレ、自分専門ニシテ居ル得意ノモノガアルカラ、ソノ我ヨリ勝リテ居ル所ノモノヲ、我が師トシテ、我及バナイト所ヲ助クルヤウニスル、コレハ師ヲ取ルノ道デアアル。

文法。此處始テ孔子ヲ出シ、聖人且必ズ師アルヲ實證ス、聞道有先後。術業有專攻。コレ通篇歸宿ノ處ナリ。

李氏子蟠年十七好古文。六藝經傳皆通習之。不拘於時。請學於余。余嘉其能行古道。作師說以貽之。

論語李氏ノ子ノ蟠ト云フ者、今年ヤツト十七デアアルガ、古文ヲ好ミ、ソノ上ニ六藝經書傳記ノ類皆之ニ通シヨク習讀シテ居ル、今ノ時ハ互ニ師トスルヲ恥ヅルト云フ時勢デアアルニモ拘ラズ、余ヲ師トシテ學バントテ余ニ請フタルコトデアアルカラ、余ニ於テモ、獨其能古道ヲ行フヲ嘉シ賞シ、師說ヲ作りテ、之ニ貽リタコトデアアル。

又法 コレ師説ヲ作ル所以ヲ曰ヒ、一篇ヲ終ル。

獲麟解

麟ノ靈タル昭々ナリ、詩ニ詠ジ、春秋ニ書シ、傳記百家ノ書ニ雜出ス。婦人小子ト雖モ、皆其祥タルヲ知ルナリ。

麟之爲靈昭昭也。詠於詩、書於春秋、雜出於傳記百家之書。雖婦人小子皆知其爲祥也。

題意 解トハ人ノ疑ヲ解クノデアアル、麟ハ獸ノ名ナリ、コレハ春秋ノ書、魯ノ哀公十四年ニ西狩麟ヲ獲タリト書シテアルニ本キ、麟ハ其形ヲ以テセズ、ソノ徳ヲ以テスルヲ説キ、聖人ニシテ始テ麟ヲ知ルトノ意ヲ發明シ、麟ハ聖人ノ爲ニ出ヅルモノナルヲ明カス。

麟ト云フモノハ靈物デアツテ、通常ノ獸ニアラザルヲハ、實ニ昭々デアツテ、詩經ニモ麟趾ト云フガアリテ、之ヲ詠シ、春秋ニハ西狩ニ麟ヲ獲ルト書シソノ外、傳記諸子百家ノ書物ニ何レモ出テ居ル、ソコデ婦人小兒ニ至ルマデ、ソノ祥瑞ノモノタルヲ知ル。

又法 コレ一面、祥瑞タルヲ説、

然麟之爲物不畜於家。不常有於天下。其爲形也不類。非若馬牛犬豕豺狼麋鹿然。然則雖有麟不可知其爲麟也。

題意 然レドモ、麟ノ物タル家ニ畜レズ、常ニ天下ニ有ラズ、其形タルヤ類セズ、馬牛、犬豕豺狼麋鹿ノ如ク然ルニ非ラズ、然ラバ則

角者吾知其爲牛。鬣者吾知其爲馬。犬豕豺狼麋鹿吾知其爲犬豕豺狼麋鹿。惟麟也不可。知不可知則其謂之不祥也亦宜。

麟アリト雖モ、其ノ麟タルヲ知ル可ラザルナリ、角ナル者ハ吾其ノ牛タルヲ知ル、鬣ナル者ハ、吾其ノ馬タルヲ知ル、犬豕豺狼麋鹿ハ吾其犬豕豺狼麋鹿タルヲ知ル、惟麟ヤ知ル可ラズ、知ル可カラザレバ則其之ヲ不祥ト謂フ亦宜ナリ。

然レドモ、麟ト云フ物ヤ、家ニ畜フコト出来ズ、常ニ天下ニ有ルモノデナク、其形タル類似シテ居ナイ、馬牛犬豕豺狼麋鹿ノ如クニ似テ居ルト云フ譯デナイ、然ラバ則、麟ガ有リタニシタ所デ、ソノコレガ麟デアルト云フコトヲ知ルコトガ出来ナイ、角ノアル者ハ、我が一見シテ牛デアルト云フコトヲ知ル、鬣ノアル者ハ我が一見シテ馬デアルト云フコトヲ知ル、犬豕豺狼麋鹿ハ吾ガ其ノ犬豕豺狼麋鹿タルヲ知ルガ、惟麟ダケハ知ルコトガ出来ヌ、知ルコトガ出来テバ、則其之ヲ不祥ナル者ト云フモ亦尤ナル理ト曰ハネバナラヌ。

又法 コレハ一轉シテ其不詳タルヲ説ク。

然雖麟之出必有聖人在乎位。麟爲聖人出也。聖人者必知麟。麟之果不爲不祥也。

然リト雖モ、麟ノ出ルハ、必ズ聖人ノ君ガ位ニ居ル時デアアル、麟ハ聖人ノ爲ニ出ルノデアアル、聖人ハ必ズ麟ヲ知リテ居ル故ニ、麟モ聖人ニ遇バ、果シテ不祥ナルモノデナイ。

題意 然リト雖モ麟ノ出ル、必ズ聖人位ニ在ルアリ、麟ハ聖人ノ爲ニ出ルナリ、聖人ハ必ズ麟ヲ知ル結果シテ不祥タラザルナリ。

龍又曰、鱗ノ麟タル所以ノ者、徳ヲ以テシ、形ヲ以テセズ、若シ麟ノ出ル聖人ヲ待タサレバ、則之ヲ不祥ト謂フモ亦宜ナリ。

又法 又、雖然ノ二字ヲ以テ一轉シ、麟ノ不祥ナラザルヲ説ク。

又曰、麟之所以爲麟者、以徳不以形、若麟之出不待聖人、則其謂之不祥也亦宜。

講義 又曰ヘルニ、麟ノ麟タル所以ハ、ソノ徳ヲ以テ之ヲ祥瑞ノモノトナスノデアツテ、ソノ形ヲ以テ云フノデハナイ、聖人ニアラズバ、決シテ麟ヲ知ル能ハザルヨリ、モシ麟ノ出ル、聖人ヲ待タナイトキハ、則之ヲ不祥ノモノナリト謂フモ亦尤ナル次第デアル。

又法 徳ヲ以テシ形ヲ以テセズ、コレ主意。

雜説上

韓昌黎

龍嘘氣成雲、雲固弗靈於龍也。

題意 雜説トハ、色々ノ物ヲ借テ喻ヘ、自分ノ意ヲ寓シタルモノナルガ、コレハ龍ノ説トデモ云フベキモノデアツテ、龍ヲ以テ聖君ニ喻ヘ、雲ヲ以テハ賢臣ニ喻ヘ、以テ聖君賢臣ノ際會ニ喻ヘタルノ文ナリ。

講義 龍ガ氣ヲ嘘クト云フト、其氣ガ雲トナル、サテ雲ハ固ヨリ龍ヨリ靈妙不思議ノモノデナイ、雲ハ龍ノ靈妙ニシテ測ラレザル變化アルニハ及ブコトガ出來ナイ。

又法 龍ハコレ君、雲ハコレ臣、龍ヲ揚ゲ、雲ヲ抑フ。

然龍乘是氣、茫洋窮乎玄間。薄日月、伏光景、感震電、神變化。水下土、汨陵谷。雲亦靈怪矣哉。

講義 然レドモ龍ガ是ノ氣、雲ニ乘リ、バツトシテ大空ニ上リツメ、日月ニ切迫シ、日月ノ光リ景ヲモ隠シテ仕舞、地震ヲ起シ、電ヲ發シ、神變不思議ナル變化ヲナシ、大雨ヲ降ラシテ土地ヲ水一面ニナシ、陵ヤ谷ヲ水ニ汨シテ大洪水ヲ出スノ大變動ヲナス、スルト雲モ靈物且怪物タルヲ失ハナイ。

又法 コレハ聖君、賢臣ニ任ジ、大功ヲナスニ喻フ、コレ雲ヲ揚グ。

雲龍之所能使爲靈也。若龍之靈、則非雲之所能使爲也。

講義 雲ハ、ヨク龍ガ靈タラシムルヤウニスルノデアツテ、龍ノ靈ノ如キハ、雲ノヨク靈タラシムル所デハナイ。

又法 コレハ、賢君ヨク賢臣ヲ任用スルヲ曰フ、コレ雲ヲ抑ヘ龍ヲ揚グ。

然龍不得雲、無以神其靈矣。失其所憑依、信不可歟。異哉其所憑依、乃其所自爲也。易曰、雲從龍、既曰龍、雲從之矣。

龍、氣ヲ嘘バ、雲ト成ル、雲ハ固ヨリ龍ヨリモ靈ナラザルナリ。

龍然レドモ、龍是氣ニ乗シ、茫洋玄間ヲ窮メ、日月ニ薄リ、光景ヲ伏シ、震電ヲ感シ、變化ヲ神ニシ、下土ヲ水シ、陵谷ヲ汨ス、雲モ亦靈怪ナルカナ。

龍ハ龍ノ能靈タラシムル所ナリ、龍ノ靈ノ如キハ則雲ノ能靈タラシムル所ニ非ラザルナリ。

龍然レドモ、龍、雲ヲ得ザレバ、以テ其靈ヲ神ニスル無シ矣、其ノ憑依スル所ヲ失ヘバ、信ニ不可ナルカ異ナルカナ、其憑依スル所

ハ、乃其自ヲ爲ニスル所ナリ、易ニ曰ク、雲ハ龍ニ從フト、既ニ龍ト曰フ、雲之ニ從フ矣。

世ニ伯樂有リ、然ル後千里ノ馬アリ千里ノ馬ハ常ニ有レドモ而モ伯樂ハ常ニ有ラズ。

然レドモ、龍モ雲ヲ得ナイトキハ、以テ其靈ヲ神變不思議ニスルコトハ出來ス、其靈ヲ神變不思議ニスルコトヲ得ルハ、畢竟雲ニ憑リ依ルガ爲デアル、モシ其憑依スル所ヲ失フタナラバ、信ニ不可ナルコトデアルカ、サテ、不思議デア
ル、龍ガ其自身ニ雲ニ憑依スルハ、乃其ノ自ラ自身ノ爲ニスル所以デアル、易ニ曰フテアル、雲ハ龍ニ從フモノデアルト、ソレニ違ナイ、既ニ龍ト曰ヘバ雲ハ必ズ之ニ從フモノデ、相離ル可ラザルノ關係ガアル。

雜説下

韓昌黎

世有伯樂然後有千里馬千里馬常有而伯樂不常有。

コレハ、馬ノ説トデモ言フベキモノデ、千里ノ馬ヲ以テ、異才ノ士ニ喩ヘコレヲ知ルノ伯樂ヲ以テ、異才ヲ知リテ任用スルノ賢宰相ニ喩ヘ、世ニ異才ハアレド、異才ヲ知ルノ宰相ナキヲ嘆ズルナリ、天下管仲アレドモ、鮑叔ナシ、コレ東西古今ノ歎。

世ニ馬ヲ知ル所ノ伯樂ガ有リテ、然ル後ニ千里ノ能アル馬ガアルノデアアルサテ千里ノ馬ハ常ニアルケレドモ、千里ノ馬ヲ知ル所ノ伯樂ハ常ニナイ。賢相アリ、然ル後ニ賢才アリ、賢才ハ常ニ有レドモ、賢才ヲ知ルノ賢相ハ

常ニナイ。

故雖有名馬祇辱於奴隸人之手。駢死槽櫪之間不以千里稱也。

ソレ故ニ千里ヲ走ル所ノ名馬ガアリテモ、之ヲ知ルノ伯樂ガナイカラ、祇奴隸ノ如キ人ノ手ニ辱シメラレ、實ニ其能ヲ見ハスコトナク、槽ヤ馬屋ノ中ニ首ヲ並テ空ク死シ、千里ノ材能ヲ以テ世ニ稱セラレナイ。已ニ賢相ナシ、異才ノ士、其能ヲ見ハスナク、空ク一生ヲ終ル。

馬之千里者一食或盡粟一石。食馬者不知其能千里而食也。是馬也雖有千里之能食不飽力不足才美不外見。且欲與常馬等不可得安求其能千里也。

馬ノ千里ノ材能アルモノハ、一度ノ食ニモ粟一石位ヲ食スル、世ノ馬ヲ食ヒ畜所ノモノガ、其能ノ千里ノ馬デアルト云フコトヲ知リテ、之ヲ食ヒ畜コトヲセヌ、ソコデ是ノ千里ノ馬モ、假令千里ヲ走ル材能ガアルトシテモ、腹一杯食ハスカラ、食飽カズ、力モ不足スルト云フ次第デ、千里ノ材ノ美ガ外ニ見レヌ、ソコデ且通常ノ馬ト其力ヲ等シクセントスルモ、ソレサヘ得ラレヌト云フ

世ニ伯樂有リ、然ル後千里ノ馬アリ千里ノ馬ハ常ニ有レドモ而モ伯樂ハ常ニ有ラズ。

馬ノ千里ナル者、一食或ハ粟一石ヲ盡ス、馬チ食フ者、其能千里ナルチ知リテ食ハザルナリ、是馬ヤ、千里ノ能アリト雖モ、食飽ズ、力足ラズ、才ノ美外ニ見レズ、且常馬ト等シカラント欲スルモ得可ラズ、安ソ其能千里ナレチヒメンヤ。

粟一石 粟穀ナリ。

墓ナキ有様デアルカラ、ドウシテ其材能ノ千里ヲ見スヲ求メヤウゾ、腹一杯食ハヌデハ駄目デ、朝日奈ノカモ腕ノ中ニアルノダ。

文法 コレハ、異才ヲ待遇スルニハ大祿ヲ以テスベキヲ云フ。今ノ宰相、異才ヲ知ラズ、異才ヲ養フ所以ヲ知ラズ、故ニ異才ノ士、其材能ヲ見ハヌヲ得ズ。

策之不以其道。食之不能盡其材。嗚之不能通其意。執策而臨之曰。天下無良馬。嗚呼其真無馬耶。其真不識馬耶。

通聞之ヲ策ツニ其道ヲ以テセズ、之ヲ食フテ其材ヲ盡ス能ハズ、之ニ嗚ドモ、其意ニ通ズレ能ハズ、策ヲ執リ、之ヲ臨ミ曰ク、天下ニ良馬ナシト、嗚呼其真ニ馬ナキカ、其真ニ馬ヲ識ラザルカ。

講義 千里ノ馬ヲ策チ之ヲ使用セントスルニ、其道方法ヲ以テセズ、之ヲ食フニ腹一杯ノ食ヲ以テセズ、ソコデ其材能ヲ十分ニ盡シテ見スコトガ出來ズ、千里ノ馬ガ、ソノ飼主ニ嗚イテ訴フルモ、ソノ主人ノ意ニ通ズルコトガ出來ズ、ソレデ飼主ハ、策ヲ執リ、馬小屋ニ臨ミテ曰ク、天下ニ良馬ガナイト、ア、サテモソレ眞實ニ良馬ノナイノデアアルカ、ソレ眞實ニ良馬アルヲ識ラザルノデアアルカ。

文法 異才ヲ任用スル道ヲ知ラズ、異才ヲ待遇スルノ道ヲ失フテ居ル、異才ノ士ガ、ソノ衷情ヲ宰相ニ訴フルモ、ソレ意ニ通ズルコトガ出來ズ、宰相ハ依然トシテ天下ニ異才ナシト云フ、ソレ眞ニ異才ナキカ、ソレ眞ニ異才ヲ識ラザルカ文章說破セズシテ、起首ノ譬喩タル千里馬常有、伯樂不常有、ノ意ニ反筆シテ照應ヲナス所、眞ニ老練ナリ。

送薛存義序

河東薛存義將行。柳子載肉于俎。崇酒于觴。追而送之。江之澚。飲食之。且告曰。凡吏于土者。若知其職乎。蓋民之役。非以役民而已也。

河東ノ薛存義將ニ行ラントス、柳子肉ヲ俎ニ載セ、酒ヲ觴ニ崇テ追テ之ヲ江ノ澚ニ送リ、之ニ飲食セシメ、且告テ曰ク、凡士ニ吏タルモノ、若其職ヲ知ルカ蓋民ノ役、以テ民ニ役スルノミニ非ラザルナリ。

講義 薛存義ハ、柳宗元ノ友ナリ、零陵ノ縣令トナル、偶京師ニ歸省シ、事ヲ了テ再ビ任地零陵ニ歸ラントス、故ニ宗元コノ序文ヲ作リテ之ニ送リタルナリ、ソノ主意トスル所ハ、存義ヲ借り、當時ノ吏タルモノヲ諷スルナリ、文章、尤簡潔ニシテ、其論尤モ雄勁ナリ。

文法 我友河東ノ薛存義ガ、將ニ任地零陵ニ歸ラントスル、ソコデ柳子厚ハ、肉ヲ俎ニ載セ、酒ヲ觴ニ崇テ、ソノ跡ヲ追ヒ、之ヲ江ノ澚マデ見送り、携フル所ノ酒肉ヲ出シ、コレニタラフク飲食セシメ、ソノ上、之ニ告テ曰ヘルニ、凡一般ニ土地ニ吏トナリテ居ルモノ、若吏タルモノニ於テハ、其ノ職分ト云フモノヲ知リテ居ルカ、サテ、モトノ民ニ使役サレテ居ルノデアツテ、民ヲ使役スルノミデハナイ。

文法 民之役、非役民而已、コレ此文ノ主腦、以下此意義ヲ解説ス。

凡民之食於土者。出其什一備乎吏。使司平於我也。今受

凡民ノ土ニ食ムモノハ、其什一ヲ出シ、吏ヲ備ヘイ、我ニ司ラシムルナリ

今其直ヲ受ケ、其事ヲ怠ル者、天下皆然リ、豈惟之ヲ怠ルノミナラン、又從フテ之ヲ盜ム、向ニ一夫ヲ家ニ備シム、若ノ直ヲ受ケ、若ノ事ヲ怠リ、又若ノ貨器ヲ盜マバ則必怒リテ之ヲ黜罰セシム、以今ノ天下多ク此ニ類ス。

若直ハ價ナリ、俸給ヲサス。黜罰退ケ罰スルナリ。以思フナリ。

而シテ民敢テ其怒ト黜罰トヲ肆ニスル莫キハ何ゾヤ、勢同シカラザレバ

ナリ、勢同シカラザレバ、而モ理同シ、吾民一如何セン理ニ違スル者アレバ、恐レテ畏レザルヲ得レバ。

存義假ニ零陵ニ令タレト二年ナリ矣、蚤ニ作キ夜ニ思ヒ、力ヲ勤メ、心ヲ勞ス、訟ル者ハ平ニ、賦スル者ハ均、老弱懼詐暴憎ナシ、ソノ虚ク直ヲ取ラザルヲ爲サ、的ナリ矣、其恐レテ畏ル、ヲ知ルヤ審ナリ矣。

老若ト同シ。

的ハ明ナリ。

其直、怠其事者。天下皆然。豈惟怠之。又從而盜之。向備一夫於家。受若直。怠若事。又盜若貨器。則必甚怒而黜罰之。矣。以今天下多類此。

凡ソ、民タルモノハ、其土地ヲ耕作シ、而ノ生計ヲ立ツルモノナルガ、ソノ土地收入ノ十分ノ一ヲ出シ、租税トナシ、其租税ヲ以テ、役人ヲ我ニ備ヒ入レ、公平ナル處置ヲナスコトヲ我ニ司ラシムル爲ニ、民ヨリ役人ヲ置テ居ルノデアル、而ルニ、今ノ天下ノ役人共ハ、ソノ報酬ノミヲ受ケ、ソノ爲スベキ事ヲ怠リテ居ル報酬盜棒ト云フモノガ、天下至ル所、比々皆然リデアル、アニ惟ニ之ヲ怠ルノミデアローゾ、租税ノ外ニ色々ナル名目ヲ付ケ、民ノ物ヲ絞リ取りテ盜ヲナス、實ニ不都合千萬、沙汰ノ限デアル、向ニ一夫ヲ家ニ備タルトスルニ、ソノ日雇稼ノ奴ガ、更ニ仕事ヲナサズ、若主人ノ拂フ賃銀ノミヲ受取り、且若主人ノ貨財諸道具ヲ盜ムヤウナ不埒ヲ働ラヒタトスレバ、則必大ニ怒リテ之ニ暇ヲヤリ、之ヲ罰スルコトデアロー、我ガ思フニ、今ノ天下ノ役人ハ多ク此ニ類似シテ居ル。

天下ノ吏ノ不法ヲ極言ス、一喻ヲ設ケル所、最切當。而民莫敢肆其怒與黜罰。何哉。勢不同也。勢不同而理同。

如吾民何有達于理者。得不恐而畏乎。

ソレデアアルニ、民ガ敢テ怒モセズ、黜ケ罰スルコトヲモ、思ノマ、ニスルコトヲセスト云フモノハ、何故デアアルカ、ソレハ民ハ卑シク、役人ハ尊ク、尊卑ノ勢ガ同クナイカラデアアル勢同ジカラズトスルモ、道理ニ二ハナイ、カ、ル有様デアルトスレバ、吾民ノ難儀ヲドウスルカ、實ニ憂フベキコトデアアル、コノ道理ヲヨク知リテ居ルモノガアツタナラ、恐レ畏ルベキコトデハナイカ。

コレ理ヲ以テ斷ズ。

存義假令零陵二年矣。蚤作而夜思。勤力而勞心。訟者平。賦者均。老弱無懷。詐暴憎。其爲不虛取直也的矣。其知恐而畏也審矣。

存義ハ假ニ零陵ノ令トナリタルコト二年デアアルガ、實ニ勤勉家デアツテ、朝ハ早クカラ起キ、夜ハ夜深キ迄思フ費シソノ身心ヲ勞シ、力ヲ盡シ、心ヲ痛メ勞シテ惟民利ヲコレ計ラントシ、訟フル者ハ、公平ニ之ヲ裁判シ、民ニ割付テ取リ立ツル所ノ租税ハ均一ニシテ、偏頗ナル所置ガナイ、ソコデ老人モ若キ者モ、皆ソノ徳ニ懷キ、詐ヲ懷以テ上ヲ欺クト云フヤウナコトナク、亂暴ナルコトナシ、上ヲ憎ミ恨ムト云フヤウナコトモナイ、コレヲ以テ見ルト、今日アリフレ

タル役人ノ如ク、仕事ヲセズニ、ソノ俸給ノミヲ取ルト云フヤウナ不埒ヲ働カスヲハ的デアアル。ソノ道理ヲ恐れ畏ル、コヤ、審デアアル。

【又法】 コレ本題ニ入り、存義ヲ説ク、存義ノ良吏ナルヲ賛スルナリ。

吾賤且辱。不得與攷績幽明之説。於其往也。故賞之以酒肉。而重之以辭。

【講義】 吾ハ、身分ガ賤シク、ソノ地位モ低キヲデアアルカラ、人ヲ賞罰シ進退スルト云フ地位デナイニ由リ、存義ヲ賞スルト云フ譯ニ行カス、故ニ之ヲ賞スルニ酒肉ヲ以テシ、且之ニ重ネテ送ルニコノ序文ヲ以テスル。

【又法】 酒肉ノ字、自然ニ照應ス、辭ノ字ハ告之以下ヲ收ムルナリ、謹嚴ノ文之ヲ推スベシ。

送董邵南序

韓昌黎

燕趙古稱多感慨悲歌之士。董生舉進士。連不得志於有司。懷抱利器。鬱鬱適茲土。吾知其必有合也。董生勉乎哉。

【題意】 董邵南ハ韓愈ノ同輩ナリ、別ニ韓愈ノ詩中ニ董生行トテ、董生ヲ詠ゼシ一篇アルヲ以テ見ルモ、董生ノ行實大ニ詳ニ披ク所アルヲ見ルベキデアアルガ、サテ

董生ハ誠ニ不遇ナル人ニテ、コレ迄幾度トナク、進士ノ試験ニ應ジタレド、及第セズ、由リテ今度河北燕趙ノ土地ニ遠征ヲ試ミントスルニ當リ、韓愈ガ此ノ序文ヲ送ルノデアアルガ、韓愈ノ精神ハ其遠征ヲ思ヒ止マラシメントスルニアルノデアアルケレドモ、折角ノ思立ユヘ、行クナトモ言ヒ兼ネ、行クベシ、行ク可ラズト云フ筆法ニテ之ヲ書シ、要スル所、止マルベシトノ意ヲ諷ス、尤韓愈苦心用意ノ文ナリ。

【講義】 河北燕趙ノ土地ハ、古戰國時代ニハ、隨分感慨悲歌ノ士ガ多クアリタト稱シテ居ツタリデアアル、董生ニ於テハ、コレ迄何遍モ進士ノ試験ニ應ジタルコトデアアルガ、志ヲ時ノ有司試験官ニ得ズ、有司ニ取ラレズ、及第スルコトガ出來ナカツタ、ソコデ立派ナル材器ヲ持チナガラ、鬱々ト志ヲ得ズ不平ノ餘茲土燕趙ノ土地ニ行クコトナルガ、吾ニ於テハ、ソノ燕趙ノ士ト意氣相投合シテ、十分面白ク前途有望ナルヲ知ル、董生ニ於テハ一奮發シテ勉メヨヤ。

【又法】 コレ一面行クベシトテ之ヲ獎勵ス。

夫以子之不遇時。苟慕義彊仁者。皆愛惜焉。蚘燕趙之士出乎其性者哉。

【講義】 ソレ、董生ノ如キ利器ヲ懷抱シナガラ、時ニ遇ハズ、不幸ナルヲ以テ、苟ニモ、義ヲ慕ヒ、仁ヲ強メ行フ所ノ者ハ、皆愛ミ惜ミテ居ル、マシテ燕趙ノ士

【講義】 吾賤且辱、攷績幽明ノ説ニ與ルヲ得ズ、其ノ往ニ於ケルヤ、故ニ之ヲ賞スルニ酒肉ヲ以テシ、而シテ之ニ重シク辭ヲ以テスル。地位低キナリ。

【講義】 不得與攷績幽明之説。於其往也。故賞之以酒肉。而重之以辭。コレハ書ニ三載功績ヲ考ヘ三考幽明ヲ陟黜スルトアリ三年目ニ官ニ居ル者ノ功績ヲ考ヘ、三考、九年目ニ幽ニノ愚ナルヲ黜ケ、明ニノ賢ナル者ヲ陟スナリ、コレハ一國ノ大臣ノスル所デアリテ微賤ナル者ノスル所デナイ、故ニ子厚ガ之ヲ引用シテ斯ク言フナリ。

【講義】 董邵南ヲ送ル序。燕趙、古ハ稱ス感慨悲歌ノ多シト、董生進士ニ舉ラレ、連ニ志ヲ有司ニ得ズ、利器ヲ懷抱シ、鬱々ト志ヲ得ズ不平ノ餘茲土燕趙ノ土地ニ行クコトナルガ、吾ニ於テハ、ソノ燕趙ノ士ト意氣相投合シテ、十分面白ク前途有望ナルヲ知ル、董生ニ於テハ一奮發シテ勉メヨヤ。

【講義】 夫以子之不遇時。苟慕義彊仁者。皆愛惜焉。蚘燕趙之士出乎其性者哉。コレハ書ニ三載功績ヲ考ヘ三考幽明ヲ陟黜スルトアリ三年目ニ官ニ居ル者ノ功績ヲ考ヘ、三考、九年目ニ幽ニノ愚ナルヲ黜ケ、明ニノ賢ナル者ヲ陟スナリ、コレハ一國ノ大臣ノスル所デアリテ微賤ナル者ノスル所デナイ、故ニ子厚ガ之ヲ引用シテ斯ク言フナリ。

【講義】 夫以子之不遇時。苟慕義彊仁者。皆愛惜焉。蚘燕趙之士出乎其性者哉。コレハ書ニ三載功績ヲ考ヘ三考幽明ヲ陟黜スルトアリ三年目ニ官ニ居ル者ノ功績ヲ考ヘ、三考、九年目ニ幽ニノ愚ナルヲ黜ケ、明ニノ賢ナル者ヲ陟スナリ、コレハ一國ノ大臣ノスル所デアリテ微賤ナル者ノスル所デナイ、故ニ子厚ガ之ヲ引用シテ斯ク言フナリ。

ハ、天性義ヲ慕ヒ、仁ヲ強ムル者デアルカラ、猶更ノ一董生ニ同情ヲ寄セルコトデアル。

【文法】 コレ亦一面、行クベキヲ云フ。

然吾嘗聞風俗與化移易吾惡知其今不異於古所云邪。聊以吾子之行卜之也董生勉乎哉。

【講義】 ソーデハアルケレドモ、吾ガ嘗テ聞ニ、風俗ト云フモノハ、時ノ教化ト共ニ移易ルト云フコトデアルカラ、吾ニ於テ、ドウシテ、ソノ今ノ風俗ガ古ノ風俗ト異ハナイト云フコトヲ知ラウゾ、今ト古トハ、スツカリ打テ變リテ居ルカ分ラヌ、聊易リテ居ルカ、易テ居ラヌカヲお前ノ今度行クノヲ以テ、之ヲウラナウテ見ルノデアル。

【文法】 然ノ一字ヲ以テ一轉シ、風俗古今ノ變アルヲ云ヒ、今日ハ恐クハ昔日ノ如クナラザルヲ説キ、古ノ感慨悲歌ノ士ナキトキハ、董生ノ遠征モ駄目ナラント云フ、コレ行ク可ラザルヲ諷ス、然ノ一字、千金ノ價アリ。

吾因子有所感矣。爲我弔望諸君之墓。而觀於其市。復有昔時屠狗者乎。爲我謝曰。明天子在。上可以出而仕矣。

【講義】 吾ハ子ノ行クニ就キ、大ニ感ズル所ガアル、ソレハ、ドウカ、我ノ爲ニ望

然レドモ、吾嘗テ聞ク風俗化ト移易スト、吾惡ク其今ノ古ノ云フ所ニ異ラザルヲ知ランヤ、聊吾子ノ行クヲ以テ之ヲ卜スルナリ、董生勉メヨヤ。

吾子ニ因リ感ズル所有リ矣、我爲ニ望諸君ノ墓ヲ弔セヨ、而シテ其市ヲ見ル復昔時ノ屠狗ノ者有ルカ我爲ニ謝シテ曰へ、明天子上ニ在リ、以テ出テ、仕フメシ矣。

望諸君 樂毅、燕ヲ去リ、趙ニ至ル、趙、毅ヲ封シテ望諸君トナス。昔時屠狗 屠狗トハ大殺ナリ、昔時荆軻高漸離ノ徒、屠狗ノ者ト交リ日ニ酒ヲ飲ミ、悲歌慷慨而シテ相泣ク。

王含秀才 送ル序 吾少時醉鄉記ヲ讀ミ私ニ怪ム 隱居スル者、世ニ累ハサル所ナシ、而ルニ猶是言有リ、豈誠ニ味ヲ旨トスルカ。

諸君樂毅ノ墓ヲ吊フテ貫ハントスルコトデアアル、ソーシテ燕ノ市ヲ觀ル時ニ於テ昔時犬ヲ屠ル仲間ノ中ニ隱レ悲歌慷慨シテ居タ、荆軻、高漸離ノ徒ガアリハシナイカ、モシモ、是等ノ徒ガアリタナレバ、我ノ爲ニ此等ノ者ニ告テ吳レロ、今ヤ聖明ナル天子ガ上ニマシマスニ由リ、出デ、仕ヘルヤウニト吳々モ韓愈ガ言フテ居タト申シテ、聖明ナル天子ニ出仕スルヤウニ勸告シテ吳レロ。 【文法】 コノ處、全ク大史公史記ノ贊ヲ習フ、頗ルソノ風調アリ、明天子在上、可以出仕、コレ全文ノ主意、燕市此等ノ徒ニ出仕ヲ勸告ス、董生固ヨリ明天子ニ朝廷ニ仕フベシ、無理ニ河北燕趙ノ地ニ行カナイデヨカロートテ、行ク可ラザルノ意ヲ諷スルナリ、意味尤深遠ナリト云フベシ。

送王含秀才序

韓昌黎

吾少時讀醉鄉記。私怪隱居者。無所累於世。而猶有是言。豈誠旨於味耶。

【題意】 王含ハ隋ノ末、王績ノ子孫ニシテ、ナカクノ門閥家ナルガ、ドウモ不遇ニシテ、度々進士ノ試験ニ應ズルモ、及第スルコトガ出來ヌ、今度モ落第セリ、コレハ落第シテ歸ルヲ送ルノ文ナリ、故ニ韓愈ニ取リテモ、甚難題ナル文ト云フベシ、ソコデ王含ニ慰藉ヲ與フルノ意ヲ以テ之ヲ草シ、王含ヲシテ心中、

甘キナリ。

阮藉陶潜ノ詩ヲ讀ムニ及ビ、乃知ル、彼優遊世ト接スルヲ欲セズト雖モ、然レドモ、猶未ダ其心ヲ平ニスル能ハズ、或ハ事物是非ノ爲ニ相感發ス、是ニ於テ托シテ逃ガル者アルナリ。

高アルノ意。

顔回子ノ如キハ、一簞トテ操リ、曾參歌聲金石ヨリ出ルガ如シ、彼聖人ヲ得テ之ヲ師トス、汲々及アラザルガ如シ、其外ニ於ケルヤ、固ヨリ暇アラズ、尙何ソ樂ニ之ト託シ、昏冥ニ之逃レンヤ、吾又以テ醉郷ノ徒ノ不遇ヲ悲シムナリ。

コレニテ氣ヲ落サヌヤウニセヨトノ意ヲ以テ、一文ノ組立ヲナセリ。

吾ガ少キ時、隋ノ末世ノ人、王績ノ作リタル醉郷記ト曰ヘル文章ヲ讀ミ、私ニ吾ノ心中ニ不思議ニ思フタルコトアル、ソレハ何故デアアルカト曰ヘバ、王績ノ如キハ、已ニ隱居シテ世事ニ關係セスト云フ身分デアレバ、別ニ世ノ事ニ拘リ、ソノ心ヲ累ハサルト云フヤウナコトモナク、極氣樂ナル生活ヲナスモノデアルカラ、無理ニカ、ル文章ヲ書キ、自分ノ心中ヲ訴フルコトヲセナイデ、ヨカロニ、而ルニ、是醉郷記ヲ書タトスルト如何ニモ、不思議デアアル、ナント誠ニ眞カラソノ酒ノ味ヲ旨シトシテ、之ヲ書タルモノデアロカ。

王含ハ、王績ノ子孫ナル故、筆ヲ醉郷記ニ起シタルナリ、コレハ一ノ疑問ヲ發スルナリ。

及讀阮藉陶潜詩乃知彼雖優遊不欲與世接然猶未能平其心或爲事物是非相感發於是有所托而逃焉者也。

阮藉ヤ、陶潜ヤ、二人ノ作リタル詩ヲ讀ムニ及ビ、乃其ノ疑問モ解タコトデアル、彼醉郷先生ノ王績ニ於テハ世ニ傲リ高ブリテ屈セズ、世ノ俗物共ハ相手ニセスト云フ調子ヲ居ルケレドモ、ソレデモ、猶マダ其心ヲ平氣ニスルト云フ譯ニ行カズ、時ニヨルト、折ニ觸レ、世ノ物事ノ是非ヲ見ルニ付ケ、自然ト其

心ニ感ジ奮發スル所ガアリテ、タマラヌコトガアル、ソコデ、カ、ル場合ニハ、酒デモ飲ンデ氣ヲ散ズルヨリ外ハナイ、ソレ故、酒ニカコツケテ、一時不平ノ情ヲ逃レ、酒ニマギラシテ其心ヲ慰スルト云フ者デアロ。

若顏氏子操瓢與箆曾參歌聲若出金石彼得聖人而師之汲汲每若不可及其於外也固不暇尙何麴蘖之託而昏冥之逃耶吾又以悲醉郷之徒不遇也。

孔子ノ弟子顔回ノ如キハ、惟貧ニ安ンジ、平生一瓢ノ酒ト、一簞ノ食トヲ操リ、ソノ道ヲ樂シムノ外、餘念ナク、曾參ノ樂ヲ奏シ、歌所ノ聲ハ、恰金ヲ打チ、石ヲ擊ガ如ク、此等二人ノ者ハ、平生其身當世ニ意ヲ得ザルモ、更ニ不平ノ心ヲ起スコトヲシナイ、ソレハ此二人ハ聖人タル孔子ヲ得テ之ヲ師トナシナンデモ孔子ニ企テ及バネバ止ヌト云フ意氣込デ、汲々トシテ骨折リ勉強シ、尙及ブコトノ出來ヌヲ恐ル、ト云フ次第デアルカラ、ソノ外ノ事ニ於テハ、固ヨリ慕フ暇ガナイ、尙ドウシテ、酒ナンドニ託ケテ、酒ニ酔ヒ潰レ、心ヲ昏ク冥クシ、一時前後ヲ忘ル、ト云フ有様ニ立チ至リ、不平ノ情ヲ逃レ、マギラカスト云フヤウナコトヲ仕ヤウゾ、醉郷先生ノ徒モ孔子ノ如キ聖人ニ遇フタナレバ

決シテカ、ルコハナサズ、顔回曾參ノ如クナスデアツタローニ、吾ハ醉郷先生ノ徒ノ如何ニモ不遇ナルヲ悲シムモノデアアル。

文法 コノ處ハ、顔回曾參二人ヲ借り、醉郷先生ヲ抑へ、且ツソノ不遇ヲ悲ムナリ。

建中初天子嗣位有意貞觀開元之丕績。在廷之臣爭言事。當此時醉郷之後世。又以直廢。吾既悲醉郷之文辭。而又嘉良臣之烈。思識其子孫。

訓讀 建中ノ初、天子位ヲ嗣キ、貞觀開元ノ丕績ニ意アリ、在廷ノ臣、争テ事ヲ言フ、此時ニ當リ、醉郷ノ後世又直ヲ以テ廢セラレ、吾既ニ醉郷ノ文辭ヲ悲シ、而シテ又良臣ノ烈ヲ嘉シ其子孫ヲ識ルヲ思フ。

講義 建中ノ初年ニ當リ天子ガ新ニ位ヲ嗣レ、貞觀ノ太宗、開元ノ玄宗ノ如キ大ナル功績ヲ紹ントナサレ、銳意政治ニ勤勞サレタ、ソコデ、朝廷ノ臣モ、我先ニト争フテ政事ノ得失ニ付キ、言上シタルコトデアアルガ、醉郷ノ後世ノモノモ、此時政事ノコトニ付イテ論議シ、餘ニソノ議論ガ正直テ過激ニアツタ爲、遂ニ官ヲ廢メラレタ、吾ハ既ニ醉郷ノ文章ヲ讀ミテ之ヲ悲シミ、同情ヲ寄セテ居ルコトデアアルガ又直道ヲ以テ廢セラレタル良臣ノ烈アルヲ嘉メ、ナンデモンソノ子孫ニ遇フテ之ヲ識リ、實際セント思フノ心ガ實ニ切デアツタ。

文法 コノ處、醉郷ノ家系ヲ解説シ、實ニソノ先祖ヲ辱シメザルヲ言ヒ、思識其子孫ノ五字、下ノ王含ヲ起ス、眞ニ妙筆。

今子之來見我也無所挾。吾猶將張之。况文與行不失其世守。渾然端且厚。惜乎吾力不能振之。而其言不見信於世也。於其行姑與之飲酒。

訓讀 今子ノ來リテ我ヲ見ルニ挾ム所ナシ、吾猶將張ラントス、況ヤ文ト行ト、其ノ世守ヲ失ハズ、渾然トシテ端且厚、惜ガナク吾力ノナク振能ハズ其言世ニ信ゼラザルナリ、其行ニ於テ姑之ト酒ヲ飯ム。

講義 今お前ノ來リテ、我ヲ見ルヤ、胸中挾持所ノモノガナク、コレト云フ所能ガナイニシテモ、吾ハ猶マサニ、之ヲ張大ニシ、仰山ニ言フテ、之ヲ世間ニ吹聴セントシテ居ルノデアアルガ、況シテ所能ガナイト云フデハナク、大有デ、文章ト曰ヒ、行狀ト曰ヒ、其ノ世々ノ守ヲ失ハズ、實ニ其先祖ヲ辱シメズ、渾然ト圓滿ニシテ欠クル所ナク、行ハ端シク、且厚クシテ輕薄ナルコトガナイ、實ニカ、ル人物ヲ引立テ、世ニ出シタキハ山々ナレドモ、惜シムベキコトニハ、吾モ微力デアアルカラ、之ヲ十分ニ振ヒ張リテ世ニ勢力アラシムルヤウニ引立ルト云フコト出來ズ、且我ニ大聖孔子ノ如キ大徳ガナイカラ、ソノ議論モ、世ニ信用サレヌ、故ニソノ其行ヲ送ルニ付テ、姑クお前ト酒ヲ飲ミ、之ヲ慰ムルコトデアアル。

文法 到底コレヲ慰藉スルヲ以テ一篇ヲ了ル、結尾酒ノ字ハ、醉郷ノ意ヲ離レザルナリ。

答李秀才書

韓昌黎

福壽李秀才ニ答フル書。

愈白ス、故友李觀元賓、十年ノ前、愈ニ吳中ノ故人ニ別ル、詩六章ヲ示ス、其首章ハ吾子ナリ、盛ニ稱引スル所アリ、元賓ハ行峻潔ニシテ清シ、其中狹隘尋常ノ人ナキ包容スル能ハズ、昔テ荷モ論説スル有ラズ、因テ其所以ヲ究ルニ、是ニ於テ吾子ノ庸常人ニアラザルヲ知ル。

故友 死セル友ナリ。
元賓ハ李觀ノ字ナリ。
故人ハ友達ナリ。
峻潔、清、峻、高キ意、其狹隘、胸中ノ狹キナリ。
包容、カ子イル、ノ其ニテ大目ニ見交際スルナリソレガ出来ヌ。

愈白。故友李觀元賓十年之前。示愈別吳中故人詩六章。其首章吾子也。盛有所稱引。元賓行峻潔清。其中狹隘不能包容於尋常人。不肯苟有論說。因究其所以。於是知吾子非庸衆人。

李秀才、名ハ師錫、字ハ圖南、韓愈ト時ヲ同クセリ、コレハ韓愈ニ一書ヲ寄セ、文章上ノ教ヲ乞ハントセリ、故ニ韓愈ガソノ返書ヲ與ヘタルモノナルカ遠ク、故友李觀ノコトヲ引用シ、大ニ文章ノ上ニ一段ノ趣向ヲ添ヘタリ、學者宜シクソノ用意ノ所ヲ見ルベキナリ。

韓愈ガ復書シテ申スコトデアアル、今デハ死セシ友ノ李觀元賓ナル者ガ、思起スト、今ヨリ十年前以前ニ、韓愈ニ、元賓ガ吳中ノ朋友ニ別レタルノ詩六章ヲ送リテ示シ見セタコトデアアルガ、其六章中ノ首章乃第一章ノ詩ハ、お前ニ別ル、ノ詩デアツタ、其詩中ニお前ノ事ヲ非常ニ稱賛シ、引キ立テルヤウニ書デアツタサテ元賓ト云フ人物ハ、其ノ行ガ尤高ク潔ク、ソシテ清ク更ニサモシイコトヲシナイ、ソレユヘ其ノ胸中モ狹隘シテ、大目ニ見ルト云フコトナク、並大體ノ人ヲ包容テ、ソコヲヨイ調子ニ交際シテ行クト云フヤウナコトハ、連モ能ハヌ尋常ノ人ト見タレバ天カラ相手ニナラズ、昔テ荷モ論説スルト云フコトナク、ソノ時ニ於テお前ノコト盛ニ稱引シテ居タ所ヲ見ルト、お前ノ凡庸ナル人ニアラズ、天晴見込ノアル人物タルヲ知ルベキデアアル。

元賓ノ詩ヲ借り、李秀才ノ賢ヲ寫ス。

時吾子在吳中。其後愈出在外。無因緣相見。元賓既歿。其文益可貴重。思元賓而不見。見元賓之所與者。則如元賓焉。

ソノ時ニお前ハ吳中ニ居リタガ、其後韓愈ハ出デ、遠ク外ノ土地ニ居リタルコト、テ、相逢見ルニ便ヨスガト云フモノガナカツタ、元賓ハ已ニ死シ、ソノ文章ハ益々貴重スベキデアアルガ、我ハ元賓ノコトヲ思フテ忘ル、際ナク、而カモ見ルコトガ出来ヌ、ソコデ元賓ノ與ニ交際シテ居リシ友達ニ逢フト、恰モ元賓ニ遇フタル如キノ感ガアル。

コレ元賓ヲ思フノ心、切ナルヲ云ヒ、下文ノ李秀才ヲ呼ビ起ス。

今者辱惠書及文章。觀其姓名。元賓之聲容。恍若相接。讀其文辭。見元賓之知人。交道之不汗甚矣。子之心。有似於

時ニ吾子吳中ニ在リ、其後愈出テ外ニ在リ、相見ルニ因緣ナシ、元賓既ニ歿シ、其文益々貴重スベシ元賓ヲ思フテ見ズ、元賓ノ與ニスル所ノ者ヲ見ル則元賓ノ如シ。

今者辱者辱ナク書及文章ヲ惠マル、其姓名ヲ觀レバ元賓ノ聲容恍トシテ相接スルガ如シ、其文辭ヲ讀ミ元賓ノ人ヲ知り交道ノ汗ナラ

吾元賓也。

ザルヲ知ル、甚イカナ、子ノ心、吾ガ元賓ニ似ル有ルヤ
○〇〇〇〇 恍ハウツト
○〇〇〇〇 恍如相接
○トスルナリ

今者、辱ナクモ手紙ナリ及文章ヲモ併テ惠マレタルコトデアアルガ、ソノ封書ノ姓名ヲ見ルト、元賓ノ友トセシ、お前ノ姓名デアアルカラ、飛立ツ思ヒデアツテ、恰モ元賓ノ聲ナリ容貌ガウツトトリトシテ目ノ先キニチラヅクゴトク、元賓ト相接見スル心地デアツタ、開封シテ、ソノ文章ヲ讀デ見ルト、ナカクニ其文章モ立派デ、お前ノ人物モ分リ、サスガハ元賓程アツテ、交際ノ道ノ汚レズ、天晴ナル人物ヲ友トシテ居ルヲ見知りタ、サテくヒドイコトデアアル、お前ノ心ガ吾元賓ト似テ居ル所ノアルコトヨ。

客ヲ借り主ヲ形ス、李秀才ノ賢、言ハズシテ自然ニ見ハル。

子之言以愈所爲不違孔子不以雕琢爲工將相從於此愈敢自愛其道而以辭讓爲事乎。

子ノ言ニ以テク愈ノ爲ス所、孔子ニ違ハズ彫琢ヲ以テ工ト爲サズ、將ニ此ニ相從ハントスト、愈敢テ自ラ其道ヲ愛シ、辭讓ヲ以テ事ト爲シヤ。
○〇〇〇〇 彫琢ハ玉チスリミガクナリ、コトハニハ、惟文章ノ字句ヲ修飾スルコトニ用フ
○〇〇〇〇 謙讓シ、コトハルコトナセズ

子ノ來書ノ言ニ思ヘルニ、愈ノ平生心掛爲シテ居ル所ハ、更ニ孔子ト相違スル所ナク、惟文章ノ字面ヲ飾ルト云フヤウナ、細工メキタルコトヲナスヲ以テ上手ナリトセズ、古文ノ粹ヲ以テ自任シテ居ルニヨリ、マサニ此ニ相從ヒ、我ニ就キ交章ヲ學バントノ申込デアアルガ、如何ニモ尊意ヲ了シタ、韓愈ニ於テ、自ラ其道ヲ愛テ、辭讓シ遠慮スルコトヲナソゾ、腹藏ナク、韓愈ノ志ス所ノモノヲ教示スルデアロー。

コレ共ニ文ヲ談スベキヲ云フ、文ト曰ハズ、愛其道ト云フ、道ノ字コレ韓愈ノ本領、道ノ外ニ文ナキナリ。

然愈之所志於古者不惟其辭之好。好其道焉。爾讀吾子之辭而得其所用心。將復有深於是者。與吾能樂之。況其外之文字乎。愈頓首。

然レドモ愈ノ古ニ志ス所ノ者、惟其辭ノ好ムノミナラズ、其道ヲ好ムノミ、吾子ノ辭ヲ讀ミ而シテ其心ヲ用フル所ヲ得、將ニ復是ヨリ深キモノアラントスルカ、吾子之ヲ樂マン、況ヤ其外ノ文テヤ、愈頓首

然レドモ、韓愈ノ古ニ志スト云フ者ハ、惟ニ其ノ文辭ノミヲ好ムト云フ譯デナク、ソノ道ヲ好ムノデアアル、お前ノ文辭ヲ讀ミテ、ソノ平生ノ心ヲ用キ、注意ノ點モ知レタ、マサニ文辭ヨリモ更ニ一層深ク好ム所ノモノ、乃道ヲ好ムモノガアルノデアアルガ、スレバ韓愈トソノ嗜好ヲ同ジクシテ居ルカラ、お前ト共ニ之ヲ樂ムデアロー、マシテ其外ノ文ニ於テハ、時ニ意見ヲ述テ教示スルコトハ無論ノコトデアアル。

文ヲ以テ餘事トナシ、道ヲ以テ李秀才ニ望ム、之ヲ勉ムル所以ノモノ深シ

送許鄧州序

韓昌黎

愈嘗以書自通於于公。累數百言。其大要言。先達之士得

愈嘗テ書ヲ以テ自ラ于公ニ通ズ。累數百言。其大要ニ言フ、先達ノ士、人ヲ得

テ之ニ託スレバ則道德彰
レ名問流ル、後進ノ士
人ヲ得テ之ニ託スレバ、則
事業顯レ爵位通ズ、下能
ニ矜ル有リ、上位ニ矜ル
有レバ、恒ニ相求ムト雖モ
而カモ喜テ相遇ハズ。

人而託之。則道德彰而名問流。後進之士得人而託之。則
事業顯而爵位通。下有矜乎能。上有矜乎位。雖恒相求而
喜不相遇。

許郢州、名ハ志雍、字ハ仲興、今度野州ノ刺史トナリ、將ニ赴任セントス
ヨリテ韓愈此序文ヲ作リシナリ、サテ郢州ヲ支配スル節度觀察使ハ、彼于嶺
アル、開卷第一ニアリシ于襄陽ナリ、于公ハ隨分無理非道ナル政事ヲナシツ、
アレバ、コレ矢張題ヲ借り之ヲ諷シタルノ文ナリ。

韓愈ガ嘗テ、手紙ヲ以テ自ラ于嶺ニ通ジ數百言ヲ累ネタコトアル、其ノ大
要ノ意味ハ、先達ノ士ガ後進ノ士ヲ得テ、之ヲ任用シ、之ニ打任シテ行ケバ、
則先達ノ士ノ道德ハ益々世ニ彰ハレ、ソノ名譽表判ガ後世迄流レ傳リテ殘ルコ
トアルシ、後進ノ士ガ先達ノ人ヲ得テ、之ニ依頼シ、之ニソノ身ヲ託シテ行ク
ヤウニスレバ、後進ノ士ノ事業モ顯レ、見ルベキモノガアリテ、ソノ爵位モ通
ジ、出世モ出來ルコトアル、下後進ノ士ガ、ソノ材能ニ矜リ、上先達ノ士ガ
ソノ位ニ矜ルヤウナリニナルト、此先達後進ノ士ナルモノハ、恒ニ相求メテ居
ルトハ雖モ、惟喜ビ慕フテ居ルト云フノミデアツテ、實際相遇フテ助ケ合フト
云フコトガナイ。

コレ前ノ上書ヲ詳略シテ之ヲ擧ゲ、大ニ之ヲ諷セントスルノ地ヲナス。

于公、其言ヲ以テ不可
ト爲サズ、復書シテ曰ク、
足下ノ言是ナリ、于公身方
伯ノ尊ニ居リ、不世ノ材
ヲ蓄フ、而卑鄙庸陋ト相
應答スル影嚮ノ如シ、是
君ニ忠ニ而善ヲ樂シミ、
國家ノ務ヲ以テ己ガ任ト
ナス者ニ非ラズヤ。

于公不以其言爲不可。復書曰。足下之言是也。于公身居
方伯之尊。蓄不世之材。而能與卑鄙庸陋相應。答如影響。
是非忠乎君而樂乎善。以國家之務爲己任者乎。

于公ニ於テハ、ソノ我言ヲ以テ不可ナリトハナサズ、ワザク返書ヲ下サ
レテ曰ル、ニ、足下ノ言論ハ、誠ニヨイト、サテ于公ハ、ソノ身方伯連帥ノ尊
位ニ居リ、其上、世ニ出デザル大材ヲ蓄ヘ、身ニ持テ居リ、ソノ材能モ我等
ノ如キ身分モ卑ク、凡庸ニ見識モ鄙キモノト、相互ニ應對サル、コトガ、誠ニ
影ノ形ニ添ヒ聲ノ響ニ應ズルガ如ク、速カデアアル、コレ君ニ忠義ヲ盡シ、善ヲ
取ルヲ樂ミ天下國家ノ務ヲ以テ自分ニ任ジ、ソノ双肩ニ背負テ居ルモノデハナ
イカ。

コレ于公ヲ賞賛ス。

愈雖不敢私其大恩。抑不可不謂之知己。恒矜而誦之情
已至而事不從。小人之所以不爲也。故於使君之行。道刺史
之事。以爲于公贈。

韓愈ハ、敢テ于公ノ大恩ヲ私ニ受ケ、其身ヲ採用シテハ貫ハナカツタケレ

愈敢テ其大恩ヲ私ニ
ズト雖モ、抑之ヲ知己ト謂
ハザル可ラズ、恒ニ矜テ
之ヲ誦ス、情已ニ至リ
而シテ事從ハザルハ小人ノ
爲サザル所ナリ、故ニ使君
ノ行ニ於テ、刺史ノ事ヲ道
ヒ以テ于公ノ贈トナス。

刺史ヲ指シテ云フ。

凡天下ノ事、自同ニ成リ、自異ニ敗ル、刺史タル者、常ニ其民ニ私シ、實ナリテ府ニ應ゼズ、觀察使タルモノ、恒ニ其賦ヲ急ニシ、情ヲ以テ州ニ信ゼズ、是ニ固リ、刺史其官ヲ安ゼズ、觀察使、其政ヲ得ズ、財已ニ竭キ、而歛休マズ、人已ニ窮シ、而シテ賦愈急、其去テ盜ヲ爲サル亦幸ナリ。

不以實應乎府 府ハ觀察使ノ府ナリ。

ド、我ノ言論ヲ以テ可ナリト賛成シ下サレタル已上ハ、サテ又、于公ヲ知已ト言ハナケラネバナラヌ、ソコデ我ハ之ヲ以テ非常ナル名譽ナリトシ、恒ニ自ら矜リテ之ヲ終始口ニ誦シテ居ルト云フ次第デアアル、我ハ于公ニ對シ、カク迄ノ情實ガ結バレテアルニ拘ラズ、實際、惟情ノミデアツテ、行事ノ之ニ伴ナハザルト云フヤウナコトハ、世ノアリフレタル小人デモ、爲サナイ所デアアルカラ、ソレ故ニ、今度我ノ親友タル使君許君ガ、于公ノ支配ノ下ニ刺史トナリテ赴任スル機會ヲ利用シ、刺史職分ノコトヲ言ヒ、以テ于公ノ贈物トナスノデアアル。

又法 道刺史之事、以爲于公贈、此ノ二句、于公ノ身ニ落シ込ミ、下文ヲ起ス。凡天下之事。成於自同。而敗於自異。爲刺史者常私於其民。不以實應乎府。爲觀察使者恒急於其賦。不以情信乎州。由是刺史不安其官。觀察使不得其政。財已竭而歛不休。人已窮而賦愈急。其不去爲盜也亦幸矣。

凡テ天下ノ事ト云フモノハ、上下一致意見ノ同キヨリ成リ、上下一致セズ意見ノ衝突ヨリシテ敗ル、モノデアアル、今ソレ刺史ノ職ニ居ル者ガ、如何ニモシテ、民ノ人望ヲ其身ニ收メントシ、實際ノ民情ヲ以テ觀察使ノ役所ヘ報告セズ、觀察使タルモノハ、恒ニ民ニ賦シテ取り立ツル租稅ヲ如何ニモ、急速ニ

苛刻ニ剝取ヤウニシテ、些シモ民情ヲ察スルト云フコトナク、州ノ刺史ノ報告ヲ信用セズ、カ、ル調子ニテ、刺史ト觀察トノ間ニ、意思ノ疎通セザル所ガアルト、刺史ハソノ官職ニ安ズルコトガ出來ズ、觀察使ハ、政治ヲ甘ク料理シテ行クコトガ出來ヌ、民ノ財產ハ限アルモノデアアルカラ、已ニ竭テ居ルニ、上ヨリ取り立ツル、租稅ハ取り盡サネバ休ムコトヲセヌ、人民ハ已ニ困窮シ、賦スル租稅ハ愈急速トナル、ソコデ人民ノ立場ト云フモノヲ失フカラ、人民ノ相去テ盜賊ヲナサルハ、亦幸福ナノデ、盜賊ヲスルト云フヤウニナルモ、無理ハナイ。

又法 コレ自異ノ敗ヲ説ク。誠使刺史不私於其民。觀察使不急於其賦。刺史曰吾州之民天下之民也。惠不可獨厚。觀察使亦曰某州之民天下之民也。歛不可以獨急。如是而政不均令不行者。未之有也。其前之言者于公既已信而行之矣。今之言者其有不信乎。

誠ニ刺史ヲシテ、其民ニ私スルナク、觀察使ヲシテ、ソノ租稅ヲ急ニスルコトナク、カク、上下一致シ、意思疎通スルヤウニナルト、刺史ノ曰ヘルニ、吾治メテ居ル州ノ民ハ天下ノ民デアアル、恩惠ヲ施ス獨吾州ニ限リ厚クスル譯ニハ行

誠ニ刺史ニ其民ニ私セザラシメ觀察使ニ其賦ヲ急ニセザラシム 刺史曰ク、吾州ノ民ハ天下ノ民ナリ、惠以テ獨厚ス可ラズ、觀察使亦曰ク、某州ノ民ハ天下ノ民ナリ、歛以テ獨急ニス可ラズ、是ノ如クニシテ均カラズ、令行ハザル者ハ、未ダ之有ラザルナリ、其前ノ言ナル者、于公既ニ已ニ信ジテ之ヲ行フ矣、今ノ言ナル者、其信ゼザル有ランヤ。